書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
Annual Report of the State Railways of Japan 1932	Department of Railways Government of Japan	△三00		鐵道省 劇町
【九月】				
The Invenile Side Readers 1, 2, 3	興文社	○三冊		興文社 日本橋
The Sunlight Readers 1,2,3	三省堂	○三冊		三省堂 神田
Students Side Readers 1,2,3	同	○三冊		同 同
The Young Japan Readers 1, 2	村田次郎	·三○	二冊	文信社 本鄉
Humor	佐藤正能	·五○	六二	南山堂 同
The World a Century Ahead	北星堂	·五○	100	北星堂 神田
Premier Middle School Composition 1, 2, 3	阿久津謙二	各·四五	○三冊	興文社 日本橋
"King's English" or "President's English"?	一矢慧	一·五○	一五五	川瀨日進堂 神戸
S. Anderson and Other American Writers.	梅本誠一	·五五	○一六二	北星堂 神田
Japanese Merchandise for Africa Markets	和田朝一郎	三·00	△101	神戸大阪プレス社 神戸
The Popular Essays	伊藤義末	·八○	一五五	修文館 神田
Was ist Wahrheit?	小島伊左美	·四○	四六	積文堂 同
The Strange case of Dr. Jekyl & Mr. Hyde	開隆堂	一·00	◎一一一	開隆堂 同
Choice Essays of T. H. Huxley	矢川德光	一·00	○一五一	開隆堂 神田
Three Typical Stories	岡本忠之丞	·六○	一0三	同 同
Selections from Sir Ray Lankester	日進堂	·七○	一0三	日進堂 神戸
モナ・リザの失踪	山根正吉	一·五○	○一三	平原社 京橋
獨和對譯 ドイツ語文庫第二次世界大戰未來記	大野勇二	·六○	一四二	尚文堂 神田
ドイツ語文庫 原子の人工破壞	川村義雄	·四○	×一0三	同 同
The Memorial Picture Gallery, Meiji Jingu.	明治神宮奉贊會	非○	一四六	明治神宮奉贊會 劇町
Der Kampf ums Recht	松島烈雄	·八○	一六四	春陽堂 日本橋
The Indian Jugglers & on Going a Journey	井上思外雄	·三○	四四	開隆堂 神田
Friendship on Love	又井盛治	·六○	八三	同 同
Great Lives in History	丹原建男	·四○	一四三	北星堂書店 同
エスペラント文藝讀本第一輯	小坂狷二	·三五	○七三	日本エスペラント學會 本鄉
教本大系 第十一	南江堂	·四○	×六	南江堂 同
Die schönsten Novellen	大學書林	·五○	八三	大學書林 同
Japanische Marchen	フロレンツ エー・エス・ホーンビー		○	長谷川商店 下谷
Gullivers Voyage to Lilliput		·四五	○九二	英語教授研究所 劇町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
Manchukuo a Birds-eye View	James A. B. Scherer	1·五○	○1四五	北星堂書店 神田
Stories froine Prerre Loti's Japanese Eestical and Calender Sore	小泉八雲	二·00	○1四1	同 同
Victorious Lives of Early Christians in Korea	William Hugh Ershene	三·00	○10五	教文館 京橋
Modern Japan	M·W·ノーブル	二·00	○1四四	同 同
Eastern Products a Trade Catalogue of Japanese Raw Silk and Textiles 1933 外四名	清水留三郎	各·00	△1000	モダン·ジヤパン刊行會 神田
【十月】				
キングコング	シークーバー 作秋廣孝	一·00	○一六	平原社 京橋
ドイツ語文庫一 般化學	高峰一愚	·四○	×九0	尚文堂 神田
Hourl Began	大橋榮三	·五○	一0六	大倉廣文堂 京橋
Outlines of English History	中土義敬	·五○	○六一	北星堂 神田
A Trip Round the World	堀英四郎	·五0	○三二	中等教科書 出版協會 劇町
佛蘭西爐邊の幻想	尾崎賢三郎	·五○	×一六	大倉廣文堂 京橋
ドイツ語文庫 辯證法的唯物論	島田萬太郎	·四○	×10五	尚文堂 神田
Portraits in Miniature	老田三郎	·四○	○五五	平野書店 京都
Gems from Great Authors	所勇一	二·一○	○1三	同 同
Second Interim Report on English Collocations	ハロルド·イーパーマ	一·五○	◎一八三	英語教授研究所 劇町
Biene Maia	山岡直道	·九○	一四九	大倉廣文堂 京橋
ノイツアイトリツ（獨文）	大山茂昭	·五○	七三	積文堂 神田
On a Piese of Chalk	島村盛助	·三○	六0	開隆堂書店 同
Providence and the Guitar	鈴木謙一郎	·五○	六四	同 同
The Juryman	金子尚一	·五○	三三	開隆堂書店 同
A Guide to Zen practice	緒方宗博		○三四	佛化社 京都
與の細道（英文）	磯邊彌一郎	·九○		東京堂 神田
黑衣の處女獨和對譯	山根正吉	一·五○	○二三	平原社 京橋
Ansgewählte lesestücke	角信雄	·八○	一0四	南山堂 本鄉
Neues deutsches lesebuch 2	別府千代太郎	·八○	九二	日獨書院 同
Abhidharmakosavyakya.	友松圓諦	各三·00	△一10	梵文俱舍論叢刊行會 豐島
The Work of Yasomitra (1)-(2)				
Law of Torts	竹內淳郎	三·00	◎二七三	敬文堂書店 牛込
Die Hautkrankheiten	荻原省三	五·00	◎二六六	禮文社 芝
Die Geschlechtskrankheiten	同	四·五0	◎三六四	同 同
Cases on the Law of Contract	高井忠夫	三·五0	◎三九九	敬文堂 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
Dolls on Display Japan in Minatory 【十一月】	G. Caiger	二·八〇	△四一	北星堂 神田
Outline of Commerse Sketches of Men and Life	中村賢二郎	一·三五	〇三〇三	平野書店 京都
Best Short Stories	福田市平	一·〇〇	〇一四八	丸善株式會社 日本橋
新選醫學教本卷二	飯島隆	一·〇〇	〇一六〇	平野書店 京都
Goethebildes	磯部幸一	·五〇	〇六六	大倉廣文堂 京橋
ヘルマン	徳澤得二	·七〇	〇五二	南江堂 本郷
Stories from Scott	荘直一	·五〇	〇七九	大倉廣文堂 京橋
Current English	木原順二	一·〇〇	〇三七	外語研究社 日本橋
Young Dedalus	小川忠藏	·三五	◎六二	關西書院 大阪
英詩十二講	飯島隆	·六〇	〇六六	開隆堂書店 神田
ヘツベル日記抄獨文	山宮允	一·一〇	〇二〇八	大倉廣文堂 京都
アリストテレス獨文	秋元喜久雄	·八〇	一二三	南江堂 本郷
Der Entdecker	小野澤百八	·七〇	同	同 同
教本大系第九卷獨文	高橋禎二	·六〇	〇七九	大學書林 同
	南江堂	·四〇	〇六二	南江堂 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
教本大系第十八卷第二十卷 獨文	南江堂	各·四〇	〇二冊	南江堂 本郷
John Bassett Mooris Discussion Selections from Poe	菱田靜治	一·二〇	◎六七	丸善株式會社 日本橋
戀の日曜日 獨文	勝田孝興	一·一〇	〇八二	創元社 芝
The Dictionary of Entomology	山科正美	一·五〇	〇一三六	平原社 京橋
The Treasury of Japanese Lifeleture	石田昌人	五·〇〇	◎二四四	丸善株式會社 日本橋
Glimpese of the East	渡邊藤吉	二·三〇	〇三六一	十方閣 本郷
Katalog von Iwatas Bibliothek (Supplement I)	川田友之		△八〇〇	川田友之 神田
Japan Illustrated 1934 1908—1933 ヴヱネスエラ昭和八年	服部靜夫	非△	一八三	岩田正二郎 小石川
Changing Japan, Seen Through the Camera	光永星郎	一·〇〇	△九五八	日本電信通信社 銀座
1934 General Word and Phrase Code			◎八〇〇	カルロス・ロドリーゲス・ピメネス 澁谷
附 1934 Complete 7 Figure Code	星野辰男	三·〇〇	△二九二	朝日新聞社 銀座
Tokyo Vignettes (英文東京風景)	高屋隆雄	非△		伊藤商事株式會社 大阪
【十一月】	ゼエキンケーリングトン			
Chesterton & T.S. Eliot	瀧山德三	·八〇	〇一〇七	創元社 大阪

◇北海出版社の青訓教本類◇

新青年訓練教本
（昭和九年の卷）

菊判二五六頁 裝釘優美堅牢 挿圖豊富 定價 五十錢 送料 八錢

本書が昭和三年以來、我が國青年訓練教本の王座を占めて來たことは天下周知の事實である、年一年と共に急速なる改善進歩を爲せるは之本書が信を天下に置ける根據を示すものである。尚本書は「職業科」は「これを別冊として刊行する」ことにした。乞ふ非常時日本の覺悟を語る昭和九年の本教本を採用されんことを！

改訂 昭和青年訓練教本

（第一輯より第四輯まで）菊判各三〇頁 定價各卅五錢 各六錢送料

「新青年訓練教本」は毎年版を改め、常に最新の時勢の動きを洞察し之を材料に加ふる所に一大特色を有するが本書は固定版として廉價な所に特色があり、修身・公民・國語・歴史・地理・理科・數學の七科を收む。

青年訓練 農業教科書

（各種共第一輯より第四輯まで）菊判各六四頁 定價各十錢 送料各二錢

青年訓練 商業教科書

青年訓練 工業教科書

青年訓練 水産教科書

本書は從來「新青年訓練教本」の中に職業科として挿入されてゐたものであるが本年度より之を別冊として上記の如く分割特輯したものである。而も內容の大改訂をなし、各卷共從來のものに比し分量を二倍半に增加した、各科共第一輯より第四輯までに分れ全卷一齊に刊行されてゐる。而して「新青年訓練教本」昭和九年の卷には、農業・商業は第三輯、工業・水產は第四輯が連絡するやうになつてゐる。

青年訓練 教練教本

袖珍二五六頁 挿入圖版多數 定價二十錢 送料二十錢

新青年訓練教本の姉妹書！ 各個教練・部隊教練・陣中勤務・距離測量・手旗信號等に關する要點を簡潔平易明瞭に說明し、競技・軍歌も併せ載せ教練の實際に便ならしめてゐるのが本書である。

青年訓練 出席簿

一年五十人分 製本堅牢美裝 定價四十五錢 送料四十錢

一度使用したら決して他のものを使用出來ないやうに便利に編纂してある。生徒氏名は一度書けば全科に通じ而も一年間使用し得る。製本はクロース裝で頗る堅牢に出來てゐて、數人の指導員が此の一册を代る々々使用するやうになつてゐる。

發行所 北海出版社
東京市神田區駿河臺南二丁目 札幌市南二十四條西十丁目
振替 東京一三七七〇番 小樽一三九二番
電話 東京神田二五〇六番 札幌一七一三番

中等參考 最も理解し易い 要點の研究叢書

日常の學習指導はもとより受驗の要點をもくはしく排列解釋したる研究書である。受驗界の大福音

山上德信	最も理解し易い	日本地理要點の研究
山上德信	最も理解し易い	外國地理要點の研究
山上德信	最も理解し易い	日本歷史要點の研究
山上德信	最も理解し易い	東洋歷史要點の研究
山上德信	最も理解し易い	西洋歷史要點の研究
杉山福太郎	最も理解し易い	物理學要點の研究
木原一郎	最も理解し易い	化學要點の研究
中川逢吉	最も理解し易い	動物學要點の研究
杉崎浪江	最も理解し易い	植物學要點の研究
小野竹三郎	最も理解し易い	生理衞生要點の研究
東野亮	最も理解し易い	國文解釋要點の研究
笠松彬雄	最も理解し易い	漢文解釋要點の研究
西田勇三	最も理解し易い	英文解釋要點の研究
中尾治郎吉	最も理解し易い	英作文要點の研究
竺賢誠	最も理解し易い	代數受驗要點の研究

定價各冊金九拾五錢

送料各冊八錢

大東京市阪神區西田町三ノ四八
振替東京七八七二番
振替大阪三九七五番
受驗研究社

學習本位 ◆大賞讃の學習準備書◆ 受驗準備

木山淳一先生著

模範讀本

問題の研究 解答の要諦

木山淳一先生著

完成國語模範學習書

常識を養ひ讀解力を練る 改訂增補

國語讀本模範學習書

常識を養ひ讀解力を練る

算術模範學習書

常識を養ひ思考を練る

木山淳一先生著

生きた地理の學習

要點の研究

生きた國史の學習

要點の研究

生きた理科の學習

要點の研究

長田教育研究部編

生きた讀方學習書

愛兒の泉（各課全體學習を附す）

尋常第五學年用 尋常第六學年用	定價金九拾錢 送料各金十錢	生きた讀方學習書
尋常第五學年用 尋常第六學年用	定價金六十錢 送料各金十錢	完成國語模範學習書
尋常第三學年用 尋常第四學年用	定價金四十錢 送料各金十錢	國語讀本模範學習書
尋常第三、第四學年 各冊定價參拾五錢 尋常第五、第六學年 各冊定價六拾錢	送料六錢 送料拾錢	算術模範學習書
尋常第五學年用 尋常第六學年用	定價金五十錢 送料各金十錢	生きた地理の學習
尋常第五學年用 尋常第六學年用	定價金五十錢 送料各金十錢	生きた國史の學習
尋常第五學年用 尋常第六學年用	定價金五十錢 送料各金十錢	生きた理科の學習
尋常第五學年用 尋常第六學年用	定價金八十錢 送料各金十錢	生きた讀方學習書

大東京市阪神區西田町三ノ四八
振替東京七八七二番
振替大阪三九七五番
受驗研究社

權威十二博士責任編輯

農業大辭典

農業最高知識の開放・全巻日本農業の新面目!!

今日の農業は最早昨日の農業ではない。明日の農業は最早今日の農業と同日に論ずるを許さない。進歩的農業者が農業上の新知識を要求すること蓋し今日の如きはないであらう。

「農業大辭典」は我社が一切の使命と責任とを賭けて世に問ふた最初の辭典である。しかも我等の努力は酬ゐられた。本辭典が全國の書店に現はれるや、注文殺到、旬日を出でずして早くも賣切れの盛況を見た。此の熱烈なる各位の援助に應ふるため、我社は今一度犠牲を忍んで斷然重版を敢行することに決し、今や其の製本が成つた。乞ふ、躊躇して悔を永久に遺さざらんことを!!!

◆日本最初の農業大百科辭典!!
◆收載項目一萬五千挿圖五千餘
◆内容最新精嚴・解說平明懇切
◆裝幀新雅堅牢多年の使用に恰適

上下二巻・四六倍大判
極上製・總頁千八百頁
別刷原色版・寫眞版・凸版
挿繪豐富

定價 二冊 二十五圓
（送料内地各巻三十八錢）

上巻再版出來!!

内容見本全國書店にあり

日本評論社
東京市京橋區京橋三丁目四
振替 東京一六

婦人之友社の書籍

豐島區雜司ヶ谷町六丁目
婦人之友社
電話大塚三七一八
振替東京壹壹六〇〇

趣味と實用の日本料理	價一・〇〇	一巻 夏春秋の婦人子供服
素人に出來る支那料理	價一・〇〇	二巻 婦人子供冬服、セーラー服、ブラウスとスカート、婦人子供下着一切
家庭で出來る和洋菓子	價一・〇〇	三巻 男兒の下着から外套まで
家庭向きフランス料理	價一・〇〇	四巻 婦人、子供外出着、アフタヌーン・ドレッス、結婚式服、喪服
四季の家庭料理	價一・〇〇	五巻 赤坊から歩きはじめまでの服、姙娠中の婦人服、婦人子供の寢衣一切
育兒讀本	價一・三〇	六巻 婦人・子供のスーツと外套
母と子の榮養學	價一・三〇	

婦人子供洋服裁縫大講習錄

定價【一冊】一圓八十錢
【六冊】九圓八十錢

◇この講習錄はその急所を最も手輕にのみこませるために、ほんとに骨を折つたものです。その應用を容易くさせるために、各巻共數十種の練習の仕方が出てゐます。筆や言葉で簡單にいへない所は實物見本布地見本をつけてあるといふ、新しいやり方までしてあります。

老鶴圖發行優良圖書目錄

改稿 物理學通論
本多光太郎氏著 ¥5.00 送.33

應用物理學實驗
東京帝大工學部物理學實驗教室 ¥4.00 送.33

ベクトルとテンソル
山田光雄氏著 ¥3.50 送.33

電子論
三枝彥雄氏著 ¥4.00 送.33

新電子論
三枝彥雄氏著 ¥4.00 送.33

材料試驗法
山田良之助氏著 ¥4.50 送.33

近代の金屬材料
濱住松二郎氏著 ¥8.50 送.33

冶金學
濱住松二郎氏著 ¥3.00 送.21

鐵鋼の腐蝕と防錆の研究
遠藤彥造氏著 ¥13.00 送.33

耐酸耐蝕金屬及合金
遠藤彥造氏著 ¥6.00 送.33

增訂五版 化學語彙
日本化學會編 ¥3.00 送.21

有機化學構造論（上）
山岡望氏著（下卷近刊）¥6.00 送.33

珪酸鹽工業要覽
永井彰一郎氏著 ¥4.50 送.33

樹木和名考
白井光太郎氏著 ¥15.00 送.45

植物分類學 第一卷 裸子植物篇
早田文藏氏著 ¥15.00 送.33

藻類系統學
岡村金太郎氏著 ¥20.00 送.33

代數學（全二冊）
藤原松三郎氏著 一卷 ¥7.50 二卷 ¥8.50 送各.33

數學解析第一編 微分積分學（第一卷）
藤原松三郎氏著 ¥7.50 送.33

ローレンツ微分積分學
山田光雄氏譯 ¥10.00 送.33

微分積分學序論
池田芳郎氏著 ¥3.00 送.33

日本探鑛法
岩崎重三氏著 ¥3.50 送.33

金
岩崎重三氏著 ¥3.80 送.33

鑛山の開發と經營
山田復之助氏著 ¥3.00 送.33

ヴエルナドスキー 地球化學
高橋純一氏譯 ¥6.50 送.33

東京市日本橋區大傳馬町一丁目 **內田老鶴圃** 振替東京一二一四六 電話浪花一八六五

優秀なる歷史・地理科參考書は能率倍加

（第四版）新考 必要にして十分なる 國史粹
◎府立高等學校教授 文學士 中村一良先生著
四六判新型 上製三六八頁 定價金一・三五〇 送料書留金・二

（第廿版）受驗參考 答案式 改訂 日本史粹
◎中學教育會・瀨戶重次郎先生著
四六判クロース 上製二二二頁 定價金一・五〇 送料書留金・二

（第十版）受驗參考 答案式 新制 東洋史粹
◎府立高等學校教授 文學士 東恩納寬惇先生著
四六判クロース 上製一八五頁 定價金一・五〇 送料書留金・二

（第四版）受驗參考 西洋史粹
◎府立高等學校教授 文學士 金子直衛先生著
四六判クロース 上製四二〇頁 定價金一・九〇 送料書留金・二

（第四版）受驗參考 最新 世界地理粹
◎東京府立第一中學校教諭 理學士 河田四郎先生著
四六判クロース 上製三〇五頁 定價金一・六〇 送料書留金・二

東京市神田區錦町一ノ九十 **慶文堂書店發行** 振替東京一八二三五番 東京屋古名一六〇一番

科學知識圖書目錄

海軍中將 米村末喜著	航海の話	菊判 P. 174 定價 ¥2.50	送料 .22
工學博士 鴨居武監修	圖解化學工業	四七倍判 P. 400 ¥5.00	.33
工業化學者 廿一氏共著	化學工業概說	菊判 P. 450 ¥3.00	.33
東京天文台 井上四郎著	天文小話	四六判 P・230 ¥2・00	・15
理學博士 吉田貞雄著	日本の寄生蟲と其病害	四六判 P. 230 ¥2.00	,15
陸軍騎兵少佐 岩田巖著	傳書鳩	四六判 P. 180 ¥1.80	.15
遞信技師 荒川大太郎著	短波長電波の話	四六判 P. 150 ¥1.50	.15
農學博士 横山桐郎著	蟻と蜂	四六判 P. 350 ¥2.50	.15
農林省 永松陽一編	農家の副業	四六判 P. 400 ¥1.20	,10
工學博士 關口八重吉編	新しい家庭工業	四六判 P. 260 ¥1.00	.10
社團法人 燃料協會編	燃料問題圖說	菊判 P. 220 ¥1.50	.15

東京麹町區丸の内二の六 財團法人 科學知識普及會 振替口座東京四六六〇二番

最新刊

日本衣服史

永島信子女史著

◇菊判洋裝紙本文七百頁 ◇木版彩色刷插圖二十九枚・玻璃插版圖二十一枚 定價金拾圓 送料四十五錢

總論及び本論第一期條形衣服時代、第二期上下衣時代、第三期袍衽時代、第四期小袖着物時代、結論、に分ち七百頁の大著、著者は山形高等女學校に學べる十四、五歳時代より衣服の變遷に留意し、後日本女子大學に於て小杉博士の講義を聞くに及び研究慾を一層そゝられ遂に本書を大成した。總論にも各論にも創見に富む上引證頗る該博到底家庭人の著者と思へぬ博さと深さとたしかさとがあり、特に裁縫をよくする夫人の著者として男性學者の想到し得ぬ個所を思ふまゝにつき込み、かきわけ細微にわたつてゐる點に類書のおよばぬ大特色がある、挿入寫眞や木版も親切を極め絶好の衣服史をなしてゐる、近頃絶讃に値する書の一つである。（大阪毎日より）

金井紫雲先生著

蔬果と藝術

四六判 本文三百頁 ◇口繪木版彩色刷插圖二十三枚・玻璃插版印刷二十枚 定價金參圓 送料二十一錢

◎花と藝術 ◎樹木と藝術 ◎動物と藝術 ◎魚介と藝術 ◎草と藝術

△平福百穗畫伯題簽 △山口蓬春畫伯裝幀 △定價金參圓 △送料二十一錢

蔬菜や果實のもつ美しい色彩、趣きのある形狀、それらは古來いろ〳〵の藝術に現はれて、興味とは、別の境地に置かれてゐます。著者の不斷の努力、研究は更にこれら蔬菜果實の美的檢討となり、趣味的記述となつて、此一卷に現はれ、蔬菜、果實、穀菽、約六十種の色彩形狀その來歷名稱、傳說や故事詩歌俳句、これを表現した名畫名作、苟も藝術に緣あるものよく家、圖案家、詩人墨客等の無二の好參考書であります。

東京本郷湯島一丁目 社會名合 芸艸堂 京都市寺町二條南 振替東京四〇九四〇番 振替大阪二五八番

月刊雜誌（毎月廿日發賣）

日本精神文化

◇皇國文化の科學的研究
◇日本精神の眞髓顯揚

日本精神の全面的根本的闡明の必要、今日より急なるはない。我等は我が民族文化の綜合的研究を目指し、思想、道德、宗教、藝術の諸部門を一貫せる日本的なるものゝ把握に努め、以て我が皇國文化をしてうるはしき世界文化の一環たらしめんとするものである。

◇執筆者　國民精神文化研究所所員、全國各大學專門學校教授、陸海軍人、民間篤學者網羅、承諾者壹百名

定價　普通號金五十錢（送料二錢）
前金注文　半年　三圓・一年　六圓

今宮千勝著
日本精神の訓育
菊判三一四頁　二・五〇（〒・二二）

日本精神研究會編
日本精神と各科教育
四六判四五〇頁　二・三〇（〒・二二）

東京文理科大學哲學會編
哲學論叢　第一輯
菊判三〇〇頁　一・五〇（〒・一四）

金田一京助著
アイヌ文學
四六判二四八頁　二・〇〇（〒・一五）

金田一京助著
言語研究
菊判三一二頁　三・〇〇（〒・二二）

東京市日本橋區通三丁目一番地　河出書房　振替東京一〇八〇二　電話日本橋二七七七

成美堂名著案内

理學士　三井高遂共
農學士　衣川義雄著
家禽圖鑑（別卷解說書）
菊倍大版　豪華裝　全アート刷　三七二頁　定價三〇・〇〇　送料八一

農學博士　吉川祐輝著
改訂　**食用作物各論**
菊判・布裝　五五七頁　定價五・八〇　送料三三

同
工藝作物各論（第一卷）
菊判・布裝　四八〇頁　定價五・八〇　送料三三

同
工藝作物各論（第二卷）
菊判・布裝　四八〇頁　定價五・八〇　送料三三

農學博士　佐藤寬次著
改訂　**產業組合講話**
菊判・布裝　四〇二頁　定價三・五〇　送料二一

文學博士　大瀨甚太郎著
歐米教育史（最近世の部）
菊判・布裝　五四二頁　定價三・八〇　送料三三

同
新教育學講義
菊判・布裝　四一〇頁　定價三・五〇　送料二一

東京市日本橋區通三丁目一番地　成美堂　振替口座東京第一七一九番

アルス寫眞書一覽

正則寫眞術
佐和九郎著 ￥1.20 〒10

現像の實際
佐和九郎著 ￥2.80 〒14

露出の秘訣
佐和九郎著 ￥2.50 〒14

整色寫眞の研究
佐和九郎著 ￥2.00 〒12

寫眞の構圖
霜田靜志著 ￥1.80 〒10

商業寫眞術
鈴木八郎・金丸重嶺著 ￥2.50 〒14

寫眞處方集
鈴木八郎著 ￥2.00 〒10

整色寫眞のうつし方
鈴木八郎著 ￥2.00 〒10

藝術寫眞の作畫法
ハモンド著・掛利淳一譯 ￥2.00 〒10

藝術寫眞の知識
中島馨吉著 ￥2.00 〒8

原板の手入
南實著 ￥1.50 〒8

フイルム寫眞術
高桑勝雄著 ￥1.80 〒10

寫眞のうつし方
三宅克巳著 ￥1.80 〒10

寫眞術の第一歩
吉川速男著 ￥1.00 〒10

私の寫眞
三宅克巳著 ￥1.80 〒10

趣味の寫眞術
三宅克巳著 ￥1.50 〒8

引伸寫眞術
中島馨吉著 ￥1.50 〒8

寫眞問答
高桑勝雄著 ￥1.50 〒6

寫眞術五十講
高桑勝雄著 ￥1.50 〒6

寫眞の失敗と其原因
鈴木八郎著 ￥1.50 〒6

人物寫眞のうつし方
勝田康男著 ￥1.50 〒6

パテーの自家現像
吉川速男著 ￥1.00 〒6

東京三田神保町 アルス 振替東京 24888 電話九段 (2175 (2176

廣 一二五

農博 雨宮育作 同理博 石川昌長 同理博 黒田穗茂 同同博 田中亨 同同博 内田幸穀 同理學士 山田一男 中澤巖

有用有害觀賞 水產動植物圖說

四六倍判 背革 函入 大好評再版 定價八圓也

所載三千六十七種、精巧圖版三千六百五十圖と平行說明平易懇切、植物術語、圖解索引表外寫眞、高山植物採集には衆議一決

專攻學者分擔執筆所載壹千七百餘種圖版壹千五百五十圖と平行說明平易懇切外に原色圖版六葉、學術的に信賴し實際的に應用廣き實益書、生物學研究者は勿論一般國民必備の寶典

大集會補成 新植物圖鑑

總ポケット革型 定價二圓五十錢 送料十五錢 千百十餘種

應用 新植物圖鑑 姉妹篇

總ポケット革型 定價二圓五十錢 送料十五錢 植物五百六十、有毒植物二百餘、食用藥用植物千種、花卉園藝千餘、果樹園藝百八十、蔬菜園藝五百餘

原色版 日本菌類圖說

特菊判製 定價七 送料二十八錢 明は圖版と對面 そのまゝの色彩に精巧なる印刷 四百二十頁

原色版 日本魚類圖鑑

總ポケット中型革 定價七圓五十錢 送料十六錢 頗色圖版三百六十餘魚類の生態その色彩に精巧なる印刷、倘說明は圖版と對面 四百二十餘頁

理博 田中茂穗 校定 帝國軍歌集

ポケット型上製 四百頁 本書は今迄に世に出た軍歌集の中で最も優れたものであることを茲に保證します。先づ內容見本進呈 振替東京六八八〇九

村越三千男 植物術語圖解及檢索表

並ポケット製型 定價二圓八十錢 送料二十八錢 植物學研究上必要なる用語を五十音順に配列一々圖版を挿入說明、集製百一十頁 成績物圖鑑併用至便

村越三千男 大增補 新植物圖鑑

總ポケット革型 定價二圓五十錢 送料十五錢 千百十餘種 解說明平易懇切、植物術語、圖索引表外寫眞、高山植物採集には衆議一決

理博 川村清一 原色版 日本菌類圖說

特菊判製 定價七 送料二十八錢 そのまゝの色彩に精巧なる印刷 倘說明は圖版と對面 四百二十頁

村越三千男 應用 新植物圖鑑 姉妹篇

總ポケット革型 定價二圓五十錢 送料十五錢 植物五百六十、有毒植物二百餘、食用藥用植物千種、花卉園藝千餘、果樹園藝百八十、蔬菜園藝五百餘

大地書院編纂 小學理科 生物實驗觀察 教材圖解

四六倍判上製 綴込 定價四金二圓五十錢 送料一圓五十錢 今小學校の自然的要望教材一課題を自由に取外し實驗に活用し效果は管物教授同樣の好評を博す

國民教育振興會編輯 國定教科書 振亀堂 加藤吉枝謹考 加藤興謹畫 考註 教育勅語圖繪

菊判六六倍 三圖版 修正再版 特價金一圓五十錢 送料十三錢 本圖繪は一般青少年に謹述各學校生徒に年少者への御利用を薦む

林鉄十郎閣下 荒木貞夫閣下 三名題 外 歌人 內藤銀策校註 歌集

ポケット型上製 譜付・歌數三〇〇餘 振假名付四六倍送料四錢

廣 一二四

岡村書店出版圖書略抄

著者	書名	價	送
法學博士 岡田朝太郎監修	最新六法全書 革製 布製	一・二〇 一・〇〇	各・〇八
三輪義熙著	神代事蹟の大發見 神皇紀	四・〇	二十
文學士 倉野憲司著	古代文學研究	一・九〇	二七
文學博士 中村孝也序 溝口駒造著	平家物語新釋 上卷 下卷	各一・八〇	各・一二
文學博士 加藤玄知序 溝口駒造著	增鏡新講	二・〇〇	一二
佐藤繁作著	徒然草講義	一・三	一〇
文學博士 尾上八郎序 永田義直著	土佐日記新講	一・七〇	一二
文學士 長連恒序 永田義直著	對譯 伊勢物語新講	一・五〇	一二
佐藤保胤著	英文正解法	一・二〇	一〇
同	高速度英文解釋	九五	〇八
山田惣七著	試驗によく出る英語の解釋法	一・二〇	〇
佐伯有三著	分る樣に說明した英作文の書き方	一・三〇	〇八
本多孝一著	速成暗記 英語單語一萬五千	一・四〇	一〇
星野久成著	ユース・オフ・ライフ全譯講義	一・五〇	一〇
明治大學教授 中島秀次郎著	學習本位 代數學の獨力解決	一・六〇	一〇
同	學習本位 幾何學の獨力解決	一・六〇	一〇
石上錄之助著	算術 基本問題 重要問題 の正しき解き方	一・二〇	〇八
神尾錠吉著	新式珠算教本	七五	〇八
石上錄之助著	最も早い 珠算の彈き方	八〇	〇六
醫學博士 岡田道一著	學校と家庭の兒童衛生	一・五〇	一二
大妻コタカ閲 南雲ハツヨ著	新らしい 和服の仕立方	一・二〇	一〇
大妻女學校長 大妻コタカ著	日常常識 禮儀作法	一・〇〇	〇八
桑田春風著	現代手紙大鑑	一・五〇	一二
農學博士 下脇人監 中村哲哉修	實用 養雞百科全書	二・八〇	一二
農學博士 恩田鐵彌著 久田賢輝閲	草花疏菜 果樹盆栽 四季園藝虎の卷	一・二〇	一二
大畑匡山著	式辭演說大觀	一・五〇	一二
東京朝日運動部 飛田忠順 小出秀世共著	最新 野球實際の知識	一・〇〇	一〇
東京朝日運動部 小高吉三郎 上忠共著	現代ラグビーの見方	八〇	〇六

東京市淺草區 下平右衛門町
岡村書店
電話淺草四二〇二番 振替口座東京一九〇六五番

◆斯界に權威ある參考圖書◆

著者	書名	價	送
文學博士 波多野精一著	西洋 哲學史要	菊判上製 二・三〇	一二
上野陽一著	增訂 心理學通義	菊判上製 五・五〇	一八
理學博士 飯島魁著	動物學提要	菊判背革裝 二〇・〇〇	三八
牧野富太郎 田中貢一著	科屬檢索 日本植物志	四六判背革 特價 六・〇〇	一八
眞島俊雄 久保久俊譯	ホレマン 無機化學	菊判上製 五・五〇	二二
佐賀高校教授 山崎榮作著	受驗參考 微分學問題詳解	四六判上製 三・五〇	一二
同	受驗參考 積分學問題詳解	四六判上製 三・二〇	一二
同	受驗參考 平面解析幾何學問題詳解	四六判上製 三・五〇	一二
同	受驗參考 高等代數學問題詳解(上下)	四六判上製 各一・八〇	一〇
同	受驗參考 高等三角法問題詳解	四六判上製 二・二〇	一〇

哲學の淵源に筆を起し古代中世近世の思想の要綱をあげ明瞭暢達な文章にて說明す。

實驗に立脚して人間の精神現象を巧妙な挿圖と明快な口語文とで平易簡明に說述す。

飯島博士が十五年の日子を傾倒された本邦最大の動物學書一千百餘の挿圖も又本書獨特のもの

檢索表により夫々所屬の科及屬に誘導し正確な和名學名特標を知るべく編纂されたもの。

著者は先人思索の跡を尋ね學說變遷の過程を詳にし容易に學理を了解せしめる。

帝大入學試驗文部省檢定試驗に應ぜんとするもの並に高等專門學生の爲に多年の研究と經驗に基き編纂された。材料を系統的分類的に配列し定理公式を列記し有名な問題を擧げて解說し各章の終りに練習問題を配し實力の涵養に資す。各書に附錄を附し帝大、文檢問題を揭げ解說す獨學者、文檢受驗者の絕好の參考書として推奬す。

發行所 東京銀座一丁目 振替東京二一九
大日本圖書株式會社

Along the Road	柴山 健三	一・〇〇	一九六	創元社	大阪
Beyond the Horizon Eugene O'neill	吉岡 義睦	・九〇	一八七	同	同
A Man in the Zoo	名原廣三郎	・八〇	一〇七	開隆堂書店	神田
David Copperfield	澤村寅二郎	一・八〇	三四四	大倉廣文堂	京橋
Jausend und einen nocht	大學書林	・七〇	二一六	大學書林	本鄉
インペラライフ獨文	小島伊佐美	一・五〇	六〇	積文堂	神田
Modern American Short Stories	日進堂	・九〇	一四四	日進堂	神戸
Readings in Chemistry	宮崎寛一	一・〇〇		開隆堂書店	神田
Jesus Christ	エス・エフ・クラーク	・五〇	一一六	教文館出版部	京橋
Selected Lectures of Maurice Baring	小田切米作	・九〇	一三二	北星堂書店	神田
The Subjection of Women	中土 義敬	・九〇	一五六	同	同
Current Reviews	津田 和也	・九〇	一三三	平野書店	京都
Deutschland	高橋 健二	一・五〇	二五六	三省堂	神田
Blake's Exoteric Writings	壽岳 文章	◎一〇三		壽岳文章	京都
方丈記(英文)	エフ・ヴエ・デキンズ	・五〇		野村敏	京橋
秋の女性獨和對譯	山科 正美	一・五〇	一三三	平原社	同
A General Outline of Manchoukuo's Construction Programme.	豐島 撰	・三〇	◎一八	日本外事協會	銅町
Sakura no Kaori	甲斐 兼藏	・五〇	八二	日本外事協會	銅町
Lord Clive and Samuel Johnson	河野 正通	一・〇〇	一八九	北星堂書店	神田
New Arabian Nights (ローマ字)	鈴木 和一	・六五〇		日本ローマ字社	銅町
Modern Essays	石井 正雄	・九〇	一二九	開隆堂書店	神田
Present Age and Other Essays	荒井 書店	・九〇	一三	荒井書店	小石川
Selections from Lafcadio Hearn	同	・九〇	一二八	同	同
The Art of Japanese Flower Arrangement	アルフレツド・コーヘン	七・五〇	△一三二	ゼー・エル・タムソン株式會社	神戸
The Japan Year Book 1933	三島 撰	一〇〇	〇一六三	日本外事協會	銅町
The Japan Manchoukuo Year Book 1934	芝 東吾		△一〇九四	年鑑社	同
Kobe the Premier Port of Japan	ドーグラスM・ヤング・外一	三・〇〇	△二〇九	神戸大阪プレス社	神戸

タイムス出版社刊行書目

英語參考書

米國政府選定編輯部編纂 **英語基礎單語四〇〇〇** 倉長 眞著 一・〇〇 一・〇〇 送料一〇〇

受驗英語新單語 倉長 眞著 一・〇〇 一・〇〇

新英文解釋基礎一五〇項 倉長 眞著 一・〇〇 一・〇〇

新和文英譯基礎八〇項 倉長 眞著 一・〇〇 一・〇〇

英語基礎熟語八〇〇 倉長 眞著 一・〇〇 一・〇〇

英語入試問題種本調べ 倉長 眞著 〇・三五 〇・三五

和文英譯基礎單語句四〇〇〇 邊勝 武男著 一・〇〇 一・〇〇

英語會話練習帳 松村 寬著 一・八〇 一・八〇

新聞英語の讀み方 松村 寬著 一・五〇 一・五〇

英語對照現代米語小辭典 松村 寬著 一・〇〇 一・〇〇

英語書取の聽き方書き方 下總好昌 白井同氏著 一・〇〇 一・〇〇

英語のパンクチュエーション 城谷 賢著 ・五〇 ・四〇

分解式和文英譯 牧 一著 一・五〇 一・五〇

分解式英文和譯 佐伯 有三著 一・五〇 一・五〇

獨、佛、露參考書

獨逸語基礎單語四〇〇〇 鳥子木夫人 宮下 義信著 一・三〇 一一〇〇

新聞ドイツ語の讀み方 上西半三郎著 一・五〇 一・五〇

獨逸文法整理ノート 大島 桂吾著 ・八〇 ・八〇

佛蘭西語基礎單語四〇〇〇 鷲尾 猛著 一・〇〇 一・〇〇

佛蘭西語基礎熟語二〇〇〇 鷲尾 猛著 一・〇〇 一・〇〇

鷲尾佛蘭西語自修書 鷲尾 猛著 二・〇〇 一一二

基本佛蘭西語文法 大村 雄治著 一・二〇 一・二〇

露西亞語動詞圖解辭典 松田 衛著 三・〇〇 一四四

露西亞語基礎單語四〇〇〇 イ・ア・ワシリエフ著 金田常三郎譯 一・〇〇 一・〇〇

露西亞語慣用句二〇〇〇 ウ・ゴロフシチコフ著 一・五〇 一・五〇

タイムス出版社 東京市有樂町二丁目 振替東京六〇〇三一番 出版部 ジヤパンタイムス 舊稱麹町區

〔一七〕歴史・傳記

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
嗚呼景一よ	加藤秀一	非◎	四六	加藤秀一 名古屋
寺田甚與茂翁傳出草	覺野才介	同◎	三五三	覺野才介 大阪
回天艦長甲賀源吾傳	石橋絢彦	二·〇〇◎	三〇三	石橋刊行會 本郷
泊翁西村茂樹傳 上下二冊	松平直亮	◎	二〇〇	日本弘道會 神田
忠貞龜鑑大楠公夫人	蒐道春千代	一·五〇	一五三	蒐道春千代 小石川
大唐大慈恩寺三藏法師傳全四冊	伊津野直	△	一〇〇〇	東方文化學院京都研究所 京都
順渠先生文錄	育德財團石黑文吉	非	峽入四冊	育德財團 目黑
ゲーテの生涯	中島清	一·八〇	五五	四條書房 神田
高僧逸話集	小瀧淳	一·五〇	二六〇	素人社 本郷
立正大師と聖蹟	井上一次	·八〇	一四六	立正大師聖蹟顯彰會 四谷
內村鑑三君小傳	宮部金吾	·五〇	八三	獨立堂書房 淀橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
男爵西德二郎傳	坂本辰之助	非◎	三四	坂本辰之助 豐島
福澤諭吉先生	中津市教育會	·二〇	六一	中津市教育會 大分
第一銀行の沿革と石井健吾氏の足跡	日本評傳社	非○	四二	日本評傳社 麻布
糖業界の先覺者武智直道氏の全貌	日統社	同○	二五	日統社 芝
陶淵明	上村忠治	·九〇	一四	ブツクドム社 本郷
味の素の礎石	日統社	非○	二五	日統社 芝
鈴木忠治氏	合志芳太郎	·六〇◎	一七	合志史談會 熊本
武士道の權化	赤名村役場	○	四三〇	赤名村役場 島根
加藤清正公	東京乘馬俱樂部會員原榮	非○		東京乘馬クラブ 牛込
赤名村々誌	岩屋村役場	◎	一四六	岩屋村役場 京都
東京乘馬俱樂部十年誌	喜多章明	·五〇	九一	北海道協會 札幌
沿革誌	西村文則	二·三〇◎	三八	雄山閣 麹町
岩屋村誌	久留米市役所	非◎	九六八	久留米市役所 久留米
蝦夷地民話かしは語る	江馬務	四·五〇	四一六	新光社 神田
詩歌日本史 中篇	中川泉三	二·五〇◎	二〇三	長濱文泉堂 滋賀
久留米市誌	山崎宣策	三·〇〇◎	九三	帝國新報社出版部 芝
續歴代風俗寫眞大觀				
近江之聖蹟				
國民必携帝國議會史（自第一議會至第六十二議會）				

頁數 / 枚數	144	160	176	192	208	224	240	256	272	288	304	320	336
50	225	250	275	300	325	350	375	400	425	450	475	500	525
100	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1.000	1.050
200	900	1.000	1.100	1.200	1.300	1.400	1.500	1.600	1.700	1.800	1.900	2.000	2.100
300	1.350	1.500	1·650	1.800	1.950	2.100	2.250	2.400	2.550	2.400	2.850	3.000	3.150
400	1.800	2.000	2.200	2.400	2.600	2.800	3.000	3.200	3.400	3.600	3.800	4.000	4.200
500	2.250	2.500	2.750	3.000	3.250	3.500	3.750	4.000	4.250	4.500	4.750	5.000	5·250
600	2.700	3.000	3.300	3.600	3.900	4.200	4.500	4.800	5.100	5.400	5.700	6.000	6.300
700	3.150	3.500	3.850	4.200	4.550	4.900	5.250	5.600	5.950	6.300	6.650	7.000	7.350
800	3.600	4.000	4.400	4.800	5.200	5.600	6.000	6.400	6.800	7.200	7.600	8.000	8.400
900	4.050	4.500	4.950	5.400	5.850	6.300	6.750	7.200	7.650	8.100	8.550	9,000	9.450
1.000	4.500	5.000	5.500	6.000	6.500	7.000	7.500	8.000	8.500	9.000	9.500	10.000	10.500
2.000	9.000	10.000	11.000	12.000	13.000	14.000	15.000	16.000	17.000	18.000	19.000	20.000	21.000
3.000	13.500	15.000	16.500	18.000	19.500	21.000	22.500	24.000	25.500	27.000	28.500	30.000	31.500
4.000	18.000	20.000	22.000	24.000	26.000	28.000	30.000	32.000	34.000	36.000	38.000	40.000	42,000
5.000	22.500	25.000	27.500	30.000	32.500	35.000	37.500	40.000	42.500	45.000	47.500	50.000	52.500
6.000	27.000	30.000	33.000	36.000	39.000	42.000	45.000	48.000	51.000	54.000	57.000	60.000	63.000
7.000	31,500	35.000	38.500	42.000	45.500	49.000	52.500	56.000	59.500	63.000	66.500	70.000	73.500
8.000	36.000	40.000	44.000	48.000	52.000	56.000	60 000	64.000	68.000	72.000	76.000	80.000	84.000
9.000	40.500	45.000	49.500	54.000	58.500	63.000	67.500	72.000	76.500	81.000	85.500	90.000	94.500
10.000	45.000	50.000	55.000	60.000	65.000	70.000	75.000	80.000	85.000	90.000	95.000	100,000	105,000

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
御肇國史　全四冊	大槻如電	四・〇〇	◎七八三	文祥堂書店　劉町
日本美術史概論	黒田鵬心	四・五〇	九八	誠文堂　神田
異說日本史第十八卷 文獻史料篇	雄山閣編輯局		◎三五八	雄山閣　劉町
大和の傳說	高田十郎	一・七〇	三〇二	大和史蹟研究會　奈良
維新史考	井野邊茂雄	三・〇〇	◎三一六	中文館書店　牛込
人間の由來	大畑達雄	一・五〇	四〇二	大畑書店　神田
文化人類學	米村富男	一・八〇	一三四	森山書店　同
三十年史	岩田健三外四		◎三五	慶應義塾體育會器械體操部　芝
日本及日本國民之起源	小谷部全一郎	二・〇〇	◎三九三	厚生閣　劉町
東洋美術史　下卷	大村西崖外一	二・八〇	五九三	平凡社　日本橋
西洋美術史	エリ・レイナック・河野桐谷譯	四・二〇	四一九	同　同
幕末明治大正回顧八十年史第一輯	大澤米造	二・〇〇	△一五〇	東洋文化協會　京橋
高松市史	高松市役所 前田家編輯部	非賣品	◎六八〇	高松市役所　香川
加賀藩史料	同	同	◎三六六	石黒文吉　淀橋
西尾町史　上卷	西尾町役場	同	◎六三二	西尾町役場　愛知

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
現在の藤澤	加藤德右衞門	五・〇〇	◎七九九	加藤德右衞門　茅原
幕末に於ける唐津藩の研究 プロレタリヤ日本歷史	植村平八郎	一・六〇	一三四	畠山書店　澁谷
	佐野學	一・五〇	一六六	白揚社　神田
日本民俗學論考	中山太郎	三・〇〇	◎三四一	一誠社　劉町
東西史論	德富猪一郎	二・〇〇	三五五	民友社　京橋
古事記大講 第二十三卷	水谷清	二・〇〇	◎二三三	古事記大講名古屋刊行會
開國文化八十年史	大澤末造	三・〇〇	△	山陽新報社　岡山
上田築城三百五十年祭史料展覽會紀念帖	上田史談會	二・〇〇	◎一〇〇	大日方利雄　長野
隱岐島誌　全	隱岐島誌編纂係		◎五七四	隱岐島誌支廳　島根
昭和七年史	結城長治	三・〇〇	◎七五五	年史刊行會　本鄉
史記會注考證八列傳	瀧川龜太郎	三・八〇	◎八〇〇	東方文化學院東京研究所　同
西城南蠻美術東漸史	闢衛四郎	五・〇〇	◎三八〇	建設社　牛込
新詩論ボオ研究 特異說日本史 第十三卷政治篇	吉田一穗 雄山閣編輯局	二・〇〇	◎二八八 ◎三七七	アトリエ社　同 雄山閣　劉町
歷史に關する新考察	栗山周一	一・八〇	三六二	日東書院　神田
系譜精表	佐藤小言	三・〇〇	◎三六	東洋圖書株式合資會社　同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
東洋史上より見たる日本古史研究一（邪馬臺國論考）	橋本增吉	六・〇〇	◎六一二	大岡山書店　麻布
明治以後に於ける歷史學の發達　四	歷史教育會	二・八〇	◎六〇四	海書房　豐島
日本農政史	矢野友一	五・〇〇	◎五四五	文藝春秋社　劉町
阿片禍英國東洋侵掠史 新訂增補國史大系第三十三卷吾妻鏡後篇	牛窪愛之進	二・三〇	○四六二	曉書院　日本橋
	黒板勝美		◎八七二	國史大系刊行會　京橋
南紀德川史第十四冊	堀內信		◎七九三	德川史刊行會　和歌山
秋田縣史蹟調査報告第一號	秋田縣		△	秋田縣　秋田
極東事情年表	草薙博臣	一・二〇	◎一八	草薙博臣　同
武田信玄	井上一次	一・五〇	三七	鷄鳴會　芝
秋山眞之	櫻井眞清	非賣品	四八四	秋山眞之會　牛込
ジョンソンとその群	石田憲次	三・八〇	◎五九九	研究社　劉町
人間松岡の全貌	森清人	一・二〇	三一四	實業之日本社　京橋
平易に說いた法然上人傳	大富秀賢	二・〇〇	二三三	更生閣　京都
ルーズベルト	大江專一	一・二〇	四一三	大日本雄辯會講談社　本鄉
事業界の第一人者田中榮八郎氏苦闘傳		非賣品	二五	日本評傳社　麻布
精神運動の使徒大倉邦彥氏		同	四九	日統社　芝
草莽の傑士沼間守一評傳		同	四六	日本評傳社　麻布

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
營業即宗教の妙布本鋪渡邊輝綱氏	日統社	非賣品	四九	日統社　芝
噫々軍神姬野軍曹	新湊町役場	同	◎三六	新湊町役場　富山
和宮樣の御一生	樹下快淳	同	六九	女子會館建設委員會　本鄉
鈴木喜三郎閣下少青年時代を語るインキ製造の先覺者篠崎又兵衞君	中原義則	一・三〇	二〇	國民教育會　澁谷
	日本評傳社	非賣品	四九	日本評傳社　麻布
松陰及其後	矢次寂輔	二・〇〇	七〇	矢次寂輔　山口
因伯藩主池田公史略	本田肇		◎二五〇	鳥取史蹟刊行會　鳥取
興禪大燈國師年譜	奥田正造		◎五二	森江書店　本鄉

【三月】

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
足利史料集成第二集	須永弘	非賣品	◎三	足利文獻協會　栃木
中里村是	中野佐七	同	◎五二	中里村役場　滋賀
八多村誌	西野幾三郎	同	◎一四六	八多村役場　兵庫
國史連絡甲斐鄉土史	土屋操	八五〇	◎二〇〇	柳正堂書店　山梨
筑後河畔浮島史	上野季雄	非賣品	△一六四	上野季雄　福岡
宇都宮城下史	福田德重	五・〇〇	◎一九八	國史編纂所　栃木
ばんどり騷動	井上忠雄		○一三二	倉田長太郎　富山
十二銀行五十年略史	竹多松之助	非賣品	◎一四六	竹多松之助　同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在
日向正史郷土の光	川添重廣	・六〇	○	三〇〇	文華堂	宮崎
維新雛王人傑史上卷	杉本政吉	五・〇〇	◎	三八八	大日本中興會出版部	王子
校訂眞淵宣長訓古事記神代卷	神宮皇學館史學會	非	◎	一五四	神宮皇學館史學會	宇治山田
異說日本史第十六卷宗教思想篇上	雄山閣		◎	三五六	雄山閣	麴町
日本林制史資料佐賀藩島津藩	農林省		◎	六〇〇	農林省	同
遠江積志村民俗誌	中道朔爾	一・八〇	○	三三五	郷土研究會	小石川
史觀第三册	早大文學部岸畑久吉	一・〇〇	◎	二二六	早稻田大學出版部	牛込
日本老農傳	大西伍一	三・五〇	◎	六〇四	平凡社	日本橋
日本文化史談上卷	北垣恭次郎	一・八〇	○	四九四	實業之日本社	京橋
日支外交六十年史第一卷	長野勳	三・五〇	◎	三七九	建設社	牛込
新國史教育原論	三木英太郎	三・八〇	◎	四一〇	明治圖書出版株式會社	京橋
幕末・明治・大正回顧八十年史第二輯	大澤米造	三・〇〇	△	三三	東洋文化協會	同
維新日記卷六	橋本博	非	△	二五六	靜岡郷土研究會	大森
歐米人亞細亞侵略の歷史	佐藤正作	一・八〇	○	二六三	大同館	神田
近世日本國民史安政大獄後篇	德富猪一郎	三・五〇	○	五九八	民友社	京橋
日本林制史資料秋田藩	農林省		◎	七一〇	農林省	麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在
春畝公文錄	小松綠		△帙入	二册	春畝公追頌會	麴町
製粉界の覇者日清製粉社長正田貞一郎氏	日本評傳社	非	○	四一	日本評傳社	麻布
自然科學教育資料の發明者山越長七君	日統社	同	○	四三	日統社	芝
烈女畠山勇子	林壽祐		○	三五六	文友社	千葉
林田守隆翁傳	武藤直治	非	◎	三六三	久留米報德會	福岡
新大統領ルーズヴェルト	小平國雄	・一五	○	四三	社會教育協會	小石川
博多と菊池寂阿公	西川虎次郎	・一〇	○	四三	菊池神社	福岡
松屋呉服店の礎石内藤彦一氏評傳	日本評傳社	非	○	四一	日本評傳社	麻布
白木屋專務山田忍三氏苦鬪傳	同	同	○	五〇	同	同
ヒギンス大將	山室軍平	・一〇	×	四七	救世軍本部	神田
油界の巨星小倉常吉氏	日統社	非	○	三八	日統社	芝
純情人を泣かしめた西脇濟三郎氏	日本評傳社	同	○	四〇	日本評傳社	麻布
先代孝平翁と德田昂平氏	日統社	同	○	三四	日統社	芝
親鸞聖人	高橋順次郎	一・〇〇	○	一六二	山喜房	本鄕
軍神江下武二正傳	宗改造	一・〇〇	○	二五九	正傳刊行會	日本橋
信州の口碑と傳說	杉村顯	二・四〇	○	三九三	信濃郷土誌刊行會	長野

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在
巨星荒木陸相を語る	原田高一	・五〇	○	一三三	三友社出版部	荏原
師範出身の異彩ある人物	横山健堂	一・三〇	○	二八三	南光社	神田
【四月】						
國史を彩どる我等の郷土東京府上・下	土上新作	各・三五	◎	二册	博美社	豐島
地理上から見た我等の郷土東京府	伊藤郷平	・三五	◎	五八	同	同
慶長五年長谷堂附近戰史	高橋雄一	・三五	○		高橋雄一	山形
統括對照世界歷史年代表	勝間田俊一郎	・三〇	◎		昇龍堂書店	神田
杵築郷土史	杵築町教育會	非	◎	二七九	杵築町教育會	大分
大分市支教會史	泉田友造	同	○		泉田友造	同
新發田藩と戊辰戰役	新井寛勵	・四〇	◎	六〇	新發田町地歷同好會	新潟
村田清風	山口縣教育會	・五〇	○	一八四	山口縣教育會	山口
覺信尼公	高濱哲雄	非	○	一九七	眞宗大谷派宗務所	京都
菅公御傳記	菅原恒覽	・三〇	○	八〇	菅公尊像奉獻會	神田
【五月】						
栃木縣史卷一地理篇	田代善吉	四・〇〇	◎	四五六	下野史談會	宇都宮
日本文化史	宮川造六	・九〇	○	二二八	文泉堂書房	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在
東西喫煙史	曾我重郎	二・五〇	◎	二九九	雄山閣	麴町
滿洲近代史綱要	岡田銘太郎	・八〇	◎	一〇〇	滿蒙學校出版部	神田
明治大正大阪市史第五卷	大阪市		◎	七八六	日本評論社	京橋
近世日本國民史安政大獄後篇	德富猪一郎	五・〇〇	◎	五九四	民友社	同
日本建國の史的研究	相澤熈	一・五〇	○	二八六	明治書院	神田
異說日本史第十七卷藝術篇	雄山閣編輯局		◎	三三六	雄山閣	麴町
三州奇談	中田邦造		◎	二五六	石川縣立圖書館協會	金澤
門司市史	門司市役所		◎	九三三	門司市役所	福岡
プレステド古代文化史	間崎萬里	二・八〇	○	四五六	刀江書院	神田
結城宗廣卿勤王事蹟	菅貞好		◎	三一八	別格官幣社結城神社社務所	津
鹿兒島縣郷土史大系第四卷島津分裂史	松下重資	二・五〇	◎	四一六	松下重資	鹿兒島
越前及若狹地方の史蹟	上田三平	七・〇〇	◎	四五九	三秀社	神田
新訂增補國史大系第四拾五卷	黒板勝美		◎	八六四	國史大系刊行會	京橋
南加花商組合史(日本版)	池上順一		◎	四〇九	組合史編纂所	米國加州
柉禁の考古學的考察	伊津野直				東方文化學院京都研究所	京都
Prince Saionji	竹越與三郎		◎	一三〇	立命館出版部	京橋
吉田松陰	中里介山	一・三〇	×	三〇三	大菩薩峠刊行會	日本橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
本木昌造平野富二傳	三谷幸吉詳傳	非賣	二六二	詳傳頒布會 下谷
上野吉三郎傳	山本源太	同	四二〇	傳記編纂會 麴町
高田町史	高田教育會	一・八〇	二四〇	高田教育會 豐島
根室千島兩國鄉土史	本城文雄	四五〇	四五	本城寺 根室
高田馬場と安兵衛の面影	義士史料編纂所	四〇		成蹊堂 淀橋
黒川村誌第一輯戰役編	渡邊榮吉	非賣	二四一	渡邊榮吉 岐阜
小萩ものがたり	藤原相之助	七〇	一〇三	友文堂書房 仙臺
鹿兒島縣薩摩郡高城村沿革史續編	田中勳	〇	四三	高城村史實存會 鹿兒島
淺草小學校史	淺草尋常小學校	〇	二四	淺草尋常小學校 淺草
城ケ島之過去帳	脇坂健次郎	〇	謄寫版	脇坂健次郎 神奈川
明中教育十年	明石中學校	非賣		明石中學校 兵庫
創立十周年紀念倉敷中央病院誌	笹邊親	同	二三〇	中央病院 岡山
犬養木堂翁	鷲尾義直	一〇〇	三六	社會教育協會 小石川
忠臣龜鑑新田公の歌	毛呂正憲	三〇	附	新田公の歌刊行會 群馬
高井鴻山小傳	山崎作治	非賣	一八〇	山崎作治 長野
四十九年 鹽野長次郎	堀內佐太郎	同	二三六	堀內佐太郎 兵庫
田中太郎	田中清	非賣	二六八	田中清 世田谷
國東多田守人	多田守人	同	三五〇	多田守人 杉並
野口英世博士の面影	畑嘉聞	五〇	七二	南江堂 本郷
五十有二年史	松平胖何	一・〇〇	二三六	五聖閣出版局 神田
熊崎健翁	船山草花	一・二〇	一六九	俳書堂 麴町
俳人北涯	村上賢三		三六	衛生文化思想普及會 石川
星野鐵男	大澤米造	二・〇〇	一六〇	東洋文化協會 京橋
幕末明治大正回顧八十年史第三輯	田中義能	四・八〇	五四〇	東洋圖書株式合資會社 神田
系統的西洋教育史	島屋政一	一〇〇	七三四	文明史刊行會 大阪
印刷文明史第一卷	山口縣農會	非賣	五六三	山口縣農會 山口
山口縣農會史	鈴木健一郎	九〇	三六八	文華堂 宮崎
日向の傳說	篠原豐	二・八〇	九五五	一心社 神田
隱れたる史實日本裏面史	佐野學	五〇	一六〇	白揚社 同
プロレタリヤ日本歷史	龍井松之助	二・二〇	三八〇	章華社 目黒
女性日本史	峰尾格	一・五〇	三一八	西出書店 大阪
傳說の和泉	清水東平	三・五〇	六五〇	東海春秋社版部 靜岡
聖鑑				

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
八隣通聘巧 上	權藤成卿	二・〇〇	二六三	平野書店 本郷
日本電力株式會社十年史	久保田雄二	◎	五九八	日本電力株式會社 大阪
南紀德川史第十五册	堀內信	◎	八七三	德川史刊行會 和歌山
異說日本史第七卷人物篇九	雄山閣編輯部	◎	三一〇	雄山閣 劍町
國史讀本	大川周明	一・〇〇	二六一	國民運動社 同
日本思想史奈良朝國民の精神生活	清原貞雄	三・〇〇	二六五	中文館書店 牛込
和讃史概說	多屋賴俊	二・五〇	三五九	法藏館 京都
明治維新史	服部之總	一・五〇	一〇六	白揚社 神田
隱れたる史實日本裏面史	篠原豐	二・八〇	九四四	莊人社 同
大日本教育通史	辻幸三郎	四・四〇	五九九	目黒書店 同
藝藩輯要附藩士家系名鑑	林保登	三・〇〇	三〇〇	入玄堂 廣島
政治學說史大要	カスパリー藤本直	一・五〇	二四二	刀江書院 神田
ローマギリシヤ神話傳說集	松元竹二	非賣	八七七	誠文堂 同
日本死刑史	布施彌平治	二・五〇	三八〇	日東書院 同
阿部仲麿と其時代	長野勳	一・八〇	三〇八	建設社 牛込
新訂增補國史大系第二十七卷	黒板勝美		六〇〇	國史大系刊行會 京橋
基督教々理史	館岡剛	一・二〇	二六三	新生堂 神田
歐米教育史	大瀨甚太郎	三・八〇	五四三	成美堂書店 日本橋
最近世の部				
日本林制史資料	農林省	◎	四五〇	朝陽會 劍町
篠山藩鳥取藩	廣畑茂	三・五〇	四八〇	建設社 牛込
支那貨幣史錢莊攷	本間泰次郎	一・二〇	一四七	大同館書店 神田
滿洲史要	大阪市	◎	一六三	日本評論社 京橋
明治大正大阪市史第七卷	橫濱市役所	◎	五〇三	橫濱市役所 橫濱
橫濱市史稿索引	牛伏川砂防事沿革史	三・〇〇	二三三	牛山清四郎 長野
牛伏川砂防事沿革史	島屋政一	一〇・〇〇	一五〇〇	文明史刊行會 大阪
印刷文明史第二卷	東京帝國大學	七・〇〇	九五〇	史料編纂所 本郷
大日本史料第二編之四	杉本英壽	三・〇〇	二四八	中村書店 福井
越前若狹に於ける百姓史研究	岐阜縣教育會	三・〇〇	七四四	岐阜縣教育會 岐阜
濃飛偉人傳	相馬御風	一・〇〇	二四四	春秋社 日本橋
良寬坊物語	柿谷平六	◎	七三	柿谷平六 小石川
九	吉田松陰とペスタロツチー			
	大久保龍	一・〇〇	三九	雄文閣 同
丸山興愍師追悼錄	柴田一能	非賣	三四	中央佛教社 牛込
豐田佐吉傳	田中忠治	同	三二	豐田佐吉翁名屋正傳編纂所
秋山眞之	秋山刊行會	三・二〇	四八三	秋山刊行會 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
仁尾惟茂先生傳	尾崎　吸江	非◎	三二〇	仁尾翁德事業實行委員會　芝
神道家井上正鐵翁	麻生　正一	三・〇〇	◎一二四	神道中教院　江戸川
水野正名翁傳	武藤　直治	非◎	二三二	水野正名先生顯彰會　久留米
元帥島村速雄傳	中川　繁丑	同◎	五七	中川繁丑　淀橋
公爵山縣有朋傳 上・中・下	德富猪一郎	同◎	各一〇〇〇	山縣有朋公記念事業會　麹町
【六　月】				
東京代々木幡ヶ谷沿革史	石川　源助	非◎	三五	諸氏家系調査所　澁谷
青森港灣史	青森市	◎	一二三	青森市　青森
榮村沿革史	榮村	非◎	二三三	榮村　長野
牟呂吉田村誌	白井　梅里	同◎	二三	大豐橋社　豐橋
小郡町史	能美　宗一	同◎	二〇〇	小郡役場　山口
四天王寺誌	奥田　慈應	・二〇	◎二三	四天王寺大阪事務局　大阪
新田の史蹟	岡部　福藏		◎一二七	岡部福藏　群馬
大島家史と其鄉土誌	大島　正德	非◎	二三三	大島正德　神奈川
世界文明史物語	ヘンドリック・ヴアン・ルーン　前田　晃	一・八〇	◎六六	早稻田大學出版部　牛込
日本社會變革史	石井　秀雄	二・二〇	◎一五四	經濟研究會　澁谷
日本齒科文科史第一	山田　平太	三・八〇	◎二〇四	日本齒科文化史刊行會　本郷
法隆寺法起寺法輪寺建立年代の研究一	會津　八一		△二九二	東洋文庫　同
同　附錄二	同		六・〇〇	△一七四	同
日本國民志操史	和田　宗八			◎六八	中文館書店　牛込
讃岐高松石清尾山石塚の研究	京都帝國大學文學部			△二〇	京都帝國大學文學部　京都
京都帝國大學國史研究室藏史料集	同			△五五	同
大阪府會史第三編上	大阪府內務部			◎六九三	大阪府內務部　大阪
同　下	同			◎一五四	同
維新日誌　卷七	橋本　博	非		△二〇	靜岡鄉土研究會　大森
京都帝國大學國史研究室藏史料集	西田直二郎	一八・〇〇		△五五	星野書店　京都
莊園志料　上卷	清水　正健	一四・〇〇		◎三五〇	帝都出版社　四谷
本邦小學校發達史	木村　泰夫	一・三〇		◎六八一	三協社　神田
文檢參考問題解說	松崎　末義	二・〇〇		○三〇三	啓文社書店　本郷
支那文學史・哲學史	福岡縣			◎八八	福岡縣　福岡
福岡縣史資料第二卷	雄山閣編輯局	一・三〇		◎二五四	雄山閣　麹町
文武抗爭史	平塚　俊亮	四・〇〇		◎三四三	克誠堂書店　本郷
日本醫學史綱要					

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
隱れたる史實	篠原　豐	二・八〇	九五五	莊人社　神田
日本裏面史	同	三・八〇	○九五五	一心社　同
同	雄山閣	◎	三七八	雄山閣　麹町
異說日本史第十六卷 宗教思想篇 下	東京帝國大學	◎	九四四	東京帝國大學文學部史料編纂所　本郷
大日本史料 第三編之五 自承德二年正月至康和三年六月	堀河天皇			
日本電力株式會社十年史	久保田雄二		◎五五五	日本電力株式會社　大阪
我等の國史	中村　孝也	一・五〇	◎一九三	章華社　目黑
大日本史料第一編之六 朱雀天皇自天慶四年九月至同九年四月	東京帝國大學		◎九五〇	東京帝國大學文學部史料編纂所　本郷
村上天皇自同九年四月至天曆元年五月	永島　信子	一〇・〇〇	◎六四四	芸艸堂　京都
日本衣服史	村岡　一郎	・八〇	○一五〇	建設社　牛込
文藝學史概說	奥村　綾子	二・〇〇	○三五六	弘文堂書房　京都
あぽろ	西村　眞琴	六・〇〇	△一五三	東京堂　麹町
世界古代文化史	大澤　米造	三・〇〇	△一八八	東洋文化協會　京橋
幕末明治大正回顧八十年史第四輯	東鄉吉太郎	一・一〇	◎二三六	清和書院　麻布
大楠公	佐藤　三郎	三・〇〇	◎七三五	河出書房　日本橋
全國警察官殉職史	石川　縣		◎二三〇	石川縣　石川
石川縣史　第五編	石川　縣		◎二三〇	石川縣　石川
別府濬伏時代及其前後の井上侯	別府市役所	非◎	九二	別府市役所　大分
有史以前の人類	ドモルガン　成田　重郎	三・一〇	◎四三五	東京堂　麹町
印刷文明史第三卷	島屋　政一	一〇・〇〇	△六七七	文明史刊行會　大阪
一瀨勇三郎翁	猪狩　又藏	非◎	三八二	猪狩又藏　淀橋
恩人吉植庄一郎先生	牧野　寬索	同◎	三九一	日本堂書院　東京府
渡邊正人の一生	渡邊新三郎	同◎	二四一	渡邊新三郎　澁谷
マルクシヤガール自敍傳	中山省三郎	一・五〇	○二九一	第三書房　牛込
【七　月】				
東關の聖跡	玉置　韜晃	・四〇	七八	顯眞學苑　京都
久代村誌	宮原　尋常小學校	◎	二〇三	宮原尋常小學校　廣島
市郡合併紀念中新井村誌	內田喜太郎	非◎	一四三	內田喜太郎　板橋
續三重先賢傳	淺野　松洞	一・九〇	◎三九九	別所書店　三重
谷將軍	熊本城址保存會	二・〇〇	○八八	熊本城址保存會　熊本
僧寂嚴	渡邊　頼母	一・五〇	◎	溫古會　岡山
巨勢氏と其鄉土	西尾　禧麿	非◎	二三三	西尾小五郎　奈良
博多の仙厓	淡川　康一	◎	五〇	高尾彥四郎　大阪
繪入親鸞聖人御傳	太宰　衞門	・三五	○二四	眞宗聖典普及會　京都

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
歷史と教育	西晋一郎	・四〇	○ 八二	青年教育普及會	神田
本邦侠客の研究	尾形鶴吉	二・八〇	◎ 三三二	博芳社	豊島
甲斐志料集成七 歷史部一	荻原頼平	非	◎ 五三二	集成刊行會	山梨
蒲田町史	町史編纂會	同	○ 四三三	町史編纂會	蒲田
正續神史	曾根榊三	六・〇〇	◎ 七三三	柳原書店	大阪
大日本建築全史	佐藤佐	五・〇〇	◎ 三七二	文翫堂書店	同
同 附圖	同		八二圖	同	同
大日本史料第六編之二十六 後村上天皇・後光嚴天皇	東京帝國大學	豫七・〇〇	◎ 九七五	東京帝國大學文學部史料編纂所	本郷
土佐の南學	大久保千濤		○ 四五七	土佐史談會	高知
資料近代日本史	國風會	三・〇〇	△ 一五〇〇	國風會	牛込
菅公實錄	兒島櫻陰	二・五〇	○ 五〇六	實錄刊行會	大阪
琉球昔噺集	嘉納絲村	二・〇〇	○ 三三六	三元社	神田
讀史備要	東京帝國大學史料編纂所	八・五〇	○ 一二〇四	内外書籍株式會社	小石川
東海道に於ける二川宿・大岩加宿の研究	鈴木闘道	二・五〇	◎ 四七二	鈴木闘道	愛知
ミレー藝術史	福田久道	三・五〇	◎ 六〇九	成光館書店	神田
日本封建社會史 庄園の部	細川龜市	・五〇	○ 一七〇	白揚社	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
日本原始社會史五	渡部義通	・五〇	◎ 三六七	白揚社	神田
定本世界映畫藝術發達史	太田國夫	二・八〇	◎ 六〇七	映畫評論社出版部	淀橋
雲泉莊山誌卷之四 家藏慶長以前記年金石類	杉浦三郎兵衞		△ 二〇〇	雲泉莊杉浦丘園	京都
異説日本史第八卷人物篇十	雄山閣編輯局		◎ 三三三	雄山閣	麹町
寶塚少女歌劇二十年史	吉岡重三郎	一・五〇	◎ 三七四	寶塚少女歌劇團	兵庫
赤垣義士と讃岐及讃岐人	小田德三	一・〇〇	◎ 一一六	香川縣教育圖書株式會社	高松
北海道史要	竹内運平	五・〇〇	◎ 七七四	市立函館圖書館	函館
國史學入門	藤崎俊茂	一・五〇	○ 二四四	金星堂	神田
地理的に觀た大日本史の研究	横井春野	四・〇〇	◎ 六七四	日東書院	同
幕末・明治・大正回顧八十年史第五輯	大澤米造	三・〇〇	△	東洋文化協會	京橋
消防發達史第一編埼玉縣	藏重耕一	九・五〇	◎ 一六八三	消防發達史刊行會	埼玉
古代埃及と日本	德政金吾	二・〇〇	○ 二〇〇	カムト社	大阪
南紀德川史第十六册	堀内信		◎ 九五八	德川史刊行會	和歌山
新訂大日本史集成第五卷	青木武助	六・五〇	◎ 一五三三	隆文館株式會社	京橋
同 第二卷	同	六・五〇	◎ 一三四二	同	同
伊藤博文秘書類纂第一卷日清事件	平塚篤		◎ 八九五	類纂刊行會	麹町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
雲泉莊山誌別册第二	杉浦三郎兵衞	非	◎ 三八	雲泉莊杉浦丘園	京都
伊那の傳説	岩崎清美	一・八〇	○ 三三六	山村書院	長野
東京府史 府會篇第六・七・八卷	東京府		◎ 八〇〇・一〇二八・九三六	東京府	麹町
偉人リンカーン	秋山彌一	一・八〇	◎ 三九七	教文館出版部	京橋
野口英世	奥村鶴吉	一・八〇	○ 六六二	岩波書店	神田
日本林制史資料江戸時代	農林省		◎ 六〇〇	朝陽會	麹町
小花冬吉先生	岩谷東七郎	非	◎ 四一六	北光會	秋田
猛虎宰相クレマンソー	桃井京次	一・〇〇	○ 三二七	平凡社	日本橋
アシジの聖者聖フランシス	宮崎安右衞門	一・〇〇	× 三三五	春秋社	同
島津齊彬公	中村德五郎	一・六〇	◎ 三三五	文章院出版部	荒川
近衛直麿追悼錄	室淳	非	△ 二一八	室淳	麻布
齋藤實傳	廣岡宇一郎		△ 九九八	實傳刊行會	芝
【八月】					
北海道の歷史	高森新一郎	・一五	◎ 五〇三	富貴堂書房	札幌
小中村史蹟編纂の辭	石井綠郎	非	◎ 二九	石井綠郎	栃木
藥仙寺緣起	小林覺住	同	○ 一三	藥仙寺	神戸
安宅誌	安宅關址保存會	同	○	安宅關址保存會	神奈川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
中戸川中心郷土史	佐川禎秀	非	◎ 一九八	佐川禎秀	茨城
金澤古蹟史 三編	金澤文化協會	同	◎	金澤文化協會	石川
國史講話 一、二、三、四	峰岸米造	同	◎	日本製絲株式會社	豊島
的里半介	和田新一郎	同	○ 一七三	平田倶集方	福岡
俳聖鬼貫の終焉と其の墓	小林杖吉	同	○ 一八	伊丹圖書館	兵庫
頼山陽先生小傳	松浦魁造	・三〇	○ 三五	竹原史談會	廣島
右劍左筆	松井拳堂	・七〇	× 一三〇	松井拳堂	兵庫
會津戊辰戰史	會津戊辰戰史編纂會	三・〇〇	◎ 七四一	會津戊辰戰史編纂會	淀橋
東方考古學叢刊第三册南山裡	島村孝三郎	一七・〇〇	◎ 一四八	東方考古學會	豊島
明治風雲史	元田利郎	一・五〇	○ 五〇二	春江堂	日本橋
天草富岡懐古錄	松田唯雄	一・〇〇	○ 五六三	松田齊	熊本
大正大震災の回顧と其の復興 上卷	千葉縣罹災救護會		◎ 九九九	千葉縣罹災救護會	千葉
同 下卷	同		◎ 一五六六	同	同
日滿の古代國史	沼田頼輔	三・二〇	◎ 二四	明治書院	神田
神・皇統・民族文化の眞相 神代の國史	高窪喜八郎	一・六〇	× 一三	博文館	日本橋
日本林制史資料金澤藩	農林省		◎ 七〇八	朝陽會	麹町
横手郷土史	横手郷土史編纂會	非	◎ 三九七	横手郷土史編纂會	秋田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近世日本國民史 櫻田事變	德富猪一郎	二・五〇	吾五	明治書院 神田
日本神代史	中村德五郎	三・五〇	三七	忠文館書店 大阪
明治前期財政經濟史料集成第十九卷 新訂增補國史大系第九卷本朝世記	大內兵衛 外一	◎	四九	改造社 芝
神話傳說大系インド ペルシヤ神話傳說集	黑板勝美	◎	九二	國史大系刊行會 京橋
諏訪湖氾濫三百年史	松元竹二	非◎	七四六	誠文堂 神田
日本國民史 上卷	堀江三五郎	四五〇	六四	年史刊行會 長野
クレメント ウエツブ西洋哲學史	齋藤斐章	四・八〇	◎ 六八四	賢文館 神田
維新日誌 卷八	瀨沼茂樹	一・八〇	二七八	金星堂 同
蘭學全盛時代と蘭嚶の生涯一卷 幕末明治大正回顧(第六輯) 八十年史(第六輯)	橋本博	非△	二七〇	靜岡鄉土研究會 澁谷
	鈴木要吉	三・八〇	△ 二八八	東京醫事新誌局 芝
	大澤米造	三・〇〇	△	東洋文化協會 京橋
別府市誌	別府市教育會	非◎	六〇二	別府市教育會 別府
石清水八幡宮史料第二編	田中俊清	◎	六九八	田中俊清 京都
國語史の方言的研究	奧里將建	一・七〇	二五〇	贊清社 同
佛國革命及ナポレオン時代史講話 大日本史料第十二編之三十一	玉椿莊樂只	五・〇〇	一三〇〇	文學部史料編纂所 大文館書店 大阪 東京帝國大學 本鄉

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
文化史上より見たる弘法大師傳	守山聖眞	七・〇〇	◎ 二三	豐山派弘法大師千百年御遠忌事務局 小石川
人としての武藤元帥	藤崎俊茂	五〇	二〇〇	不動書房 神田
陶庵公西園公望公傳	竹越與三郎	一・五〇	二四〇	叢文閣 劉町
海軍大將村上格一傳	波多野貞夫	非◎	三五三	波多野貞夫 神奈川
多紀氏の事蹟	森潤三郎	三・五〇	三七六	日本醫史學會 本鄉
【九月】				
直入郡全史	北村清士	三・五〇	四七二	北村清士 大分
駿豆傳說物語	貞松修藏	・三五	二五六	靜岡文化協會 鄉岡
西明寺鄉土志	西明寺鄉土志編纂會	非◎	二六三	西明寺鄉土志編纂會 秋田
布施町上水道誌	岡本滿	同◎	四一六	布施町役場 大阪
神村青年團光榮誌	沼隈郡神村青年團	同◎	二四二	沼隈郡神村青年團 廣島
金澤古蹟志	金澤文化協會	同◎	六八	金澤文化協會 石川
信陽城主得替記	伊那史料刊行會	一・五〇	◎ 二九九	山村書院 長野
口田村史	川內貞雄	五・〇〇	四九〇	鄉土教育研究會 廣島
奄美史談	都成鋼三	非◎	二〇〇	山元德二 鹿兒島
漢文明慧上人行狀記	奧田正造	◎		森江書店 本鄉

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
鍋島直正公(閑叟公)傳	西村謙三	・六〇	二五六	肥前史談會 佐賀
實歷百話	上杉裕道	非◎	一〇〇	辻翁顯彰會 京都
辻利右衛門翁通俗釋尊御一代記	永田宗太郎	・六〇	四八	永田文昌堂 同
親鸞聖人御一代記	日野道因	◎	九	蒲原靈英 新潟
皆川廣量君追想錄	村井知至	非◎	二五七	村井知至 神奈川
本朝鍼灸醫人傳	小川春興	三・〇〇	○	半田屋醫籍部 本鄉
三丹蠶業鄉土史	村島清	三・八〇	◎ 二五四	郡是製絲株式會社 京都
民權發達史	清水金八	三・五〇	◎ 四六	西濃商業學校出版部 大垣
山形縣史話	山形縣師範學校	一・二〇	◎ 二六八	六盟館 日本橋
國魂要義	高橋鐵太郎	・九五	○ 一四〇	蘭香窟 芝
日本教育文化史	高橋俊乘	三・八〇	◎ 六二四	同文書院 四谷
讀史廣記	中村久四郎	三・八〇	◎ 四三〇	章華社 目黑
增訂歐洲近世外交史 上卷	林毅陸	三・五〇	◎ 三七二	一誠社 劉町
新版 日本林制史	農林省		◎ 七五	農林省 同
結城宗廣大勤王論	諸根樟一	二・五〇	◎ 二六八	櫻關書院 神田
印刷文明史	島屋政一	一・〇〇	△ 七四	印刷文明史刊行會 大阪
世界經濟鬪爭史	白柳秀湖	一・六〇	四一〇	千倉書房 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
訓註吉田松陰先生幽囚錄	安藤紀一	◎	二三	山口縣教育會 山口
理科教材の發明及び發見	臼井勝三	二・五〇	◎ 二九	六盟館 日本橋
趣味の史話	名越那珂次郎	三・〇〇	二四八	積文館 神田
異說日本史	雄山閣編輯局		◎ 三五	雄山閣 劉町
別卷總說補遺篇				
滿洲國歷史	矢野仁一	三・五〇	三五四	目黑書店 神田
開國史蹟玉泉寺今昔物語	村上文機	六〇	◎ 二六	玉泉寺 靜岡
伊那農民騷動史	小林郊人	一・五〇	二九二	山村書院 長野
靖國神社忠魂史第五卷	賀茂百樹	非△	八六六	靖國神社社務所 劉町
新訂增補國史大系第五卷	黑板勝美		◎ 四六	大系刊行會 京橋
京都民族史	井上頼壽	三・〇〇	◎ 五〇	岡書院 神田
維新日誌 卷ノ九	橋本博	非△	二八	靜岡鄉土研究會 大森
栃木史卷二交通篇	田代萬吉	四・〇〇	◎ 四四六	下野史談會 栃木
岩井大慧五・八〇	◎ 三三	冨山房 神田		
荻原頼平	非◎	五三	集成刊行會 山梨	
時野谷常三郎	◎	六七	共立社 神田	
服部之總	一・五〇	二六四	大畑書店 同	
同	一・三〇	◎ 二八四	白揚社 同	

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
幕末・明治・大正回顧八十年史第七輯	大澤 米造	二・〇〇	△	三五〇	東洋文化協會	京橋
飛鳥時代	木村 小舟	三・八〇	◎	三八二	吉田書店	深川
神話傳說大系 ドイツ神話集	松元 竹二	非	◎	六九六	誠文堂	神田
峰間鹿水傳	橫山 健堂	二・五〇	◎	四一六	橫山紀念刊行會	神田
忍爭市來崎佐一郎君追懷錄	坂本 俊雄	非	◎	五三〇	追懷錄編纂事務所	澁谷
科學者群像	竹內 時雄	一・五〇	○	二六五	內田老鶴圃	日本橋
【十月】						
都城史蹟考	本多 精夫	一・〇〇	○	二三五	田中書店	宮崎
大和高市村志	島岡 芳雄	非	◎	一三三	島岡芳雄	奈良
電氣學校二十五年史	加藤 靜夫	同	◎	四〇〇	電機學校	神田
飛驒白川鄉異聞	時任 爲文	一・〇〇	○	一七七	鄉土資料調査會	名古屋
日本外史一	大田 清		◎	二〇六	大田清	廣島
新發田年譜	三扶誠五郎	五・〇〇	◎		鄉土研究社	新潟
米澤鄉土誌	石田勘四郎		◎	一五〇	石田勘四郎	山形
加茂町誌	加茂町	非	◎	一五〇	加茂町	德島
改訂鄉土物語	福山西尋常高等小學校	同	◎	二七三	福山西尋常高等小學校	廣島

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
鄉土誌	山梨縣教育會	非	◎	三〇五	山梨縣教育會	山梨
海舟先生を憶ふ	宮原 六郎	同	○	一三八	清明文庫	大森
荒木少佐の憶ひ出	今堀 鎮作		○	二六六	小林又七	麴町
鶴立鎭の華星野警備隊長を憶ふ	林 孝太郎		◎	五八	六ツ美第一尋常小學校	愛知
加茂保男追悼錄	加茂喜一郎	非	○	一七三	開明堂	濱松
偉人藤本鐵石	花土文太郎	同	○	九三	遺風顯彰會	世田谷
中安翁追悼錄	大村菊太郎	同	◎	一四四	大村菊太郎	京都
隆信公御年譜	大坪安太郎	・四〇	○	一六八	肥前史談會	佐賀
達人熊澤蕃山	安岡 正篤	・三五	◎	五五	篤農協會	麴町
飯田節報公事歷	山縣鈂之助		○		京都府教育會	京都
南紀德川史第十六册	堀內 信		◎	一二三	德川史刊行會	和歌山
東西交通史論叢	桑原 隲藏	三・八〇	◎	五五四	弘文堂書房	京都
日本英學發達史	竹村 覺	三・八〇	◎	三七二	研究社	麴町
東京株式取引所史第二卷	加納 秀		△	四〇〇	東京株式會社	日本橋
松本市史上・下卷	松本市役所		◎	上九〇〇 下一〇〇〇	松本市役所	長野松本
近世西洋史上卷	フリードリヤンド 橋本弘毅	二・五〇	◎	三一〇	叢文閣	小石川

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
滿洲國史	阪本 箕山	三・〇〇	◎	三〇〇	大日本文化協會	世田谷
金澤市水道誌	金澤市電氣水道局	非	△	一〇一四	金澤市電氣水道局	石川金澤
日本女性發達史	大井田源太郎	一・五〇	◎	二六九	政教社	神田
續橫手鄉土史	橫手町役場	非	◎	七三三	橫手町役場	秋田
中等教科書協會三十年史	坂本嘉治馬	非	◎	三三三	中等教科書協會	神田
世界歷史大系三 東洋古代史第一編	橋本 增吉	二・八〇	◎	六四六	平凡社	日本橋
七十七年の回顧	關 直彦	一・五〇	○	三四七	三省堂	神田
演劇史研究三	研究學會	二・五〇	◎	三一〇	第一書房	麴町
滿鮮史研究中世第一册	池內 宏	六・五〇	◎	七三三	岡書院	神田
明治史要上・下	東京帝大文學部史料編纂所	上三・五〇 下四・五〇	◎	上三〇〇 下四〇〇	金港堂	同
明治維新史研究	服部 之總	一・三〇	◎	一八四	白揚社	同
越前若狹古文書選	牧野信之助	九・〇〇	◎	八五〇	三秀社	同
成形圖說2	鹿兒島藩藏版	五・〇〇	◎	一〇五四	國本出版社	澁谷
日本宗教史研究	圭室 諦成	二・五〇	◎	三七六	隆章閣	神田
修補殉難錄稿前篇	宮內 省	二・八〇	◎	五八六	吉川弘文館	京橋
金澤古蹟志第七編	中島德太郎	非	◎	一〇〇	金澤文化協會	金澤
信濃教育史概說	市川 虎雄	二・〇〇	◎	三四七	信濃每日新聞社出版部	長野

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
風土記鄉土の史蹟	平野 小潛	三・〇〇	○	二九三	三陽書院	麴町
大日本創生史	石井 櫻樹	一・八〇	○	一九八	弘文館	神田
上古に於ける我が祖語の本地及垂跡	濱名 寬祐	・八〇	○	一〇〇	東大古族學會	中野
古代文化圖說	高橋 直一	三・〇〇	◎	四七枚	葦水莊	本鄉
莊園志料下卷	清水 正健	一四・〇〇	◎	二三六	帝都出版社	澁谷
新補伊勢歌舞伎年代記	吉田 暎二	五・〇〇	○	五三六	放下房書屋	千葉
東洋諸民族の歷史	佐々木三治郎	二・〇〇	○	二九〇	大同館書店	神田
幕末・明治・大正回顧八十年史第八輯	大澤 米造	二・〇〇	△	一三〇	東洋文化協會	京橋
新訂增補國史大系第三六卷後鑑第三篇	黑板 勝美		◎	一〇一〇	大系刊行會	同
維新日誌卷十	博木 博	非	△	三四〇	靜岡鄉土研究會	大森
英國救貧史研究	笠森 傳繁		◎	九二	啓明會事務所	麴町
日本林制史資料高知縣	農林省	非	◎	八四四	朝陽會	同
國史教育の新機構	大久保 馨	三・二〇	◎	四〇三	賢文館	神田
刑法史の或る斷層面	瀧川 幸辰		◎	二六八	京都書籍株式會社	京都
伊豫新居系圖	大倉 粂馬		△	二册 帙入	大倉粂馬	麴町
南溟寮史	寮史編纂部	非	◎	五三二	寮史編纂部	高知
創立五十周年	安場禎次郎	同	◎	三三六	大阪府立北野中學校大發同窓會	大阪

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
國民東洋史大綱	矢野仁一	一・九〇	◎	二〇三	目黒書店	神田
日本外史 二	大田清		◎	四〇八	頼山陽先生遺蹟顯彰會	廣島
百年紀念頼山陽先生	木崎愛吉		◎	二九二	同	同
歴史地理自第一卷至第六十卷索引	花見朔巳	二・六〇	◎	二七六	地人書館	神田
トーソン蒙古史	田中萃一郎	六・〇〇	◎	七三六	三田史學會	芝
圖解世界海戰史概觀	フォン・マンタイ 野原仲次	二・五〇	△	八一	海軍研究社	麴町
福井縣農會史	福井縣農會		◎	五〇八	福井縣農會	福井
實隆公記 卷三	三條西實藏	非	◎	七三〇	三條西實藏	豐島
五代友厚傳	五代龍作	同	◎	五六八	同	同
機械の父ワット正傳	伊澤梅吉	一・五〇	○	二七三	日本海事學會出版部	京橋
梅田雲濱先生 全	內田周平	三・五〇	◎	三一七	有朋堂書店	神田
阿部宇之八傳	櫻庭善一郎 外一	非	◎	六八六	櫻庭刊行會	札幌
榊田清兵衛翁傳	坂口二郎	同	◎	五五一	榊田記念會	秋田
北雷田尻先生傳 上卷・下卷	鶴岡伊作	五・〇〇	◎	七六〇 七六六	先生傳編纂會	小石川
偉大なる青年 橋本左內	滋賀貞	・八五	○	一八四	武藏野書院	同
山鹿素行	齋藤弔花	二・四〇	○	四九九	近代文藝社	大阪

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
【十一月】						
日本電氣交通經濟年史 昭和八年前半期 第一輯	萩原古壽	三・五〇	◎	三一六	電氣經濟研究會	大阪
神話傳說大系 フィンランド・セルビヤ神話傳說集	松本竹二	非	◎	四二四	誠文堂	神田
北見鄉土史話	米村喜男衛	三・五〇	○	二七六	北見鄉土研究會	北海道
福井縣農會史	福井縣農會		◎	五一〇	福井縣農會	福井
史學概論 第二輯	內藤智秀	・八〇	◎	一三一	高原書店	京橋
日本精神作興歴史讀本神武建國記	實業之日本社	一・二〇	○	三二四	實業之日本社	同
力學史傳	福本正人	三・五〇	○	三六五	恒星閣	芝
印象の人松方幸次郎	戸田千葉	・三五	◎	五七	信義堂書店	日本橋
日本染織商工史	泉俊秀	一五・〇〇	△	九三三	商業研究資料編纂所	大阪
近代日本外交史	服部之總	・五〇	○	一六一	白揚社	神田
古今偉人會議	清水芳太郎	一・三〇	○	三〇六	千倉書房	京橋
幕末・明治・大正回顧八十年史 一	大澤米造		△	三〇	東洋文化協會	同
國史大圖鑑明治時代	圖鑑編輯所		△	六〇〇	古川弘文館	同
訂增史記列傳講義 一	石川寅吉	一・五〇	◎	四四八	興文社	日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
世界文化史大系 二三 大戰後の世界	仲摩照久		△	三九五	新光社	神田
カリホルニヤ開化秘史	河村幽川	一・五〇	○	二三六	公人書房	目黒
流行歌明治大正史	添田啞蟬坊	一・八〇	○	三六八	春秋社	日本橋
日本外史 三・四	太田清		◎	二〇〇	頼山陽先生遺蹟顯彰會	廣島
嶽南史 第四卷	鈴木覺馬	非	◎	一三四四	嶽南史刊行會	靜岡
白河關物語	堀川久助	一・〇〇	◎	一〇四	堀川久助	福島
世界歴史大系 一〇 西洋近世史 第二	阿武實 外一	三・八〇	◎	五九八	平凡社	日本橋
房總里見氏の研究	大野太平	三・五〇	◎	八〇〇	宏文堂書店	千葉
本朝畫人傳 上・下	村松梢風	各三・〇〇	◎	上六六六 下五九三	平凡社	日本橋
近世日本國民史 豐臣氏時代 甲篇	德富猪一郎	三・五〇	○	五五〇	民友社	神田
東方學報東京第四册	多田寅松	四・〇〇	△	四〇三	東方文化學院東京研究所	小石川
印刷文明史第五卷	島屋政一	一〇・〇〇	△	六〇〇	文明史刊行會	大阪
立憲政友會史第五卷	菊池悟郎	三册 五〇・〇〇	◎	四六四	政友會史編纂部	芝
同 第六卷	同		◎	七二八	同	同
同 第七卷	同		◎	八三六	同	同
神話傳說大系アイルランド神話傳說集	松元竹二	非	◎	六〇七	誠文堂	神田
日本古代社會史	佐久達雄	・五〇	○	一六五	白揚社	同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
日本古代史	伊豆公夫	・八〇	◎	一〇七	叢文閣	麴町
南山遺響	石田一幸	非	◎	一五〇	石田一幸	和歌山
修補殉難錄稿 中篇	宮內省藏版	三・〇〇	◎	四九六	古川弘文堂	京橋
史料綜覽 卷八	東京帝國大學文學部史料編纂所	八・〇〇	◎	七〇九	朝陽會	麴町
幕末・明治・大正回顧八十年史 第九	大澤米造		△	八〇	東洋文化協會	京橋
自由性交俗と戀愛觀の變革	草野忠孝	一・五〇	◎	二一六	飛躍社	麻布
秘密佛教史	栂尾祥雲	三・〇〇	◎	四四五	高野山大學出版部	和歌山
埼玉縣史 第三卷 鎌倉時代	埼玉縣		◎	四五六	埼玉縣	埼玉
近世基督教社會運動思想史	龜德正臣	一・〇〇	○	三二八	日獨書院	本鄉
日本王朝時代史	早川二郎	・五〇	○	一八三	白揚社	神田
甲斐志料集成 三 地理部二	荻原頼平	非	◎	五八四	甲斐志料刊行會	山梨
釧路市の先住民族遺跡	吉田仁麿	・三〇	◎	四四	釧路考古學研究會	北海道
南紀德川史總目錄	堀內信		◎	三四五	目錄刊行會	和歌山
明治演劇史	伊藤敏郎	五・〇〇	◎	八四一	早稻田大學出版部	早稻田
我等の荒川區	國井國三郎	・一五	◎	六八	文信社	本鄉
聖蹟と朝倉	朝倉郡校長會	非	◎	九三	朝倉郡校長會	福岡
日本製紙株式會社五十年史	日本製紙株式會社	同	◎	七七〇	日本製紙株式會社	王子

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
楳溪津田先生傳纂	能田益貴	非◎	四七四	津田靜一先生二十五回忌追悼會 熊本
世外井上公傳第一卷	阪谷芳郎六・〇〇	◎	五三	內外書籍株式會社 小石川
維新の偉傑高杉晉作	野原祐三郎	八〇	一七二	梅田利一 山口
偉人乃木將軍	浩文社編輯部	一・二〇	二九七	浩文社 日本橋
賀藤景林父子傳	鈴木一郎	非◎	二五二	秋田山林會 秋田
新井奧邃先生	永島忠重一・五〇	◎	三七	奧義廣錄刊行會 京橋
明惠上人傳記	奧田正造	◎	二七	森江書店 本鄉
自敍傳	北井波治目	非◎	三一	北井波治目 品川
加藤司書傳	中野景雄一・〇〇	◎	二一〇	司書會 福岡
林平次郎翁追悼錄	追悼錄編纂會	非◎	三四六	大橋光吉 小石川
深萱誌	宗杉金鳳	同◎	二七七	郊外社 京都
和歌山高商十年史	和歌山高等商業學校	◎		和歌山高等商業學校 和歌山
十年誌	伊丹製絨所	非△		伊丹製絨所 兵庫
妻木町史追加	日東泉之進	◎	一八四	東三文化研究會 知多
陣屋日記	林自見正森	非◎	七〇	一柳貞吉 脇布
三河刪補松	一柳貞吉	同◎		
一柳家史紀要				

【十二月】

近藤會次郎傳	間島三次	◎	三三	間島三次 橫濱
勤王家吉田大八先生	佐々木忠藏	非◎	二九六	吉田大八傳刊行會 山形
弘田先生遺影	東京帝大醫學部小兒科	同◎	三八	東京帝大醫學部小兒科 本鄉
十津川鄉土及	西田正俊	非◎	三〇〇	十津川鄉土傳編纂所 和歌山
亡命志士列傳	宮原寬藏	・二〇	二七	宮原寬藏 長崎
社會の改革者フレデリツクオザナムの傳	堀內信水一・二〇	◎	二九	不動書房 神田
世界的大偉人佐久間象山	白石喜太郎四・二〇	◎	九四	刀江書院 同
澁澤榮一翁	黑田甲子郎三・〇〇	◎	四六五	國民社 牛込
奧元帥傳	中藤英哉一・八〇	◎	五八	泰東書院 神田
趣味の立志傳	高田敬一	・七〇	二七	高田權平 兵庫
高田屋嘉兵衞翁傳	青山松任	非◎	四一八	縱觀莊出版部 岐阜
所郁太郎	西鄉南洲先生	德富猪一郎	・六〇	八八 民友社 神田
日本產業篤志傳	鹿島增藏三・〇〇	◎	二九〇	內外商工社 芝
奧元帥傳	黑田甲子郎三・〇〇	◎	四五五	國民社 牛込
弘法大師傳記集覽	三浦章夫	一〇・〇〇	◎	二四三 森江書店 本鄉

安蘇郡鄉土史年表	安蘇郡教育會	非◎	三〇	安蘇郡教育會 栃木
鹿足郡誌	瀨藤勇市三・〇〇	◎		山陰朝日新聞社 島根
若狹國志乾・坤	谷口俊一三・〇〇	◎	二冊	谷口書店 福井
伊水溫故	岡田榮吉	◎	三八	伊賀史談會 三重
西諸縣郡誌	小川比農夫	非◎	三六六	宮崎縣教育會西諸縣郡支會 宮崎
岐阜市發達史	森義一二・〇〇	◎	二四四	博文堂 岐阜
瀨加村々誌	瀨加村役場	非◎	七三	瀨加村役場 兵庫
大阪三越三十年史	昭和織物新聞社	△		昭和織物新聞社 大阪
金澤古蹟志 二編	金澤文化協會	非◎		金澤文化協會 石川
契丹古傳	有賀成可・三五	◎	四二	東大古族學會 中野
新訂增補國史大系	黑板勝美	◎	七八	國史大系刊行會 京橋
第四十八卷				
歷史科學合本第一册	中村德二郎	◎	五〇〇	白揚社 神田
眞說赤穗義士錄	內海忠治二・八〇	◎	六〇	士道教育研究會 神戶
加賀藩史料第六編	前田家	非◎	一〇五四	石黑文吉 淀橋
獨逸精神史研究	細谷德三郎三・〇〇	◎	四四四	政經書院 京都
日本精神作興歷史讀本維新回天記幕末明治大正回顧八十年史 10・2	實業之日本社一・二〇	◎	三五〇	實業之日本社 京橋
	大澤米造	各△	一〇〇	東洋文化協會 同

概說西洋史	及川儀右衞門	三・五〇	◎	六三五 星野書店 京都
周防國府の研究	三坂圭治四・二〇	◎	五三	積文館 神田
史觀第五册	早稻田大學文學部一・〇〇	◎	一九九	早稻田大學文學部 牛込
日本國史時代の研究	栗山周一二・〇〇	◎	四五〇	大同館書店 神田
參河志上卷	近藤裕四・五〇	◎	七六六	三河志刊行會 愛知
日本林制史	農林省	◎		朝陽會 劍町
資料鹿兒島藩近世日本國民史	德富猪一郎五・〇〇	◎	五〇〇	民友社 神田
開國初期篇東洋文庫論叢十九	國井愼吾七・〇〇	△	一七八	東洋文庫 本鄉
玉篇の研究	田村榮太郎三・〇〇	◎	三四四	叢文閣 神田
封建下の農民一揆	大日本古文書	東京帝大六・〇〇	◎	七六八 帝大史料編纂所 本鄉
家わけ第十三	小野小町秘考	關谷眞可彌三・五〇	◎	二四四 雄山閣 麴町
英雄偉人の檢討	雄山閣一・二〇	◎	三六	同 同
乃木將軍	眞山青果一・六〇	◎	四三	大日本雄辯會講談社 本鄉
世界歷史大系 西洋古代史第一篇	杉勇三・八〇	△	五四四	平凡社 日本橋
	外二人			
長安史蹟の研究 一・二	足立喜六三・八〇	△	帙入	東洋文庫 本鄉
傳說の絲島	鷹野五郎	非◎	三六	絲島新聞社 福島
重訂越登賀三州志	富田景周六・〇〇	◎		石川縣圖書館協會 石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
横濱文書及石川家史稿	石野瑛	一・八〇	◎二三	武相考學會 神奈川
非常危機に對する安西大獄と殉難烈士の回顧	川崎紫山	七〇	一六二	日本時代社 麹町
日本兵食史 上	陸軍糧秣本廠	二・七〇	◎三五	糧友會 深川
裸城之追憶	北田耕夫	非◎	三四	北田耕夫 盛岡

各國の語數統計

セント・ルイスのロバート・ラムセイ博士は、歐米の各國語の語數統計を調査してゐたが、この程次の如き結果を發表した。（各國語とも古語、廢語を含む）

×

それによると、英語は、世界中で最も豐富な語數を持つ事になり二十五萬餘語を數へる。但し、その中五萬語は廢語である。ドイツ語は熟語の多いせいで、十八萬四千七百〇四語となるけれど、純粹の單語はといふと七萬一千〇七十五語に過ぎない。

ハンガリー語は、ブダペストの翰林院編輯の字典に據ってゐるが、これは十二萬餘語。

×

次はフランス語で九萬三千〇三十二語、スペイン語は七萬〇六百八十三語、そして一般に豐富と思はれてゐるイタリー語は案外に少なく六萬四千六百四十二語に過ぎない。

その他、ラテン語は五萬一千六百八十六語であり、古いギリシヤ語は九萬六千四百三十八語となってゐる。

×

然し、現在の「慣用語」といふ見地から計算をしたら、イタリー語及びドイツ語は英語よりも多數になり、フランス語も英語とほぼ同樣になるはずだ、とはフランスのヴオキヤブリストの見解である。

〔一八〕地理・地圖

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
北海道樺太見聞記	上原正道	非◎	六	上原正道 愛知
新大東京市詳圖	雄文館			雄文館 神田
東京市品川區全圖	文化地圖・普及會		四冊	文化地圖普及會 品川
朝鮮沿岸水路誌一卷	水路部	二・三〇		水路部 京橋
新考地形學第一卷	辻村太郎	四・八〇	◎五三	古今書院 神田
北邊行—樺太北海道めぐり	越山彌榮	三・〇〇	二四八	地理歷史研究會 澁谷
香川縣地誌地文篇・上卷	桑島安太郎	二〇〇	一六	香川縣教育圖書株式會社 高松
詩壇人國誌	澁谷榮一・アレキサンドル・ズーバン・阿部市五郎譯	三・二〇	二四四	交蘭社 小石川
政治地理學綱要	香川幹一郎	一・六〇	三〇	古今書院 神田
日本の地形				同
【二月】				
大日本地誌大系第三三卷	花見朔巳	非◎	三七	雄山閣 麹町
村の人文地理	佐々木彦一郎	一・二〇	一九九	古今書院 神田
最新大日本縣別地圖	日下伊兵衛	八・〇〇	△五圖	和樂路屋 大阪
轉近世界文化地理	井上梅吉	三・八〇	五二〇	古今書院 神田
新滿洲國見物	高橋源太郎	一・五〇	二六二	大阪屋號書店 日本橋
新考地形學第二卷	辻村太郎	五・〇〇	◎五八	古今書院 神田
大東京新地圖	都築庸二		一枚	文化地圖普及會 東京
標準國際航空路圖全二〇（一九三三）	安達堅造	七	△二枚	晴文堂書店 澁谷
友邦認識滿洲旅行新式地圖	日下和樂路屋	二〇		日下和樂路屋 大阪
大東京交通案內	日本工人クラブ	三五		日本工人クラブ 神田
【三月】				
新國家大滿洲國地圖	西山榮久		一枚	大阪屋號書店 東京
大東京新町名便覽大東京電車早わかり	遠藤政賢	二〇・二〇	××	丸善好文館 澁橋
本田地誌	高原護郎	非◎	二〇三	本田教育會 大阪
略圖練習二百題	香川幹一	二・二〇	一七二	古今書院 神田
正しき新大東京全圖	大日本國民教育會		一枚	大日本國民教育會 麹町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
番地入新大東京區分地圖	九段書房	・八〇	×		九段書房	神田
大東京寫眞名勝案內	茂木源策	・五〇	○		地久堂書店	麴町
日向路めぐり	杉山敏	・七〇	×		文華堂	宮崎
大廣島市街地圖	金正堂書店				金正堂書店	廣島
香川縣地誌中卷 經濟地理篇	桑島安太郎	二・五〇	◎	三二八	香川縣教育圖書株式會社	香川
日本鄕土景觀通說	耕崎正男	一・二〇	○	一七〇	古今書院	神田
都市農山漁村 鄕土地理範例	山本熊太郎	一・五〇	○	二三五	同	同
栃木縣地誌	田代黒瀧	一・二〇	○	一六九	下野史談會	宇都宮
外國地理資料	田中啓爾	非	○	二〇四	目黒書店	神田
大日本地誌大系第廿八卷 新編相模國風土記	雄山閣	同	◎	三七四	雄山閣	麴町
甲斐志料集成二 地理部一	荻原賴平	同	◎	五三四	荻原賴平	甲府
國立公園案內	沼佐隆平	一・二〇	○	二九二	國立公園協會刊行部	麴町
六甲	竹中靖一	三・五〇	◎	四七三	朋文堂	麻布
最近世界現勢地圖帖	小川琢治	一〇・〇〇	△	二〇〇	新光社	神田
武藏野から大東京へ	白石實三	一・四〇	○	四一三	中央公論社	麴町
【四月】						
滿洲國素描	藏前工業會	非	○		藏前工業會	芝
新中等日本地理資料	田中啓爾	同	○	一八三	目黒書店	神田
國立公園阿蘇熊本天草雲仙別府 國際觀光路	廣田彌七	・六〇	○	一三三	廣田彌七	熊本
【五月】						
日本地理統計總覽	山本熊太郎	一・八〇	◎	一九五	古今書院	神田
南洋風土記	安藤喜一郎	三・〇〇	◎	三三六	拓殖會論社	麻布
萬葉地理研究兵庫篇	坂口保	一・八〇	○	二二四	白帝書房	牛込
大日本地誌大系第十四卷	芦田伊人 外一	非	◎	二四五	雄山閣	麴町
讀史方輿紀要索引 支那歷代地名要覽	青山定男	七・五〇	△	八〇〇	東方文化學院東京研究所	本郷
聚落地理學	綿貫勇彦	二・五〇	◎	二二四	中興館	神田
【六月】						
鄕土研究 第二輯	七尾高等女學校	非	◎		七尾高等女學校	石川
中和鄕土資料	崎山卯左衞門	一・二〇	○	二五六	森島書店	奈良
地人現象地理學圖表	小岩井兼輝	・五〇	◎		振興會	京橋
赤城山大觀	岩澤正作	・四〇	○		毛野研究會	群馬
聖地の歷史地理上卷	小平國雄	・三五	○	九九	日本キリスト教會日曜學校局	赤坂

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
新編小田原案內記	春木厚	・二〇	×		湘南之風景社	神奈川
明治八年區劃改正若松縣管內地誌資料	古今堂書院	一・五〇	◎	一〇六	古今堂書院	福岡
大阪市地質調査圖表	鷹取陽	三・五〇	○	一三	日本建築協會	大阪
鄕土地理研究	內田寬一	三・〇〇	◎	二八六	雄山閣	麴町
大日本地誌大系第三十九卷	雄山閣編輯局	非	◎	三九〇	同	同
最新世界現世地圖帖	小川琢治	一〇・〇〇	△	七〇圖 解說一八四	新光社	神田
夏の滿洲案內	中沖壽	・五〇	○	一五〇	日滿中央協會	同
療養本位溫泉案內	松川二郎	一・五〇	×	六三五	白揚社	同
渡滿と衞生	豐田秀造	一・五〇	○	二五五	三省堂	同
教授用滿洲國地理歷史大地圖	大宮權平	三・八〇	△		中文館	牛込
日本登山案內	橫井春野	一・五〇	×	六六九	白揚社	神田
ヴァンルーンの地理學	內山賢次	三・八〇	◎	三一六	厚生閣書店	麴町
ソヴエートロシヤ經濟地理	川西勇 國松久彌	三・八〇	◎	三七三	高陽書院	神田
新潟縣溫泉誌	池田信吾	非	×	四一六	新潟縣衞生課	新潟
人文地理學概論	野口保市郎	三・八〇	◎	三四三	森山書店	神田
歐洲見物所どころ	谷井類助	三・八〇	○	五〇一	大同書院	大阪
赤石溪谷	平賀文男	一・二〇	○	三〇〇	隆章閣	神田
瀧野川町誌	大島貞吉 外一	非	◎	八〇七	瀧野川町誌刊行會	瀧野川
【七月】						
滿蒙紀行	川上隆正	非	○	二三四	川上隆正	大分
道後溫泉誌	御手洗忠孝		○	一七三	道後溫泉事務所	愛媛
山形縣地誌	長井政太郎	一・六〇	◎	二六三	明治堂印刷所	山形
鄕土讀本榮える彥島	彥島町教育會	一・〇〇	◎	一四四	彥島町教育會	山口
仙臺鄕土誌	仙臺市教育會		◎	二八六	仙臺市教育會	宮城
下呂	黒木德一郎	・三三	×	六九	下呂町役場	岐阜
地理學批判	ウイットフオーゲル 川西正鑑	三・三〇	◎	二七三	有恒社	神田
鳳凰山	加賀爪鳳南	一・二〇	○	二〇八	ハイキング社	大森
大東京寫眞案內	博文館	一・二〇	△		博文館	日本橋
奧秩父	原全教	三・五〇	○	六六八	明文堂	麻布
地理區に綜合せる世界の地理下卷	森信美	一・八〇	○	三三六	古今書院	神田
伯林からアルプスへ	堀川二郎	一・五〇	○	一九三	梶宗城	澁谷
東北の山々	安齋徹	一・四〇	×	三五一	明文堂	麻布
大日本地誌大系新編武藏國風土記稿一一	芦田伊人	非	◎	三三四	雄山閣	麴町
關東中心山旅登山案內	橫井春野	一・四〇	×	三九〇	博文館	日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
圖解滿洲產業大系三 鑛物篇上卷	秋田 忠義		△	二〇一	新知社	麹町
肥前國豐後國風土記考證	後藤藏四郎	二・三〇	○	一七八	大岡山書店	麻布
人文地理學新講 政治地理篇	佐々木清治	一・三〇	○	一八〇	古今書院	神田
【八月】						
大原鄉土誌稿第一輯	難波 剛一		○	二一八	難波剛一	岡山
志ほかま	板宮 文藏	一・〇〇	×	一六四	板宮文藏	宮城
名護屋城阯遊覽の栞	山里庵主人	・一五	×	八〇	山里庵主人	唐津
天寵的原蠶飼育分場地としての房總半島 房州篇	小室 包	非	○	三一	小室 包	千葉
輕井澤と附近の名所	泉 宙夫	・三五	×	一〇六	泉 宙夫	長野
國立公園と飛驒高原峽	飛驒高原峽保勝會		×	一〇五	飛驒高原峽保勝會	岐阜
山口縣案內	中末秀太郎	・五〇	○	二六八	鴻陽新報社	山口
滿洲百三十景	十字屋出版部	・五〇	○		十字屋出版部	大阪
集成概觀滿洲國地誌	長谷川 興三治	二・〇〇	◎	四三八	東京修文館	神田
最近米大陸視察記	古生 美男		○	一三六	渡邊德山	目黑
高山深谷第九輯	日本山岳會 高野鷹藏	四・五〇	△	五〇圖	梓書房	神田
大日本地誌大系第四十卷	雄山閣編輯局	非	◎	七一四	雄山閣	麹町
圖解滿洲產業大系二 農集篇下卷	秋田 忠義		△	二三一	新知社	麹町
旅に探る史蹟名勝	高橋 城司	一・〇〇	○	二三四	三明社	淀橋
【九月】						
地理模型の作り方	山本熊太郎	・九〇	○	一七四	古今書院	神田
交通地理學原論	淡川 康一	三・〇〇	◎	四四四	弘文堂書房	京都
世界商業交通地理	藤田 元春	四・八〇	◎	五九五	中文館書店	牛込
南洋旅行案內	伊藤友治郎	・五〇	○	一二三	南洋專修學校出版部	世田谷
大和ノ藝術紀行	田中 澤二		○	三三二	らんせん莊	豐島
植物地理學	神谷辰三郎	三・八〇	◎	二六七	古今書院	神田
地理學論文集	田中 啓爾	七・五〇	◎	九六六	同	同
經濟地理學方法論	川西 正鑑	三・八〇	◎	三二八	時潮社	京橋
滿洲國旅行記 海鼠は祈る	寶藏寺久雄	一・八〇	○	二五一	新知社	麹町
臺灣土俗誌	小泉 鐵	三・五〇	◎	三二七	建設社	牛込
大日本地誌大系卅五卷	芦田 伊人	非	◎	三六六	雄山閣	麹町
圖解滿洲產業大系四	秋田 忠義		△	二二一	新知社	同
【十月】						

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
京の秋	京都市觀光課		×	七八	京都市觀光課	京都
山形史蹟巡	川崎 浩良		◎	一四四	川崎浩良	山形
南に旅して	關 義壽		○	一三三	關 義壽	澁谷
修訂駿河國新風土記提要一輯	新庄 道雄	・八〇	○		志豆波多會	靜岡
長崎縣鄉土誌	藤原 兼助	六・〇〇	◎	一〇〇〇	藤木博英社	長崎
南島巡航記	井上彥三郎	・三〇	○	二三六	井上彥三郎	京橋
歐洲快遊記	鈴木 定次	三・五〇	○	三九六	賢文館	神田
熱河	北條 太洋	三・五〇	◎	四六二	新光社	同
臺灣を語る	林 肇	三・〇〇	○	二六〇	殖民時代社	京橋
農業地理學	伊藤 兆司	三・八〇	◎	四九五	古今書院	神田
概觀地理通論自然篇	山本熊一郎	三・三〇	◎	三六三	同	同
ヴァン・ルーンの地理學	內山 賢次	三・五〇	◎	二六〇	厚生閣	麹町
尾張名所圖會附錄六七八	若山善三郎	非	△	五〇	名古屋溫故會	名古屋
滿蒙の旅	橋本 隆吉	・五〇	○	二六三	堀新聞店書籍店	岐阜
南洋群島寫眞帖	西野 元章		△	五三圖	二葉屋	南洋パラオ
歐米旅行雜感	矢野 貫城	非	○	一三三	矢野貫城	京都
日光東照宮寫眞帖	大和田貞策		◎	三〇	東照宮	栃木
赤石山獄より	前澤 淵月	一・五〇	○	一六三	西澤書店	長野
增補改訂大東京の全貌	岸田 菊伴		○	二〇〇	現代パンフレット通信社	芝
南洋と裸人群	安藤 盛	一・七〇	○	三六六	岡倉書房	神田
【十一月】						
大東京鳥瞰寫眞地圖	大橋 進一	非	△	一帙入一册	博文館	日本橋
近畿景觀第四篇紀伊・伊賀	北原鐐之助	三・〇〇	○	四〇四	創元社	芝
現代產業地理講話	大鹽 龜雄	三・五〇	◎	三三九	巖松堂	神田
土岐郡地誌	田中 靜夫	非	◎	六〇八	土岐郡教育會	岐阜
大日本地誌大系第三十四新編會津風土記	花見 朔巳	同	◎	三四六	雄山閣	麹町
鮮滿をゆけば十萬精靈は叫ぶ	並川 光	三・五〇	○	四五〇	共昌社	三重
南洋パラオ諸島の民族	北村 信昭	一・三〇	○	一六〇	森島書店	奈良
南洋アルゼンチン	大阪商船株式會社	非	◎	一四二	大阪商船株式會社	大阪
首狩人種の打診ボルネオ探險記	小倉清太郎	一・八〇	○	三二三	南光社	神田
歐米十二ケ國を巡って	成瀨 才吉	非	○	一四四	國際排酒聯盟	岡山
修訂駿河國新風土記府內第二輯	新庄 道雄	・八〇	◎	三五〇	志豆波多會	靜岡
圖錄駿河思出草第一輯	北村 三郎	・五〇	◎	二〇〇	同	同
【十二月】						

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
中部日本溫泉案內	千葉　豐	・三五	× 八九	中部旅行協會 愛知
播磨風土記私考	藤本　正治	三・〇〇	◎	傳說研究會 兵庫
電氣計算問題の考へ方と解き方	吉松　氏吉	一・〇〇	一三四	オーム社 神田
山を水を人を	河東碧梧桐	三・〇〇	〇 四九	日本公論社 同
シュピースのプロシヤ日本遊征記	小澤　敏夫	五・〇〇	◎ 五六	奥川書房 同
女性に映じた島　蓬ケ萊	高橋　鏡子	一・〇〇	〇 二九三	秀陽社 本鄉
三河國名所圖繪上	山村　敏行	非	◎ 五八	愛知縣教育會 愛知
日本地理讀本	小田內通敏	一・〇〇	〇 二七	鐵塔書院 神田
日本都市大鑑	荒木利一郎	三・〇〇	△ 八〇二	大阪每日新聞社 大阪
地理論叢第二輯	石橋　五郎	一・八〇	◎ 二九〇	古今書院 神田
大塚地理學會論文集二輯（上）日本アルプスウエストン登山と探檢	田中　啓爾	二・八〇	◎ 四〇四	同 同
	岡村　精一	三・五〇	〇 四〇〇	梓書房 同
	柴田　寬	各 三・〇〇	◎ 二冊	日本ラヂオ通信學校出版部 日本橋
	小田內通敏		△	大塚巧藝社 本鄉
	西島　東洲	一・〇〇	〇 三九	地理教育研究會 大阪
	仲摩　照久	一・五〇	△ 二四〇	新光社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
支那常識	賀來　敏夫	一・二〇	二六六	大畑書店 神田
ギリシヤとスカンヂイナビヤ	安部　能成	三・〇〇	二五〇	小山書店 小石川
高知縣誌	永瀨　潔	一〇・〇〇	◎ 八五〇	縣誌刊行會 高知
中野町誌	加藤　盛慶	非	◎ 二四八	加藤盛慶 淀橋
修訂駿河國新風土記有渡中・下第四・五輯	新庄　道雄	一・〇〇	◎ 二五〇	志豆波多會 靜岡
外遊雜記見たまゝ聞いたまゝ	大上　茂喬	二・五〇	〇 四三二	文明社 小石川

〔一九〕法律

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
ラヂオ關係法規抜萃	札幌放送局	非	× 二〇	札幌放送局 札幌
特許及新案權者之便利	浦川　鐵男	一・〇〇	〇 二五	浦川　鐵男 大森
萬國公法と明治維新	尾佐竹　猛	一・〇〇	二六	使命會本部 小石川
現行兵庫縣社寺宗教法規類纂	山本　得晶	三・〇〇	◎ 三〇八	宗教法規研究會 兵庫
陪審法解說帖	平岩　計一	非	〇 二冊	陪審協會 日本橋
法律の社會	鈴木　義男	・一五	〇 四三	社會教育協會 小石川
全訂實例註釋國稅徵收手段	北村　三郎	四・〇〇	〇 一五五	大阪財務協會 大阪
趣味之法律及普及會	アイコロ・ヴィーノ米村正一譯	一・〇〇	◎ 二三七	洛陽書院 神田
弱者の法律	尾形　半	一・八〇	◎ 二五三	改造社 芝
過渡期國際法		一・二〇	〇 二四三	松華堂書店 神田
特高警察讀本			◎ 二〇八	巖松堂 同
第百廿八回民法議事速記錄				

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
第百廿九回民法議事速記錄		◎	一六六	巖松堂 神田
第百廿回民法議事速記錄		◎	一九	同 同
第百廿一回民法議事速記錄		◎	一八	同 同
全訂獨逸民法物權篇	三潴　信三	一・二〇	◎ 一二〇	有斐閣 同
行政法理解說	横井　二郎	一・二〇	三二	南郊社 牛込
法窓漫筆	末廣巖太郎	二・〇〇	二九	日本評論社 京橋
刑法各論	中島　寬二	六・〇〇	◎ 七二〇	酒井書店 本鄉
判決總攬第二續刑法	瀧川　幸辰	一・二〇	◎ 一六二	弘文堂書店 京都
土地建物明渡の實際智識	牛田鍵次郎	八・〇〇	◎ 二三八	判決例調查所 名古屋
新手形法要論第一分冊	小池　恒由	一・二〇	〇 二三六	松陽堂 淺草
破產法及和議法研究第八卷	中井眞太郎	・七〇	◎ 一〇九	大同書院 大阪
國際法講義第二卷	齋藤常三郎	三・五〇	◎ 四〇四	弘文堂書店 京都
許釋公法判例大系上卷	橫田喜三郎		◎ 三五〇	有斐閣 神田
美濃部達吉		四・八〇	◎ 七二三	同 同
法令全書十二號（昭和七年）	內閣印刷局		◎ 三〇〇	內閣印刷局 銕町
新案朝鮮六法	野村調太郎	三・九〇	二〇〇	松山房 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
最新刑事訴訟法	新井正三郎	·八五	◎二六	新井正三郎館（玉子）
改正度量衡法の解釋	白井研輔		○四七	白井研輔（下關）
加除自在現行藥事法記藥品便覽	林孝一		○四五	林孝一（芝）
判例大完第九卷	大橋九平治	非	◎一五一	常磐書房（小石川）
新手形法要論 第二分冊	中井眞太郎	一·二〇	◎三〇六	大同書院（大阪）
【二月】				
誰にも出來る借地借家調停の實際手續	田中義男	·四〇	○一三	民衆法律社（京都）
答案基準債權法總論解題	文信社	一·〇〇	×三三	文信社（本鄉）
新訂帝國憲法便覽	同	·七〇	×	同
規範的行政法學第二分冊	中村彌三次	·五〇	◎	敬文堂書店（牛込）
增補健康保險法規	産業福利協會		○三三	産業福利協會（麴町）
加除自在現行法令大全中卷	早乙女三郎		◎四六	大日本行政學會（杉並）
產業組合關係法規の改正要旨及新法の說明	佐藤寬次	·二五	◎三五	成美堂（日本橋）
銃砲火藥類取締必携	岸孝一	非	×三四	大田警察署（島根）
倉敷市例規類纂	倉敷市役所	同	○四六	倉敷市役所（岡山）
現行北海道學務法規要釋第一輯	森悅郎		×	北海道教育會（札幌）

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
商店法に關する調査	秋山斧助		◎一九	全國產業團體聯合會事務局（麴町）
小切手法案說明書	司法省	·七〇	◎一四一	松華堂書店（神田）
法律學概論	小松泰馬	二·五〇	◎三六	文原堂（日本橋）
法典調査會議事速記錄 民法親族編相續編筆記	波多野貫太郎		△函入四冊	嚴松堂書店（神田）
戶籍訂正手續全集全	古仙常吉	非	◎三九	前橋裁判所內戶籍研究會（群馬）
工場法新釋	鈴木修藏	一·五〇	○二〇四	森山書店（神田）
誰にもわかる土地家屋擔保の話	玉塚締伍	二·〇〇	○四七	荻原星文堂（同）
現行爭議調停法輯攬	福井才一郎	二·五〇		明倫館（同）
綜合日本民法論一	沼義雄	四·五〇	◎六三	嚴松堂（同）
職業紹介法審議錄	滑川豐水	·八〇	◎八五	平野書房（本鄉）
破產法	山田一穗	·九〇	◎一三〇	弘文堂書房（京都）
刑法の基礎的理論	島田武夫	二·五〇	◎三四	有斐閣（神田）
行政法規提要	杉村章三郎	二·二〇	×	良書普及會（小石川）
全訂信託法原論	入江眞太郎	·五〇	◎五四	嚴松堂（神田）
警察法規類典 下卷 全三會計書	大谷仁兵衛	二·八〇	◎七五	帝國地方行政學會（京橋）
昭和八年第一號	內閣印刷局	·六〇	◎三〇	內閣印刷局（麴町）

商法常識會社法と其手續 合名會社及び合資會社の部

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【三月】				
地租關係耕地整理通解	名古屋財務研究會		◎二三	名古屋財務研究會（愛知）
カード式刑事訴訟法要領	研究會	·八〇	カード式	橋書店（劇町）
汽罐原動機取締規則	岡山縣工場協會		○三	岡山縣工場協會（岡山）
行政法答案構成要領	島津嘉孝	·四〇	×一四	松華堂書店（神田）
憲法答案構成要領	同	·四〇	×一四五	同
行政裁判自治問題判決集	渡邊彰平	非	○三	地方自治協會（下谷）
電氣工作物規程通覽	肥田玄次郎	一·〇〇	×一六	電氣協會（劇町）
言葉拾ひ	森馥	·三〇	○一〇〇	森法律事務所（大阪）
農產關係法規	農林省		×三三	農林省（東京）
司法警察執務細則附關係法規	田中十九吉		×三六	警察協會熊本支部（熊本）
袖珍瓦斯事業法要覽一九三三	日本瓦斯協會	·八〇	×二四	瓦斯の世界社（京橋）
恩給證書返還請求の理論と手續	小林法律事務所	一·〇〇	×五	小林法律事務所（劇町）
支那の著作權法	藤田知治		○四	東京出版協會（神田）
新民事訴訟法學說判例總覽上卷	寺澤晉一	二·八〇	◎二三五	法文社（京橋）
社會保險要論	清水玄	三·三〇	◎二四	日本評論社（京橋）
增訂民法大意	矢口家治	四·〇〇	◎四九六	嚴松堂書店（神田）
東京商科大學研究年報法學研究二	中山伊知郎	三·〇〇	◎四八〇	岩波書店（同）
有限責任會社法論	佐々穆	四·〇〇	◎五四四	嚴松堂書店（同）
親族法	穗積重遠	五·〇〇	◎七三	岩波書店（同）
日本中世寺院法總論	細川龜市	三·〇〇	○二六九	大岡山書店（麻布）
勞働法下卷	（ボール・ビック協調）	四·五〇	◎八四四	協調會（芝）
國籍法論	兒玉政介	三·〇〇	◎三五〇	廣陵會（神田）
市街地建築物の解說	新潟縣警察部保安課		○三三	新潟公友社（新潟）
實務上より見たる出版法略義	成田總一郎	一·〇〇	○一四五	丸の內出版社（劇町）
實例手續強制執行法	中島寬二	六·〇〇	◎一六〇三	酒井書店（本鄉）
總覽續篇下卷	本漁業法			
註解並ニ判例	星四郎	三·八〇	◎三五〇	有斐閣（神田）
小切手法解說	深谷善三郎	·七〇	○一三〇	中央社（劇町）
會計法規類聚	司法省		○一六八〇	司法省（同）
國稅徵收法實例判例總覽	丹羽彥次郎	一·八〇	○五六	大阪財務協會（大阪）
陸軍海軍普通司法警察比較要論	石田乙五郎	一·八〇	◎四八〇	川流堂（劇町）
第百三十六回民法議事速記錄	嚴松堂		◎三一六	嚴松堂（神田）

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
第百三十七回民法議事速記錄	波多野重太郎	◎二〇八	嚴松堂	神田	
第百三十八回民法議事速記錄	同	◎一二八	同	同	
第百三十九回民法議事速記錄	同	◎一三六	同	同	
入會權公論	佐藤百喜五・〇〇	〇六八	常磐書房	小石川	
【四月】					
漁業取締提要	川崎淺十	○九四	警察協會岡山支部	岡山	
消防法令集	宮城縣消防協會	×一四四	宮城縣消防協會	宮城	
刑事訴訟法問題解義	國家試驗各編輯部・二五	非○二三	京都府神職會	京都	
商行爲法問題解義		○八册	京都支部	世田谷	
行政法總論各論		育成洞	松原商會	王子	
憲法答案構成要領		本鄉	新井正三郎		
國際私法答案構成要領					
商法總論商行爲答案構成要領					
刑事訴訟法問題解義	竹內武雄	非○二三	京都府神職會	京都	
商行爲法問題解義	岡田清	×一二七	松原商會	世田谷	
行政法總論各論答案構成要領	新井正三郎	○九四	新井正三郎	王子	
憲法答案構成要領					
私法答案構成要領					
國際私法					
商法總論商行爲答案構成要領					
行政法總論各論答案構成要領					
官國幣社に關する京都府例規類纂					
改正の輪廓と恩給法	日本檢察學會	○四〇	立興社	同	
農業動產信用法詳解	新井正三郎	○九四	新井正三郎	王子	
我國統制經濟に關する法規其他實際的養蠶實行組合	國家經濟研究所	非○四五	國家經濟研究所	麴町	
民事訴訟法要義第四卷上册	小倉光次・六〇	◎三一〇	中島書院	京橋	
行政法提要上卷	細野長良三・〇〇	◎三三	嚴松堂	神田	
法令全書第二號	美濃部達吉四・〇〇	◎六四八	有斐閣	同	
イエーリング權利鬪爭論	內閣印刷局・六〇	◎二〇〇	內閣印刷局	麴町	
最新法學通論	尾崎賢三郎一・四〇	一七九	南山堂書店	本鄉	
改訂新小切手法詳解	天野德也三・〇〇	◎三四	嚴松堂	神田	
墨西哥合衆國移民關係法規	新井正三郎・九五	◎二〇〇	自治館	王子	
拓務省爲替管理法の機能	拓務省	◎四七	拓務省	麴町	
刑事調節方法解說	大口善六三・五〇	◎六〇一	秀文閣	芝	
社會哲學的法理學	小川隆四郎・五〇	西四	明大出版部	神田	
民法總則	中島重三・〇〇	◎四八〇	岩波書店	同	
債權法概論各論	中村萬吉四・八〇	◎五三二	東山堂	牛込	
日本憲法講話	淺井清一・八〇	○三四五	春秋社	日本橋	

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所
試驗問題	澁谷惠一・七〇	×一〇〇〇	一新社	本鄉	
條文對照受驗六法					
新式六法全書	同	一・七〇	同	同	
增訂民法大意	末川博三・五〇	◎四八	弘文堂	京都	
改正小切手法註解	菰淵清雄二・〇〇	◎三五	清水書店	神田	
不法行爲並に權利濫用の研究	末川博二・八〇	◎三四	岩波書店	同	
兒童虐待防止法解義	日本檢察學會	・四〇	立興社	同	
實務上より見たる出版法略義	成田總一郎一・〇〇	一四五	丸ノ內出版社	麴町	
改正恩給法解說	改正恩給研究會	・五〇	大光館書店	神田	
判例を中心としたる民事訴訟法の諸問題第二卷	片山通夫三・〇〇	◎三七	大同書院	大阪	
農村負債整理組合法の解說	庵崎貞俊・七〇	九〇	整理組合助成會	杉並	
商法講義案第一分冊	三藤正	◎一五六	三藤正	本鄉	
羅馬私法綱要第一分冊	原田慶吉・二五	◎四六	廣文社	神田	
改訂債權總論大要	磯谷幸次郎四・〇〇	◎四〇六	清水書店	同	
日本債權法總論	小池隆一三・三〇	◎三九八	同	同	
樽說民法上卷	津島純平一・三〇	◎一三三	警醒社	京橋	
二色六法	山下光太郎三・〇〇	×	一心社	神田	
株式會社法論	西島彌太郎一・二五	◎一四五	大同書院	大阪	
【五月】					
金錢債務臨時調停法の活用と改正對照新舊方局と藥事取扱	渡邊貞治一・〇〇	○二九	手代木法律事務所	芝	
改正統一手形法	久野末治郎一・二〇	○四六	加納商店	水戶	
	秋山玉吉・七〇	◎四八	日本大學山岡研究室	神田	
銀行貸出業務例研究	銀行研究社一・二〇	◎三七	文雅堂	麴町	
中華民國民法總論	我妻榮四・〇〇	◎五四	中央大學	神田	
債權總論	田中耕太郎外一四・〇〇	◎四七	同	同	
會社法	小野清一郎三・〇〇	◎三〇	同	同	
刑法	ドウモノグ木下半治一・二〇	○七二	高瀨書房	京橋	
私法の國際的統一	赤堀郁太郎・三〇	×六八	中央融和事業協會	麴町	
經濟關係法規要覽	內閣印刷局・六〇	◎三〇	內閣印刷局	同	
法令全書第三號	內閣印刷局・六〇	◎三〇	內閣印刷局	同	
出家に禁ぜられた營利行爲	友松圓諦・三〇	◎四九	佛教政經濟研究所	京橋	
借地法借家法コンメンタール	薄根正男一・八〇	○二五〇	三省堂	神田	
農村負債整理組合法の實際	片山通夫三・〇〇	○三七	大同書院	大阪	
親族法論	長沼宏有三・三〇	◎三〇八	有斐閣	神田	
日本商法典の編纂と其改正	志田鉀太郎一・〇〇	○一五六	明治大學出版部	同	
稅の過・現・未	田中秀吉二・三〇	○三四	甲文堂書店	大阪	

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
改訂親族相續法便覽	文信社	・七〇	×		文信社	本鄉
報償契約に就て	池田宏	・一〇	◎	一〇	東京市政調查會	麴町
改訂新稅法	清水書店	・五〇	×	二四	清水書店	神田
建物を建てるときの手續の話	內田貞義	・三〇	×	六八	野澤董市	鳥取
平時國際公法解題	文信社	一・〇〇	×		文信社	本鄉
關係法令集	法制時報社	・三〇	×	七〇	法制時報社	牛込
司法警察官必携	黑柳貫一	一・〇〇	×	三七三	西濃印刷株式會社岐阜支店	岐阜
國際公法答案構成要領平時	國家試驗編輯部	・三五	○	一〇〇	育成洞	本鄉
商業組合法便覽	伊那商工會議所	・三五	○	九九	伊那商工會議所	長野
改正擔保附社債信託法	中森芳良	・三〇	○	三一	電氣河川新報社	麴町
獸醫師法とその解釋	白井恒三郎	・三五	○	三六	東京府獸醫師會	牛込
加除自在稅務至要 上・下	荻野千之助		×	二冊	廣榮堂	京都
市街地建築物法令	鷹取陽	・五〇	×	三三〇	日本建築協會	大阪
誰れにも直ぐ解る建築物法の解釋	轆轤今助	一・二〇	×	二一	市原誠文堂書店	小石川
國際法 上卷	橫田喜三郎	二・八〇	◎	三九九	有斐閣	神田
法典調查會議事速記錄民法親族編相續編筆記第五函	波多野重太郎		◎	五冊箱入	巖松堂	同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
特別法規判例學說全集五	柴田義彥	非	◎	五〇四	常磐書房	小石川
法學原論	柳川昌勝	二・八〇	◎	五〇四	巖松堂	神田
司法行政代書人となる秘訣	鈴木哲夫	一・〇〇	○	一九六	民衆法令普及會	凌谷
重要新法律解說	深谷善三郎	一・二〇	○	二〇〇	中央社	麴町
加除自在工場法及關係法規	尾中金之助	五・五〇	○	六〇四	三秀出版社	同
早稻田法學第十三卷	中村宗雄	四・〇〇	◎	一四七	早稻田大學法學部	牛込
警察法規類典大分縣	大谷仁兵衞		◎	二八六	帝國地方行政學會	京橋
外國爲替管理法	小田島穎治郎	・四〇	◎	二一	銀行信託通信社出版部	麴町
千葉縣稅關係例規集	千葉縣內務部		○	三九八	千葉縣內務部	千葉
司法資料第百七十四號	司法省調查課		◎	八五六	司法省調查課	麴町
改正醫事法規輯覽加除式	河田兼太郎	三・五〇	○	一〇三	中央醫事會	神田
日本破產法	齋藤常三郎	二・八〇	◎	四三五	弘文堂書房	京都
親族法講義案	野田孝明	一・五〇	◎	三三三	巖松堂	神田
第二警察讀本	法制時報社	一・五〇	◎	三三四	法制時報社	牛込
改正漁業法解說	今村與作	一・三〇	○	一六七	大日本水產會	赤坂
民事訴訟記錄	細野長良外一	一・五〇	◎	二八七	巖松堂	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
沖繩法制史	新垣清輝	・九〇	◎		荒木書店	沖繩
ローマ法概論	井上周三	二・五〇	◎	二七七	廣文堂書店	牛込
法律上より見たる火災保險の諸問題十四輯	波多野春房	非	◎	一三三	大日本火災保險協會	麴町
救護法と失業保險	山岡龍次		◎		巖松堂	神田
昭和八年改正恩給法解說	樋貝詮三	一・〇〇	◎	一五八	良書普及會	小石川
實例海事仲裁手續	西川沆	四・〇〇	◎	三三〇	小川靜修堂出版部	大阪
ヴヨルネル氏保險總論	志田鉀太郎外一	二・五〇	◎	二八四	明治大學出版部	神田
勞働立法パンフレット第一輯勞働者保護法規概說	北岡壽逸	・三〇	○	五三	勞働立法研究所	同
改正地方制	山野金藏	・五〇	×	三七三	有斐閣	同
法令全書第四號	內閣印刷局	・六〇	◎	二五〇	內閣印刷局	麴町
戶數割ニ關スル最近行政判決要旨集	久崎鑑次郎		○	一三四	久崎鑑次郎	岡山
法令全書索引目錄	內閣印刷局	・六〇	◎	三〇〇	內閣印刷局	麴町
奈良縣警察類典	奈良縣廳		◎	八〇〇	帝國地方行政學會	京橋
民事訴訟法講義案第一編上册	河本喜與之	・五〇	◎	七二	巖翠堂書店	神田
商法綱義	松岡熊三郎	三・三〇	◎	六二五	明治大學出版部	同
【六月】						
こどもを護れ兒童虐待防止法の話	刀称館正雄	・一〇	○	四九	朝日新聞社	麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
民事訴訟法模範解答上卷	普文學會	・八〇	×	二九六	清水書店	神田
現行登記法令大全上卷追錄	藤田鼎	・七〇	○	一八六	登記學會	本鄉
加除自在現行青森縣令規全集	帝國地方行政學會		◎		帝國地方行政學會	京橋
保險關係法規	農林省		○	二一九	農業と水產社	芝
鹿兒島市例規類集	鹿兒島市		○		鹿兒島市	鹿兒島
刑法總論要覽	普文學會	・八〇	×	二七八	清水書店	神田
婚姻法の話	小山新三郎	非	×	四四	安田信託京都支店	京都
高等試驗口述問答集	高文受驗學會	・八〇	○	二〇〇	清英社	神田
日本保險關係法規全集追錄ノ一	玉木爲三郎	非	○	一〇九	生命保險會社協會	麴町
現行療術行爲取締規則集	小川平五郎	・五〇	○	六三	日本醫療界社	日本橋
第百四十五―九回法典調查會議事速記錄五册	波多野重太郎		◎	一〇〇	巖松堂	神田
刑法同意論	葉清輝		◎	六〇六	有斐閣	同
株式會社の經營	橋本良平	三・八〇	◎	六二三	文雅堂	麴町
株式ニ關スル判例集上	中村幹	三・五〇	◎	二三五	有斐閣	神田
最新刑事民事訴訟法研究	國家試驗編輯部	・八〇	○	一〇三	育成洞	本鄉
最新民法研究	同	・八〇	○	一四六	同	同
昭和八年第六十四議會新法・改正法・輯	國民學會編輯部	・五〇	○	二三三	國民學會	小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
現行森林法改正案解說書	宮田長次郎	一・〇〇	◎ 一四六	帝國森林會	赤坂
失踪法論	大谷美隆	八・〇〇	◎ 八一五	明治大學出版部	神田
民法總則(民法講義)	我妻榮	三・〇〇	◎ 四七九	岩波書店	同
株式ニ關スル判例集 下	中村幹	二・五〇	◎ 七四二	有斐閣	同
關税定率法 關税法講義	神戸税關		◎ 三〇四	神戸税關	神戸
永田菊四郎述 相續法講義案 分冊第一	丸野定一郎	非	◎ 六五	巖翠堂書店	神田
判例體系 民法債權編總論 上	村田憲治	五・五〇	◎ 六七三	啓法會	大阪
憲法の歴史的研究	鈴木安藏	二・七〇	◎ 四八二	大畑書店	神田
帝國憲法逐條要義 上卷	田畑忍	一・三〇	◎ 二六〇	政經書院	京都
帝國海事協會鋼船規則 昭和八年	篠原新次郎	五・〇〇	○ 一一五	帝國海事協會	神田
警察法編 三	山田洋一郎	・七〇	○ 二二三	新光閣	同
税務問答錄	興梠美次郎	一・二〇	× 二七〇	税務懇話會	麹町
現行海事法令	海文堂	・九〇	○ 二六四	海文堂	神戸
滿日對譯 滿洲國六法全書	大谷仁兵衛	四・八〇	◎ 一〇〇〇	帝國地方行政學會	京橋
法令全書第五號	内閣印刷局		◎	内閣印刷局	麹町
最新刑法研究	國家試驗編輯部	・八〇	○ 一〇七	育成洞	本郷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
日本民事訴訟法論第一卷	山田正三	三・五〇	◎ 三七〇	弘文堂書店	京都
會社法	烏賀陽然良	三・〇〇	◎ 三五四	同	同
趣味の法律續編	上田保	三・八〇	○ 一三五	文啓社	神田
【七月】					
憲法論 一	山田洋一郎	・七〇	○	新光閣	神田
模範答案研究	國家試驗編輯部	・五五	○ 一九八	育成洞	本郷
商業組合法解說	内山誠一	一・〇〇	○ 一八〇	寶文館	日本橋
縣税滯納處分事務必携	池田龜之助	・五〇	× 一六八	文明堂	新潟
最近筆記口述體驗記	國家試驗編輯部	・八〇	○ 一〇七	育成洞	本郷
憲法帖	田中誠爾	一・五〇	◎	誠之書房	澁谷
物權法提要	三寶閣	・六〇	× 一二三	受驗新誌社	神田
行政法編 / 刑法編 / 刑事訴訟法論	山田洋一郎	各・六〇	○ 三冊	新光閣	同
改正新恩給法解說	改正恩給法研究會	・三〇	○ 八六	大光館書店	京橋
第六十四帝國議會重要諸法律	松浦靜	非	◎ 八六	愛知縣商業學校	愛知
内縁の妻に關する判例とその批判	五鬼上堅磐	・二〇	○ 三七	西書店	本所

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
健康保険法と工場法の相談	宇野利右衛門	非	◎ 七三	工業教育會	大阪
法律の認識	原田其太郎		○ 九〇	原田其太郎	山形
工業所有權法政策研究・最新商法研究	國家試驗編輯部	各・三〇	○ 二冊	育成洞	本郷
貨物引換證の話	箱崎正吉	非	○ 一〇九	國際通運株式會社	麹町
刑事訴訟法講義	小野清一郎	四・〇〇	◎ 六六三	有斐閣	神田
憲法學原理總論第一分冊	森口繁治	一・二〇	◎ 一三六	弘文堂書房	京都
法典調査會議事速記錄 民法親族篇・相續篇筆記 第七函	波多野重太郎		◎ 五冊函入	巖松堂書店古典部	神田
支那滿洲に於ける治外法權及領事裁判權	古賀元吉	一・五〇	◎ 二五五	日支問題研究會	麹町
最新專賣法規便覽(一般用)	澤有三郎	一・四〇	× 五八八	專賣協會	同
產業組合關係法規	千石興太郎	・五〇	× 七八四	產業組合中央會	牛込
農村負債整理組合法問答	農業經濟研究所	一・五〇	○ 四一三	泰文館	神田
著作權法概論	榛村專一	三・七〇	◎ 三一四	巖松堂書店	同
現行調停法輯攬	福井才一郎	二・五〇	× 二一〇	岩波書店	同
商法大意總則會社編第一分冊	栗栖赳夫	・八〇	◎ 二一四	精興社書店	同
參照條文日滿法規大全	帝國法律研究會	五・〇〇	× 一四一七	帝國法律研究會	本郷
英法概論	田中和夫	四・〇〇	◎ 四九二	巖松堂書店	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
地方税滯納處分詳解	藤塚林平	三・五〇	◎ 三七六	日本法律研究會	本郷
破產法(實體規定)	金澤潔	一・六〇	◎ 二二三	巖松堂書店	神田
刑法研究第四卷	牧野英一	三・五〇	◎ 四四九	有斐閣	同
判例詐欺罪	石塚壽夫	二・三〇	○ 三三九	大畑書店	同
改正市町村制詳解	綱島龜吉	・七〇	× 四八四	綱島書店	日本橋
帝室林野局制規集	帝室林野局	七・〇〇	◎ 七五五	聯合出版社	王子
破產法和議法判例要目類集	小西信三	一・三〇	◎ 一八二	大同書院	大阪
刑事政策の諸問題	木村龜二	三・八〇	◎ 五七一	有斐閣	神田
水利權	安田正鷹	三・五〇	◎ 四六〇	松山房	同
海商法研究第四卷	小町谷操三	四・〇〇	◎ 四九三	有斐閣	同
社會事業關係法規	茨城縣社會事業協會		◎ 五六三	茨城縣社會事業協會	水戸
法令全書第六號	内閣印刷局	・六〇	◎ 四七八	内閣印刷局	麹町
改正恩給法解義	稲村一男	一・三五	○ 三六六	松華堂書店	神田
日譯滿洲國會社法	東洋拓殖株式會社	非	○ 一七	東洋拓殖株式會社	麹町
民法一九二條研究	田島順	六・五〇	◎ 八二二	立命館出版部	京橋
【八月】					
國家試驗學期試驗法律答案作成法八冊	高田瑞穗	非	× 九〇	赤門法律研究會	本郷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
對照勞働者災害扶助法及同責任保險法規 附解釋例規	警察協會熊本支部		○ 一二八	警察協會熊本支部	熊本
會社會計に關する判例集	日本電氣新聞社	・六〇	○ 九〇	日本電氣新聞社	芝
上水道の法律統制	東京市政調查會	・三〇	◎ 三六	東京市政調查會	麴町
實例集	安井榮三	非	×	齋藤錦三郎	大阪
新法令小切手法	松邑誠實	非	○ 二五	好文閣	小石川
自動車新取締令	鈴木喜一郎	・三〇	○ 一三〇	日刊自動車新聞社	日本橋
法典調査會議事速記錄 民法親族篇・相續篇 筆記第八函	波多野重太郎		△ 五册函入	巖松堂古典部	神田
第六十四議會に於ける水產關係法案議事錄	大日本水產會	一・〇〇	◎ 二三六	大日本水產會	赤坂
抵當權の設定より實行迄	吉丸儀六	非	◎ 四八一	臺灣銀行	麴町
戶籍人事關係非訟事件諸申請書式集成	原田良實	一・八〇	○ 一九五 附一二四	明倫館	神田
特許實用新案意匠商標判決總攬續卷	尊優美	六・〇〇	◎ 一六〇三	文精社	同
法典調査會議事速記錄 民法親族篇・相續篇 筆記第九函	波多野重太郎		△ 五册函入	巖松堂古典部	同
都市計畫法の話	飯沼一省	・六〇	◎ 一七三	都市研究會	麴町
陪審の知識	佐藤元男	三・〇〇	◎ 二六二	陪審知識普及會	京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
不作爲債權概論	兒玉義春	三・三〇	◎ 三七三	巖松堂	神田
負債整理組合法通解	村田俊夫	・七〇	○ 一七〇	清英社	同
人事判例集 昭和五年度	前田牧郎	三・〇〇	○ 二〇五	清水書店	同
最新警察法規類典	共同館編纂部	一・八〇	× 一〇〇	共同館編纂部	同
法令全書 第七號	內閣印刷局	・六〇	◎ 三〇〇	內閣印刷局	麴町
【九月】					
高等試驗問題集	巖松堂	・九〇	○	巖松堂	神田
自動車關係法令集	秋田收	・三〇	○ 一二八	鐵道書院	日本橋
最近高等試驗(行政・司法・外交科)問題集	國家試驗編輯部	・五〇	○ 九六	育成洞	本鄉
百貨店アパート建築規則の解說	轆轤今助	・三五	×	市原誠文堂書店	小石川
穀物專賣法案及其解說	神原周平	・一〇	○ 三	東洋經濟出版部	日本橋
高等試驗模範試驗問題集	文信社	一・六〇	×	文信社	本鄉
試驗問題集 東京京都帝大法經	同	・八〇	×	同	
常識商法會社法と其手續	畔柳桑太郎	一・〇〇	○ 一八八	商法研究所	京橋
健康保險法規概要	清水玄	・三〇	○ 五三	勞働立法研究所	神田
療術行爲取締問題	柿本庄六	・三〇	○ 六〇	日本醫事新聞社	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
鍼灸・按摩・マッサージ・柔道・整復術關係例規集	高桑七次郎		◎ 一三四	高桑七次郎	群馬
自動車關係法規願屆樣式提要	草間恭齋	・八〇	× 二〇〇	知新堂書店	茨城
恩給證書返還請求訴訟手續	皇恩保正會	非	◎ 一七三	皇恩保正會	大阪
刑法總論模範解答	普文學會	・八〇	× 二〇四	清水書店	神田
新恩給法便覽	恩給法研究會	・五〇	○ 一〇〇	雄文社書店	同
福岡市例規類集	福岡市役所		◎ 四〇〇	福岡市役所	福岡
行政裁判所判例要旨類集第二回追錄	行政裁判所	三・五〇	◎ 四四九	帝國地方行政學會	京橋
法典調査會議事速記錄 民法親族篇・相續篇 筆記第十函	波多野重太郎		◎ 五册函入	巖松堂古典部	神田
刑法讀本(改訂版)	瀧川幸辰	一・〇〇	◎ 一九六	大畑書店	同
憲法の歷史的研究 改訂版	鈴木安藏	三・五〇	◎ 四八三	同	同
刑事博物圖錄上卷	明治大學刑事博物館	非	△ 七六六	奧川書房	同
司法資料第百七十六號 德川禁令考	司法省調查部		◎ 七〇〇	司法省調查部	麴町
第六十四回帝國議會衆議院議事摘要 上・中・下卷	衆議院事務局		◎ 三册	衆議院事務局	麴町
交通法規	宮本正男	三・五〇	× 一〇〇四	鐵道同志會	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
民事訴訟法講義案第一編下册	河本喜三	・七〇	◎ 一七四	巖翠堂書店	神田
民法總則上卷	孫田秀春	三・五〇	◎ 四七〇	有斐閣	同
警察罰執行手續	田村豐 有光金兵衞	一・三〇	◎ 一七七	良書普及會	小石川
警察罰詳論	同	一・七〇	◎ 二六七	同	
農村負債整理組合法解說	松井驥	・三五	○ 一一〇	中央報德會	四谷
法律と道德との關係	鵜澤總明	三・〇〇	◎ 二五三	大東文化協會	麴町
判例體系六 民法債權總論下編	村田憲治	六・五〇	◎ 一六二六	啓法會	大阪
法典調査會議事速記錄 民法親族篇・相續篇 筆記第一一函	波多野重太郎		◎ 五册函入	巖松堂	神田
改訂行政法講義總論	渡邊宗太郎	一・五〇	◎ 三六三	弘文堂書房	京都
相續法講義案	永田菊四郎	一・三〇	◎ 一八二	巖翠堂	神田
朝鮮法令輯覽追錄	朝鮮總督府	四・三〇	△ 二〇〇	帝國地方行政學會朝鮮本部	京城
【十月】					
改正自動車取締令 自動車交通事業法	文友堂	・三〇	○ 一〇〇	文友堂	大阪
埼玉縣稅務關係諸法規程	尾中幾三		○ 四六三	三秀出版社	麴町
模範高等試驗豫備筆記口述問題集	高文受驗學會編輯部	・八〇	○ 三六二	清英社	神田
昭和八年改正醫師法令集	鹽澤番	・一五	○ 六九	日本醫事衞生通社	日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
業務提要戸籍と寄留	多田純二	・七〇	○	一八三	戸籍事務協會	横濱
改正恩給法其他	岩崎徂堂	・三五	×	一〇六	帝國講學會	本郷
現行法令大全加除追錄	早乙女三郎	非	◎		大日本行政學會	杉並
新制手形法其他	岩崎徂堂	・三五	×	一〇六	帝國講學會	本郷
會社法解題	文信社	一・〇〇	×	三三	文信社	同
日譯滿洲國商業法及施行細目	帝國地方行政學會	・一五	○	四四	帝國地方行政學會	京橋
實務參考考試模範口述提要	岡村正雄	一・五〇	×		昭和法制學會	豐島
改訂刑法總論便覽	文信社	・七〇	×		文信社	本郷
商店法論	井上貞藏	三・八〇	◎	三七六	有斐閣	神田
物權法新釋上卷第一分册	奈良正路	三・五〇	◎	三七一	法錦閣	杉並
法令全書第八號	內閣印刷局	・六〇	◎	三〇〇	內閣印刷局	麴町
司法保護法規類聚	司法省保護課		○	五三五	日本少年保護協會	四谷
勞働保護法規並解釋例記	蒲生俊文	一・〇〇	○	五九六	產業福利協會	麴町
第五次改正日本藥局方	內務省衞生局	銀五元	◎	六〇〇	日本藥劑師會	京橋
法典調査會議事速記錄民法親族法・相續編筆記第一・二函	波多野重太郎		△	四册函入	巖松堂	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
國際法學(中)	天野德也	四・〇〇	◎	五八二	巖松堂	神田
法學通論	高井忠夫	一・〇〇	◎	一〇八	久野書店	牛込
新統一手形法論	大橋光雄	三・八〇	◎	九六六	有斐閣	神田
英文法教材第六卷信託法	高柳賢三外一	一・五〇	◎	一三一	同	同
警察書式實例	穴原信吉外一	一・一〇	×	四七九	松華堂書店	同
評釋公法判例大系下卷	美濃部達吉	四・八〇	◎	七三〇	有斐閣	同
國民法鑑第四卷	清野四郎外一	六・〇〇	◎	九六九	國民法律社	芝
綜合日本民法論(三)	沼義雄	四・七〇	◎	六六二	巖松堂	神田
滿洲國法令集第一編	拓務大臣官房文書課		◎	三五〇	拓務大臣官房文書課	麴町
墺太利保險契約法	生命保險會社協會		◎	九二	生命保險會社協會	同
改訂增補警察犯處罰令釋義	鹽野季彦	一・五〇	◎	二五〇	巖翠堂	神田
工場勞働法規	甲斐泉	非	○	一五六	大分縣工場協會	大分
租稅法規提要	大藏省	・八〇	○	一七〇	東京財務協會	麴町
學校職員改正恩給法解義	門田重雄	三・五〇	◎	四四〇	寶文館	大阪
世界法の理論第二卷	田中耕太郎	五・三〇	◎	六〇三	岩波書店	神田
酒稅法稅叢書第一卷	藤塚林平	三・五〇	○	四九七	有斐閣	同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
新民事訴訟法學說判例總覽中卷	寺澤晉一	八・四〇	◎	三八九	法文社	京橋
國際判例研究一	横田喜三郎	三・五〇	◎	四一八	有斐閣	神田
法令全書第九號	內閣印刷局	・六〇	◎	三〇〇	內閣印刷局	麴町
日本航空法規全集	北尾龜男	・五〇	×	二〇〇	帝國飛行協會	芝
法典調査會議事速記錄民法親族編・相續編筆記第十三函	波多野重太郎		△	函入	巖松堂	神田
鐵道運輸重要法律集	岡田三枝	二・〇〇	○	一二六	鐵道工學社	同
米穀關係法規	農林省米穀部		○	二六二	農林省米穀部	麴町
日本制裁法規	井上圓三	九・五〇	◎	三七一	清水書店	神田
巡査部長警部考試試驗模範答案後篇	松華堂編輯局	一・五〇	○	一五〇	松華堂	同
改正齒科醫師法令釋義	池田清志	三・二〇	○	五八二	日本醫事衞生通信社	日本橋
【十一月】						
健康保險工場法ニ依ル屆出樣式一覽	境川文庫	・一五	△		境川文庫	大阪
受恩給者の友	谷田志摩生	・六〇	○	一四	八洲社	本郷
長野縣產業組合關係法規	產業組合中央會長野支會		×		產業組合中央會長野支會	長野
模範口述問答要領刑法刑事訴訟法	島津嘉孝	・八〇	○	二四〇	新光閣	神田
同 憲法行政法	同	・八〇	○	二四〇	同	同
改訂刑法各論便覽	文信社	・七〇	×		文信社	本郷

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
物權法解題下	文信社	一・〇〇	×		文信社	本郷
カード式民法總則要領	法律學研究會	・八〇	カード		橋書店	牛込
最新自動車關係法規集	日新聞社交通每	・三〇	○	三〇〇	新聞社交通每日	大阪
改正刑事訴訟法便覽	文信社	・七〇	×		文信社	本郷
最新日大法政商經試驗問題模範解答	受驗研究會	一・五〇	○		受驗研究會	淀橋
醫師法・齒科醫師法・診療所・產院關係法令集	警視廳	非	○	九九	山口義次郎	澁谷
會社法講義案下卷	松岡熊三郎	三・三〇	◎	四〇七	明治大學出版部	神田
物權法新釋上卷第二分册	奈良正路	三・五〇	◎	七三五	法錦閣	杉並
加除式現行法規制度要覽	岡田庄作	四・二〇	○	一五三五	敬文社	麴町
工業組合登記手續解說	古仙常吉	非	○	三〇八	工業組合中央會	京橋
改正醫法解釋及び醫事判例集	日本醫事法制學會	三・〇〇	○	二〇〇	大文館	神田
身元保證法釋義	吉川大二郎	一・三〇	○	一〇三	大同書院	大阪
日本寺院法講話	森岩太郎	一・三〇	◎	一五〇	一貫堂書店	本郷
法典調査會議事速記錄民法親族法・相續法筆記第十五函・第十四函	波多野重太郎		△	各一册函入	巖松堂	神田
取引安全不渡復活改正手形及小切手の實際知識	氏家二葉	一・五〇	○	二七六	二松堂書店	同
滿洲國の商標條例	大阪市役所產業部調査課	・三〇	◎	三七	大阪市役所產業部調査課	大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
山形地方裁判所管內戶籍事務聯合協議會決議錄	大沼保吉		○一八〇	大沼保吉	山形
特別法規判例學說全集第二卷各種選擧法規上	柴田義彥	非	◎五三二	常磐書房	小石川
兒童虐待防止法要義	藤野惠	・三〇	○一三〇	松華堂	神田
土木關係法規集	大阪市土木部		×一二三六	大阪市土木部	大阪
新聞法制論	榛村專一	五・〇〇	◎六六五	日本評論社	日本橋
銀行取引の法律的解說	妹尾一雄	三・九〇	◎九〇三	文雅堂	麴町
福岡縣警察例規集	福岡縣警察部	非	◎八二〇	警察協會福岡支部	福岡
商法講義案第二分冊	三藤正		◎一五八	三藤正	本鄉
法律學概論	今泉孝太郎	二・五〇	◎三〇八	巖松堂	神田
調停と訴訟の手引	川口秀良	一・八〇	○三一五	正明社	新潟
行刑の變遷を探ねて	正木亮	一・五〇	○四七二	巖翠堂	神田
民事訴訟法要義第一卷—第三卷	細野長良		◎	巖松堂	同
法律學說判例總覽第七卷之二商法總則第一續編	高窪喜八郎	九・〇〇	◎一一〇〇	法律評論社	同
宮內省恩給令要義	高木三郎	二・〇〇	◎二二七	良書普及會	小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
法令全書第十號 現行登記法令大全下卷追錄商業系統登記法令	內閣印刷局	・六〇	◎	內閣印刷局	麴町
新法令と自動車營業者判例體系七民法債權續各論上	藤田鼎	・九〇	○二七二	登記學會	本鄉
大審院裁判例（六）	上塚弘	二・〇〇	○一一四	三省堂	神田
	啓法外一會	八・五〇	◎一一六三	啓法會	大阪
	山川金五郎	一・八〇	△四三一	法律新聞社	日本橋
【十二月】					
法律相談我等の辯護士	康井啓楷	五・〇〇	◎二八七	康井法律出版事務所	麴町
實用醫事法規	今井甚太郎	一・二〇	×四七〇	古誠堂書店	本鄉
最近高等試驗問題集	山田余所治	・五〇	○	松山房	神田
陪審法條文陪審法の解說	中野久吉	非	×二冊	日本陪審協會	大阪
商法常識會社法と其手續	畔柳桑太郎	一・二〇	○	商法研究社	京橋
精神病院關係法規集	山口義次郎	一・〇〇	○一三七	山口義次郎	澁谷
產業組合事務要覽	中丸周一	一・〇〇	○四五八	產業組合中央會廣島縣支會	廣島
自動車取締令註釋	曾我紋藏	各一・〇〇	×二冊	現代之交通運輸社	橫濱
親族法總論大綱第一分冊	和田干一	一・三〇	◎一七六	大同書院	大阪
信託法新論	岩田新	二・五〇	◎二五七	有斐閣	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
改正特許局法規類集	松原實美	二・五〇	○四七四	特許書院	品川
憲法學	山崎又次郎	八・五〇	◎九九三	丸善株式會社	日本橋
京大訣別記念法學論文集	田中直吉	四・〇〇	◎六〇二	政經書院	京都
實刑を受けた人免れた人七	山田武雄	非	◎一一八	山田武雄	新潟
法學通論	小山松吉	二・五〇	◎三〇二	尙文堂	神田
不審尋問必携	城南隱士	・四五	×一三八	松華堂	同
海員審判所裁決錄昭和七年度	伊澤梅吉	五・五〇	◎六三五	日本海員協會	京橋
實務用新手形小切手法	竹內恒吉	・五〇	◎二〇〇	銀行協會	大阪
日本擔保法史序說	小早川欣吾	七・〇〇	◎八〇五	寶文館	日本橋
違警罪卽決例釋義先例總攬	岡田亥之三郎	一・一〇	○三三一	松華堂	神田
銀行法律質疑解說集二	多田鐵三	二・〇〇	○三七二	銀行問題研究會	大阪
航空機ニ關スル外國特許要覽	波多野貞夫		△五八	日本學術振興會	麴町
判例を中心としたる債權法論（總論）	林信雄	二・八〇	◎三六八	凡進社	京都
獨逸石炭經濟ニ關スル法律	中村義一	非	◎五二	中村義一	麴町
改正恩給法精解	上原秋三	五・〇〇	◎九一八	岩波書店	神田
滿洲國公法大意第一分冊	日高巳雄	一・三〇	◎一八四	松山房	同
簡易保險實務講話	米田清吉	一・五〇	◎二〇六	交通經濟社	同
電氣事業法規解說	肥田玄次郎	二・八〇	◎五一五	電氣協會	麴町
實用新手形法小切手法解說	竹內恒吉	・八〇	◎二〇〇	大同書院	大阪
日本憲法要論	佐々木惣一	五・〇〇	◎七〇八	金刺芳流堂	神田

印刷用紙算出表（其三）

頁数＼枚数	352	368	384	400	416	432	448	464	480	496	512
50	550	755	600	625	650	675	700	725	750	775	800
100	1.100	1.150	1.200	1.250	1.300	1.350	1.400	1.450	1.500	1.550	1.600
200	2.200	2.300	400	2.500	2.600	2.700	2.800	2.900	3.000	3.100	3.200
300	3.300	3.450	3.600	3.750	3.900	4.050	4.200	4.350	4.500	4.650	4.800
400	4.400	4.600	4.800	5.000	5.200	5.400	5.600	5.800	6.000	6.200	6.400
500	5.500	5.750	6.000	6.250	6.500	6.750	7.000	7.250	7.500	7.750	8.000
600	6.600	6.900	7.200	7.500	7.800	8.100	8.400	8.700	9.000	9.300	9.600
700	7.700	8.050	8.490	8.750	9.100	9.450	9.800	10.150	10.500	10.850	11.200
800	8.800	9.200	9.600	10.000	10.400	10.800	11.200	11.600	12.000	12.400	12.800
900	9.900	10.350	10.800	11,250	11.700	12.150	12.600	13.050	13.500	13.950	14.400
1.000	11.000	11.500	12.000	12.500	13.000	13.500	14.000	14.500	15.000	15.500	16.000
2.000	22.000	23.000	24.000	25.000	26.000	27.000	28.000	29.000	30.000	31.000	32.000
3.000	33.000	34.500	36.000	37.500	39.000	40.500	42.000	43.500	45.000	46.500	48.000
4.000	44.000	43.000	40.000	50.000	52.000	54.000	56.000	58.000	60.000	62.000	64.000
5.000	55.000	57.500	66.000	62.500	65.000	67.500	70.000	72.500	75.000	77.500	80.000
6.000	66.000	69.000	72.000	75.000	78.000	81.000	84.000	87.000	90.000	93.000	93.000
7.000	77.000	80.500	84.000	87.500	91.000	94.500	93.000	101.500	105.000	108.500	112.000
8.000	88.000	92.000	96.000	100.000	104.000	108.000	112.000	116.000	120.000	124.000	128.000
9.000	99.000	103.500	108.000	112.500	117.000	121.500	126.000	130.500	135.000	139.500	144.000
10.000	110.000	115.000	120.000	125.000	130.000	135.000	140.000	145.000	150.000	155.000	160.000

〔二〇〕政治

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
滿蒙移民に關する一の經驗談	久保田昇	○六〇	共働會	赤坂
大統領選擧と外交	神川彦松	・一五〇	社會教育協會	小石川
滿蒙移民成功秘策	松浦芳一	○三〇	滿蒙博覽會	熊本
滿蒙を語る	中村重吉	○六〇	駿遠日日新聞社	濱松
世界は何處へ	塚本義隆	・五〇	一〇四 新聞聯合社	大阪
正系日本人の滿蒙觀二輯	松尾小三郎	・三五	◎一二四 亙滿江協會	澁谷
今日及今後の朝鮮	蠟川新	・一〇〇	七〇 奉公會	神田
リットン報告書の經緯	浦松佐美太郎	非◎	三〇 太平洋問題調査會	劇町
軍人ト政治ノ問題	田中澤二	・二〇〇	八〇 立憲養正會	同
熱河に就て	陸軍省	○	七〇 陸軍省	同
齋藤内閣は何をしたか非常時内閣の使命は繰	星合方平	○	四〇 政界情報社	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
聯盟に使して	松岡洋右	・一〇〇	四〇 社會教育協會	小石川
第六十四議會重要諸問題早わかり	刀称館正雄	非○	三〇 東京朝日新聞社	劇町
町村自治と公民生活	庄司一郎	・三〇〇	二八 新仙南日日新聞社	宮城
帝國議會教育議事總攬自第二十六議會至第三十九議會	安部磯雄	二・八〇〇	三五六 厚生閣	劇町
昭和八年度帝國豫算綱要	大藏省主計局	・三〇〇	六〇 内閣印刷局	同
世界政治と世界經濟	世界情勢研究會	・九〇〇	一六三 叢文閣	同
國際ヘーゲル聯盟叢書第一輯	田元培	一・〇〇〇	一五九 政經書院	京都
興國日本の苦悶	富山直孝	一・三〇〇	四七〇 日東書院	神田
日本國策	井乃香樹	一・二〇〇	二六〇 文錄社	京橋
東京市會總選擧に關する各方面の意見	東京市政調査會	・三〇〇	三三 東京市政調査會	劇町
亞細亞モンロー主義	清澤洌	一・三〇〇	二六〇 千倉書房	京橋
皇國體の大義	渡邊八郎	一・八〇〇	三九 春陽堂	日本橋
警察練習書下卷	松華堂	三・〇〇〇	四〇〇 松華堂	神田
帝國議會教育議事總覽自第四十議會至第四十八議會	安部磯雄	三・八〇〇	四八六 厚生閣	劇町

【二月】

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
極東危機の發展	廣瀨庫太郎	・三〇	○	八六	新興社	神田
佛蘭西上院論	松平康昌	・五〇	◎	九九	明大學會	同
司法行政警察實務問答	杉本清作	一・〇〇	○	二七三	松華堂	同
大滿洲國建設錄	駒井德三	一・三〇	○	四八四	中央公論社	麴町
聯盟を脫退したら日本はどうなるか	相馬基	・一〇	○	五六	東京日日新聞社	同
日本政治動向論	蠟山政道	三・八〇	◎	五二四	高陽書院	神田
植民地政策史	秋笹正之輔		◎	五九	岩波書店	同
明治維新における政治的支配形態	平野義太郎		◎	六八	同	同
最近の植民地政策民族運動	鈴木小兵衛		◎	五九	同	同
普選第三回選政戰のあと	渡邊一正	一・〇〇	○	一九二	普選徹底會	蒲田
日滿關係の研究	蠟山政道	二・八〇	◎	三五五	斯文書院	牛込
日支紛爭に關する國際聯盟總會報告書全文	新聞聯合社外信局	・一〇	○	七一	新聞聯合社外信局	京橋
對露外交の更新日露握手すべきか敵視すべきか	佐藤慶治郎	・四〇	○	四八	八紘社	麻布
安達憲政史	平島松尾	非	○	六七八	憲政史編纂會	福島
議會政治論	馬場恒吾	一・五〇	○	四四六	中央公論社	麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
滿洲事變に關する感想	柴山兼四郎	非	○	三〇	奉仕會	麴町
印度國民運動とガンヂー	玉城肇	・一五	○	三九	社會教育協會	小石川
滿蒙事情	呉市役所		◎	七〇	呉市役所	廣島
國際聯盟の實情	四王天延孝	非	◎	二六	奉仕會	麴町
我が南洋諸島	山地五朗	同	◎	二〇	明善高等女學校	高松
小型列國々勢年鑑版	白崎享一	・二五	×	二三三	國勢社	京橋
國際紛爭と經濟的制裁一輯	五十嵐隆		○	二三	世界ブロック經濟研究所	神田
日本の行くべき道【三月】	下村宏	・一五	○	四五	社會教育協會	小石川
ロシアの現在及將來	近江匡男		○	五六	中央報德會	四谷
皇國と亞細亞	鹿子木員信	・一〇	◎	一九	大亞細亞協會	麴町
吉會鐵道の使命と日滿關係	林利雄	・一〇	◎	一六	國民思想研究所	同
東京市政現下の諸問題	東京市政調査會	・一〇	◎	二七	東京市政調査會	同
東京市政を守れ	楠間龜楠	非	○	五五	文明社	小石川
農民必携	長野朗	・三〇	×	一四八	農村新聞社	目黑
町村會議員選擧に付て	三重縣阿保警察署	非	○	一七	三重縣阿保警察署	三重

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
國民よ奮起せよ	江藤哲二	・一〇	○	三六	國風會出版部	牛込
加奈陀パンフに於て開催さるべき第五回太平洋會議の準備に就て	浦松佐美太郎	非	◎	五〇	太平洋問題調査會	麴町
日支紛爭を如何に解決するか	原田政治		◎	二九	原田政治	麻布
滿洲國の將來	大谷光瑞	三・〇〇	○	二四一	大乘社東京支部	京橋
滿蒙移民問題	平貞藏	一・五〇	○	二六九	日本評論社	同
各黨の綱領政策	町田辰次郎	非	◎	三八	協調會	芝
選擧を過たぬために	東京市政調査會	・一五	◎	一三五	東京市政調査會	麴町
リットン報告附屬書滿洲諸問題及ボイコットに關する專門家の研究九篇	赤松祐之	三・〇〇	◎	七九二	國際聯盟協會	同
ファッショと皇國の將來	北條富之輔	・五〇	○	一三三	勤王聯盟本部	四谷
日露怖るべきか	中村秋季	・七〇	○	一六六	新生堂	神田
國民の重大覺悟國際聯盟脫退に直面して	大道弘雄	・一〇	○	二一九	朝日新聞社	大阪
國際關係小觀	米田實	・五〇	◎	八〇	明大學會	神田
第六十四回帝國議會議事錄二	二松堂編輯所	・八〇	△	二九二	二松堂	同
革新日本の政治原理	佐藤清勝	一・八〇	◎	二四五	太陽社	同
極東變局と日本の將來	佐藤慶治郎	一・五〇	○	三二〇	八紘社	杉並
非常時日本の尖頭に立ちて齋藤首相の不臣を論ず	江藤源九郎		○	三三	江藤源九郎	

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
桎梏の印度	ボース 田邊宗夫	一・七〇	○	三三四	平凡社	日本橋
世界經濟と世界政治第二輯	世界情勢研究會	一・三〇	◎	二〇一	叢文閣	麴町
世界各國の共産黨潰滅政策	鈴木文治	非	○	七三	內外社會問題調査所	芝
「ヒットラー」綱領批判	高村安吉	・四〇	○	九五	希望閣	神田
新亞細亞行進曲	鷲尾浩	一・七〇	○	四一四	曉書院	日本橋
現行藥事法規集	植村靜	三・〇〇	◎	三四五	藥友新報社	大阪
改正電氣工作物規定及註釋	文花堂編輯部	・五〇	○	二〇二	文花堂編輯部	同
滿洲問題の基調	新天地編輯部	一・五〇	◎	二六五	創建社	日本橋
東京都制案反對の重點	東京市政調査會	非	◎	三九	東京市政調査會	麴町
プロレタリヤ歌曲集三月	武者秀雄	・〇五	◎	八	日本プロレタリヤ音樂家同盟神奈川支部準備會	横濱
第六十四回帝國議會代表演說集	檜垣清人	一・二〇	○	二六五	日本講演通信社	芝
衆議院豫算會議に於る明糖事件を暴露す	松下傳吉	・二〇	○	一三九	中外産業調査會	同
開けゆく滿洲	臼井龜雄	一・五〇	○	二九七	日東書院	神田
政治家の觀たる現代政治と其動向	高橋清治郎	・七〇	○	一三七	物を聞く會	同
極東阿片問題	赤松祐三	・五〇	◎	三二〇	國際聯盟協會	麴町
聯盟脫退と日本の根本國策	大井一哲	・二〇	○	四七	日本社會問題研究所	同
日本の大使命	服部敎一	一・五〇	○	四六四	日本植民學校東京事務所	小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
全訂特高警察必携 昭和八年版	緋田　工	一・二〇	×四二五	新光閣 神田
極東の防護	村田　正治	・三〇	〇二六	兵用圖書株式會社 劉町
隣邦を語る	吉見　正任	三・二〇	三五八	坂西將軍講演集刊行會 京橋
【四　月】				
滿蒙にはどんな資源があるか	刀称館正雄	・三五	〇五	朝日新聞社 劉町
警察實務警務篇	河野　悦數	×	二七〇	河野悦數 大阪
ロシヤの第二次五年計劃	尾瀬　敬止	・三五	〇三六	社會教育協會 小石川
日本民族の根本自覺	多賀　宗三	・四〇	〇二三	朝光舍本部 同
聯盟脫退の經緯	陸軍省		〇六五	陸軍省 劉町
南洋委任統治問題	赤松　祐之	一・五〇	◎一〇〇	國際聯盟協會 同
熱河事情	滿洲文化協會	・七五	〇二七	南光社 神田
聯盟脫退關係諸文書	赤松　祐之	・五〇	◎二一六	國際聯盟協會 劉町
滿蒙學校講義第一卷	蘭井　秀男	一・二〇	◎三〇〇	蘭井秀男出版部 神田
熱河討伐と其眞相	神尾　茂	・一〇	〇三三	大阪圖書販賣株式會社 大阪
國政改革案	片山　廉平		〇四〇	立憲王黨勤王部 世田谷
ナチス	長守　善	一・二〇	三一〇	日本評論社 日本橋
自由黨大阪事件全	石川　諒一	非◎	二四七	自由黨出版部 京橋
地方財政調整論	永安　百治	一・三〇	◎一六七	良書普及會 小石川
滿洲國現政治の實情	岡津　泰正		◎三六	岡津泰正 濱松
狂亂の支那	馬郡健次郎	一・〇〇	一九八	南光社 神田
國策を守れ	畑　桃作	・五〇	一七四	千倉書房 京橋
街頭政治讀本	佐々　弘雄	一・五〇	三九	同
新東洋建設論	口田　康信	三・〇〇	◎二五三	建設社 牛込
教育行政提要	下村　壽一	二・三〇	一八七	岩波書店 神田
現代政治の進むべき道	高橋　清吾	三・五〇	四〇二	有斐閣 同
聯盟脫退記	竹内　夏積	一・五〇	三八	立命館 京橋
大滿洲國上卷	今井　豐藏	三・〇〇	△八三一	東亞事局研究會 劉町
同　下卷	同	三・〇〇	△七六〇	同 同
政界風景展望	角屋　謹一	・三〇	六三	文王社 芝
非常時日本と北支滿洲	來多　武六	・三五	〇二六	國民經濟研究會 牛込
【五　月】				
日印通商條約廢棄と其影響				時事新報社 劉町
				時事新報社 劉町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
淀橋區政の展望	内田助五郎	・五〇	五九	秦嶺社 淀橋
第六十四回帝國議會報告書	沼澤　陸太		〇六	國民同盟 劉町
町村會議員學入門	土谷覺太郎	・四〇	×五〇	帝國自治刊行會 四谷
町村會議の研究	同	・六〇	×	同 同
速に老廢機構を一新すべし	增田　正雄	一・五〇	七二	平凡社 日本橋
帝國議會農村問題解說	森　德久	三・〇〇	六〇〇	農村經濟調査局 劉町
非常時十人男	阿部眞之助	・五〇	一六八	創造社 小石川
踊る政局	鐵假面	・五〇	一六四	太陽社 神田
第六十四議會拓務外地議事詳錄	佐々木龍一	三・五〇	△六〇〇	中央情報社 劉町
内觀外望	新渡戸稻造	一・五〇	三九六	實業之日本社 京橋
聯盟脫退後の日本	和田　利彦	・五〇	一三三	日本放送出版協會 日本橋
昭和皇國の大精神一新	鶴林　天學	一・〇〇	◎一三	敬天敎化團 神戸
國民運動パンフレット第二輯・日本精神と政黨政治	津久井龍雄	一・〇〇	◎二六	關西本部 同
獨裁期來	澤田　謙	一・五〇	三七〇	國民運動社 劉町
皇道日本と王道滿洲	田崎　仁義	・七〇	一四九	千倉書房 京橋
第二警察讀本	法制時報社	一・五〇	◎三四	斯文書院 牛込
戰雲動く太平洋	石丸　藤太	一・八〇	三七七	法制時報社 同
春秋				日本橋
世界經濟會議の檢討	澤澤甲子男外一	・八〇	一六四	大文館 神田
パンフレット集	大井　一哲	・八〇	二四	日本社會問題研究所 劉町
概觀日本史	京口　元吉	・五〇	◎八〇	廣文堂書店 牛込
要第一分冊				
歐洲現代政史の暗流	德富猪一郎	一・五〇	三二	明治書院 神田
國際聯盟離脫ニ關スル詔書衍義	中央敎化團體聯合會	・一五〇	六八	中央敎化團體聯合會 劉町
最近歐洲外交の展望	竹林　熊彦	一・〇〇	二五二	章華社 目黑
ヒツトラー	池田　林儀	一・二〇	三四	太陽社 神田
必ず讀め	加藤　越山	・五〇	一三三	大阪圖書販賣株式會社 大阪
松岡全權大演說集	竹内　夏積	・八〇	一七〇	大日本雄辯會講談社 本郷
選擧哲學	吉田幸太郎	三・〇〇	四五八	杉山書店 同
政治學講義要旨	矢部　貞治	非◎	一六三	矢部貞治 杉並
國家社會主義論策	林　癸未夫	一・〇〇	一四八	章華社 目黑
國勢調査報告第四卷	内閣統計局	三・〇〇	△四五〇	東京統計協會 京橋
世界經濟會議	日本外事協會	一・五〇	三七二	日本外事協會 劉町
【六　月】				
勇堂、小林順一郎述國際聯盟と日支問題の眞相				自衛社 澁谷
赤字財政と政黨	前田　米藏		一六〇	日刊新聞時代社 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
國民皆兵主義に立脚する代議制「道統政治」實施の提唱	若杉浪雄	非	○二〇	憂國青年黨結成準備會	芝
皇道維新雄辯讀本	守田貞記	二・〇〇	◎一〇八	川崎政治學院出版部	川崎
資本主義日本の行衛	堀眞琴	一・五〇	○二九七	太陽社	神田
東洋政治學選擧	濱薫明	一・二〇	○二一七	立命館出版部	京橋
支那政治組織の研究	德安實藏	一・〇〇	○三〇二	日本書房	芝
ユダヤ人の陰謀	及川恒忠	六・〇〇	◎一一三	啓成社	麹町
滿洲國の今後	加藤越山	・一〇	○五八	大阪圖書販賣株式會社	大阪
ジユネーヴ特急	古垣鐵郎	一・〇〇	○二九六	朝日新聞社	麹町
ルーズベルトの世界再建論	四至本八郎	一・三〇	○三四〇	南光社	神田
今後の支那は何う成るか？	大屋義人	・二〇	○八二	長野新聞株式會社出版部	長野
第二警察讀本	法制時報社	一・五〇	◎三〇八	法制時報社	牛込
新裝亞細亞と阿弗利加	中平亮		○二三五	平凡社	日本橋
中米及び墨西哥	柳澤健		○二三七	同	同
我が非常時外交	林正義	・三〇	○一一三	創造社	小石川
日本外交六十年史第二卷	長野勳	二・五〇	◎三二九	建設社	牛込
非常時日本の同胞に懇ふ	波多野乾一	・一〇	○四三	大阪毎日新聞社	大阪
國際聯盟に於ける日支問題議事錄日本聯盟脱退後篇	國際聯盟事務局東京支局	一・〇〇	◎二三四	國際聯盟記錄刊行會	麻布
日ソ通商振興座談會速記錄日ソ兩國關係當事者を中心に	上田半次郎	・二〇	◎四四	日露通信社	麹町
問題の支那	後藤朝太郎	一・二〇	○三〇四	立命館出版部	京橋
「國體」の學語史的管見	里見岸雄	一・五〇	◎一一四	里見研究所出版部	京都
轉換期支那の全貌	濱田峰太郎	一・〇〇	○三三二	ブロック經濟研究所	神田
朝鮮政治史綱	高權三	一・八〇	◎三〇四	永田書店	牛込
秋風と共に政局は搖ぐ	長尾桃郎	非	◎一〇	大月社會問題研究所	大阪
社會大衆黨の建設政策とその批判	同	同	◎一七	同	同
行詰つた世界經濟會議	同	同	◎一八	同	同
【八月】					
大亞細亞主義と日支關係大亞細亞主義興中日關係	中谷武在	・二〇	○二八	大亞細亞協會	麹町
町村起債の栞市町村歳入歳出豫算及說明記載例	和歌山縣自治會		×二册	和歌山縣自治會	和歌山
東洋政治哲學王道の研究	近江匡男	・〇五	○六六	中央報德會	四谷
滿洲に於ける日滿合辨通信會社の設立に關する協定集（第五十六輯）	外務省條約局	・一二	◎二七	日本國際協會	麹町
上海共同租界に於ける中華民國法院に關する協定の期限延長並に同法院の民事手續改善に關する交換文（千五百三十三年二月八日—十二日南京に於ける）（條約集第五十五輯）	國際聯盟事務局東京支局	一・〇〇	◎二三四	國際聯盟記錄刊行會	麻布
國際外交錄	杉村陽太郎	一・五〇	○五〇八	中央公論社	同
日本國家社會黨の分裂—崩壞	長尾桃郎	非	◎二三	大月社會問題調査所	大阪
政權奪還の道ファッショの攻勢に對し政黨聯立の陣地を堅めよ！	大阪清吉共長山長		○一七	政治研究會	京橋
思想警察通論	小田川松造	二・〇〇	◎三一八	日本警察社	神田
憲政の本質と政黨批判	瀧川高雄	・一五	○六一	瀧川社會問題研究會	茨城
石油國策と思想問題	金子三四郎	・五〇	○一七九	文錄社	京橋
今日の印度	翁久允	一・七〇	○四〇〇	改造社	芝
北海道農地政策の根本問題	宮下正一郎	一・三〇	◎一九三	鄕土出版社	北海道
行詰つた世界經濟會議（下）	長尾桃郎		◎一八	大月社會問題調査所	大阪
地方計畫論	飯沼一省	二・八〇	◎三六二	良書普及會	小石川
世界の敵とされた日本	壁經平	・一〇	○五四	帝國新報社	京橋
國社黨分裂後の各派の動靜を見る	長尾桃郎	非	◎一八	大月社會問題調査所	大阪
思想警察通論（序文附き）	小田川松造	二・〇〇	◎三一八	日本警察社	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
非常時日本に躍る人々	國民新聞社政治部	・八〇	○二〇七	軍事教育社	神田
世界を攪亂するユダヤ人	加藤越山	・四五	○八〇	大阪圖書株式會社	大阪
朝鮮は起ち上る	鎌田澤一郎	一・五〇	◎三五八	千倉書房	京橋
滿蒙封建論	赤神良讓	一・〇〇	◎一六一	章華社	目黒
筆舌三十年斗南文集	寺崎乙次郎	三・〇〇	◎七一二	斗南大集刊行會	靜岡
極東外交論策	三枝茂智	四・五〇	◎	斯文書院	牛込
【七月】					
在鄕警察團（補助警察官）問題	湯澤睦雄	・二〇	○八〇	警眼社	日本橋
日本は何處まで行くか	佐藤清勝	・二五	○九二	東亞事局研究會	麹町
天才帝國日本の飛騰	池崎忠孝	一・〇〇	○二九〇	新光社	神田
第六十四回帝國議會衆議院報告	衆議院		◎二六五	衆議院	麹町
はたして國家は失業を匡救し得るや	川上賢叟	一・五〇	○二三〇	寶文館	日本橋
ヒットラーの國民革命	今里勝雄	・一〇	○二六	三陽閣	神田
國際時局財政經濟大講演	加藤越山	・八〇	○一八二	大阪圖書株式會社	大阪
自治講習會講演集	大分縣町村長會	非	◎四〇〇	大分縣町村長會	大分
政友會新政策とその批判	長尾桃郎	同	◎一八	大月社會問題調査所	大阪

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
世界の今日一五 南米及び西班牙	堀口九萬一		○	二二四	平凡社	日本橋
同 一一 ソヴェートロシヤの實相を語る	大竹博吉		○	二二四	同	同
市町村會議員の心得	谷口壽太郎	・四〇	○	一三	守屋書店	淀橋
植民及植民政策	矢內原忠雄	四・八〇	◎	六五〇	有斐閣	神田
選擧法改正及政黨政治論	齋藤隆夫	・七〇	◎	九二	民政社	芝
皇國より見たる滿洲事變の政治的效果に就て	陸軍省調査班		○	三六	陸軍省調査班	麹町
米國海軍政策の改訂と其の影響	海軍省海軍軍事普及部		○	二〇	海軍省海軍軍事普及部	同
社會大衆黨の危機	長尾桃郎	非	◎	一三	大月社會問題調査所	大阪
日本發見	柳田健	二・〇〇	○	三三三	日本評論社	京橋
青年建國論	橋本博	・五〇	○	一五八	大洽社	大森
皇道現世相に卽して	鹿間一二	非	△	八	鹿間一二	京都
日本精神に還れ	白須皓	八・〇〇	◎	一五〇〇	農民社	芝
滿洲支那領土說の批判と滿洲國の建國	笠森傳繁	・三五	◎	九三	啓明會	麹町
聯立內閣と國策協定の眞目標	大月久治		◎	二四	大月社會問題調査所	大阪
【九月】						
東洋政治哲學	近江匡男	・〇五	○	六六	中央報德會	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
渦中の日本帝國	加藤越山	・一〇	○	四四	大阪圖書株式會社	大阪
ナチスを語る	高坂久喜	・一〇	○	八〇	國民社	神田
支那滿洲を繞る諸問題	荒木利一郎	非	○	一六六	大阪每日新聞社東亞調査會	大阪
尖銳せる日英貿易戰シムラ會商は成功するか	大月久治	同	◎	三一	大月社會問題調査所	同
國運の危機	松田福松	・一〇	○	八三	原理日本社	世田谷
杉村陽太郎氏「國際外交錄」批判	三井甲三	・〇五	○	三一	回天時報社	赤坂
抗日と掃匪に惱む南京政府の對日策宋子文歸國の裏をのぞく	大月久治	非	◎	三三	大月社會問題調査所	大阪
滿蒙の謎を解く	田原豐	一・二〇	○	二六三	日本公論社	神田
堅實なる國體觀念	加藤尺堂	・五〇	○	七八	精神研究教育會	京都
北滿鐵道會商いよいよ高潮に達す	大月久治	非	◎	一九	大月社會問題調査所	大阪
無任所大臣設立ち消へて政界小康	同	同	◎	三一	同	同
敢て全同胞に問ふ 國際主義外交か、祖國主義外交か	池田弘	・〇三	○	一四	回天時報社	赤坂
判決要錄第三十三卷	法律新聞社	六・〇〇	○	一七〇〇	法律新聞社	日本橋
ファッシズムの眞髓と伊太利の產業統制	加藤越山	・五〇	○	八三	大阪圖書株式會社	大阪
金力・權力・武力	清水芳太郎	一・二〇	○	一六七	千倉書房	京橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
皇道とその實現	中柴末純	一・二〇	○	二三〇	寶文館	日本橋
大詔奉體と非常時日本	古谷敬二	・一〇	○	七〇	中央教化團體聯合會	麹町
昭和八年度帝國歲入出豫算	內閣印刷局	・六五	◎	三四三	內閣印刷局	同
婦人警察	水野薰	・三五	○	一二四	警眼社	日本橋
ファシズムの嵐に抗する國際勞働組合聯盟大會記錄	大月久治	非	◎	二〇	大月社會問題調査所	大阪
產業組合最近の傾向斯して現はれた政治的側面	同	同	◎	三一	同	同
大亞細亞主義	中平亮	一・二〇	○	一	日本評論社	京橋
憲政常道亡國 擧國一黨論	會田周一	・一〇	○	三三	文光社	板橋
現代獨裁政治論	堀眞琴	非	◎	四三	日本評論社	京橋
警察讀本	松井茂	一・〇〇	◎	三七四	同	同
帝國の危機 一九三六年	德富眞康	非	○	二四	關西日日新聞社	山口
皇道政治學概論	藤澤親雄		◎	二四	大東文化協會	麹町
支那外交史論	植田捷雄	三・二〇	◎	二四	巖松堂	神田
世界の今明日 英國政治の動向	茂木惣兵衞		○	三二〇	平凡社	日本橋
同 世界の今明日	杉森孝次郎		○	二六三	同	同
國體原理天皇親政篇	遠藤友四郎	一・五〇	○	三七六	錦旗會本部	牛込

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
國策參謀本部設置案	小濱重雄	・三〇	○	三六	栗田書店	麹町
我黨當面の新政策	社會大衆黨書記局	・一〇	○	二四	社會大衆黨書記局	芝
昭和五年國勢調査報告第四府縣篇京都府	內閣統計局	一・九〇	△	二六三	蜂須賀幾次郎	京橋
第五十五回埼玉縣通常縣會議事速記錄	埼玉縣		◎	一〇〇	埼玉縣	埼玉
伊國の產業政策と勞働憲章	秋山斧助		○	七〇	關東產業團體聯合會	麹町
日印會商を控へて總同盟關西紡績產業勞働組合大會記錄	大月久治		◎	一九	大月社會問題調査所	大阪
支那共產軍の現勢と剿匪軍の活動	同		◎	一九	同	同
ナチス運動の社會學的考察	友枝高彥		◎	二六	日獨文化協會	麹町
【十月】						
五・一五事件の激發動因「統帥權干犯」の出自禍根美濃部博士「憲法提要」の詭辯術的「國體變革」思想	蓑田胸喜	・一五	◎	四八	原理日本社	世田谷
非常時救國外交對策	小林順一郎	・八〇	◎	一三〇	自衞社	澁谷
ファシスト國家論	具島兼三郎	一・五〇	○	三三三	千倉書房	京橋
第十七回國際勞働總會經過概要	渡邊鐵藏		◎	三五	日本商工會議所	麹町
農村更生計畫の批判	三宅發四郎	・三〇	◎	一〇五	帝國農會	同
蘇聯邦東方政策の眞相	陸軍省調査班		○	一六	陸軍省調査班	同
獨逸及米國に於ける失業及其對策	長岡保太郎	・八〇	○	四〇〇	協調會	芝

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
憲政常道亡國擧國一黨論	會田 鍊一	・一〇	○	三六	文光社	板橋
產業土地政策論	澤村 康	三・八〇	◎	四三七	養賢堂	麹町
滿洲事變勃發以後に於ける米國海軍の動靜	海軍省海事普及會		○	四一	海軍省海事普及會	同
印度の眞相	高岡 大輔	二・〇〇	○	四六九	丸善株式會社	日本橋
日滿關稅政策の研究	佐藤 貞次郎	一・三〇	◎	二八三	東亞經濟調査局	麹町
拓務調査資料第四編 蘭領東印度統治機構	拓務大臣官房文書課		◎	四一	拓務大臣官房文書課	同
古代印度の政治及經濟思想	ヘム・チャンドラ・ジョン 吉水十果	・三〇	◎	五三	東方書院	神田
國體觀念の新研究	池岡 直孝	一・五〇	○	二八〇	同文館	同
ヴェルサイユ平和條約の反抗	阿部 勇	・八〇	○	一三八	森山書店	同
福井縣勢概要	福井縣		△	一三五	福井縣	福井
ファシズムの眞意義と伊太利の產業統制	下位春吉 小野山秀	・一〇	◎	四三	下位春吉 小野山秀	大阪
時局は重大	石丸 長城	非	◎	二〇	石丸長城	佐賀
印度の現情	奥 博良		○	五三	京都日印協會	京都
アメリカ建艦計畫と一般軍縮會議の暗雲	大月 久治	非	◎	一九	大月社會問題調査所	大阪
倫敦海軍條約と第二次補充計畫	實川 時治郎	同	◎	一五	椎名佐喜夫	澁谷
分裂の危機に直面した全農全國會議派	大月 久治	同	◎	二六	大月社會問題調査所	大阪

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
行き惱む五相會議 齋藤內閣の不統一	大月 久治	非	◎	一九	大月社會問題調査所	大阪
政治軍事教育經濟國際事典	東亞出版社編輯部	四・五〇	△	六二四	東亞出版社	澁谷
黎明の滿蒙	川上 隆正	・六〇	○	二〇四	帝國在鄕軍人會大分市大道分會	大分
政黨更生か轉落か	三上 英雄	非	◎	一三三	國運打開研究會	京橋
英帝國の野心	A・E・ジョンソン	一・〇〇	◎	一六六	千倉書房	同
時事及政論	中里 介山	一・〇〇	○	二〇六	隣人之友社	日本橋
極東の情勢に就て	陸軍省調査班		○	三三	陸軍省調査班	麹町
世界の今明日文明一新の先驅イタリヤ九	五來 欣造		○	二三〇	平凡社	日本橋
同 歐洲の新噴火口	今關 十一郎		○	二六六	同	同
大日本主義の基礎理論と皇道政治の確立	三宮 維信	非	◎	二一	大日本憂國青年同盟本部	澁谷
若槻總裁及びその一黨を衝く	庄司 一郎		◎	三五	立憲政友會宮城支部青年部	仙臺
近代國際政治史	占野 百太郎	六・〇〇	◎	七三二	高原書店	京橋
五・一五事件背後の思想改訂版	伊福部 隆輝	・五〇	○	一七八	明治圖書出版協會	神田
新日本建設案	永井 了吉		○	一三〇	日本主義評論社	豐島
皇道維新と荒木イズム	守田 貞記	一・〇〇	○	六二	川崎政治學院	川崎
特高警察全書	佐々木 與四藏	一・一〇	○	三〇五	松華堂	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
國民運動パンフレット第十輯 ロシヤ赤衛軍の新戰略	大月 久治	非	◎	三一	大月社會問題調査所	大阪
國體の本義	山田 幸雄	一・五〇	◎	二八六	寶文館	日本橋
國際事情後篇第六【十一月】	外務省情報部	三・〇〇	◎	六〇三	良榮堂	麻布
日本に於ける改造運動は如何に押し進めらるべきか	岡野 忠弘	非	◎	一八	政治批判社	荏原
青森市政之話	阿部 健四郎		○	一六八	阿部健四郎	青森
皇道政治樹立を謀る五・一五の全貌と解說	忠誠堂	一・〇〇	○	四四〇	忠誠堂	神田
外交秘錄 滿洲と日露戰爭	大竹 博吉	一・三〇	◎	三四四	ナウカ社	同
新時代の基礎知識	大塚 純一	三・五〇	○	二八三	國民教育會出版部	本鄕
最新警察教科書	國鹽 耕一郎	三・五〇	◎	二五〇	法制時報社	牛込
妖魔と戰ふ	平田 敏郎	一・〇〇	○	三八	征擊社	神戶
皇國の危機一九三六年に備へよ	關根 郡平	一・五〇	◎	二四四	兵書出版社	赤坂
日本國民に訴ふ國難打開の國策提唱	庄司 新二		○	二八三	庄司新二	瀧野川
英米印を視く	塚本 義隆	・五〇	○	一三五	新聞聯合社	京橋
內政國策會議と豫算問題	大月 久治	非	◎	一七	大月社會問題調査所	大阪
南北生命線の確保	米倉 嘉兵衛	・一〇	◎	四八	人類愛善會亞細亞本部	四谷
政黨排擊論	佐藤 慶治郎		◎	二四		

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
滿洲國の政治財政と主要產業事情	大月 久治	非	◎	三一	大月社會問題調査所	大阪
蒲田區概觀	菊地 政雄	三・八〇	○	六七〇	菊地刊行會	蒲田
滿蒙彩描	平野 零兒	一・八〇	○	四五一	平原社	京橋
土地區劃整理實務要覽	石塚 三郎	三・〇〇	○	五三六	石塚三郎	杉並
第五回都市計畫講習錄上卷	阿南 常一	・五〇	◎	一八九	都市研究會	麹町
世界の政治經濟地理的考察	西田 與四郎	三・三〇	◎	二六〇	古今書院	神田
內政會議を中心に國內諸改革氣運の擡頭	大月 久治	非	◎	一五	大月社會問題調査所	大阪
自由主義より強力主義へ社會大衆黨新政策の解剖と近畿府縣聯合會協議會	同	同	◎	三五	同	同
委任統治問題	松原 一雄	・五〇	◎	八〇	斯文書院	牛込
政界夜話	城南 隱士	一・八〇	○	五三六	東治書院	麹町
風雲の亞細亞	良島 榮六	・五〇	○	一四〇	近代社	京橋
非常國民讀本	社會教育會	・一〇	○	一二四	社會教育會	麹町
國際聯盟離脫に關する詔書演義	荻原 擴	三・五〇	◎	四四五	寶文館	日本橋
ナチスの眞相	安達 堅造	一・〇〇	○	一七八	アルス	神田
聯盟脫退と非常時日本の覺悟	二見 甚鄕	非	○	一三〇	外事知識普及會	京橋
第六十四回議會貴族院事務局報告	貴族院事務局	非	◎	四四	貴族院事務局	麹町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
地政治學入門	阿部市五郎	一・八〇	三八	古今書院 神田
現段階に於ける支那政局と新政府の樹立	大月久治	非◎	三	大月社會問題調査所 大阪
最近政界の動向と時流に動く人々【十二月】	同	同◎	三	同 同
沖繩振興計劃とは如何なるものか？	小田復與	一・〇〇	一三	新興沖繩社 沖繩
帝國の危機	木橋敏郎	一・八〇	四五	新聞日本經濟通信社 京橋
趣味の警察常識	渡邊哲雄 外一	一・八〇	三二〇	警世社 芝
支那及滿蒙に於ける治外法權撤廢問題	古賀元吉	一・二〇	◎一六〇	日支問題研究會 劉町
昭和五年國勢調査結果表	臺灣總督府		△一六〇	臺灣總督府 臺北州廳
國防と朝鮮人	李東華	一・〇〇	一〇四	黃人社 澁谷
滿洲王道思想批判	千葉命吉	二・二〇	三四一	大日本獨學會 杉並
支那を中心とする聯盟並に歐米各國の活動に就ての研究	陸軍省調査班		○二〇	陸軍省調査班 劉町
續農村自治の研究	山崎延吉	一・三〇	二三四	農林堂書店 芝
日本國民誌	中澤宇三郎	・八〇	七二	皇明會 豐島
日本憲政成立史	鈴木安藏	二・八〇	◎五〇〇	學藝社 劉町
赤露の動きと我覺悟	夏秋龜一	・三〇	一七四	滿蒙調査會 同
非常時の非常手段	岡本一巳	非△	二四	岡本一巳 劉町
西園寺牧野兩重臣に與ふ	江藤源九郎	・三〇	六二	政治批判社 崔原
今日の問題	通俗大學會	一・〇〇	二七〇	通俗大學會 赤坂
農村改革の要綱	二神駿吉 外二	・三〇	八六	農民社 芝
日本に於ける蘇聯邦の策動	帝國在鄉軍人會本部	非○	一四	帝國在鄉軍人會本部 牛込
非常時と憲政擁護	竹下文隆	一・〇〇	三六	新知社 劉町
伊太利政治經濟研究	田畑爲彥	二・三〇	◎四五〇	立命館出版部 京橋
國際聯盟に提出の一九三二年度阿片年報	外務省條約局		△四三	外務省條約局 劉町
上海共同租界に於ける中華民國法院に關する協定の期限延長並に同法院の民事手續改善に關する交換文	赤松祐之	・三〇	三五	日本國際協會 同
滿洲に於ける日滿合辦通信會社の設立に關する協定	同	・三〇	三五	同 同
一九三六年	石丸藤太	一・五〇	二六〇	春秋社 日本橋
代議士さまの柵おろし	高幣常市	・一五	四〇	非常時日滿協會 京橋
難治縣日向の解剖	田代泰藏	二・〇〇	一九九	伊牟田鐵磁 鹿兒島
侵略の定義に關する條約	赤松祐之	・八〇	◎三	日本國際協會 劉町
了解及協力規約	同	・六〇	◎六三	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
チエツコ・スロバキヤ共和國	赤松祐之	・一六〇	三四	日本國際協會 劉町
中華民國修好通商條約	同	・八〇	一六九	日本講演社 同
ヒツトラーの獅子吼	瀧清	・二〇	六〇	政治批判社 崔原
現代の惡制度	岡野忠弘	・三〇	一四	國難會 劉町
正義論	中村龍治	・三〇	一四	東京青年部 劉町
西洋の事情と思想	新渡戶稻造	一・二〇	二六四	實業之日本社 京橋
日本民族の新目標	高木秀男	一・五〇	一七〇	國際思想研究所 四谷

ブレークの詩集

財界恐慌の中に珍本ファンが金に絲目をつけないのは愉快である。最近ニウヨーク市の古本競賣市場でウイリアム・ブレークの詩集初版が一冊六千ドルに賣れた。右の詩集はオハヨー州大審院判事の職にあつた故ウイリアム・ヴイカリー氏のライブラリーから現れたもの、買手はローゼンバツハ博士である。また同時に一五三二年ロンドンで發行されたチヨーサーの詩集初刊本も賣れたがこれは三千六百ドルであつた。なほまたブレークの「ポエテカル・スケツチース」初刊本は九百七十五ドルで賣れたがいづれも好い値である。

新判型と書籍印刷紙の規格

日本の工業品規格統一の一つとしての書籍雜誌並に印刷用紙の規格は、商工省の同委員會に於て製紙業、出版業及び印刷業現狀、諸外國の規格等を調査研究した結果、獨逸の如く理論的基礎に準據する制成を採用すると同時に我國に於て廣く用ひらるゝ紙に最も近きものを見出し、別表の如きメートル法に依る「新判型」を決定した商工省（告示十一號、昭和六年二月十日）。

紙の仕上寸法規格（單位ミリメートル）

番號＼列	A	B
0	841×1189	1030×1456
1	594×841	728×1030
2	420×594	515×728
3	297×420	364×515
4	210×297	257×364
5	148×210	182×257
6	105×148	128×182
7	74×105	91×128
8	52×74	64×91
9	37×52	45×64
10	26×37	32×45
11	18×26	22×32
12	13×18	16×22

右表のA列は獨逸のA列と全く同一の寸法にして、面積の一m^2を基本としたものであり、メートル法を使用する各國に於て書籍その他に廣く使用せられ國際的標準を見るを得べきものである。而して我國に於て現在廣く使用せらるゝ菊判（152×227ミリメートル）はA5（148×210ミリメートル）に近く、菊倍判（227×303ミリメートル）はA4（210×267ミリメートル）と大差なく、從つて將來此等の新判型に變更することは困難ではあるまい。

B列は面積の一・五m^2を基本とし、順次半截したる寸法を以て各號の紙幅としたものである。B6（128×182ミリメートル）は現在の四六判（127×188ミリメートル）と殆んど等しく又B5（182×257ミリメートル）は四六倍判（199×258ミリメートル）に甚だ近く製紙機械、印刷機械等には殆んど影響しない。

印刷の場合に於ても平判印刷機を用ふる時は何等の支障なく又輪轉機を用ふる場合はA5は現在の菊判に比し縱の方向に多く縮小せらるゝを以て横に流るゝ機械ならば何等不便なきも縱に流れるものにあつては截代の增加を免がれない。

〔二一〕經濟

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
金か紙か	塚本義隆	・五〇	〇六三	新聞聯合社大阪支社 大阪
大阪の商品券調査	大阪市		◎八三	大阪市 同
配分原理と稀少性原理	大熊信行	・二五	◎三三	同文館 神田
經濟倶樂部講演20	神原周平	・二〇	〇五二	東洋經濟出版部 日本橋
日本經濟革命論	清水芳太郎	一・五〇	〇三二六	千倉書房 京橋
豫算統制の實證的研究	長谷川安兵衛	一・三〇	〇一七四	森山書店 神田
英・米・獨・佛に於ける不動産金融	西岡實太		〇一六八	日本勸業銀行調査課 麹町
勘定學說研究	畠中福一	三・五〇	〇四七二	森山書店 神田
經濟史（中世ヨーロッパ）	宮崎力藏	一・五〇	◎一七五	巖松堂書店 同
表解地租便覽	船田勇	一・〇〇	×一九六	森山書店 同
貨幣制度概說	荒木光太郎	五・〇〇	◎七三四	日本評論社 京橋
勸業債券の話	大門富之助	・八〇	〇一六七	立命館出版部 京橋
各種調査會ニ於ケル米穀ニ關スル調査ノ經過概要	農林省米穀部		◎二〇二	農林省米穀部 麹町
銀行簿記の實際	樫尾謙	二・五〇	◎三八四	商業會 京都
新時代の農家經濟	大久保敬	一・二〇	〇二八八	明文堂 神田
史的唯物論（教科書叢書一）	ミーチンラズ ウモフスキ 廣島定吉 外一	一・〇〇	〇二九九	ナウカ社 同
世界經濟年報一九	經濟批判會	・六〇	〇一四二	叢文閣 麹町
ロシヤの協同組合	澤村康	三・〇〇	◎三六七	日本評論社 京橋
社會文庫第十六 價値論の學說價値	ハインリッヒ ディッエル 渡邊信一譯	・三〇	〇九三	同 同
同第十五限界效用說とマルクス主義	レオ・ケッペル 藤田清譯	・六〇	〇一八四	同 同
レーニン史的唯物論	アドラツキー 直井武夫	一・〇〇	〇五四二	希望閣 神田
日本米價變動史	中澤辨次郎	六・八〇	◎五五二	明文堂 同
金より物へ	小汀利得	一・五〇	〇三三四	千倉書房 京橋
サラリーマン貧乏物語	高橋渡	一・五〇	〇七八	第一書房 神田
新時代の常識 經濟學小話	同	一・五〇	〇一六五	同 同
爲替と金と物價	岡田純夫	・五〇	◎九七	財政經濟時報社 日本橋
經濟實踐	服部文四郎	二・五〇	◎四二一	明善社 本郷

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
貨幣原理	服部文四郎	一・九〇	◎	二六四	明善社	本郷
マルクス・エンゲルスに於ける史的唯物論と法律	平野義太郎	三・二〇	◎	三七七	大畑書店	神田
新稿兩替年代記關鍵 卷一	三井高維	一〇・〇〇	△	八一六	岩波書店	同
世界恐慌對策の理論と實際	木村禧八郎	一・三〇	○	五〇二	高瀬書房	京橋
マルクス貨幣理論批判	大野純一	一・五〇	○	二六五	寶文館	日本橋
國民所有の分配	汐見三郎	三・五〇	◎	二七六	有斐閣	神田
【二月】						
金を中心とする諸問題	渡邊武夫	・六〇	○	七六	雲水閣書房	世田谷
農村經濟の正視	田村浩	・二五	○	二一四	日本青年館	四谷
財政學概論	青木得三	三・八〇	◎	三六六	巖松堂 賢文館	神田
經濟思想發展史	沖中恒幸	三・二〇	◎	三一九	森山書店	同
資本主義の計畫經濟	經濟批判會	・八〇	○	一八六	叢文閣	麹町
インフレーションの金融と經濟	小島昌太郎	一・〇〇	○	一四九	立命館出版部	京橋
財政講話	岡野文之助	一・二〇	◎	二七三	南郊社	牛込
財界・株界はどう動くか	安田與四郎	一・二〇	○	二三四	東京書房	京橋
警察豫算提要	坂梨文保	・七五	○	一二七	警察協會福岡支部	福岡

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
資本論註解第一卷	ローゼンベルグ・直井武夫外一譯	三・〇〇	○	六三三	改造社	芝
銀及銀價低落の研究	佐藤貞次郎	・八〇	◎	二一九	東亞經濟調査會	麹町
明治御維新直前に於ける陸藩財政研究資料	永井龍一	非	◎	二〇四	山本德二	鹿兒島
外國爲替換算表	津村宏一	三・〇〇	◎	一五五	厚生閣	麹町
東京商科大學研究年報 二商學研究	中山伊知郎	三・〇〇	◎	四三六	岩波書店	神田
財政學 全	小川郷太郎 汐見三郎	四・五〇	◎	六九三	有斐閣	同
崩壞沒落の過程にある黃金國最近の實相	濱田紫山	・三〇	○	一三三	改進社	四谷
インフレ景氣論	圓地與四松	一・五〇	○	二八二	千倉書房	京橋
テクノクラシー解說	芳賀雄	・七〇	○	一四一	南光社	神田
景氣循環論	小川福太郎	一・五〇	○	三三三	日本評論社	京橋
明治財政經濟史文獻	大內兵衞外一		◎	一〇七	岩波書店	神田
非常時經濟	鷲谷日賢	一・五〇	○	四〇一	千倉書房	京橋
赤字財政とその將來	日本財政批判會	一・五〇	○	二九〇	曉書院	日本橋
地代論研究	向坂逸郎	二・五〇	◎	三二〇	改造社	芝
株式賣買の基礎智識	矢野治	・八〇	◎	一四〇	春潮社	瀧野川
何がテクノクラシーか	グラハム・アラン・レイグ・ケート 高津正道	一・二〇	◎	一五七	平凡社	日本橋

社會文庫第十五册 限界效用說とマルクス主義者	レオ・ケッペル 藤田清譯	・六〇	○	一六四	日本評論社	京橋
同 第十六册 價値論と學說價値	ハインリッヒ・ディーツェル 渡邊信一譯	・三〇	○	九三	同	同
能率百話	上野陽一	一・五〇	○	三一〇	千倉書房	同
經濟學要論	貫傳松	一・五〇	◎	二〇七	平野書店	京都
聯盟脫退後の財界の株式	勝田貞次	一・五〇	○	二九二	景氣研究所	麹町
米價政策の研究	山中篤太郎	・八〇	○	一三三	森山書店	神田
景氣變動論	ワーゲマン 小島昌太郎	三・五〇	◎	四〇六	雄風館書房	同
株式相場の極意	久保田與喜智	一・〇〇	○	一〇七	第一出版協會	同
マーケツト・オペレーションの內面	鹽川一男	・五〇	○	五五	經濟新報社	大阪
慶應經濟學講義 三五卷 三六卷	野木光昭		◎	二册	經濟學講習會	麹町
關門地方經濟調查 六輯	上田强	非	◎	一二〇	上田强	下關
貨幣論	岩瀬利吉		◎	八二	廣文社	神田
銀行論第一分册	同		◎	九八	同	同
農業政策	同		◎	八五	同	同
【三月】						
蓮如上人の經濟思想	淺野研眞	・三〇	◎	三八	佛教法政經濟研究所	京橋

經濟俱樂部講演23	神原周平	・二五	○	七三	東洋經濟出版部	日本橋
非常時株式大波瀾の研究	一桐商店	非	○	四三	一桐商店	同
亞米利加經濟史講話	佐藤精一	一・五〇	○	三五三	章華社	目黑
產業日本の實力	岡田博道	一・〇〇	○	二五五	同文館	神田
目星のつけ方 株式時代	長井修吉	一・二〇	○	二八九	實業之日本社	京橋
全日本產業大觀	大道弘雄	非	△	三七四	朝日新聞社	大阪
生絲市場論	志村義治	三・五〇	◎	三八六	明文堂	神田
昭和八年版東洋經濟株界二十年	神原周平	一・五〇	◎	二〇三	東洋經濟新報社	日本橋
銀行簿記	原靜	一・五〇	◎	二九一	一元社	本郷
最近商業政策	上田貞次郎	二・五〇	◎	三三三	日本評論社	京橋
爲替理論と爲替問題	谷口吉彥	二・三〇	◎	三二八	千倉書房	同
マルクス主義經濟學第二卷	直井武夫	・六〇	◎	一三九	叢文閣	麹町
統制經濟の基本理論	武田鼎一	三・〇〇	◎	三三六	敬文堂書店	牛込
全訂改版經濟原論	山崎覺次郎	三・〇〇	◎	三二三	有斐閣	神田
¥.$.£. Exchange Tables	東則正	四・〇〇	△	一二四	丸善株式會社	日本橋
砂糖會社はどうなるか	阿部留太	一・五〇	○	三二四	ダイヤモンド出版部	麹町
明治前期財政經濟史料集成第七卷	大內兵衞外一		◎	四九八	改造社	芝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
保險國營に關する參考資料(七)	折戸太市郎	◎三六	生命保險會社協會	劇町
農村經濟講話	高橋龜吉 一・二〇	二七五	時潮社	京橋
國民經濟の意義	西村文太郎	・五〇	七六 明大學會	神田
內外產業資料特別號 孤立日本の經濟的動向	小濱重雄	◎	四〇 內外產業資料調査會	劇町
經濟經濟封鎖と日滿ブロック經濟の完成	荒木利一郎	○	五六 大阪每日新聞社	大阪
パニックの米國我が財界はどうなる？	プロレタリヤ科學研究所農業問題研究會	一・〇〇	七六 鐵塔書院	神田
カウツキー農業問題	マルクス主義研究會	一・〇〇	二八五 中外書房	澁谷
經濟學入門	久武雅夫	二・二〇	一四三 裳華房	劇町
フィシャー價値と價格の理論の數學的研究	笠信太郎	二・〇〇	二四三 大畑書店	神田
金・貨幣・紙幣	眞木傳五郎	八〇	二三三 高瀨書房	京橋
貨幣問題の批判	山中篤太郎	一・八〇	二九 森山書店	神田
經濟思想の革命	中村德治	二五〇	八三 春潮社	湯川野
日本社會經濟の研究 聯盟脫退及米國恐慌により財界はどうなる？	平尾彌五郎	一・五〇	四七 大畑書店	神田
世界景氣の展望	上野道輔	三・二〇	四五 有斐閣	同
簿記理論の研究	井上好一	二・二〇	二六一 淀屋書店	大阪
管理工學能率生活の實踐と作業合理化	金本位恐慌後の投資對策	滕田貞次 ハワー・スコツト	一・五〇	二八 千倉書房
	テクノクラシー階梯	伊藤春野	・五〇	八三 タルボ社
	初心者の株式投資	久保田與喜智	一・二〇	三〇〇 第一出版社
	轉落アメリカの全貌	山內一雄	一・二〇	三三 高瀨書房
	インフレ景氣はどうなる	井關孝雄	一・二〇	三四 同
	地方財政改革論	三好重雄	一・五〇	三〇 良書普及會
	鑛山の開發と經營	山田復之助	三・〇〇	五〇 內田老鶴圃
	日本新經濟策前卷	三宮維信	五・〇〇	二七二 大日本生產黨本部
	經濟の變革	太田正孝	一・二〇	三六 太陽社
	ドル恐慌の話	白石幸三郎	・一〇〇	六三 東京朝日新聞
	マルクス主義貨幣論	カール・カウツキー 高村譽夫	・五〇	一五七 勞農書房
	【四月】			
	老大豫算と其影響	時事新報社	・一〇〇	四七 時事新報社
	原價計算の基礎案	東京商工會議所	◎	非 東京商工會議所
	產業生命線	島田義照	非	六 大阪商工會議所
	山村經濟更生計劃資料	大日本山林會	◎	一五六 大日本山林會

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
金融恐慌論	小島精一	一・五〇	三〇九	千倉書房
世界景氣は日本から	星野夫三	・五〇	一三	新聞改造社
日本インフレーションと國民經濟	高後虎雄	一・五〇	四二	東京書房
經濟統計學要論	田中要助	一・二〇	一六三	有斐閣
生計費の研究	青木福太郎	一・〇〇	一五五	寶文館
辯證法的經濟學方法論	アベズガウス 外一・岡本韻外一	一・〇〇	三六	白揚社
經濟統計學要論	田井要助	一・二〇	一六三	有斐閣
管理通貨論	武田泰次郎	三・〇〇	二四一	日本評論社
轉換期經濟學	木村禧八郎	一・五〇	三三	太陽社
世界經濟年報(20)	ヴアルガ 經濟批判會	・八〇	一五五	叢文閣
銀行及金融市場	松崎壽	三・八〇	五五五	文雅堂
生產の本質と生產教育の實際	峰地光重	二・五〇	三六	厚生閣
米穀統制法と生產費問題	櫻澤千藏	非◎	八五	櫻澤千藏
辯證法的經濟學方法論	アベズガウス 外一・岡本韻外一郎	一・〇〇	三八	白揚社
最新商品學概論	上坂酉三	三・五〇	四六一	東京泰文社
世界恐慌下の國際貿易政策	手野常治	一・〇〇	一五三	森山書店
稅制の理論と實際	濱田哲九郎	二・五〇	二四一	大阪財務協會
會計學原論提要 第二編財產評價論	有本邦造	一・二〇	二五六	大同書院
社會經濟學原論	岡田實	三・〇〇	一五五	丸善株式會社
商工經營綱要	鈴木保良	一・八〇	二六二	丁酉社
我國に於ける產業統制の沿革的調査	國家經濟研究所	非◎	一三	國家經濟研究所
Essay's on Economics Current Economic Problems	武田藏造	三・二〇	八五	大觀堂書店
	同	二・七〇	八七	同
經濟學教程	レオンチエフ 小原次郎	一・二〇	四二	希望閣
非常時財政と財界	西野喜與作	・九〇	二五	高瀨書房
經濟原論	高田保馬	三・五〇	三四	日本評論社
經濟學研究	中山伊知郎	七・五〇	六三	森山書店
Modern Ideas Social & Economic	武田藏造	一・五〇	二五五	大觀堂書店
蠶絲業と國際經濟	森本宋	・五〇	三〇	明文堂
資本論註解第二卷	ローゼンベルグ 淡德三郎外一	一・七〇	五七	改造社
世界經濟恐慌の動き	茂森唯七	一・〇〇	三〇〇	隆章閣
Outlines of Bussiness Administration	角田誠造	三・〇〇	二〇三	東京泰文社
Applied Bussiness Correspondence	中村賢二郎	三・〇〇	五八	積文堂
非常時日本の財政及經濟	津村秀松	一・〇〇	二四	寶文館

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
改版日本經濟史文獻	本庄榮治郎	七・〇〇	九〇〇	日本評論社 京橋
貨幣信用及び物價「アジア的生産樣式」に就て	レヴィンスキー・大越貞一	・八〇	一三四	紅谷書店 本郷
常識經濟讀本	早川二郎	三・〇〇	三八〇	白揚社 神田
簿記原理大綱	高橋渡一	三・二〇	三九六	南光社 同
分配の理論と實證	上野道輔	三・八〇	三四二	有斐閣 同
銀行及金融	東晋太郎	三・三〇	二三三	内外出版印刷株式會社 京都
利殖總攬 株はどう動く	松崎壽一	一・八〇	三五六	文雅堂 劇町
經濟學概論(前期)	住石政雄	三・〇〇	二四六	隆盟館 淺草
一般經濟史	河村宜介	・七〇	八六	平野書店 京都
【五月】	吉田秀夫	非〇	二五六	吉田秀夫 中野
要領を得た經濟常識	片山三郎	・三五	一三〇	文正社 本郷
世界經濟會議の解說	白石幸三郎	・一〇	六〇	朝日新聞社 東京大阪
金の王座	塚本義隆	・五〇	六〇	新聞聯合社 大阪
簿記學理論と實際	青木倫太郎外一	三・五〇	四七〇	大阪寶文堂 同
採算の仕方	阿部貞之助	・五〇	一六〇	創造社 小石川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
商業政策	楫崎敏雄	一・七〇	三九〇	中央書房 神田
經濟學方法論	高村象平	一・五〇	二六三	大倉書店 日本橋
マルクス主義經濟學第三卷	直井武夫	一・三〇	二六五	叢文閣 劇町
日本の危機世界經濟會議はどうなる	藤岡啓	・八〇	二三四	高瀨書房 京橋
株式相場速解	長谷川光太郎	一・二〇	二三三	時潮社 同
世界經濟と世界政治 第三輯	世界情勢研究所	一・〇〇	一九〇	叢文閣 劇町
小額金融制度論	井關孝雄	二・〇〇	二九三	東京書房 京橋
明治前期財政經濟史料集成 第八卷	大內兵衛外一	◎	六五五	改造社 芝
電力外債非常時經濟論	蘇原古壽	一・〇〇	四二五	電氣經濟研究所 大阪
貨幣讀本	山崎覺次郎	一・二〇	一〇〇	日本評論社 日本橋
新女性經濟講話	沖中恒幸	一・五〇	二九八	森山書店 神田
爲替管理と其實際	長山清	一・八〇	二九〇	太陽社 同
現代經濟恐慌と資本主義の將來	岩田百合治	・八〇	九二	章華社 目黑
外國爲替改訂版	小林行昌	三・二〇	四二〇	世界堂書店 牛込
世界經濟事情	宮崎力藏	一・八〇	三二〇	巖松堂 神田
三つの經濟學	ゾンバルト・小島昌太郎	三・五〇	四二〇	雄風館書店 同

伊原青々園著

明治演劇史

（最新刊）

整然たる上下一貫の大演劇史愈々完成！

著者は人も知る斯界の權威、明治劇壇を終始すること數十年、玆に其貴重資料と多年苦心研鑽の結果とを大成して、本書を著はした。先づ五世彦三郎・四世芝翫より、川上・伊井等の新演劇勃興に至る迄を三期に分ち、稀代の名優團・菊・左を中心として、京阪の諸名優、若き時代の歌右衛門・仁左衛門・雁治郎等の華々しき活躍振、偖は先代勘彌の暗躍を廻る諸劇場の盛衰記、又默阿彌・櫻痴等の作者と其作品に至るまで細大漏らさず、加へて多數の寫眞版を挿入して、明治劇壇の全貌を示して遺憾なからしめた。前二著「日本演劇史」「近世日本演劇史」と共に一貫して本邦唯一の大演劇史を成したが、特に本書は豪華多彩の明治劇壇を記念する最大の金字塔である。

菊判 總布 八百 六雅 十函 入 頁
定價 五圓 郵稅 二十二錢 圖

明治演劇史の二大姉妹篇

日本演劇史 價五・〇〇 稅二二・

近世日本演劇史 價五・〇〇 稅二二・

東京 牛込 早稻田大學出版部

振替東京一一二三 電話牛込三四五番

東京高等學校教授 森本 竹城著

清朝儒學史概說

四六判 三五〇頁 定價三・二〇 送料一四

支那近世四百年間に於ける學の驚異的發達を促した所以の動機を探つて縱橫に解剖論斷しその推移と歸趨を論じ各學派を組織立てゝ其源流を平明に叙す

文學士 坂井 衡平著

國文學研究論叢第一輯 古文學の詩味

四六判 三七〇頁 定價二・八〇 送料一四

上代文學の論考を主とし國文學發達の諸相を精說して國文學の妙味と新分野に到る方法的研究及び作品研究を主眼として日本文學の光りを高調す。

文學士 坂井 衡平著

國文學研究論叢第二輯 和歌と傳說

四六判 二五〇頁 定價二・八〇 送料一四

國文學發達に於て最も原始的源流を成し且つ著しき發展的要素と成れる和歌と傳說の諸時期に於ける代表的作品及び稀珍の資料を收錄して詳述す。

中村 榮代 中村 喜松著

新編 家庭看護法

菊判 二三四頁 定價三・五〇 送料一四

最近進歩せる臨床治療の學理と實際に一々基礎し又家事科教授の經驗を通して合理的且つ實際的なる家庭看護法を詳述し病人食物調理法をも述ぶ。

醫學博士 羽太 鋭治著

學校家庭・資料と實際 性教育の研究

四六判 三七〇頁 定價三・〇〇 送料一四

苟も性に關する事項は盡く網羅して餘さず詳述す性慾の精髓を味ひ性教育の眞諦を理解せんとする人及び性慾に惱む青年男女の有益なる指導書なり

加藤 柴山編書

草書便覽

四六判 三七〇頁 定價一・八〇 送料一四

音訓畫の索引で實用文字三千五百字の崩し方が直ぐ分る系統的に排列してあれば應用して四千五百字の崩し方が會得出來る。文筆家机上必備書なり

加藤 柴山書 ペン毛筆

趣味と實用とを兼ねたる 三體千字文

菊判 三六頁 定價一・二〇 送料一〇

三體千字文！本書は靈筆を揮ひ通信文詩歌抒情文等を楷行草篆隷假名英字等を以て種々の樣式で、書は諷刺畫人物畫風景畫スケッチ等に天才的妙技を揮はる。

柳瀨 佐藤陸一編書

趣味と實用とを兼ねたる ペン習字とペン畫

菊判 三六頁 定價一・〇五 送料一〇

ペンと毛筆を同一書體で對象した三體千字文！本書出で初め毛筆ペンの聯絡ある好習字手本に接しその筆致を極め何人をも能筆家たらしむべし。

柳瀨 佐藤陸一編書

ウェーバーの法則による 模範ペン習字

菊判 三六頁 定價一・〇五 送料一〇

基本運筆法に從り楷行草の諸體を以て種々の樣式折手本美裝幀に及び良くペンの特質を捉へ美妙の筆致を揮ふ。

帝國記憶學會長 渡邊 彰平著

ウェーバーの法則による 英語一萬暗誦法

四六判 二六〇頁 定價一・二〇 送料一〇

本書は多年記憶心理の研究に盡粹せる著者が最も有效なる音寫的觀念聯合術を應用して成れるもの讀むと覺える忘れぬ思ひ出せる天才的工夫書なり

陸軍大尉 黑木 謇樹著

最新自動車オートバイの講義と高級操縱調整・電氣裝置說明

四六判 三六〇頁 定價三・〇〇 送料一四

自動車オートバイの學理、構造、操縱、調整、故障發見、修繕、保存並に電氣裝置等最近の改善進歩に基き徹に入り細に亘り多數の挿圖と共に解說せり。

東京 市本町一丁目 砂一五番地 鄉區

文書堂發行

振替口座 東京六二二〇二番

文學博士 大槻文彦先生著

言海

中形版 四六判布裝 定價貳圓貳拾錢 送料拾八錢

小形版 菊判半載形 定價壹圓八拾錢 送料拾貳錢

國語界の木鐸として年を經るに隨ひ需要益々增加す

辭書界の最高權威 全國中等學校の指定辭書

校閲

文學博士 井上賴圀先生
文學博士 上田萬年先生
文學博士 萩野由之先生
文學博士 芳賀矢一先生
文學博士 關根正直先生
文學博士 和田萬吉先生

佐村八郎先生著

增訂 國書解題

新附載 濱野知三郎先生編 叢書目錄

菊判天金背革特製 全二冊各箱入美本

定價金貳拾五圓
特價金拾五圓
送料金四拾貳錢

國書解題は我國の國書を網羅して之が內容を說明し且著者の傳を詳記せるものにして讀書子の座右に缺くべからざるもの也。殊に其索引の完備せると叢書目錄を增補したるとは本書を利用する上に一層便益なり。併せて以て其用途廣大ならん。敢て大方の清鑑を待つ。

東京 日本橋 吳服橋 株式會社 **林平書店**

振替口座 東京二三七一番

ローマ字問題

Amerika Kantai no Hikiage

Hakunaga-Kyôsuke

初等ローマ字教科書 10種類

ローマ字書き 太學・高等專門學校教科書 10種類

文藝・宗教・國字問題研究書

外國人向日本語教科書等 50種類

ローマ字月刊雜誌 3種類

長原坦雲 松浦四郎編 ローマ字繪本	兒山敬一小唱集 星とリンリン	土岐善麿編 田丸博士論文選集	山崎喜重郎著 高等數學の手ほどき	鈴木和一譯註 對譯 自殺クラブ	福永恭助述 ヘボン式ローマ字を論撃滅する	本年度新刊書
・四〇 送〇四	・二五 送〇二	・七五 送〇六	三・四〇 送一四	一・八〇 送一〇	・三〇 送〇四	

東京市麹町區有樂町一丁目ミツ柏ビル

財團法人 日本ローマ字社

振替東京 21504 電話丸之内(23) 4037

關係書籍

廣 一三三

食糧教育資料 ★

出版圖書御案内

食物知識は萬人に必要です。貴方自書の爲のみならず、贈答用にも、本會發行の書籍を御利用下さい

雜誌 **糧友**

營業雜誌と官廳純研究誌の特長を採つた雜誌

毎號百六十頁 一ケ月 三十錢 郵稅一錢五厘 六ケ月 一圓六十二錢 郵稅共 一ケ年 前金三圓 郵稅共

著者	書名	定價	送料
糧友會編	日本主要食品榮養圖解(繪畫) 上製	5.00	.30
	並製	3.50	
糧友會編	繁富化山共編(新版) 食品の選擇 榮養價計算早見書	2.50	.14
陸軍糧秣本廠編	基本料理法 (附、簡易病人食)	1.50	.14
陸軍糧秣本廠編	炊事教育參考書 榮養概念・食物知識	0.50	.04
陸軍糧秣本廠編 炊事教育參考書	調理概論	0.50	.04
丸本彰造著	食品學圖譜	0.80	.04
滿田百二著	肉の捌き方	1.00	.04
陸軍糧秣本廠編	罐詰食用上の心得	0.10	.02
同	食中毒豫防心得	0.10	.02
糧友會編	食品カロリー一番附、食品蛋白質澤附、食品酸性アルカリ性質 食品ビタミン一番附、食品含水炭素脂肪量番附	各5錢	宛
同	胚芽米の研究	0.20	.04
丸木彰造著	世界大戰に於ける米國食糧政策成功の三大單因	0.15	.02
同	野營の炊煙(キヤムプ法)	0.20	.04
同	食糧問題と吾等日常の食物	0.10	.02
同	ライ麥考	0.10	.02
同	大震災に於ける食物の思出と記念食機嗤、附記念食譜及パンの實驗	0.05	.02
同	國民食改善とトマト附トマトの栽培と其調理法	0.15	.02
岡崎桂一郎著	日本米食史	7.00	.30
陸軍糧秣本廠編	日本兵食史 上製卷	3.50	.22
	並製卷	5.00	.30
同	戰時の食糧問題に就て	0.50	.04
石本喜代松編	食養修身錄	1.00	.08
阿久津正藏著	パンの科學	3.00	.22
同	獨乙パン	0.0	.06
同	パン燒竈の進歩	0.30	.02
糧友會編	食糧常識	0.20	.04
同	小兒の榮養	0.20	.04
同	食養上の實際(食餌療法)	0.20	.01
同	家庭貯藏壜の詰方	1.00	.10
同	家庭パンと菓子の作り方(印刷中)		
島丈道著	民間病理高病窓生蟲論	0.20	.02
長妻篤著	海軍に於ける航空糧食研究	0.20	.02
奥田寛太郎著	農村振興と教育	0.20	.02
滿田百二著	キヤンプ調理法	0..0	.02
齋藤米子著	食を中心とせる豫算生活	1.20	.10
松蘭淨著	實業養兎全書	1.50	.08
滿蒙資源館編	滿蒙資源要覽	0.20	.01
藤卷有本著	榮養及食品の化學	3.00	.14
藤原九十郎著	食の衞生	2.00	.12
日本罐詰協會編	罐詰製造講義 上卷	4.00	.22
	下卷	4.50	.22
本山荻舟著	懷石菜譜	1.00	.06
小野辰次郎著	各種ソース製造法	1.80	.12
白井紅酪	農と牛乳	1.20	.04

頁次書

會員の期限宣の成に拙より辭貴の書も取纏めてお取次致します

會員奉仕 知識は行爲の動力、讀書は知識の源泉、本會は會員の爲にどんな書籍でもお取次します。著書名發行所價格送料をお知らせ下さい。

東京陸軍糧秣本廠內

發行所 糧友會

電話本所一一〇三番

振替東京一六九〇二番

店員操典

平澤怕著　定價三十錢　送料二錢

推薦

商工參與官　松村光三閣下
文部參與官　石坂豐二閣下
日本商工會議所　渡邊鐵藏博士

大好評!!重版又重版

人は一日に商賣と言ふが、本書を讀まなければ商賣必勝の大道は拓かれぬ。

日米百貨店が門外不出としてゐた店員の絶對必要訓練條項を參蒐せる日本最初の最高權威書!!

店員訓練に就いては日本隨一と稱せられ、現に東京の某大百貨店の最高幹部の重職にある新進の權威者である著者が多年參蒐研究の結果始めて刊行されし本書こそ、全國商店經營者諸君にとりては經營の羅針盤であり、商店員諸君にとりては立志成功のバイロットである。

目次

商賣十則
訓話要項
第一條　新店員
第二條　勤務時間
第三條　休暇及願
第四條　届
第五條　品物の出入
第六條　外出
第七條　裝飾
第八條　服相
その他六十八條迄談

發兌　東京市赤坂區溜町一ノ一　溪文社　振替東京九五九〇番　東京市牛込區神樂坂六八

シュタンゲ著　基督教的世界觀と哲學的世界觀　價一、〇〇　送一、一〇
宮本武之助譯
マイアーズ作　齋藤勇譯註　聖パウロ　價一、五〇　送一、六〇
麻生隆義著　パウロ書翰概說　價一、六〇　送一、七〇
高倉德太郎著　聖書の宗教　價一、〇〇　送一、一〇
メイチエン著　角田桂嶽譯　基督教とは何ぞや　價一、四〇　送一、五〇
鈴木傳助著　改革主義の信仰　價一、〇〇　送一、一〇
日本神學校編　基督教文獻假目錄　價〇、八〇　送〇、九〇
中川景輔著　ロマ書の精神　價一、五〇　送一、六〇
山谷省吾(1)　テサロニケ前後書　價一、四〇　送一、五〇
ガラテヤ書　價一、五〇　送一、六〇
新約聖書(2)　コリント前書　價一、六〇　送一、七〇
新譯と解釋(3)　コリント後書　價一、四〇　送一、五〇
淺野順一著　詩篇選釋　第一卷　價一、五〇　送一、六〇
淺野順一著　豫言者の研究　價一、五〇　送一、六〇
小野村林藏著　神に憬動する心　價一、五〇　送一、六〇
高倉德太郎著　福音的基督教　二、〇〇　送二、一〇
同　（普及版）　一、〇〇　送一、一〇
同　（普及版）　一、五〇　送一、六〇
著恩籠と眞實　一、〇〇　送一、一〇
著基督教世界觀　一、〇〇　送一、一〇
同　（普及版）　〇、六〇　送〇、六六
(1)神の愛と神への愛（各普及版）　二、〇〇　送二、一〇
(2)祈禱の戰場　〇、五〇　送〇、五六
(3)決斷的信仰　二、三〇　送二、四六
カイパア著　上田丈夫譯　カルヴィニズム　一、三〇　送一、四六
フオルサイス著　麻生義譯　十字架の神學　一、四〇　送一、五六
同　著　信仰と道德　二、〇〇　送二、一四
松尾相譯　義認と聖化　〇、五〇　送〇、五四
ハルナツク著　森佐一良譯　基督教之本質　一、〇〇　送一、一〇
同　基督教會教理の成立　二、三〇　送二、四六
村尾圭介著　療養夜話　一、四〇　送一、五〇
武藏野歌會編　東雲のまぶた　〇、九〇　送〇、九六
全生學園文集　晨影　二、五〇　送二、六〇
白石天羽子編　雜林　一、四〇　送一、五〇
征矢晃雄著　アウグスチヌスの研究　一、六〇　送一、七〇
同　著　信仰と道德　二、〇〇　送二、一四
ロツツ著　ファシズム政治理論　〇、六〇　送〇、六四
長崎太郎譯　日本神基督教文獻假目錄　〇、八〇　送〇、八六
帝國大學學生基督教共助會編　森明選集　〇、五〇　送〇、五六
ベイリー著　基督教の中心問題　二、〇〇　送二、一四
桑田秀延譯　熊倉双葉編　一、三〇　送一、四六

東京市早稻田區鶴卷町　長崎書店　振替東京六八八一七番

受驗者必携の二大良書（内容見本呈 通）

第六高等學校講師 木畑竹三郎 著　三六判總ロクース 三百三十六頁

常用英文熟語例解

受驗用 定價一圓廿錢 送料六錢

英文解釋の第一要件は單語の知識の豐富なことゝ，熟語，成句と特殊なる構文の型に熟習するにある。本書は之に重きを置き，高等學校入學試驗に試みんとする學生諸氏の爲，最近の入試問題中より選び全部を譯し，尚に特に熟語成句に一々適切なる譯を示して少數の日時に熟習し得る樣講述してある。

鈴木芳松 著　四六判總ルビ 三百三十餘頁

英作文の生命 受驗生 要領解説

受驗用 定價一圓廿錢 送料十錢

本書は著者が多年受驗生の爲に親しく教授され，幾多の經驗と，受驗界の實情とに準據して編述されたもので，英作文の文法上，注意すべき點を擧げ，例文を以て說明し，尚ほ最近の入試問題中より重要なるものを選び，之が解答を與へ，且つ英作文の練習問題を多數掲げ，以て讀者の自修に便ならしめた。

四六判總布裝 一千六百餘頁（内容見本進呈）

熟語本位 英和中辭典

齋藤秀三郎先生六十年の努力結晶になる二大名辭典記念特賣

百萬部突破記念 特價貳圓卅錢 送料 内地廿二錢 市内六錢 領土六十二錢

日本英學界の泰斗齋藤先生が一言一句自ら手を下し，且つ本書を以て畢生の事業とせられたもので，内容の豐富，熟語，語法，文例，慣用，同意語，反對語，前置詞の用法に至るまで微細の點に力を注ぎ，現今英學を志す人士にして本書を手にせざるものはなかるべく，實に本書は，英和辭典の模範として，又中等學校の教科書として，最も適當なるものである。

縮刷判四六倍判壹千百七十頁（内容見本進呈）

齋藤 和英大辭典

定價二十圓の大冊と同一内容 特價五圓半 送料 内地卅錢 市内六錢 領土七十五錢

本辭典は他の和英辭典に比し，頗る新しく，且つ完全なる點に於て，又，常用の動詞，形容詞，副詞，熟語，諺語，其の他，日常會話に必要なる語句を網羅し，且つ，和歌・俳句・慣用句等迄を引用し，其の解釋に當りては，文法的に，又，修辭的に，懇切丁寧を極めたる點に於て，實に本辭典は，從來の和英辭典の模範として，又，參考書として，最も適當なるものである。

發行所 東京市神田區 千代田町廿八番地 日英社 電話神田二〇四五番 振替口座東京二六三三一番

萬人矚目

服部操著 日華大字典 廉價版發售

京都帝國大學講師 徐 仁怡 先生
京都帝國大學講師 傅 芸子 先生
大阪外國語學校教授 關 恩福 先生

御推薦

漢字索引 日華大字典

定價金五圓 郵費三十三錢

此書組織斬新内容完備印刷精明價目低廉各界賞讃不已稱爲標準的辭典於類書中殆無比儔華滿各處學界定購愈多又紛々寄信推賞留東學士亦必購一册以備案頭蓋緘此書足能讀東文萬卷敝館今次覺悟一大犧牲重印廉價版謀求普及以酬學界多年之眷顧研究東文學士各位曷速購一册以爲指南

京都西洞院七條 市外出版印刷株式會社 振替口座東京三九三三一番 電話大阪三九三三一番

本居宣長翁 書簡集

文學博士 佐々木信綱 序
臺北帝大教授 文學博士 植松安 序
宣長翁玄孫 本居清造 序
奥山宇七 編

菊判上製七百七十頁
▼定價金五圓五拾錢
（內容見本邊呈） 送料廿二錢

百五十年の昔「敷島の大和心を人問はゞ朝日に匂ふ山櫻花」と詠じて大和魂を道破して大いに日本精神を發揮し、遠く明治維新の源泉を生みだしたのは、國學の泰斗にして日本精神の鼓吹者たる吾が本居宣長翁である。翁に關する書は從來幾種か刊行せられたるに、翁の全生涯を通じての私的消息を集めた書簡集の久しく刊行され得なかつたことは、誠に遺憾なことである。

然るに今回翁と鄉國を同じうする編者の苦心努力に依り之れが初めて大成されたことは學界の一大慶事である。本書收むる所翁の二十五歲より七十二歲に至る迄の書簡五百九十通に及び、殆んど洩す所がない。尙書簡には編者の親切なる「註」を附し、又卷頭には翁の樣々の肖像や數葉の珍らしい寫眞を初め新らしい研究に依る本居家の詳細なる年譜並姻戚の系圖を揭げて研學者の便に資してゐる等實に至れり盡せりである。

學者・教育家は勿論、何人も一本を備へ宣長翁の精神風丰に觸れ以て日本精神の眞髓をつかめ。

發行所 東京市本鄉區元町二ノ二一 啓文社書店 電話小石川五五二九番 振替東京三八七七六番

新刊

株式會社定款論

法學博士 烏賀陽然良 序
辯護士 西本寬一 著

菊判上製四五〇頁
定價參圓八拾錢
送料貳拾貳錢

「本著の名は狹少なる株式會社定款論なるも其の實は堂々たる株式會社法論にしてあらゆる問題を把握して精緻に之を檢討し諸學者の說を交叉講究して論評する所自ら一家風を作す——株式會社法を徹底的に講究せんとする學徒にとつては無二の參考資料にして又株式會社に關する實務をとるものに對しては唯一の指導書たりと云ふも敢て過褒ではない」之、本書に對する著者は株式會社を專攻せる新進の學徒にして、其の說く所は、總べて判例、訓令、回答は悉く之を引用し、且商法改正要綱につい決議、文例は勿論學者講究の便益に供すると共に、實務家の參考に資せり。本書は實に學者實務家の何れを問はず、凡そ株式會社に關心を有する士にとりては、無二の參考資料たりと云ふも敢へて過言ではない。

大阪北區梅田一九一番（振替大阪三一六五七番）
株式會社 大同書院
東京神田區新道二七五二番（振替東京八一二二八番）

詩學叢書

書名	編者	菊版 定價	新税
白樂天詩集	近藤元粹	一・二〇	六
李太白詩集	近藤元粹	一・二〇	六
王陽明詩集	近藤元粹	一・二〇	四
蘇東坡詩集	近藤元粹	一・四〇	八
清六家詩鈔	近藤元粹	二・〇〇	一四
陶淵明詩集	近藤元粹	一・二〇	六
箋註宋元明詩選	近藤元粹	・八〇	六
詩韻含英異同辨	谷喬	一・一〇	四
詩學活法	福井淳 新撰	一・一〇	四
絶句類選	津阪孝綽 評本	一・八〇	八
詩作獨學自在	近藤元粹 近藤石顛	・九五	四
詩作自在	大塚子成	・四五	四
日本名詩評釋	中村徳助 近藤元粹	・八〇	四
山陽詩鈔新釋	近藤元粹	・八〇	四

東洋文學の眞髓

東洋文學の最高峰として萬古不朽の名をほしいまゝにする名著の粋である。

泰西文化に飽滿した現代人はすべからくふりかへつて脚下の光明をみつめられよ。

「亞細亞に還れ」と言ばれる今日、座右に一本を備へて清楚の氣を滿喫せられんことを望む。

大阪南區安堂寺橋通三ノ一五 振替大阪四三三
東京神田多町二ノ九 振替東京四一八

田中宋榮堂

刊 るめ 摑を點要の習學と驗受 新

化學上 物理學上 鑛物學上 生理衛生學上 動物學上 植物學上 地理上 日本地理上 西洋史上 東洋史上 日本史上

實費提供

定價各六十錢

實費提供

破格

定價各壹圓

一、學習上勞力と時間との經濟なり
一、各科共最近高等の試驗問題を添付せり
一、向を知るに便なり
一、索引丁寧なれば檢出すに便なり
一、試驗問題の種類及傾
一、記憶整理解說特に懇切なれば
一、至極便利なり
一、三六版なれば携帶に
一、値は頗る低廉なり
一、內容新舊新舊參せり
一、目に據り編纂せりして
一、最新中等學校教授要

本書特色

突飛破格

の中學參考書

壓卷出現す

發行所 大阪市南區安堂寺橋通三ノ一五四 振替大阪一六四一番

◎資本金壹億四千九百拾八萬八千圓◎

本社　東京市王子區王子町

王子製紙株式會社

營業所　東京市麴町區有樂町一丁目一番地
三信ビルデイング内

工場所在地

王子工場	東京市王子區王子町
十條工場	東京市王子區下十條町
江戸川工場	東京市江戸川區東篠崎町
千住工場	東京市荒川區南千住町
亀戸工場	東京市城東區亀戸町
中川工場	東京市足立區大谷田町
都島工場	大阪市北區善源寺町
淀川工場	大阪市東淀川區長柄濱通
京都工場	京都市右京區海津大鋼場町
神崎工場	兵庫縣川邊郡小田村
能野工場	和歌山縣東牟婁郡新宮町
富士第一工場	靜岡縣富士郡鷹岡町
富士第二工場	靜岡縣富士郡富士根村
富士第三工場	靜岡縣富士郡加島村
芝川工場	靜岡縣富士郡芝富村
岩淵工場	靜岡縣庵原郡富士川町
名古屋工場	名古屋市南區船見町
中津工場	岐阜縣惠那郡中津町

工場所在地

伏木工場	富山縣射水郡伏木町
小倉工場	小倉市篠崎
八代工場	熊本縣八代郡太田郷村
坂本工場	熊本縣八代郡上松求麻村
苫小牧工場	北海道札幌郡江別町
江別工場	北海道札幌郡江別町
釧路工場	北海道釧路郡鳥取村
池田工場	北海道中川郡川合村
金山工場	北海道空知郡南富良野村
大泊工場	樺太大泊町
豐原工場	樺太豐原町
落合工場	樺太落合町
知取工場	樺太知取町
眞岡工場	樺太眞岡町
野田工場	樺太野田町
泊居工場	樺太泊居町
惠須取工場	樺太惠須取町
朝鮮工場	朝鮮新義州府麻田洞

サダグ多色グラビア

諸印刷及活字販賣

當社設備

- □活版輪轉機　二十二台
- □活版平臺印刷機　六十五台
- □オフセット四色輪轉機一台
- □グラビア三色輪轉機　二台
- □グラビア單色輪轉機　三台
- □活版二回轉印刷機　二十台
- □活版小型各種印刷機　二十五台
- □平版オフセット印刷機三十五台
- □グラビア（枚葉紙三台連結）三色機　一台
- □グラビア枚葉印刷機　三台

創業明治九年十月
資本金四百萬圓
從業員一千五百人

株式會社　秀英舍
東京・牛込・市谷加賀町

タイレクトプレート平版

增補 **模範佛和大辭典**

專門十大家編 定價九・〇〇 送料・三三

新佛和小辭典 佛蘭西文學會編 價二・八〇・送・一五

新佛和熟語辭典 德尾俊彦編 價二・八〇・送・一五

標音佛和辭典 山本直文編 價二・〇〇・送・一五

佛蘭西語不規則動詞逆引辭典 野口洪基編 價二・五〇・送・一五

白水社和佛辭典 丸山順太郎編 價三・八〇・送・二一

改訂佛和兵語辭典 ジェ・ルノンドオ編 價二・八〇・送・一五

ソウェート略語辭典 滿洲國事務官 佐藤通男編 價一・五〇・送・〇六

語學書目錄月報 進呈

文藝書目錄 進呈

白水社 露和大辭典

原型版（四六倍判）・定價拾二圓・送料（內地五七錢）（植民地八八錢）

縮册版（菊判）・定價八圓五十錢・送料（內地四五錢）（植民地七五錢）

滿鐵・東亞經濟調査局編

東京市神田駿河臺下 佛蘭西原書直輸入

白水社

振替東京一一九二二 電話神田三五九八番

インフレーションの基礎理論	猪俣津南雄	・八〇	○ 二四一	改造社	芝
資本論註解（第三卷）	ローゼンベルグ・直井武夫外一	一・五〇	○ 四三三	同	同
非常時財政の內容	大藏省	・三〇	◎ 七七	日本評論社	京橋
我國共濟組合の現狀	町田辰次郎	一・〇〇	○ 五二五	協調會	芝
清算期 世界經濟と日本	高橋龜吉	一・五〇	○ 三七三	千倉書房	京橋
金融用語解說と金融知識	增田邦雄	一・二〇	○ 一三〇	大文館	神田
金融財政一般數理	塚本文治	四・〇〇	◎ 三九六	松邑三松堂	京橋
テクノクラシイへの挑戰	中島正信	・七〇	◎ 七七	章華社	麴町
インフレーションの經濟學	名取文夫	・六〇	○ 一六二	同人社	神田
金融用語解說と金融知識	增田邦雄	一・二〇	○	大文館	同
これが映畫だ 夢の工場	イリヤ・エレンブルグ・岩崎昶	一・五〇	○ 三五二	往來社	麴町
經濟學研究 二	中山伊知郎	一・八〇	◎ 三八三	岩波書店	神田
マルキシズム批判	ヨハンネス・ラウレス	・九五	○ 二〇七	上智大學	麴町
商品學要說 上	河村信一	一・四〇	◎ 二〇〇	甲文堂書店	大阪
農村經濟政策論	八木澤善次	四・二〇	◎ 五五四	巖松堂	神田
純粹經濟學要論上卷	レオン・ワルラス・手塚壽郎	二・三〇	◎ 二七七	森山書店	同
小切手取引論	畝川元夫	二・〇〇	○ 二九六	日本會社研究會	大阪
世界經濟と世界政治改訂版第二輯	世界情勢研究會	一・二〇	◎ 二四一	叢文閣	麴町
誰にもわかる新聞經濟面の讀方	明治圖書出版協會	・五〇	○ 一七一	明治圖書出版協會	神田
年六回轉目標 小賣經營論	清水正己	一・八〇	○ 五九三	誠文堂	同
國際經濟論	正井敬次	三・五〇	◎ 四六二	甲文堂書店	大阪
自給自足と朝鮮の資源	蜂川新	・〇五	○ 二九	自衛社	澁谷
日本古代經濟交換篇第二册市場	西村眞次	二・五〇	△ 一七六	東京堂	麴町
【六月】					
金融論上	黑川芳藏	非	◎ 九四	凡進社	京都
何故に米國景氣が物を言ふか	本郷傳次郎		○ 六六	新井商店	大阪
改訂支那輸出入關稅定率表	大阪市	・二〇	◎ 五一	大阪市	同
世界經濟會議は日本の景氣にどう響く？	大阪每日新聞社	・一〇	○ 五八	大阪每日新聞社	同
投機で失敗する原因と大勝の秘訣	平田川龍	一・五〇	○ 一四五	默平堂	廣島
今季の相場	中島道翁	五・〇〇	◎ 八六	中島道翁	神奈川
物價と所得	氣賀勘重	非	◎ 九六	國民工業學院	麴町
絕對無損株式賣買術	塚谷雅仙	二・〇〇	○ 一四一	大同書院	大阪
世界經濟と世界政治改訂版第三輯	世界情勢研究所	一・〇〇	◎ 一九〇	叢文閣	麴町
東京市民の所得調査	東京市役所		◎ 七七	東京市役所	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
生命火災保險講義案總論	喜多直之助	非◎	一〇九	凡進社 京都
生命保險會社の解剖	落合久次	△	一五〇	經濟情報社 劉町
金、銀、貨幣の話	柏通明	一・三〇	二六三	太陽堂 神田
有望投資株の研究 炭鑛編	勝田貞次	一・五〇	二四三	景氣研究所 劉町
朝日經濟年史	大道弘雄	一・五〇	二六二	朝日新聞社 大阪
國際經濟會議 世界經濟の現情勢	國際聯盟事務局東京支局	一・五〇	二五〇	國際聯盟 麻布
インフレーションの經濟學 改訂版	名取文雄	一・五〇	一六三	同人社 神田
世界經濟回復	ソールター 東京政治經濟研究所譯	一・二〇	二九三	岩波書店 同
經濟學改訂版第三卷	直井武夫	一・三〇	二六六	叢文閣 劉町
鄉土經營學經濟編	東木龍七	一・九〇	三二四	古今書院 神田
交通貨率の研究	島田孝一	三・七〇	二四〇	東京泰文社 牛込
淺草經濟學	石角春之助	一・五〇	五三	文人社 淺草
千葉縣經濟更生計畫大觀	千葉縣內務部	◎	九〇三	千葉縣內務部 千葉
外國爲替の基礎知識	木村增太郎	一・七〇	一八〇	刀江書院 神田
皇道經濟概論	三浦延治	・三〇	一二〇	日本主義名古屋社 名古屋
現代金融論				東京書房 京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
電氣企業形態論(一)	電氣經濟研究會	非○	三三	電氣經濟研究會 大阪
通信特別會計の生れる迄	內海朝次郎	三・〇〇	三七九	交通經濟社出版部 神田
株式投資と賣買の仕方	平田茂生	一・五〇	三一〇	森山書店 同
金融革命宣言	久保久治	一・二〇	二〇三	千倉書房 京橋
日本耕地價格の研究	小峰三千男	三・五〇	三二〇	高陽書院 神田
國民所得の構成	土方成美	三・〇〇	二九一	日本評論社 京橋
生產立地論大要	菊田太郎	一・二〇	三一九	古今書院 神田
金融景氣とその限界	高島佐一郎	一・五〇	三九一	千倉書房 京橋
經費節約及緊縮	田中要人	三・七〇	三九五	文雅堂 劉町
本邦に於ける小麥の需給	佐藤貞次郎	一・〇〇	一七九	東亞經濟調査局 同
棉花相場の見方	濱野恭平	一・七〇	二九三	文雅堂 同
產業組合調査資料 第四第一次四種兼營產業組合に關する調査	花田凌雲	一・〇〇	四七八	產業組合中央會 牛込
公民經濟	宮崎力藏	一・五〇	一七五	巖松堂書店 神田
マルクス記念論集 資本論研究	レオンチエフ 大竹博吉・外七	二・八〇	四二五	ナウカ社 同
財界跳ね釣瓶	和田信夫	三・〇〇	二九三	寶文館 日本橋
財界日照り雨		・三〇	二七七	同

相場用語解說と相場知識	金融經濟會	一・〇〇	一六四	增田邦雄 神田
株式相場の實業化	奧山喜惣治	三・五〇	二七八	甲陽研究所出版部 大阪
支那貨幣研究	吉田虎雄	三・五〇	三〇四	東亞經濟研究會 山口
小資本活用現代の商賣	結城豐一郎	一・五〇	一五七	白水社書房 劉町
圖解滿洲產業大系第一卷農業篇上卷	秋田忠義	△	三三	報知社 同
社債研究資料第一集	田邊三郎	一・二〇	二九	社債制度調査會 赤坂
特殊株式の研究	不破棄一郎	一・二〇	三三	株式會社一證券會社 日本橋

【七月】

テクノクラシー解說	會田毅	・五〇	四〇	社會教育協會 小石川
短期大新日々表	後藤一平	・八〇	二六八	金田辰藏商店 大阪
投機寶典	板垣靜介	五・〇〇	三四	板垣靜介 愛知
最新經濟學研究	國家試驗編輯部	・五〇	一九八	育成洞 本鄉
各國英大小輸入關稅	福島英次郎	一・〇〇	一九五	福島英次郎 大阪
勝地讖岐と其產業陣營	諏訪隆朗	◎	五〇	香川新報社業部 高松
佛國インフレ時代改訂輸入稅表(分類附)	伴野文三郎	・五〇	二七	森山書店 神田
	小倉正	五・〇〇	三六	內外同志會 神戶
	井上達子	◎	出版部	
日本產業組合論	日本產業新報社	・三〇	一三	日本產業新報社 劉町

爲替と金銀問題	大島堅造	三・〇〇	三九六	一元社 本鄉
經濟參謀本部論	國家經濟研究所	・五〇	一六三	國家經濟研究所 劉町
紡績業の會計と其經營	大倉義雄	三・八〇	四五八	森山書店 神田
非常時統制經濟論	小島精一	一・五〇	二六三	日本評論社 京橋
財界本質の認識	荒木秀一	・三〇	一一九	大阪銀行集會所 大阪
投資秘話	勝田貞次	一・五〇	二七〇	千倉書房 京橋
會計學	黑澤清	二・五〇	二四三	同 同
信託經濟論	吳文炳	六・五〇	三六四	日本評論社 同
不動產金融調查資料 其一調查彙報第一輯	西岡實太	非◎	一四四	日本勸業銀行調查課 劉町

【八月】

應用自在株式標示器	佐藤富吉	・三〇	四〇	現代社 北海道
學童實習產業組合經營之栞	花田太壯	○	四〇	產業組合中央會德島支社 德島
阿片問題と支那農村經濟	磯部榮一	・三五	一七	東亞研究會 豐島
移殖民政策の確立と棉花移住地提唱	田中誠之助	○	八五	新生會殖民部 淀橋
會計實務一編省略記帳法解說	杉田瀨平	三・〇〇	二三	丸善株式會社 日本橋
莫大小の輸出統制	太田錢次郎	・七〇	二五五	相益社 大阪
農業金融問題	小平權一	・一〇	四七	日本青年館 四谷

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
通信特別會計の生れるまで	内海朝次郎	三・〇〇	○	三七九	交通經濟社	神田
非常時の爲替相場常識	勝田 貞次	一・五〇	○	三〇七	寶文館	日本橋
時事パンフレット第五輯 日英綿業戰	時事新報社	・一〇	○	四四	時事新報社	麴町
公社債投資讀本	北條傳四郎	三・五〇	◎	三五〇	日本公論社	神田
工業經濟研究第四册 特輯工業金融	工業經濟研究會	・八〇	◎	一六三	森山書店	同
ハツトン 世界經濟新体系論	渡邊 進	一・二〇	○	一八五	千倉書房	京橋
經濟座談	平井泰太郎	一・五〇	○	三一九	同	同
分配學說研究	今川 尙	一・五〇	◎	一八一	弘文堂	京都
ファシズムの經濟組織	宮田 保郎	一・五〇	○	二五八	東京書房	京橋
統制下の非常時米界	小西 福松	一・〇〇	○	二一四	大阪毎日新聞社	大阪
世界の危機一九三六年	小島 精一	一・五〇	○	二八三	千倉書房	京橋
經濟學史要論(第三分册正統學派中續き)	堀 經夫	一・八〇	△	六八九	弘文堂	京都
日英經濟戰の激化と國民の決意	津田 信吾	・一〇	◎	三〇	東邦經濟社	麴町
國際經濟恐慌	松本 昌夫	一・二〇	○	一五一	高原書店	京橋
經營經濟的會計學研究	松本 秋男	三・八〇	◎	三三七	森山書店	神田
日本金融工作論	小島昌太郎	一・五〇	○	二八二	千倉書房	京橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
東株改革問題論攷	牧野精一郎	・八〇	◎	九七	第一經濟社	芝
漁村經濟の研究	那須 皓	一・二〇	◎	二四六	岩波書店	神田
保險實務論	柴 官六	四・五〇	◎	五〇四	賢文館	同
綿業と國際經濟	濱野 泰平	・三五	○	三三	文雅堂	麴町
數字が示す商店經營法	西川淸一郎	一・二〇	○	二六九	誠文堂	神田
銀行實務講義	伊藤由三郎	四・八〇	◎	九三四	銀行問題研究會	大阪
【九月】						
建設進展上の滿蒙經濟	神道護國聯盟	非	○	四三	神道護國聯盟	神田
羽黒式中心法奥傳(株式)圖解書付	佐々木英麿	五・〇〇	◎×	二册	信義堂	日本橋
世界は何處へ	塚本 義隆	・五〇	○	一〇四	新聞聯合社	大阪
日滿經濟ブロツクの再吟味	小濱 重雄	・四〇	◎	五九	資源整備調査局	麴町
統計學總論 上册	錦織理一郎	一・八〇	◎	一八〇	巖松堂	神田
非常時の財源問題	神戸 正雄	一・五〇	◎	二〇一	立命館出版部	京橋
天晴地明經濟學論	柿花 啓正	三・五〇	◎	二七六	二松堂書店	神田
我國近世の專賣制度	堀江 保藏	三・五〇	◎	二八一	日本評論社	京橋
聖トマス經濟學 中世經濟史の一文獻	上田辰之助	四・二〇	◎	四〇六	刀江書院	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
税の智識	田中 秀吉	一・八〇	○	四〇五	寶文館	日本橋
市街地價格論	杉本 正幸	四・五〇	◎	四八四	巖松堂	神田
汎ツラニズムと經濟ブロツク	野副 重次	一・五〇	○	二九〇	天山閣	同
重要經濟統計第九輯	神戸商業大學商業研究所	三・五〇	△	三一八	大阪寶文館	大阪神戸
保險實學	日野 培樹	・八〇	○	一九〇	保險經濟社	本鄕
トリオポリー	大江 新吉	一・二〇	○	三五〇	南光社	神田
工業經濟學	御園生 桂三郎	三・八〇	◎	五三四	東京旭印刷株式會社出版部	同
最近世界貿易概觀—一九三二—	國際聯盟事務局東京支局	一・〇〇	◎	一二〇	國際聯盟記錄刊行會	麻布
マルサス批判の發展	吉田 秀夫	二・〇〇	◎	二七四	弘文堂書房	京都
地方税研究第三卷	田中廣太郎	三・五〇	◎	五一三	良書普及會	小石川
投資者必携	栗林 正修	一・五〇	◎	二八二	千倉書房	京橋
經營經濟研究	增地庸治郎	・七〇	◎	一七〇	同文館	神田
マルクス・エンゲルス二卷選集—	西 雅雄	二・五〇	◎	五三〇	ナウカ社	同
市場經濟と倉庫經濟	内池 廉吉	一・五〇	◎	二三六	森山書店	同
統計學講義案(第一分册)	有澤 廣己	・八〇	◎	一三三	明善社	本鄕
火保研究 第一卷	井口武三郎	三・五〇	◎	四七〇	井口武三郎	杉並
頭腦トラスト	四至本八郎	一・二〇	○	三八七	實業之日本社	京橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
思ふまゝ	武藤 山治	一・〇〇	○	三六五	ダイヤモンド社	麴町
經濟學論集第七輯 商品市場組織	日本經營學會	二・三〇	◎	三五一	同文館	神田
改訂版 世界經濟年報(二一)	ヴアルガ 經濟批判會	・七〇	○	一三八	叢文閣	同
資本論解說(上)	ラピドウス外一・橋本弘毅	一・三〇	○	四四三	白揚社	同
自力更生の中心機關 產業組合要義	篠崎 勳	・七五	◎	三一四	中島書院	京都
米國に於ける失業準備金制度	秋山 斧助		◎	一七	全國產業團體聯合會事務所	麴町
本邦生命保險業史	保險銀行事報社	一〇・〇〇	△	一〇〇〇	保險銀行事報社	同
資本論の方法論的研究	ベレジン・クリヴイツキー・ラスキン 中野 義雄	一・〇〇	○	二六五	叢文閣	同
石油戰に現れた英・米・蘇ブロックの對立	大月 久治		◎	二〇	大月社會問題調査所	大阪
【十月】						
放資の基礎知識	大阪信託株式會社		○	一七六	大阪信託株式會社	大阪
解說實用利息計算表	前田 梅松	一・〇〇	○	一二三	經濟知識社	麴町
世界經濟會議の動向と日本經濟—外一	德安 實藏		○	四九	日本講演會	芝
經濟更生計畫	野村忠三郎		◎	四〇	野村忠三郎	北海道
農村經濟更生講習要錄	滋賀縣農會		○	一四八	滋賀縣農會	滋賀
農家經營と農村計畫の實際	山梨縣農會		○	二一四	山梨縣農會	甲府

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
經濟更生計劃	市村 高彦		◎	九二	金子村經濟更生委員會	埼玉
株價測定の常識	田林菊三郎商店	非	○	四〇	田林菊三郎商店	日本橋
海運賃市場	シュターベル フエルト 佐波宣平	二・八〇	◎	二七三	雄風館書房	神田
商業經營法	佐々木吉郎	二・〇〇	◎	二五〇	章華社	目黑
日本生存保險經驗表 明治二十五年昭和二年	玉木爲三郎		△	七三	生命保險會社協會	麴町
支那の通貨と滿洲國の幣制	吉田 虎雄	・三五	○	五一	東亞研究會	豐島
外國爲替論	服部文四郎	・九〇	◎	一二四	明善社	本郷
銀行信託會社の選び方	經濟時代社編輯局	一・五〇	○	三三六	經濟時代社	京橋
金融の魔術	井關 孝雄	一・八〇	○	三五四	日本公論社	神田
日本古代經濟交換篇第四冊貨幣	西村 眞次	三・五〇	△	二七四	東京堂	麴町
國際經濟の理論と問題	谷口 吉彦	三・五〇	◎	四〇七	千倉書房	京橋
經濟史	諸橋 轍次	一・八〇	◎	二七六	松華堂書店	神田
天晴地明經濟學論 改訂	柿花 啓正	二・五〇	◎	二七六	二松堂書店	同
恐慌渦中の國際經濟	豐島 擴	一・三〇	○	一八八	日本外事協會	麴町
株式讀本	安田與四郎	一・二〇	○	二五〇	高陽書院	神田
地主財産造成の過程	松村勝治郎	・一〇	◎	二八	協調會	芝

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
佛蘭西インフレの全貌	矢野庄太郎	三・八〇	◎	五三〇	森山書店	神田
世界恐慌に續くもの	飯島 幡司	・八〇	○	二三六	朝日新聞社	大阪
ホフマン經營學上	向井 梅次	三・八〇	◎	三八九	森山書店	神田
ケインズ貨幣論第四分冊	鬼頭仁三郎	三・五〇	◎	二八八	忠文館書店	大阪
ウイルヘルム・レプケ世界經濟第一輯	長 守善	・五〇	○	六九	大學書林	本郷
鐵道財話	平山 孝	一・五〇	○	四八〇	鐵道書院	日本橋
誰にも出來る帳簿無し簿記法	中瀬勝太郎	一・五〇	○	三〇〇	東京書房	京橋
日本產業組合論	日本產業新報調査部	非	◎	五〇	日本產業新報調査部	同
實益的商店經濟學	佐々木良雄	一・五〇	○	四一三	千倉書房	同
戰時統制經濟論	森 武夫	四・〇〇	◎	六六三	日本評論社	日本橋
經營經濟總論	大塚 一朗	三・〇〇	○	三九八	同	同
豫金通貨の研究中卷	中谷 實	三・五〇	◎	三〇三	有斐閣	神田
關西名士の財界觀	加藤 越山	非	○	一九八	講演聯合社	大阪
原價と操業率	池田英次郎	一・八〇	◎	三三六	日本評論社	日本橋
失業の經濟學	ホブソン 森澤昌輝	・八〇	○	三三六	同人社	神田
日滿統制經濟論	大藏 公望	三・〇〇	◎	二六八	日本評論社	京橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
マルクス記念「資本論研究」第二輯	大竹 博吉	三・〇〇	◎	三六三	ナウカ社	神田
同 序文無シ	同	三・〇〇	◎	三六三	同	同
貨幣問題雜觀	山崎覺次郎	三・八〇	◎	三三八	有斐閣	同
會計學研究第二冊	陶山誠太郎	・六〇	◎	一二四	大阪商科大學會計學研究會	大阪
カール・マルクス 賃銀勞働と資本	廣野 利鎌	・九〇	○	一三六	大學書林	本郷
近代よおろつぱ經濟史(一)	宮崎 力藏	一・五〇	○	二八三	巖松堂	神田
集金秘錄	大塚 正彦	一・五〇	○	四一〇	事務能率研究社	豐島
豫算統制論	古川 榮一	三・五〇	◎	二九二	森山書店	神田
農漁村經濟更生と副業	永松 陽一	・六五	○	一四九	帝國地方行政學會	京橋
世界經濟會議の話―資本主義はかくして破滅へ―	山口 安二	・〇五	○	三〇	全國勞働組合自由聯合會	四谷
弱體保險論	玉木爲三郎		◎	一一〇	生命保險會社協會	麴町
經濟更生の實例	長崎縣	非	○	一七一	長崎縣	長崎
廣告學概論	奥平 稔	三・三〇	◎	四一三	栗田書店	神田
農村更生と國礎建設の根本義	恒田 嘉文	一・五〇	◎	一六六	好文堂	杉並
地方稅實例總攬	山口 民二	一・五〇	○	四〇六	帝國地方行政學會	京橋
インフレーション會計	太田 哲三 外一	一・六〇	◎	二一三	高陽書院	神田
世界經濟年報二二	ヴァルガ 經濟批判會	・七〇	○	一五二	叢文閣	麴町

【十一月】

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
經濟的國民主義と工業の田園化	中島久萬吉	・一〇	○	三〇	社會教育協會	小石川
經濟メモ	佐藤淺五郎	・三五	×	三二八	創造社	同
短期新東必勝原理と實戰駈引法	三上 秀雄	三・五〇	○	一三九	三秀社	麻布
自大正四年至大正九年東株・鐘紡株・大株・郵船株・日々變動史	中外經濟統計研究所	一・五〇	○	一四一	新光社	愛知
商品學要說下	河村 信一	一・四〇	◎		甲文堂書店	大阪
林業經濟學原理	吉田文一郎		◎	九三	興林會	麴町
株式賣買成金讀本第一輯	北浦萬次郎	・五〇	○	一一〇	大阪經濟戰線社	大阪
株式綿絲鞘取賣買の秘術	西村 欣一	一・六〇	○	一一三	大同書院	同
海運經營論	牧野幾久男	三・八〇	◎	二九六	二里木書店	神田
產業平和論	氏家貢一郎	・九〇	◎	一五三	文雅堂書店	麴町
通貨經濟會議の顚末	赤松 祐之	・六〇	◎	一九八	日本國際協會	同
獨逸の國家企業	佐藤貞次郎	・八〇	◎	一五六	東亞經濟調査局	同
ソヴエト五ケ年計畫原案	大竹 博吉	一・〇〇	○	二四五	ナウカ社	神田
貨幣のない社會	林 要	一・五〇	◎	三七〇	大畑書店	同
會計監査第一編總論	陶山誠太郎	・八〇	◎	一二四	大同書院	大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
記念論文集彦根高商論文集第十四號	穎間 德男	非◎	七〇〇	彦根高等商業學校研究會 滋賀
ソヴエト五ケ年計畫の總結果	ゴスプランロシヤ問題研究所	一・五〇	二九〇	ナウカ社 神田
社會學より經濟學へ	貫 傳松	三・六〇◎	五五三	新星堂出版部 京都
販賣術讀本	里田 粂次	一・〇〇	二四〇	丸ノ内出版社 劍町
日本米價變動資料	三瓶 鵜藏	・六五◎	二四〇	川柳面白誌社 山形米澤
經濟價値研究	武田 鼎一	一・二〇◎	一五七	甲文堂書店 大阪
電燈に賦課する電球稅論	池田源之助（すゞろ）	・六〇	二一〇	內觀社 品川
驀進途上の世界經濟	芳賀 雄	三・〇〇	四六二	吉田書店 深川
第四十二回警視廳統計書	警視廳	△	五四五	警視廳 劍町
海上保險（船舶）約款改正理由書	日本海上保險協會特別委員	非◎	一六八	日本海上保險協會特別委員 大森
最近の銀行問題	春日井 薫	三・二〇◎	四四三	文雅堂 劍町
ソヴエート聯邦第一次五ケ年計畫遂行實績	關根 齋一	◎	四〇六	日露協會 同
會計學提要	西垣 富治	三・五〇◎	三四九	森山書店 神田
資本論の文學的構造	M・ネチキナ村井 勇譯	一・〇〇	一六七	ナウカ社 同
株式相場實戰秘訣	松尾 五郎	一・五〇	二六〇	證券投資研究社 牛込
稅法と商店の會計	原 廣太郎	一・〇〇	二一〇	大同書院 大阪
最近に於ける產別經濟情勢	中村 民部	・一五◎	一四	大阪產業勞働調査所 大阪
明日の貨幣	渡邊 鐵藏	一・〇〇	一六〇	千倉書房 京橋
貨幣と信用	米村 正一	三・〇〇◎	四四四	ナウカ社 神田
全購聯（全國購買組合聯合會）の解剖	大貫 將	・五〇	二八八	丸の內出版社 劍町
資本論研究 第二輯改訂版	レオンチエフ外數人	一・八〇◎	三六二	ナウカ社 神田
アメリカ大財閥の暴露	大竹 博吉	一・八〇◎	三六二	ナウカ社 神田
蠶絲經濟概論	廣島基智三	一・五〇	三二一	日東書院 同
電氣事業會計解說	中澤辨次郎	四・二〇◎	四八三	明文堂 同
投資のコツ	肥田玄次郎	三・五〇◎	八一六	電氣協會 劍町
商賣のコツ	滕田 貞次	一・〇〇	一五六	寶文館 日本橋
趣味の株式投資	仲西初五郎	一・五〇	三三三	千倉書房 京橋
債權法各論	高橋 龜造	二・〇〇	二九七	弘文館 神田
明治前期財政經濟史料集成 第二十卷	近藤 英吉	一・八〇◎	二〇七	弘文堂 京都
貨幣哲學 分析篇	大內 兵衞外一	◎	七〇九	改造社 芝
デパートメントストア取扱側より觀たる株式問題の研究	堀井 實	三・五〇◎	四三九	斯文書院 牛込
	松田 愼三	三・五〇◎	三一〇	日本評論社 京橋
	向井 勳	一・二〇	二五〇	無我山書房 淺草

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
革命期のアメリカ經濟	清澤 洌	一・五〇	四〇〇	千倉書房 京橋
東洋及西洋諸國の國際貿易と其の地位	長岡 德治	二・五〇△	五一七	三菱經濟研究所 劍町
貿易統制論	竹內 謙二	二・五〇◎	五八八	千倉書房 京橋
エチオピヤ經濟事情	庄子勇之助	・五〇	八一	大道社 麻布
人口の原理に關する一論	ロバート・マルサス 商野岩三郎外一	二・〇〇	三九〇	同人社 神田
財界八面棒	北崎 進	一・五〇	三九五	明治大學出版部 同
廣告學	金子 弘	一・五〇	二〇八	森山書店 同
金融事項參考書 昭和八年調	大藏省理財局	一・六〇◎	四六七	內閣印刷局 劍町
金銀貨幣論	濱村榮三郎	◎	六三	濱村榮三郎 大阪
銀行の檢查方法	荒木 秀一	・七〇◎	一九四	大阪銀行集會所 同
【十二月】				
日本電球の進出と世界電球カルテル	東電々球株式會社	非◎	三五	東電々球株式會社 芝
我が國產業の躍進	大內 經雄	一・五〇	四三	社會教育協會 小石川
產業組合製絲組合聯合 經營振り 第一輯	全國產業組合製絲組合會	一・四〇	一七九	全國產業組合製絲組合聯合會 劍町
東京株式取引所市場上場株會社內容早判	三好 右京	非◎	七八	東京菓子研究協會 芝
糖價及糖稅問題	山口縣庶務課	◎	一〇〇	山口縣庶務課 山口
皇道經濟論	久原房之助	・二〇	七六	千倉書房 京橋
伊太利社會經濟史	山口正太郎	一・八〇	二六八	章華社 目黑
再訂商業賣買下卷	小林 行昌	三・八〇◎	四九〇	寶文館 日本橋
金問題研究	松岡 孝兒	二・七〇◎	三〇八	有斐閣 神田
ソヴエートロシヤの經濟組織	ゲールハルト・ドッペルト	一・七〇	四一二	東京書房 京橋
カウツキー農業問題	宮田保郎 プロレタリヤ科學研究所	二・五〇	七六二	鐵塔書院 神田
模範商店經營法	上野 陽一	一・八〇	四三一	同文館 同
農村の生くる道	中山 義助	・八〇	二六〇	東京書房 京橋
世界景氣の分析二	世界經濟研究所	・八〇	一八〇	叢文閣 劍町
日本財政論 租稅	阿部 勇	四・五〇◎	七〇〇	改造社 芝
1934 投資相談	滕田 貞次	一・五〇	四五八	千倉書房 京橋
事業の將來と花形株	佐野 忠司	・八〇	二五六	大同書院 大阪
藥店と經營	古田宗三郎	一・五〇◎	二一六	醫藥新報社 神田
再訂商業賣買下卷	小林 行昌	三・八〇◎	四九〇	寶文館 日本橋
特殊信託研究第一卷	藤原 泰	二・二〇◎	二七三	文雅堂 劍町
金融業會計	太田 哲三	三・〇〇◎	三九五	東洋出版社 京橋
工業經濟研究第五册	研究會	・八〇◎	一四六	森山書店 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
平沼淑郎博士古稀祝賀記念社會經濟史論集	小野武夫	二・五〇	◎三九〇	日本評論社	京橋
原價會計學 下卷	長谷川安兵衛	三・二〇	◎八七七	東京泰文社	牛込
關稅政策論	ビヴァリッヂ 藤井茂	一・八〇	◎七八八	寶文館	大阪
朝鮮社會經濟史研究	三宅鹿之助	二・八〇	◎五六七	刀江書院	神田
景氣研究の諸問題	今西正雄	二・三〇	◎二九四	凡進社	京都
能率文明論	上野陽一	一・五〇	○四二〇	千倉書房	京橋
日本經濟の伸展性	小島精一	一・六〇	◎三五七	同	同
讃岐農村經濟の解剖	木村皓一	一・八〇	○四九〇	四國教育圖書株式會社	香川
非常時の金儲戰術	三山珊也	一・〇〇	○二三二	丸の內出版社	麴町
明治前期財政經濟史料集成九	大內兵衛外一		◎三五〇	改造社	芝
分配の理論	岸本誠三郎	三・八〇	◎三八七	森山書店	神田
日本經濟年報第十四輯	神原周平	一・〇〇	○三六四	東洋經濟新報社	日本橋
國防第一主義は工業界にどう響く	堤耘作	一・〇〇	○二三四	日刊工業新報社	大阪
新企業形態論	島田義照	一・〇〇	○一〇三	大阪石鹼商報社	同
海外產業組合事情第三輯	千石興太郎	・三〇	○一一六	產業組合中央會	麴町
新更論集 第二卷	新更會	二・〇〇	◎三〇〇	新更會刊行部	千葉

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
世界に於ける科學・技術・經濟の現狀	ルビンシユタイン唯物論研究會	・一〇	○七六	唯物論研究會	麴町
中小工場の百%經營實例	新經營社	・八〇	○一八五	新經營社	京橋
問答式農業動產信用法解說	農業經濟研究所	・九〇	○一九八	泰文館	神田
解體過程にある支那の經濟と社會 上・下	ウイツト・フォーガル 平野義太郎	上二・八〇 下二・六〇	◎上五三 下四八	中央公論社	麴町
世界農業史	菅菊太郎	四・五〇	◎五二二	明文堂	神田
庶民讀本	松尾小三郎		○七八	帝國經濟聯盟	麴町
マルクス經濟 各國インフレーション形態の研究	細野孝一	三・〇〇	◎四五五	千倉書房	京橋
中小商工業者の危機	西山暢造外一	・三〇	○一〇九	國民經濟研究會	赤坂

〔二二〕社會

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
【一月】					
邦家の大事を語る	後藤勇夫	非	○五四	原口會	京橋
所謂忠君愛國者を戒しむ	高崎雅雄	同	○二六	國民社普及會	神田
仕合せへの道	高橋正雄	・二〇	○七三	あかるね會	兵庫
東京築港問題	港灣研究會	非	○三〇	大衆自治社	麴町
學生に訴ふ	鈴木靖之	・一〇	×三六	狼群パンフレット刊行會	目黑
大和民族の傳統的精神文化の由來及び其中心思想	渡邊龍聖	・一〇	○四六	南光社	神田
更生日本の精神的基礎	賀川豐彥	・一〇	○五二	一粒社	名古屋
邦家の大事を語る	後藤勇夫	非	○五四	原口會	京橋
フアツシズム問答	福島佐太郎	同	◎六	皇民會	京都
國鐵非常時に際し二十萬大衆に訴ふ	岡本龜樹	・二〇	○六八	交通展望社	豐島
新會長に陣容を整へた總同盟第二十一回全國大會記錄	長尾桃郎	非	◎五三	大月社會問題調査所	大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
豫測を裏り平穩に終始した全國勞働第三回全國大會記錄	長尾桃郎	非	◎七七	大月社會問題調査所	大阪
日本消費組合運動史	山崎勉治	三・〇〇	◎四〇七	日本評論社	京橋
日本總赤化徵候司法部不祥事件禍因根絕昭和維新の正機	蓑田胸喜	・三〇	◎八九	原理日本社	世田谷
勞働運動の話	坂本孝三郎	・三〇	×一一八	日本勞働組合總聯合出版部	大阪
レーニン主義の諸問題 一	スターリン著 白井轉譯	・九〇	○三〇七	白揚社	神田
背教者レーニン	オツセンドウスキ 木村毅譯	一・五〇	○四六二	改造社	芝
工場オルグの話 第二篇(勞働)17	高橋光吉	・〇七	○四七	日本勞働組合自由聯合協議會	淺草
農本主義理論篇	加藤一夫	一・五〇	○三四七	曉書院	日本橋
東洋の光	高田申作	・六〇	○一八〇	新政社	淀橋
日本精神への淨化	松田操	非	○四七	神武會名古屋支部	名古屋
ロシヤ大革命史 第五卷	大竹博吉		○四一〇	北文館	日本橋
革命直前の社會情勢	茅原華山	一・二〇	○三九二	大日本雄辯會講談社	本郷
日本國民に遺言す	八束清貫	一・八〇	◎二八二	內外書籍株式會社	小石川
祭日祝日謹話	福本龜治		◎一三四	川流堂	麴町
社會學大意	安田新榮 石倉俊雄	一・八〇	○四一七	刀江書院	神田
最近十年間に於ける思想關係出版物總攬	長野朗	二・〇〇	◎二八〇	建設社	牛込
支那農民運動觀					

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
米國の諸々相	藤井 慧眞	・六〇	四六	人生社 新潟
顯心創世論	後藤 一成	・五〇	二三〇	後藤一成 仙臺
日本民族の世界的膨脹	井深 清庫	非〇	九三	警眼社 日本橋
【二月】				
農村問題の再吟味	大杉 房吉	・二〇	二五六	泰文館 神田
農村の生くべき道	四至本八郎	一・〇〇	二一六	新光社 同
テクノクラシー				
社會事業史	三浦 精翁	一・八〇	二六七	文部書院 杉並
ファシズム政治理論	アルフレード・ロッコ 長崎太郎譯	・六〇	九三	長崎書店 牛込
産業組合運動と青年の任務	千石興太郎	一〇	三五	産業組合中央會 同
最近十年間に於ける思想關係出版物總攬	安田 新榮	一・八〇	四一七	刀江書院 神田
人類愛善運動の前途	石倉 俊雄	一・〇〇	二一六	新光社 同
日本と世界の前途				
社會極致論 上・中・下	米倉嘉兵衛	二〇	五七	人類愛善會亞細亞支部 四谷
新興日本の精神	白井新太郎	三・五〇	上四九 中九六 下六三	白井瀧一郎 同
農村社會學史	加藤 咄堂		四五六	新興出版社 牛込
時事新報社爭議團報告書	鈴木榮太郎	三・二〇	三四	刀江書院 神田
思想と剛柔	深川 武非		八	報告書殘務整理委員會 淺草
	桂川 畦荻	三・〇〇	一〇六	松雲堂書店 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
プロレタリヤ産兒制限法	大川 浩	・七〇	一六六	耕進社 本郷
東洋は血の臭ひがする	足立 六藏	一・六〇	三九六	一心社 神田
明治維新の革命及反革命	服部 之總		五	岩波書店 同
モルフ第三回總會に對する報告				
最近社會思想の展望	陶山 務	一・二〇	二六四	弘學館書房 神田
レーニン主義の諸問題 一	スターリン 白井 轉譯	・九〇	三〇九	白揚社 同
農村更生への道	川村和嘉治	・九〇	二七一	元社 本郷
プラーウダイズウエスチア社說集第一輯	竹尾 弋	・五〇	一〇四	日露通信社 麹町
日本農業問題講話	青木 惠一	・七〇	一八三	共生閣 神田
自力更生と	田村 浩	・五〇	一四三	泰文館 同
昭和七年に於ける社會運動の情勢	町田辰次郎	非〇	二一〇	協調會 芝
詩・歌集 三月を記念して	高橋 新市	・〇五	一〇四	日本プロレタリヤ作家同盟函館支部
獵奇秘帖 謎の支那を暴ぐ	金子 泰次	二・五〇	四三〇	進潮社 芝
共產黨への斷案宮澤代議士と各閣僚との共產黨問答	林 逸郎	・二〇	一〇四	愛國新聞出版部 麹町
社會主義共產主義運動の實情(二)	葛生仁三郎		二六	奉仕會 同
創立第一歩	手塚 秀夫		五六	博心堂書店 長野

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
人類愛善運動	米倉嘉兵衛	・一〇	五	人類愛善會亞細亞本部 四谷
民族良心を世界維新に	辻村 勝	・三〇	一三〇	辻村 勝 大阪
非常時日本の指導精神	中村次兵衛	非〇	三〇	國華研究會 足立
【三月】				
百姓の困窮と更生の大道	瀨下 武松	・二〇	三六	金雞學院 小石川
國難打開自力更生訓	北原龜八郎		×	大道講本所
人性の悲哀と融和促進 一輯	松島 牛松	非〇	四〇	松島牛松 群馬
國難に臨み警告と聲明	大道 重次	同〇	二六	日本農人社 富山
國威の宣揚と其の根幹	明石 爲次	〇	九〇	明石爲次 濱松
ファシズムの國家思想	近江 匡男	〇	五六	中央報德會 四谷
自力更生躍る魂	柳 一宣	・五〇	二四	大統社 京橋
時代の覺醒	井上 德命	〇	六四	布教部 京都
憤慨鬼畜の殺人魔戰慄すべき實子殺しの犯行 時勢と宗教	高田彌太郎	・二〇	一六	石野金一郎 雜谷
大日本の建設	上泉 德彌	非〇	四九	國風館本部 牛込
社會文庫一七 國家と社會	フリードリッヒ・レン 小田垣 光之輔	一・〇〇	三四	日本評論社 京橋
基督者としての私の社會觀	基督教女子青年會日本同盟宗教部	・五〇	一三六	教文館出版部 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
近代社會思想の解說	國鹽耕一郎	・六五	一九二	松華堂書店 神田
八一公判闘爭パンフレツト	長澤 佐	・一五	二六	日本プロレタリヤ文化聯盟新潟地方協議會
社會問題と社會事業	安井誠一郎	二・〇〇	三一二	三省堂 神田
レーニン主義の諸問題 改訂版	スターリン 白井 轉	・九〇	三〇七	白揚社 同
貸家紛爭豫防と解決法	福島 實	一・八〇	二七〇	東京書房 京橋
日本フアツシヨの現勢	津田 光造	・七〇	一八六	軍事教育社 神田
皇道樂土の建設	同	・七〇	一七	同
月刊論集 今後の社會五	橫田 實	非〇	五五	社會思想研究所 豐島
南無社會主義日本	日野熊太郎	・二〇	四四	洗心書房 廣島
何故百姓は貧乏するか	根本 勳		七〇	芋嶺庵 北海道
レーニン主義文學闘爭への道	宮本 顯治	一・五〇	三三	木星社 神田
人は何故貧乏するか	高畠 素之	・五五	二〇	政治批判社 荏原
時局に倚つアメリカとロシヤ	バーナード・シー 齋藤成吉譯	・一〇	六	木星社 神田
マルクス主義物語	淺野 研眞	・五〇	一五	大雄閣 小石川
實例對照犯罪手口の研究	大西 輝一	一・七〇	五〇	新光閣 神田
世界陰謀と日本共產黨	小原 正忠	・二〇	九	帝國在鄉軍人會本部 牛込
左傾生徒に關する考察	岡野養三郎	非〇	六	岡野養三郎 岡山

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
非常日本への直言	清澤　洌	一・五〇	四一四	千倉書房 京橋
北支の風雲と聯盟と實相	刀称館正雄	一・〇〇	六八	朝日新聞 東京大阪
最新思潮展望	加藤　朝鳥	一・四〇	二六六	曉書院 日本橋
南にも生命線あり	松村　金助	一・五〇	一二五	森山書店 神田
日本へ行くべき道	下村　宏	二・〇〇	三二一	日本評論社 京橋
第一次五ケ年計畫の實績に就て	鈴木　幸康	非◎	三	日ソ文化協會 同
製絲經濟教程	石井　學	一・〇〇	二六	日本プロレタリヤ科學同盟長野支部 長野
解放文化叢書 ナイヒリスト精神	ビイタア・クロポトキン解放文化聯盟	×	六	伊那地方區委員會 解放文化聯盟 杉並
共產黨運動の研究	楠瀨　正澄	二・〇〇	一五〇	新光閣 神田
自力更生と農村青年	富田　文雄	一・〇〇	三	西ケ原刊行會 赤坂
自力更生と農村指導者	同	一・五〇	二四〇	同 同
自力更生と農村婦人	同	一・五〇	四八	同 同
農村を更生する人々	農業學校長協會	七〇	四三	農業學校協會 同
新農村計畫	石坂　橘樹	二・五〇	二四四	明文堂 同
昭和維新の理想	芳川　庄八	三・〇〇	二五	芳川庄八 長野
働け！國難に直面して	荻原　古壽	二・〇〇	一七八	電氣經濟研究所 大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
全農改革社會ファシスト放逐のため全農第十六回大會の戰闘的代議員はかく戰へ	全國農民組合本部	〇	一六	全國農民組合本部 劇町
神示の國防	昭和青年會本部	一・〇〇	二二	昭和青年會本部 京都
東京市電力自給案の内幕	棚橋　正長	〇・五〇	二六	電業時代社 芝
京都市政の裏面	宗形　金風	三・〇〇	七二	郊外社 京都
誰れにも出來る株式投資虎の卷	久保田　與喜智	一・五〇	三一〇	日東書院 神田
近代社會事業と方面救護の實際	財部　叶	三・〇〇	四〇〇	盛進社書房 同
融和問題雜記	楠本　寬	二・〇〇	一七〇	隆文館 京橋
生産的勤勞學校の經營	中　重信	一・八〇	二五四	南光社 神田
我等何を爲すべきか	エミール・アルンネ・ルノー	二・〇〇	四一	新生堂 同
農業綱領の諸問題 上卷	菊地雄一・大山岩雄	二・〇〇	九一〇	改造社 芝
【四月】				
救農救國救民根本策	河村　九淵	二・〇〇	四一九	有誠堂書店 京橋
日本農業革新論	高楠順次郎	四・〇〇	八二	山喜房 本郷
理の世界と智の世界	赤神　良讓	五・〇〇	六六	明大學會 神田
變態社會の理論的考察	上野市三郎	〇・二〇	三	日本プロレタリヤ作家同盟 杉並
二月二十日（小林多喜二）	渡部　義通	〇・五〇	一四四	白揚社 神田
日本原始社會史				

プロレタリヤ漫畫カット集	高橋　光吉	八〇〇	五〇	日本勞働組合淺草自由聯合協議會
勞働時間と失業	秋山　斧助	◎	一六二	全國産業團體聯合會事務局 劇町
國民常識時事解說	島田　隼人	八〇〇	二三六	時局評論社 本郷
日本古代社會史の研究	中村德二郎	八〇〇	二三五	中村德二郎 神田
電燈爭議の新戰術	布施　辰治	五〇	一七九	希望閣 同
地區の人々	小林多喜二	二・〇〇	一五八	改造社 芝
日本原始社會史	渡部　義通	五〇〇	二五	白揚社 神田
われらの歌	漆畑　藤作	〇五	一六	日本プロレタリヤ作家同盟鄰岡支部 鄰岡
春の社會學	井上吉次郎	一・〇〇	二三〇	時潮社 京橋
農村の更生を語る	中原菊次郎	一・〇〇	二一一	泰文社 神田
農村永遠の更生	江木　清一	一・六〇	二五六	昭文社 廣島
世界の今明日第三卷	中山　優	〇	二三	平凡社 日本橋
再認識下の支那				
世界の今明日第二卷	滿川龜太郎	〇	二三五	同 同
太平洋及び滿洲				
個人發見と社會發見	大泉　行雄	八〇	一六一	同文館 神田
滿洲に於ける適業は何か	中沖　壽	五〇	一一四	尚文堂 同
五・一五事件と愛鄕塾の全貌	昆　貞	八〇	二一四	高瀨書房 京橋
思想善導連鎖握手國民禮	高崎　雅雄	二・〇〇	三〇〇	國民禮普及會 神田

思想讀本	土田　杏村	一・〇〇	二三	日本評論社 京橋
サヴエート法思想の發展過程	スタリヴィッチ・山之内一郎	九〇	一五九	大畑書店 神田
戀愛には是非これだけを心得よ	牧野　二朗	二・〇〇	二九二	宗教社 神田
農民道	山崎　延吉	二・〇〇	一八六	武藤藏之助屋 名古
獨逸に於ける公園體の經濟的活動	佐藤貞次郎	二〇〇	七二	東亞經濟調査局 劇町
カトリック的國家觀神社參拜問題を續つて	田口芳五郎	二・〇〇	一六二	カトリツク同 同
黃金は呼びかける	原田　三夫	二・〇〇	二五五	中央出版部 同
人類愛善運動日本と世界の前途	米倉嘉兵衛	二・〇〇	五七	公人書房 中野
われ等の科學叢書第一輯	井上吉次郎	一・〇〇	二三〇	人類愛善會亞細亞本部 四谷
轉形期の人々	片山　美憲	二・〇〇	六四	プロレタリア科學研究所 神田
日本原始社會史第三分册	小林多喜二	二・五〇	二五二	國際書院 芝
【五月】	渡邊　義通	五〇	二六	白揚社 神田
貧困兒童の問題	高橋　梵仙	二五	一四二	社會教育協會 小石川
方面委員制度と宗教家	高濱　哲雄	非	四四	大谷派宗務所 京都
第五回全國安全週間報告	產業福利協會	五〇	一四四	產業福利協會 劇町
帝國主義論	ヴアルガ・西　雅雄	一・五〇	四七〇	ナウカ社 神田
小林多喜二論文集				
日和見主義に對する鬪爭	小林多喜二	一・七〇	二九二	日本プロレタリヤ文化聯盟出版部 淀橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
サヴエート現勢資料 1933	岩田 譯	五・〇〇	◎	一〇〇六	露西亞通信社	麹町
反產業組合運動に關する調査	千石興太郎	・七〇	◎	一八八	產業組合中央會	牛込
農村に於ける特色ある教育機關	鈴木誠治	・八〇	◎	二〇六	協調會	芝
人類愛 第一輯	坂本清作		○	一三八	全關東水平社甦生聯盟本部	群馬
同 第二輯	同		○	一二三	同	同
同 第三輯	同		○	一三〇	同	同
同 第四輯	同		○	一二八	同	同
文部省推選派遣教育家の見たる海外事情	井上儀一	非	○	四七九	福德生命保險株式會社	大阪
街頭の本質	陶山務	一・〇〇	○	二五八	不動書房	神田
社會思想の批判的研究	深作安文	三・五〇	◎	二六九	朋文堂	麻布
結婚論	土田杏村	一・〇〇	○	三三九	第一書房	麹町
性と戰爭	橘源太郎	・六〇	○	一六三	高瀨書房	京橋
超と脫	常磐大定	三・〇〇	○	四七六	佛教年鑑社	牛込
民族國家の建設	平井正路	・三〇	○	一五六	恒星社	芝
我が農村の進路	谷本龜次郎	一・三五	○	三三六	明文堂	神田
處世、創造の道	石丸梧平	一・〇〇	○	三二三	大生創造社	千葉

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
ガンヂ研究パンフレット第一輯	田邊宗夫		◎	三三	ガンヂ協會	京橋
日本原始社會史 四	渡邊義通	・五〇	◎	二八四	白揚社	神田
世界の今明日 一三 アメリカへの視線	伊藤正德		○	二四一	平凡社	日本橋
世界の今明日 一〇 動かぬ國フランス	町田梓樓		○	二三〇	同	同
農村を更生する人々 續篇	農業學校長協會	・六〇	○	三一四	農業學校圖書刊行會	神田
明治初期社會思想の研究	加田哲二	三・二〇	◎	五三六	春秋社	日本橋
帝國主義論	西雅雄	一・五〇	○	四七〇	ナウカ社	神田
女性五十講	山川菊榮	一・五〇	○	五三四	改造社	芝
ウイザ、社會經濟の理論	古屋美貞	一・五〇	◎	三一四	內外出版印刷株式會社	京都
プラーウダイズウエスチア社說集第二輯	竹尾弌	・五〇	◎	一五六	日露通信社	麹町
電燈爭議の新戰術	布施辰治	・五〇	○	一七九	希望閣	神田
農業綱領の諸問題 上卷	レーニン 大山岩雄	二・〇〇	○	九二〇	改造社	芝
日本主義概論	松永材	・五〇	○	一七〇	日本主義研究所	澁谷
五・一五の全貌と解說	相馬基	・一〇	○	五七	東京日日新聞社	麹町
インフレーションの經濟學	名取文夫	・六〇	○	一六三	同	神田
日本主義勞働運動の眞髓	神野信一	・五〇	○	二七三	亞細亞協會出版部	四谷

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
明日の女性教育	小泉郁子	一・八〇	◎	三三三	南光社	神田
人格の生活と現代の社會	吉田靜致	・五〇	○	一〇四	青年教育普及會	同
工場安全の叫び	蒲生俊文	一・〇〇	◎	三七三	產業福利協會	麹町
一九四〇年の新聞	千葉龜雄	・五〇	○	一〇七	新聞之新聞社	神田
現代ジャナリズム研究	木村毅	一・五〇	○	三七六	公人書房	中野
知らねばならぬ今日の重要知識【六月】	志賀哲郎	三・八〇	○	一三一七	明治圖書出版協會	同
ヒツトラと其の一黨	高倉忍	・一〇	○	三四	社會教育協會	小石川
五・一五事件ニヨル水戶學之再吟味	中村西四郎	・三五	○	七六	中村西四郎	群馬
前科者はナゼ又行るか	原胤昭	非	×	八三	原胤昭	淀橋
國體主義とは何か？	上田義一	・一〇	○	二九	國體主義同盟本部	京都
社會問題體系第七卷	河田嗣郎	三・二〇	◎	三三四	有斐閣	神田
日本農村の新經營	長野長廣	四・五〇	◎	五四〇	明文堂	同
無產階級の新日本建設大綱	平野學	・一五	○	八一	社會大衆黨事業部	芝
金の武裝と日本の將來	同	・一五	○	六三	同	同
非常時教本	林直人	・七〇	◎	一〇〇	趣味の教育普及會	神田
ソヴエート同盟 第二卷	ヘルマン・レンメル 產業勞働調查所	・八〇	◎	三四三	叢文閣	麹町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
左傾兒とその父	白柳秀湖	一・五〇	○	四〇九	千倉書房	京橋
借家人讀本	武藤運十郎	・一〇	○	三〇	借家人社	四谷
宗教再建	土田杏村	一・〇〇	○	三八九	大雄閣	小石川
レーニン主義の諸問題	スターリン 白井轉	・九〇	○	四三二	白揚社	神田
ガンヂーは叫ぶ	福永渙	一・五〇	○	五五〇	アルス	同
ツラン民族運動とは何か第一卷	今岡十一郎	・六〇	○	一一〇	日本ツラン協會	麻布
明治暗殺史	坂井邦夫	三・〇〇	○	三五三	啓松堂	本郷
非常の警笛	恒岡恒外一	一・一〇	○	一九〇	河出書房	日本橋
日本精神に關する一考察	紀平正美	・六〇	◎	七四	章華社	目黑
働く婦人のために	ナルプ神奈川支部婦人委員會	・一〇	○	七三	ナルプ神奈川支部婦人委員會	橫濱
社會主義共產主義運動之實情(三)	葛生仁三郎		◎	四三	奉仕會	麹町
同 (四)	同		◎	三	同	同
文化の危機	三枝博音	一・三〇	○	二三九	時潮社	京橋
支那の秘密結社	馬場春吉	・三五	○	六三	東亞研究會	豐島
日本の勞作學校 二	小原國芳	一・八〇	◎	三一三	玉川學園出版部	東京府
マルクスを乘り越へて	室伏高信	一・五〇	○	三八二	千倉書房	京橋
吾が子の性教育原理 兩親と先生への讀本	村田昇司	一・〇〇	○	一三八	帝國教育會 行政學會	東京

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
社會主義と基督教の經濟倫理	竹中勝男	一・五〇	三六	警醒社 京橋
日本主義勞作運動の眞髓	神野信一	一・二〇	二七三	亞細亞協會出版部 四谷
支那思想のフランス西漸	後藤末雄	九・〇〇△	六六八	第一書房 劉町
京大問題の眞相	京大全學部學生代表者會議渡邊貞之助	一・〇〇	六二	政經書院 京都
農村を語る	橘孝三郎	一・〇〇	三五二	建設社 牛込
日本主義の基礎理論	津久井龍雄	一・〇〇	二三	大日本青年同盟本部 劉町
親と教育者の爲めの思想問題小話	高橋渡	一・二〇	二〇二	第一出版協會 神田
五・一五事件の眞相	津田光造	一・六〇	四八	軍事教育社 同
農業の認識と更生の道	竹原貞治	八五〇	一八〇	泰文館 同
瀧川教授事件京大自治鬪爭史	森美義		二八	日出新聞社 京都
先輩の見た京大問題	淺田暢一	一・〇〇	六〇	政經書院 同
工場經營に於ける赤化防止具體策	德永俊次	五〇	九七	日本社會問題研究會 芝
イエスと社會組織の變革	セエラー・マシウス、竹中勝男外一	八〇〇	一九七	一粒社 名古屋
【七月】				
ファッショって何んだ？	高坂久喜	一・〇〇	六三	國民講座 神田
最近歐羅巴の社會情勢	河合榮次郎	〇	七四	聯合關東產業團體會 劉町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
覺めよ神道家諸君	藪學太郎	×	四	藪學太郎 神奈川
皇國民之信念	小川楠村	七〇	二〇七	小川楠村社 淺草
マルクス死後五十年	小泉信三	二・八〇〇	三〇七	改造社 芝
共產運動とその對策	繁田淺二	非◎	八七	社會問題調査所 品川
新更論集 第一卷	神崎照惠	一・五〇	三五六	新更會刊行會 千葉
レーニン主義文學鬪爭への道（改訂版）	宮本顯治	一・三〇	二六八	隆章閣 神田
五來欣造講述ファッショか共產主義かレーニン主義の諸問題（改訂版）	藏野七五三	非○	元	松坂屋 下谷
權金卽魔	白井スターリン轉	九〇	二〇三	白揚社 神田
瀧川教授問題批判	天野弘一	非◎	七四	天野弘一 日本橋
もつれた京大問題デマやゴシツプを拾ふ	細野雲外	三・二〇	五六	雲外書房 兵庫
赤露の中樞解剖	長尾桃郎	同◎	三	大月社會問題調査所 大阪
思想國難の正しい認識	池田弘	一・〇〇	二五〇	回天時報社 赤坂
五ケ年の歷史	高木斐川	三・〇〇	七二	教文社 劉町
沖縄よ起ち上れ	森榮一	非◎	六三	橫濱勞働學校 橫濱
群衆と教化	親泊康永	一・二〇	二〇五	新興社 神田
	加藤咄堂	一・五〇	三二〇	新興出版社 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
船內細胞組織論	杉浦清一	一・〇〇	三九	日本海員組合教育出版部 神戸
日本思想の認識	小林與八郎	二〇	六六	文盛堂 大阪
民族への警告再訂版	中田重治	一・〇〇	二六	ホーリネス教會 淀橋
救世と皇道大本	芦田滿	二〇	一〇八	天聲社
世界の今明日四	北玲吉		一六七	平凡社 日本橋
再革命の獨逸				
世界の今明日四	中谷武世		三四	同
印度と其の國民運動				
共產黨幹部の轉向批判	川瀨鐵堂		二九	大衆公論社 品川
日本人口問題研究	上田貞次郎	一・五〇	二五二	協調會 芝
旋風裡の日本	竹越與三郎	一・〇〇	二六〇	立命館出版部 京橋
新聞とニュース	原田讓二	七〇×	三三	朝日新聞社 大阪
農村生活の調査	那須皓	五〇	二三	岩波書店 神田
【八月】				
健兒團運動	磯部忠雄	一〇×	三	東和健兒團 小石川
ターキーの全貌	晦日初枝	四〇	七〇	野ばら社 瀧野川
兒童を護る	兒童擁護協會	一〇〇	一〇〇	兒童擁護協會 劉町
勞働時間短縮問題	マネジメント社	三〇	五六	マネジメント社 四谷
難關突破の新生活部落篇・更生實話	財團法人中央教化團體聯合會	一・〇〇	四五	中央教化團體聯合會 劉町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
皇道の栞	有留弘泰	・四五	× 三二	天聲社 京都
マルクス主義の旗の下に合本第五册	尾崎庄太郎	一・〇〇	二〇〇	プロレタリヤ科學同盟 神田
メートル法強制施行反對意見集	岡部長景	非◎	二六	岡部長景 赤坂
現代婦人の使命	帆足みゆき	一・〇〇	二五五	新生堂 神田
國民思想三十年史	石田文四郎	三・五〇	七二	不朽社 同
革命のドイツ	長尾桃郎	非◎	八	大月社會問題研究會 大阪
最近に於ける反ファシズム鬪爭	同	◎	九	同 同
奮鬪活歷拔群の人々	都倉瓊川	一・二〇	二六四	實業之日本社 京橋
生物突然變異論	フーゴー・ド・フリース	二・八〇	二六〇	白揚社 神田
大阪知名婦人	相馬泰雄			
女性訓	杉野利麿子	二・八〇	二六八	大阪婦女新聞社 大阪
日本民族主義	柴田甲四郎	一・〇〇	二六	大日本報國會 京橋
女性五十講改訂版	山川菊榮	一・五〇	二五四	改造社 芝
民族問題について	レーニン	・六〇	一九三	希望閣 神田
時事パンフレット第二輯	福島次郎	・二〇	一四三	時事新報社 劉町
五・一五事件陸海軍大公判記	川邊喜一郎	・二〇	一四三	時事新報社 劉町
浮浪者を語る	工藤英一	一・八〇	二〇六	大同館書店 神田
全國勞働組合同盟大阪聯合會大會	長尾桃郎	非◎	二〇	大月社會問題調査所 大阪
請負制度實施を繞る大阪鐵工所爭議記錄並に批判（上）	同	◎	二〇	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
五・一五事件 公判記錄 借家爭議の戰術 家主とは如何に戰ふべきか	楓井金之助	・一五〇	八九	國民新聞社 京橋
	客野好一 岡田丸良	×	五三	大阪借家人同盟 大阪
新興の農村 勤勞を中心とせる自給自足の農民教育	江坂佐太郎	一・五〇	× 五六	泰文館 神田
人類愛第三・四・五輯 三册	相原言三郎	一・三〇	二六五 三一〇	立本刊行會 高松
最近重大犯罪探偵秘錄	坂本清作	○	三八	全關東水平社 群馬
農村は更生するか	楠瀨正澄	・九〇	二〇四	甦生聯盟本部 豐島
人生を語る 【九月】	大月久治	◎	三	警察智識社 豐島
思想善導と基督教	下村虎六郎	二・五〇	◎ 三七二	大月社會問題調査所 大阪
少年の不良化と矯正	畔上賢造	・一五〇	四二	泰文館 神田
社會學講義案第二部	鈴木賀一郎	・一五〇	四九	社會教育協會 小石川
五・一五事件の眞相	戶田貞三	一・五〇	◎ 二四三	同 同
思慮ある母達の爲に	相澤壽	・二〇	二八	弘文堂 京都
水平運動の近況	竹內愛二	・〇〇	二四	日曜世界社 大阪
五・一五事件 赤色辯護人を衝く	大月久治	◎	三	大月社會問題調査所 同
	井上四郎	・一〇	三	改造日本社 四谷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
五・一五事件 陸海軍公判記錄	堺勝太郎	・一〇	二五	九州日報社 福岡
五・一五事件 公判記錄 勞資直接交涉で解決した大阪鐵工所爭議記錄並に批判(下)	櫻井金之助	・一五	九	國民新聞社 京橋
	大月久治	◎	三	大月社會問題調査所 大阪
社會學批判序說	清水幾太郎	二・〇〇	二四〇	理想社出版部 劉町
ファッショ運動と伊太利の農村振興政策に就て	下位春吉	・一五	四六	長野縣人東京聯合會 澁谷
大衆公論附錄 勞働者は必ず讀め!	山崎常吉	×	三	日本勞働組合總評議會中部地方評議會 名古屋
五・一五事件を無意義に終らす勿れ	藤江實	◎	八	藤江實 牛込
信仰を基礎としたる農村振興實際的指導	小林文成	・一五〇	一三五	代々木書院 澁谷
社會進化の原理	南村清二	・八〇	二八	寶文館 日本橋
日本資本主義の發生根源的立場の現代思想觀	兼子尙積	・一五〇	一五六	白揚社 神田
元士官候補生拾一名反亂被告事件之辯論	菅原裕	非◎	二七	更生社 大阪
日本之運命	同	◎	一四	菅原裕 京橋
五・一五事件豫言	上杉慎吉	・六五	二〇〇	日本學術普及會 小石川
テオバルト・チーグレル現代獨逸の精神的社會的潮流	伊藤吉之助外一	七・五〇	△ 九二〇	第一書房 劉町
その後の金貨引揚を曝く	水谷寬	・五〇	九	海底事業協會 同
思想非常時と現代教育の革新	二荒芳德	三・〇〇	二六八	大日本力教會 淀橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
ロンドン條約の實體統帥權干犯問題再檢討(五・一五事件最終批判)	森山梧朗	○	一六	國體聯合會 芝
財界學閥展望	三木田十五	・八〇	二一〇	不動書房 神田
朝鮮人勞働者の近況	大阪市社會部	◎	三	大阪市社會部 大阪
京大法學部事件批判	平田元吉	・三〇	七二	人文書院 京都
現代文明講話	室伏高信	一・五〇	三〇三	千倉書房 京橋
五・一五事件 陸海軍公判記錄 社會文庫第十八册オールシエピズムと民主主義	堺勝太郎	・二〇	一四一	九州日報社 福岡
	フランチェスコ・ニッテイ 田中力	・六五	一九五	日本評論社 京橋
支那に於ける共產運動	豐島擴	一・六〇	四〇一	日本外事協會 劉町
マルクス社會主義と人間の心理	元山北洋	一・三〇	二三三	元山堂 千葉
日本的言行	大川周明	・三〇	九六	神武會出版部 劉町
血で描いた五・一五事件の眞相	關東朝日新聞社	一・〇〇	四四	共同館 神田
自大正十年至昭和八年八月コミンターン(國際共產黨)の日本に及ぼしたる影響	帝國在鄉軍人會本部	非◎	二〇	帝國在鄉軍人會 牛込
犯罪者と行刑の話	印南於菟吉	一・〇〇	三七三	刑務協會 劉町
日本之運命(改訂版)	上杉慎吉	・六五	二〇〇	日本學術普及會 小石川
社會主義的レアリズムの問題	外村史郎	一・〇〇	二六五	文化集團社 淀橋
日本主義概論	松永材	・五〇	一七二	日本主義研究會 澁谷
上代日本の社會及思想	津田左右吉	四・〇〇	◎ 六一八	岩波書店 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
言論ギャング(野依秀一の正體)	原田健太郎	・二〇	一二〇	帝國新聞社 京橋
五・一五事件 軍法會議記錄	鬼塚昌停	・五〇	三六	日本書店 芝
軍部はどう考へてゐるか 【十月】	伊達龍成	一・八〇	七四	株式會社明治圖書 神田
	井上信明	二・〇〇	◎ 一〇三	經濟時論社 神田
從業員待遇比較統計	古賀悅一	・五〇	九三	古賀悅一 福岡
農村振興と思想善導策	松田儀子	・七〇	二一〇	國際書院 神田
女性苦	川邊喜三郎	一・八〇	◎ 四三六	敬文堂書店 牛込
社會學序論 敎材第一編	大月久治	◎	三七	大月社會問題調査所 大阪
日本勞働組合會議第二回大會を觀る	同	◎	三〇	同 同
滿洲に於ける共產黨	同	◎	三	同 同
思想問題對策の根本義	陸軍省調査班	○	五〇	陸軍省調査班 劉町
所謂電話處方事件	中村義明	・七〇	◎ 八四	皇民意識振興會 大阪
血で描いた五・一五事件の眞相	中村信治	非○	三六	東京藥局會 小石川
朝日新聞社	關東朝日新聞社	一・〇〇	○ 四五四	共同館 神田
米倉嘉兵衞	米倉嘉兵衞	・一〇	◎ 四〇	人類愛善會亞細亞本部 四谷
小作問題と調停	鎌田曉正	三・〇〇	○ 三六八	明文堂 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
振動日本勞働總同盟大阪金屬勞働大會記錄並に批判	石井三郎	一〇〇	五六	皇道義會本部 京橋
パトロン百面相	大月久治	非◎	三〇	大月社會問題調査所 大阪
沒落の過程を辿る社會主義と資本主義	辰野九紫	一〇〇	二三	時潮社 京橋
社會有機體論に於ける一問題	夏秋龜一	四〇	一四八	愛國社 芝
因襲打破論	安西文夫	三〇	七〇	刀江書院 神田
軍部を衝く拔萃本非賣版	村岡靜五郎	三五	二〇六	關東水平社 群馬
陰知己漫語	野依秀一	非〇	一八〇	秀文閣書房 芝
新聞ニュースの研究	北村小松	一〇〇	三一〇	時潮社 京橋
日本に於けるアナーキズムの消長	關一雄	一五〇	二四七	厚生閣 神田
五・二五事件公判記錄	大月久治	非◎	一九	大月社會問題調査所 大阪
ソヴエート文壇の新段階社會主義的リアリズム	寶積肇	二〇	一三五	西日本出版協會 廣島
ユダヤ民族の世界支配？	川口浩	二〇	一四	國際書院 神田
ナチスとは何か	安江仙弘	一五〇	三五	古今書院 同
日本資本主義の發生	山口安二	〇五〇	三	全國勞働組合聯合自由 四谷
五・一五事件背後の思想	スヴエトロフ 早川二郎	一五〇	一五六	白揚社 神田
	伊福部隆輝	一五〇	一七	明治圖書出版協會 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
總同盟大阪聯合會の方針定る	大月久治	非◎	三	大月社會問題調査所 大阪
全國勞働組合總同盟第四回大會詳報	同	同◎	七六	同 同
轉向者の手記	早乙女勇五郎	八〇	二六〇	大通社 神田
一燈園と維摩經	西田天香	一五〇	一六三	回光社 京都

【十一月】

大阪府下に於ける拾月中爭議統計と爭議爭鬪	大月久治	非◎	三	大月社會問題調査所 大阪
中野正剛組合運動へ前進の眞因官業勞働の日本主義に依る軍部との接近	同	同◎	七六	同 同
露西亞に旅して住友合資會社	津田秀榮	八〇	二六〇	大通社 神田
非常時勞働對策	齋藤金治	◎	四	京濱產業勞働調査會 神奈川
社會問題を中心としての寸鐵評論	前田耕作	一〇〇	八	社會問題研究會本部 大阪
社會哲學社會科學評論第一輯	武田良三	二〇	二六八	岩波書店 神田
勞働戰線異常あり	大月久治	非◎	一七	大月社會問題調査所 大阪
株式會社桑原商店ゴム工場爭議解決顚末	同	同◎	二四	同 同
五・一五事件公判記錄改訂版	寶積肇	八〇	一六四	西日本出版協會 廣島
給料生活者問題	氷室吉平	一〇〇	三〇	社會立法協會 劉町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
大事件	佐々木惣一	一・二〇	四〇〇	岩波書店 神田
軍部を罵倒する國賊を葬れ	松井芳太郎	二〇	八〇	國粹神風隊 大阪
勞働組合とは無關係に自主的手段で解決した二つの爭議例	大月久治	非◎	二〇	大月社會問題調査所 同
斷獄實錄お艶殺し事件 外一	石渡安躬	一・〇〇	二六四	松華堂 神田
五・一五と血盟團	富岡福壽郎	一・八〇	二五四	弘文社 茨城

【十二月】

農民諸君に訴ふ	石田樹心	一〇〇	一四	極東書房 豐島
農村學	橘孝三郎	一・五〇	二〇〇	建設社 牛込
社會學入門	ネ・モーニエ 河合弘道	一・〇〇	二三	新興社 神田
社會調査	戶田貞三	二・五〇	四七	時潮社 京橋
明日に呼びかける不穩思想の眞相と其對策	土田杏村	一・五〇	二三二	千倉書房 同
現代思想と活問題	綾川武治	八〇	一四二	兵書出版社 赤坂
武士道の復活	上司義信	一・〇〇	一七八	東京泰文社 牛込
	平泉澄	二・八〇	二六七	至文堂 同
日本精神と青年運動學校事件の教育的法律的實際研究	津久井龍雄	一・〇〇	二六	國民協會 劉町
	河野通保	二・〇〇	二三六	出版部 本鄉

昭和五年國勢調査報告第四卷 神奈川縣	內閣統計局	二・二〇	三〇九	內閣統計局 劉町
非常時漫談	下村海南	一・六〇	四二〇	四條書房 神田
社會學	小松堅太郎	一・八〇	二七二	富山房 同
青年よ起て	松岡洋右	九〇	二六九	日本思想研究會出版部 四谷
反產運動を支持す	直木傳五郎	非◎	一三	直木傳五郎 山形
勞働組合と赤化運動	能勢淡二	◎	四六	神戶中央職業紹介所傭給者授職部 神戶
	マルクスエンゲルス研究所	四・〇〇	八九二	ナウカ社 神田
マルクス・エンゲルス二一卷選集二	千家尊建	一・五〇	八八	建設社 牛込
光は日本から建設文庫	金子白夢	一・〇〇	一〇四	同 同
全人生活論	清水德太郎	二・三〇	二五二	三省堂 神田
最近歐米各國事情	齋藤敏一	一・八〇	二四二	師士道社 同
米歐印象日本の何が世界一か實地調査の結果から見た農村生活	松村勝治郎	二〇	二一二	協調會 芝
社會學第一輯	尾高邦雄	二・〇〇	二三五	岩波書店 神田
現代思想と活問題	濱野修	一・五〇	二〇四	日東書院 同
共產主義は何故に難破したか？	オートマルシュパン	一・四五	一七九	日獨文化協會 劉町
民族性の本質に就て反第三インターナショナル國際協會	花岡止雄	非◎	一五	國際思想研究會 同
第九回會議日本原始社會史上	渡部義通	二・〇〇	二六四	白揚社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
人口增殖に伴ふ國民榮養保健と食料問題の解答	佐藤盛平	一・五〇	三二	山田書院 神奈川
菊の根分け	勝田主計	非	一九〇	中臣正治郎 赤坂

批評家の歿落

一九三三年の文壇の一風景は「思想」や「コギト」系のアカデミツク批評家達が風をきつて濶歩し、今までのジヤーナリズム批評家達は、こけおどしの文學理論の鼻息で、一氣に吹き飛ばされる——まさか、それほどでないにしても、とにかく、風向きがひどく惡くなりかけたのは事實。そのアカデミツク派も年末になると、そろそろ金箔が剝げ出して、どうにも足掻きがつかなくなつた。だからとて、ジヤーナリズム方面に別に精彩が加はつたわけでもなく、むしろ依然、萎靡そのものではあるのだが、さて、一九三四年始めの雜誌界の掛け聲によると、一九三四年は、各方面にわたつて、新人推薦の一年であるといふこと、それには賛成こそすれ、何一つ異議を申し立てる筋はないのである。序でに、批評家の新人も大いに推薦してほしい、我邦に於ても其通り、口幅つたい言分だが、この一、二月の文壇に新鮮な作家皆無で失望したと同様、評論の落莫にもまた心が暗くなつた。

〔二三〕數學

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
珠算乘除の新研究	相澤哲太一	一・〇〇	一五〇	春秋社 日本橋
計算表	菊田善三	一・五〇		計算書房 仙臺
高等教育 微分積分學 上卷	神部嘉之二外一	二・〇〇	二五五	長門屋書店 神田
同 下卷	同	二・五〇	二六〇	同 同
新撰高等代數學	相原要之進外一	三・三〇	二六八	培風館 同
數學諸論大要	渡邊孫一郎	三・〇〇	二九九	裳華房 同
高等數學通論	池田芳郎	二・〇〇	二〇三	内田老鶴圃 日本橋
國語教育大道	八波則吉	二・五〇	三六	東洋圖書株式會社 神田
【二月】				
高等三角法	高須鶴三郎 加藤平左衛門	二・八〇	三三三	裳華房 劍町
保險數學	龜田豐治郎	四・八〇	四五〇	共立社書店 神田
演習高等數學 【三月】	南條初五郎	非	一四九	共立社 神田
平面立體解析幾何學	杉村欣次郎	二・五〇	二九七	裳華房 劍町
初等數學で分る高等數學の講義	瀧村良一	三・五〇	五六	太陽堂書店 神田
解折幾何學大意	高須鶴三郎	一・三〇	二六	培風館 同
集合論	辻正次	二・〇〇	二六二	共立社 同
教育科學一	皇至道	九〇	一九	岩波書店 同
【四月】				
Physics Measurements Mathematics メートル換算ハンドブック	佐藤政資	各三・〇〇	四二八四二三	山本錦文堂 京都
珠算精說	清水隆	二・五〇	×	修教社書院 神田
新訂數學公式	小野津恒一	一・〇〇	一九九	平野書店 京都
【五月】	藤田外次郎	二・〇〇	×	山海堂 神田
球面三角法	臨時公立商船學校教科書編纂委員會	〇	九六	海洋社 品川 小石川
組織的系統的生活算術新研究(中學年篇)	香取良範	二・五〇	四七	モナス 同
算術の哲學	フツセール吉田彌吉	二・五〇	四一四	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
高等微分積分學	田中正夫	三·五〇	三四	共立社書店 神田
小學校珠算書に準據せる甲・乙				
珠算指導新書	柴田昊	三·〇〇	三〇〇	高橋成弘社 名古屋
高等數學要義	河村信一	三·〇〇	三三	甲文堂書店 大阪
數學教育本質論	數學研究會	一·三〇	二〇二	修文館 神田
【六月】				
微分幾何學概要	河口商次	三·五〇	三三〇	共立社書店 神田
實用生命保險數學	忍田又男	二·五〇	二三八	巖松堂 同
非ゆーくりっど幾何學	高須鶴三郎	三·八〇	四〇三	共立社書店 同
【七月】				
整數の計算表	東京工學研究會	一·三〇	三七	鐵道圖書局 劉町
緩和曲線表及布設法	坂元左馬太	一·〇〇		同 同
物理數學 第二卷	小平吉男	九·〇〇	八六八	岩波書店 同
【八月】				
珠算教授原論	八木暸衛	三·二〇	二七二	成光館出版部 神田
【九月】				
實用數學便覽	米田麟吉外四	三·五〇	三〇二	培風館 同
實踐を主としたる分數教育の新考案	森田修造	一·八〇	二〇六	精文館 神田
【十月】				
珠算四則	相澤哲太	一·五〇	一五六	壹哲堂 淺草
本數學概說	岡專吉	一·八〇	二三五	岩波書店 神田
【十一月】				
幾何と代數との語源に就いて	林鶴一	非〇	二九	東京開成館 小石川
【十二月】				
現代生活算術	三本重長	二·五〇	四〇三	三本重長 劉町
教育珠算の理論と實際	八木暸衛	二·五〇	四一三	モナス 小石川
最近幾何學概要	プロフエソールドクトルウイルヘルムキルヘルデユルス	三·〇〇	三七	弘道館 神田

〔二四〕理學

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
最新馬學問答	軍事學研究會	一·五〇	二一〇	武揚社出版部 雜谷
電氣磁氣提要	又野重信	一·〇〇	一一二	淀屋書店 大阪
交流理論要綱	大谷元夫	一·五〇	一一三	コロナ社 小石川
寫眞製版術	刑務協會	一·〇〇	四七	伊藤忠次郎 劉町
毒ガスの性質及防護	伊東鄕之助	〇	二〇	伊東鄕之助 神田
漁船建造必携	能勢行藏	二·〇〇	一九六	モーターシツプ雜誌社 京橋
綜合化粧品製法教授書	平本正之	非〇	二六	研究所 廣島
定量分析指針 上	益田苦良	同〇	一四	桐生高等學校 群馬
最新建築施工法	堀紫朗	四·五〇	四七〇	丸善株式會社 日本橋
交流整流子電動機	鳳秀太郎	三·〇〇	一六六	同 同
蒸氣機關車提要	井口祐太	一·二〇	一三二	興文堂書店 仙臺
日本の鳥類と其の主態(舊北區の部) 第一卷第一號	山階芳麿	四·〇〇	一二〇	梓書房 神田
寫眞化學	鈴木庸生	三·八〇	二四〇	共立社書店 同
化學物語	益田苦良	一·五〇	一二四	新光社 同
競走馬ノ運動生理並ニ其ノ能力檢定ニ關スル研究	三宅隆人	非△	二九四	帝國競馬協會 芝
ブラウン管	久王	二·二〇	二四九	工政會出版部 劉町
動物圖譜 下(最新科學圖鑑一七)	北原鐵雄	非△	一七八	アルス 神田
立體圖學 上卷	溝口好忠	二·二〇	一七二	丸善株式會社 日本橋
同 下卷	同	二·二〇	二五二	同 同
染料化學概論	高岡齊	二·五〇	二五二	共立社 神田
民族生物學概論	古屋芳雄	非〇	二五五	雄山閣 劉町
ヴエクトル解折學	河口商次	二·二〇	二三九	共立社書店 神田
高等物理學講話 原子物理學	三村剛昂助川巳之七	三·五〇	四三	中文館 牛込
自然科學地質概論	加藤武夫	一·八〇	一七二	山海堂 神田
自動車の正しき操縱法	石川靜夫	一·二〇	二四九	大阪屋號書店 日本橋
【二月】				
建築寫眞類聚第八期第十四輯玄關硝子戶寫眞集	高梨由太郎	一·二〇	五枚	洪洋社 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
分類原色日本昆蟲圖鑑 二	加藤正世	三·五〇	×五〇枚	厚生閣 劉町
電氣鐵道廻轉變流機變電所	河原武一	二·二〇	二六四	オーム社 神田
電池	槇尾榮	三·二〇	三七二	興學館 同
高等有機化學	江見節男	二·〇〇	二三四	裳華房 劉町
日本產鳥類ノ卵 第四輯(英文)	小林桂助 石澤健夫		△八圖	小林桂助 神戸
仙臺人名大辭書	菊田定郷	三·〇〇	一四四四	仙臺人名辭書刊行會 仙臺
華語發音字典	權寧世	二·〇〇	×四三	大阪屋號書店 日本橋
家具寫眞集成五書棚	洪洋社	一·〇〇	△圖三枚	洪洋社 牛込
日本農林種子學	近藤萬太郎	四·八〇	四六九	養賢堂 劉町
樹病學及木材腐朽論 完	北島君三	四·八〇	五〇五	同 同
材料强弱及彈性學	南日實	五·〇〇	四九五	同 同
家禽圖鑑 (別冊)	衣川義雄 三井高遂	別冊共三·〇〇	△一六三	成美堂書店 日本橋
同	同		△寫眞三七	同 同
鑛物學概論	木下龜城 外一	二·五〇	三三	古今書院 神田
モーターカー讀本	鐵道省工務局改良課	一·〇〇	二三	鐵道保線研究會 日本橋
蒸氣機關庫提要	井口祐太	一·二〇	三五四	興文堂書店 仙臺

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
物理實驗 Siebold Synopris Plautarum Oeconomicarum	小林晋吉	二·五〇	三三	三友社 四谷
定性分析化學下卷	高木誠司	三·〇〇	一九三	日本藥報社 牛込
新研究齒車 上卷	藤野篤之	五·八〇	六一九	藤野篤之 小石川
高等化學 前篇	箕作新六	三·五〇	四三二	共立社書店 神田
金礦及金礦床	渡邊萬次郎	三·五〇	三七〇	新光社 同
電熱器製作の實際	島田定雄	一·五〇	一九八	オーム社 同
電動機の應用と其運轉經濟	伯野慶三	二·三〇	四五七	丸善株式會社 日本橋
榮養化學	松岡登	二·五〇	二三四	共立社書店 神田
植物顯微鏡實習	久米道民	二·八〇	△一七九	目黑書店 同
萬有科學大系續篇八 電信·電話·ラヂオ	仲摩照久	二·五〇	△四一〇	新光社 同
高等化學綱要並問題解法(無機化學)	一瀨電信	一·五〇	◎二三五	裳華房 劉町
沖繩產有要植物	金城三郎	二·五	×一〇五	金城菊子 沖繩
實用機械設計製圖割出表	土屋三郎	二·〇〇	△九三	關西書院 大阪
愛知縣幡豆郡鑛物誌	岡本要八郎		◎五五	近藤裕 愛知
第十三回保線講話會記錄	鐵道省工務局	一·五〇	△二六六	鐵道保線研究會 日本橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
最新建築製圖參考書	渡邊佐平治	一·〇〇	△	建築製圖研究會 品川
定性分析實驗指針	石橋雅義	一·二〇	九〇	カニヤ書店 京都
【三 月】				
理化學實驗 五桁對數表	高木隆二	一·〇〇	八〇	前野書店 牛込
JOAK ラヂオ講義錄	北村政治郎	一·〇〇		誠文堂 神田
有機化學實驗法	田中宗愛	一·〇〇	九五	裳華房 劉町
無線電話回路の應用(新版)	山內正治	三·〇〇	一八	山內出版部 板橋
西洋建築史概要	中保尾	一·六〇	一三三	淀屋書店 大阪
物理學	早川堅太郎	三·〇〇	一六四	金原商店 本郷
電話とラヂオ	吉田嘉一	一·五〇	三六	電氣工士養成所 大阪
人生化學	龜高德平	四·八〇	七三	丁未出版社 劉町
最新化學工業大系14	仲摩照久		◎五三	新光社 神田
最近の精密機械	社團法人火兵學會	六·〇〇	△三七六	工政會出版部 劉町
熱帶植物寫眞集 第三卷	工藤彌九郎	二·五〇	△三〇圖	明文堂 神田
頭註國譯本草綱目 第八册菓果部	鈴木眞海	非◎	五九六	春陽堂 日本橋
同 第一三册拾遺	同	非◎	四二八	同 同
電力問題講話	澁澤元治	三·〇〇	◎三六三	オーム社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
動物學汎論 上卷	大島正滿	四·五〇	◎一四二	冨山房 神田
本邦產牡蠣の分類について	平瀨信太郎		◎一四	廣文社 同
量子力學	菊地正士	二·三〇	◎二四五	岩波書店 同
土木應用力學	山下直一	二·五〇	◎二〇八	淀屋書店 大阪
電燈及照明	芝原貞吉	一·五〇	◎一五五	同 同
最新力學及材料强弱學	飛永甚治	一·八〇	◎二三〇	工政會出版部 劉町
蝶蛾の研究	中川元次郎	五·八〇	◎五三〇	厚生閣 同
無機及理論化學	津田榮	二·七〇	◎三二	裳華房 同
最新蠶病學 上卷	三谷賢三郎	四·〇〇	◎四五六	同文館 神田
水理學	物部長穗	五·八〇	△五七八	岩波書店 同
測候瑣談	岡田武松	三·二〇	◎四八	鐵塔書院 同
分類原色日本昆蟲圖鑑 3	加藤正世	三·五〇	三一〇	厚生閣 劉町
建築寫眞類聚第八期第十五輯床の間集卷四	高梨由太郎	一·二〇	◎四八	洪洋社 牛込
水力及火力發電所	野中正雄	三·五〇	◎三二九	淀屋書店 天王寺
【四 月】				
動力傳導の方法の改善	臨時產業合理局	二·〇〇	◎二〇二	日本工業協會 大阪
日本ラヂオ通信講義錄 3	日本ラヂオ通信學校	非◎		日本ラヂオ通信學校 日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
電氣現象と初等微分方程式	大塚眞夫	一・〇〇	◎	一三九	オーム社	神田
生化學提要	柿内三郎	三・三〇	◎	一九一	克誠堂書店	本鄕
可鎔片を主體とする特別高壓回路自働遮斷器の研究	電氣計器大阪試驗所		△	四九	電氣計器大阪試驗所	大阪
生化學提要	柿内三郎	三・三〇	◎	一九一	克誠堂書店	本鄕
物理圖表	塘仁三	一・五〇	◎	五〇	金原商店	同
本派本願寺の建築	西岡義融	非	○	五七	平安時報社	京都
私の物理學	白井利吉	一・五〇	○	八六	白羊堂	大阪
ラヂオ講義錄	名古屋中央放送局		◎	二三三	名古屋中央放送局	愛知
電氣事業會計規程質疑應答	木村彌藏	・七〇	○	一〇六	日本電氣新聞社	芝
最新式ガソリン動車詳解	木下武之助	一・〇〇	△	六八	鐵道時報局	神田
電氣物語	石原純	一・五〇	○	二二七	新光社	同
御用測量方	測機舍營業部	一・〇〇	◎	二〇四	測機舍營業部	澁谷
自然科學化學概論	久保田勉之助	二・八〇	◎	三三〇	山海堂出版部	神田
植物生理及生態學實驗法	中野治房	六・五〇	◎	五七三	裳華房	麴町
航海科電氣工學	臨時公立商船學校教科書編纂委員會		◎	一一七	嵩山房	本鄕
化學語彙	日本化學會	三・〇〇	○	三〇九	内田老鶴圃	日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
生物無機化學	東恒人	四・五〇	◎	三一七	金原商店	本鄕
分類原色日本昆蟲圖鑑 8	加藤正世	二・五〇	○	五〇圖	厚生閣	麴町
動物物語	大島正滿	一・三〇	◎	二五一	大日本雄辯會講談社	本鄕
有機化學要論	石川精一	三・八〇	◎	四三〇	培風館	神田
萬有科學大系續編 10	仲摩照久	二・五〇	△	三一六	新光社	同
同 12	同	二・五〇	△	二九六	同	同
ほゝのき及かつら類篇	宮田長次郎	一・三〇	◎	一〇七	日本山林會	赤坂
とち及しやくなげ類篇	同	一・三〇	◎	一一六	同	同
日本蛇類圖譜 分類的研究 II	牧茂市郎	二八・〇〇	△	四七枚	第一書房	麴町
物理學要論 上卷	一瀨正巳	三・〇〇	◎	三四四	培風館	神田
内燃機關	工業教育振興會	一・六〇	◎	二六六	工業教育振興會	同
海洋學	丸久俊		◎	三六八	厚生閣	麴町
性と生殖の原理	石川重美	三・〇〇	◎	二六九	内田老鶴圃	日本橋
現代道路論	楢崎敏雄外一	三・三〇	◎	四〇三	巖松堂書店	神田
最新化學工業大系 2	仲摩照久		◎	五八四	新光社	同
應用水理學	村野爲次	二・五〇	◎	四〇三	常磐書房	小石川

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
船用蒸氣タービン 附圖	臨時公立商船學校教科書編纂委員會		△	二七八	嵩山房	本鄕
内外植物原色大圖鑑	村越三千男		△	一四四	圖鑑刊行會	神田
高等平面立體圖學	市浦健	三・三〇	◎	三四〇	内田老鶴圃	日本橋
木材化學	三浦伊八郎外一	五・八〇	◎	三四五	丸善株式會社	同
直流電機 下卷	後藤文雄	四・五〇	◎	三六七	同	同
北上山地の地形學的研究	田山利三郎		△	八三	齋藤報恩會	仙臺
ケーオ無線資料眞空管と其の應用	前田久雄	一・〇〇	◎	二五〇	ケーオ眞空管製作所	品川
船用汽鑵學 下卷	臨時公立商船學校教科書編纂委員會		◎	四〇〇	日本海事學會	京橋
【五月】						
簡易昆蟲標本製作法	絲賀璋	・三〇	○	九八	拔天社	豐島
原色高山植物改訂	山川默	三・〇〇	×		三省堂	神田
實驗化學工業石鹼製造法 第二編固形洗濯石鹼製造教科書	中野徹堂	非	◎	一五六	中央化學工業研究所	名古屋
電鐵叢話	米澤政治郎	・六〇	○	一〇五	オーム社	神田
電熱ノート	大山松次郎	一・〇〇	◎		同	同
中村の規矩術	中村只八	一・五〇	×		中村只八	岐阜
トーキーの設計と製作法	平田潤雄	一・三〇	○	一九三	隆章閣	神田
新電氣工作物規程の征服	木下隆博	・六〇	○		誠美堂書店	同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	所在地
除蟲菊に關する研究 第一輯	手塚虎藏	・五〇	◎	二三三	手塚虎藏	廣島
岡山動植物方言圖譜	桂又三郎		◎		中國民俗學會	岡山
一九三二七歐ラヂオブレテン	七尾菊良	・五〇	◎	三一	七歐無線電氣商會	麻布
原動機 第一講	八田志津馬	・三五	◎	六六	實用工學社	大阪
定量分析指針 上卷	益田苦良	非	◎	三四	桐生高等工業學校	群馬
理研アルマイトの概念No 1.	田中庄一郎	非	△	三四	理研アルマイト事業部	横須賀
ミシン科學	端博	一・〇〇	○	七六	端博	日本橋
船用往復動汽機學及同附圖	臨時公立商船學校教科書編纂委員會		◎	二一四	日本海事學會	京橋
海洋氣象學	同		◎	二五〇	海洋社	品川
指壓器及指壓圖	同		◎	二七三	同	同
The Bird of Nippon	鷹司信輔	七・〇〇	△	一三八	養賢堂	麴町
建築寫眞類聚第八期第十六輯 新興住宅の家内構造卷一	高梨由太郎	一・二〇	○	四八	洪洋社	牛込
最新紡織原料論	森山二郎	三・五〇	◎	二八〇	工政會	麴町
最近度量衡通解	中尾晉	一・〇〇	○	一五〇	日本度量衡協會東京支部	同
測量學講義	關信雄	一・三〇	◎	一六二	養賢堂	同
肥料學各論	小野寺伊勢之助	五・三〇	◎	五六〇	同	同
植物學大要	吉井義次	三・九〇	◎	三九四	同	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
初等力學通論	渥美 正	二・〇〇	◎ 二六七	共立社書店	神田
家の建つまで	京都建物協會	一・〇〇	○ 三〇〇	京都土木建築新聞社	京都
實地圖解測量學解說	菊地 嘉美	四・〇〇	◎ 四一三	鐵道圖書局	麴町
汽力原動機	岡田 成賢	二・二〇	◎ 二一五	電氣學校	神田
一般に利用せらるゝ木材の木肌之實物標本	日比野貫三外一	三・五〇	△ 四四	日比野貫三	下谷
昆蟲標本整理法	加藤 正世	一・七〇	○ 二一八	三省堂	神田
原色甲蟲圖譜	安立 綱光	二・〇〇	○ 五六圖	同	同
ガラス	杉江 重誠外一	三・〇〇	◎ 三六二	共立社書店	同
蒸汽罐及汽力原動機	電機學校	一・一〇	◎ 一三〇	電機學校	同
電氣材料學 完	大塚 眞夫	三・五〇	◎ 一九二	養賢堂	麴町
實驗果樹剪定論	定盛 兼助	三・五〇	◎ 二九三	同	同
寫眞處方集普及版	泉 兵太郎	一・一〇	○ 三一七	光大社	板橋
日本の鳥類と其の生態(舊北區の部)	山階 芳麿	四・五〇	△ 三五六	梓書房	神田
機械學 電氣學校叢書 3	加藤 靜夫	・九五	◎ 一一七	電氣學校	同
機械設計 電氣學校叢書 4	同	一・七〇	◎ 一九五	同	同
高山植物圖彙	武田 久吉	二・六〇	× 二五〇	梓書房	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
實用圖案資料大成 4 植物資料圖案集 上	杉浦 非水	二・〇〇	△ 一〇三	アトリヱ社	牛込
日本土木地質學	岩崎 重三	三・〇〇	◎ 三〇七	淀屋書店	大阪
最新化學工業大系 9	仲摩 照久		◎ 五四八	新光社	神田
樹木和名考	白井光太郎	一五・〇〇	◎ 五五〇	内田老鶴圃	日本橋
【六月】					
作物保護病蟲害驅除と藥劑施用法	松岡喜惣治	・六五	○ 一三一	明文堂	神田
ラヂオ讀本	古澤匡市郎	一・〇〇	△ 一八三	誠文堂	同
日本ラヂオ通信講義錄 五卷	日本ラヂオ通信學校	非	◎	日本ラヂオ通信學校	日本橋
結晶學要義	小岩井兼輝	一・五〇	◎	振興會	京橋
クロム酸電鍍槽よりクロム鍍金法	後藤 憲三	一・〇〇	○ 八六	東都電機製作所	淺草
高等化學實驗	江見 節男	・七〇	○ 六六	裳華房	麴町
レーヨンとステープルファイバー	宇野 米吉	四・五〇	△	紡織雜誌社	大阪
實驗病理學概論	織田富士夫	四・五〇	◎ 四九六	西ケ原刊行會	赤坂
植物分類學第一卷 裸子植物篇	早田 文藏	一五・〇〇	◎ 八六六	内田老鶴圃	日本橋
實用圖案資料大成 動物資料圖案集 下	杉浦 非水外一	二・〇〇 豫約	△ 九五圖	アトリヱ社	牛込
日本植物圖譜	寺崎 留吉	三五・〇〇	◎ 三一〇〇	春陽堂	日本橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
東方文化學院京都研究所研究報告第三册 固體算經の研究	能田 忠亮		△ 一六五	東方文化學院京都研究所	京都
日本化學總覽	眞島 利行	三・〇〇	△ 五九三	日本化學研究會	仙臺
醫化學 上卷	永山 武美		◎ 一九七	明文館	芝
分類原色日本昆蟲圖鑑 9	加藤 正世	二・五〇	○ 五〇圖	厚生閣	麴町
星座行脚	小森 幸正	・五〇	○ 一七三	新光社	神田
用器畫ノ解說原理ト實際應用	齊川 梧堂	一・八〇	◎ 二二六	文花堂書店	同
帝國大學入學試驗生物學問題解說	山本 義彥外一	二・八〇	◎ 三一五	共立社書店	同
文檢植物科提要	清水 清成	二・〇〇	○ 三〇〇	博美社	豐島
眞空管	千葉茂太郎	二・二〇	◎ 三一二	共立社書店	神田
紫外線・赤外線	二神哲五郎	・八〇	○ 一三三	鐵塔書院	同
地球	坪井 忠二	・八〇	○ 一二八	同	同
大氣中の光象	藤原 咲平	・八〇	○ 一〇五	同	同
水波	栗原嘉名芽	・八〇	○ 一三一	同	同
高等物理學要論	造賀 常一	四・八〇	◎ 五二〇	寶文館	日本橋
科學は何處へ	マクス・プランク 寮佐吉	一・三〇	○ 一四六	白帝書房	牛込
分類原色日本昆蟲圖鑑(同翅目)	加藤 正世	二・五〇	○ 五〇圖	厚生閣	麴町
最新科學圖鑑 進化遺傳の科學	北原 鐵雄	非	△ 一七九	アルス	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
内外植物原色大圖鑑 第三卷	村越三千男	豫約	△ 一五三	植物原色大圖鑑刊行會	神田
運轉經濟論	倉田新之丞	四・〇〇	◎ 四一五	鐵道技術社	下谷
登山者の天文學	山本 一清	一・〇〇	○ 一五〇	恒星社	芝
有用、有害、觀賞水產動植物圖鑑	田中 茂穗	八・〇〇	△ 六〇七	大地書院	府下吉祥寺
樣式の問題	中島 勝	・八〇	○ 一四九	建設社	牛込
日本羊齒類圖集 第五輯	大澤 米造	一〇・〇〇	△ 二五〇圖	三秀舍	神田
福井縣昆蟲誌 蝶蛾之部	井崎市左衛門	四・〇〇	◎ 二〇三	井崎標本器械店	福井
京都帝國大學文學部考古學研究報告第十二册 讃岐高松石淸尾山石塚の研究	濱田 耕作	七・〇〇	△ 一一三	刀江書院	神田
日本主要樹種林分收穫表	早尾 丑麿	二・二〇	◎ 二〇八	帝國森林會	赤坂
【七月】					
JOBKラヂオ技術教科書	日本放送協會關西支部	非	◎ 四四	日本放送協會關西支部	大阪
長野縣工業試驗場報告彙報拔萃集(製絲化學)	宗像 宗吉	二・二〇	◎ 三一四	信濃每日新聞社	長野
特許石鹼淸淨劑製造法集	山添長四郎	・五〇	○ 一七八	三圭社	芝
ムサシノに於ける雜草圖譜	山口 泰輔	・三〇	× 七〇	愛の園工房	本所
海洋科學 海をひらく	丸川 久俊	二・五〇	○ 三九三	仁川堂出版部	京橋
現今の自動車構造學(構造編) 增補改訂版	佛性 榮治	二・八〇	○ 六六五	文榮堂	大阪
綜合科學論叢 1	綜合自然史學會	三・〇〇	◎ 三三七	改造社	芝

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
新高等物理學上卷	出射 榮	四·〇〇	◎	四九三	丸善株式會社	日本橋
再訂 蒸汽罐	田丸最一郎	五·〇〇	◎	五〇〇	同	同
趣味の科學なるほど	松島 種美	三·五〇	○	四二四	尚賢堂書店	同
電氣學校機械科叢書 水力學及水車	電氣學校	三·二〇	◎	二七一	電氣學校	神田
詳解植物圖鑑	松島 種美	三·五〇	×	九〇五	泰明堂	同
科學的管理讀本	宇野 信三	一·五〇	◎	一七四	日本能率技師協會	杉並
電氣瓦斯金屬鎔接法	益田 森治	三·〇〇	◎	三一二	丸善株式會社	日本橋
初步研究最新圖解自動車學	山田 嘉一	·七〇	○	二二三	日昭館書店	神田
同 土木學	秋山 匡	·七〇	○	二三七	同	同
同 無線とラヂオ	野村鉦太郎	·七〇	○	二三九	同	同
同 發動機學	山田 嘉一	·七〇	○	二三〇	同	同
同 蒸汽機關學	野村鉦太郎	·七〇	○	二三八	同	同
同 測量學	秋山 匡	·七〇	○	二一七	同	同
野鳥の生活	竹野 家立	一·七〇	○	三一四	大畑書店	同
水產食品化學	大谷 武夫 奧田 讓	五·五〇	◎	五四八	日本評論社	京橋
科學者は斯く生きる	大橋祐之助	一·八〇	◎	二三三	恒星社	芝

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
空氣瓦斯壓搾機の諸問題	數森 敏郎	三·八〇	◎	四九八	工政會出版部	麴町
スペクトルと物質の構造	藤岡 由夫	·八〇	○	一三九	鐵塔書院	神田
昆蟲寫眞生態1 2	木下 周太 外二	一〇·〇〇	△	一二九 一三六	西ケ原刊行會	赤坂
蟲の社會生活	松村 松年	一·八〇	○	三一七	東京堂	麴町
原色千種昆蟲圖譜	平山修次郎	三·〇〇	○	一〇四圖 二〇四	三省堂	神田
【八月】						
新フォード取扱法	日本フォード自動車株式會社	非	○	一六八	日本フォード自動車株式會社	神奈川
誰れにも出來る簡單な測量法	西村 春吉	·五〇	◎	一四八	江東測量社	深川
實科講義錄 實用電氣講話第二輯	小栗 卓平	非	○	三六六	實科社	大阪
分類原色日本昆蟲圖鑑(鱗翅目)6	加藤 正世	三·五〇	○	五〇圖	厚生閣	麴町
昭和八年三陸震嘯誌	杜都文化社	·九〇	○	九三	嶽麓書院	仙臺
日本產鳥類の卵 第五輯	小林 桂助 外一	五·〇〇	△	一八枚	小林桂助	神戶
最新實用鍍金術	長谷川源太郎	三·〇〇	◎	三九三	工業雜誌社	京橋
鳥類寫生圖譜第四期	小泉 勝彌 外一	三·五〇	△	四枚	圖譜刊行會	淀橋
汽罐燃料焚燒法	內藤 遊	三·〇〇	◎	二四七	內藤燃料研究會	澁谷
續酵素化學	田所哲太郎	四·〇〇	◎	四〇六	丸善株式會社	日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
地圖と地形	渡邊萬次郎	四·〇〇	◎	三三六	新光社	神田
世界の地體構造	青山 信雄	三·五〇	◎	二七六	古今書院	同
內線工士ポケツトブツク	吉田 喜一	四·〇〇	○	三七五	電氣工士養成所	大阪
鑛山調查と評價法	菅原 公平	三·八〇	◎	二三五	丸善株式會社	日本橋
【九月】						
寫眞の話	鎌田彌壽治	·一〇	○	三八	社會教育協會	小石川
計算尺應用透視畫の新しい描き方	宮崎 治助	一·〇〇	◎	六五	逸見製作所	下谷
電氣技術者資格檢定試驗問題並に解答	電機學校	·四〇	○	一一九	電機學校	神田
地震並津浪の常識	佐々木忠治	非	◎	八五	鄉土教育研究部	岩手
福井縣鑛物誌 Minerals of Fukui-ken	市川 新松		△	二冊	市川新松	福井
汽罐	須井 一	三·〇〇	○	三三七	汽罐研究會	京橋
金	岩崎 重三	三·八〇	◎	二八六	內田老鶴圃	日本橋
放電燈とネオンサイン	畠中 武吉	一·七〇	◎	一七九	淀屋書店	大阪
分析化學原理(增補版)	織田 經二	三·五〇	◎	二四九	丸善株式會社	日本橋
誰にも役立つ國民の電氣 天の卷·地の卷	寶來勇四郎	各一·五〇	◎	天三八三 地四〇〇	寶文館	同
生物學十講	中澤 毅一	三·三〇	○	三三六	厚生閣	麴町
四サイクルエーアレス式ニイガタ·ディーゼル機關取扱法	山下 良彥	一·五〇	△	二六圖 七四	新潟鐵工場	同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
電氣化學	箕作 新六	三·〇〇	◎	二四五	共立社書店	神田
分類原色日本昆蟲圖鑑11	加藤 正世	三·五〇	×	五〇圖	厚生閣	麴町
生理學 上卷	上野 一晴	五·〇〇	△	二九八	南山堂	本鄉
物理學提要	田尻 彥幸	三·〇〇	◎	三四五	前野書店	神田
實驗植物學提要	德田 省三	三·三〇	◎	五五五	三省堂	同
實驗音響學	小幡 重一	六·〇〇	△	三四一	岩波書店	同
珪酸鹽工業要覽	永井彰一郎	四·五〇	○	五八四	內田老鶴圃	日本橋
中等物理學講義	兒玉 帶刀	三·五〇	◎	四三八	修文館	神田
勞働科學論	暉峻 義等 外一	三·五〇	◎	二九八	巖松堂	同
交流發電機	磯野達一郎	三·五〇	◎	四八九	オーム社	同
【十月】						
四半世紀の電氣と機械	加藤 靜夫	非	◎	二〇〇	電氣學校	神田
最近物理學の概要	福田 光治	非	◎	五七	山海堂出版部	同
調查集 卷五	中央氣象臺大阪支臺		△	三〇	中央氣象臺大阪支臺	大阪
鄉土に於ける趣味の山草 第一輯	江刺家憲條	一·〇〇	○	一三三	武內良之助	秋田
高級ラヂオの製作と原理	原田 三夫	一·八〇	○	三四八	誠文堂	神田
生化學提要	柿內 三郎	四·〇〇	◎	五一九	克誠堂書店	本鄉

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
無機定量分析入門	篠田榮	一・七〇	◎一六〇	三誠社	神田
窯業原料試驗法	杉江重誠 外一	一・二〇	◎一一〇	共立社書店	同
人類學序說	山本博	二・〇〇	◎三三一	外語研究社	本郷
釀造論文集第三輯	黒野勘六	三・〇〇	◎六四六	日本釀友會出版部	瀧野川
高等無機化學	江見節男	二・〇〇	◎二二五	裳華房	麴町
觀察實驗圖解植物學	廣島高師同	五・〇〇	△二五三	富山房	神田
材料强弱論	文理大博物學會 岡部由英	一・八〇	○四二四	大阪職校會	大阪
增訂熱力學と熱機關サークル論	大賀惠二	七・五〇	△六〇一	岩波書店	神田
密着と引伸	佐和九郎	二・五〇	○四四八	アルス	同
電氣學講義	柏木好三郎	三・〇〇	◎三三三	裳華房	麴町
最近昆蟲學	松村松年	三・〇〇	◎二三三	豐江堂	同
ヴェルナドスキー地球化學	高橋純一	六・五〇	◎五四九	內田老鶴圃	本郷
昭和九年曆	東京天文臺		△一三三	東京帝國大學	同
實際眼鏡技工學	中村康	四・五〇	◎二五六	高田己之助商店	同
配色總鑑三	和田三造	一・五〇	○六〇	博美社	日本橋

【十一月】

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
薄荷及除蟲菊の製法	古谷謙	・六〇	○九二	地人書館	神田
感光色素	尾形輝太郎	三・〇〇	◎二四九	山海堂	神田
全體染色綜說總論	清野謙次	八・〇〇	△四二〇	南江堂	本郷
原色狩獵鳥獸圖解	農林省	・六〇	△五〇	大日本聯合獵友會	赤坂
9汽筩新フォード車の正しき調整 8同及修理法	石川靜夫	一・八〇	○三八六	大阪屋號書店	日本橋
動物學汎論上卷	長倉快一郎	四・五〇	◎四五二	東洋圖書株式合資會社	神田
鳥類原色大圖說1	黒田長禮	非	△四三圖	修教社書院	同
海洋科學	須田晥次	六・五〇	◎七二六	古今書院	同
科學夜話	石川千代松	一・五〇	○二五四	時潮社	京橋
日本藻類圖說第七卷・第一集	岡村金太郎	三・〇〇	△	岡村金太郎	小石川
物理學の徹底的研究	江原廣 外一	二・〇〇	○六〇〇	歐文社出版部	淀橋
科學寫眞の理論と實際	E.V.Angerer 大島幹義	二・〇〇	◎一八五	小西六本店	日本橋
一日廿分間宛三百六十五日子供に聞かせる科學の話	原田三夫	一・八〇	○三六五	誠光堂	神田
分類水產動物紡績	淺野彥太郎	九・五〇	◎一〇〇〇	太陽堂	同
輓近物理學概要	三村剛昂	二・二〇	◎二三五	中文館書店	牛込
異常電壓と送電系統の防護	大角英通 外一	五・〇〇	◎五五八	修教社書院	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
油脂化學及油脂各論	上野誠一	八・〇〇	◎九二七	丸善株式會社	日本橋
材料試驗法	山田良之助	四・五〇	◎三四七	內田老鶴圃	同
發電水力	萩原俊一		◎五八九	常磐書房	小石川
實驗礦物地質學2	福田連	二・七〇	◎二〇四	昭光堂	澁谷

【十二月】

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
大廣島に動く電氣	三原會三	一・〇〇	◎二〇〇	廣文館	廣島
菜譜	香川益彥	非	○六二	京都園藝クラブ	京都
電氣事業調査資料七號	電氣協會	一・二〇	△一二六	電氣協會	麴町
理科年表	東京天文臺	一・五〇	×	東京帝國大學	本郷
地圖の實際見解	清武玄	一・一〇	○一三七	松華堂	神田
木材の乾燥	泉岩太	二・八〇	◎二〇九	西ケ原刊行會	赤坂
橫觀有機化學	岩永源作	二・八〇	◎三四五	培風館	神田
分類原色日本昆蟲圖鑑5	加藤正世	二・五〇	○六〇	厚生閣	麴町
配色綜攬(一)	和田三造	一・五〇	○六〇	博美社	日本橋
鐵鋼學上より見たる日本刀	菊田多利男	五・〇〇	◎五〇〇	日進社	牛込
科學隨想	西村眞琴	一・四〇	○三五〇	中央公論社	麴町
ラヂオの豫備知識	柴田寬	二・三〇	◎三一九	日本ラヂオ通信學校出版部	日本橋
ラヂオの應用知識	柴田寬	二・三〇	◎三八六	日本ラヂオ通信學校出版部	日本橋
歐米見たまゝ	西田博太郎	一・〇〇	○三二八	化學工藝社	群馬
ラヂオの修理知識	柴田寬	二・〇〇	◎二六〇	日本ラヂオ通信學校出版部	日本橋
進化論序講	小泉丹	三・五〇	◎四九二	岩波書店	神田
林業實驗と實習	三浦伊八郎	三・八〇	◎四〇三	西ケ原刊行會	赤坂
衞生試驗法	齋藤喩逸	三・〇〇	◎三〇〇	日本藥報社	牛込
雲	藤原咲平	五・〇〇	△帙入	岩波書店	神田
實用田畑山林測量法	內田繁太郎	二・〇〇	○一五二	西ケ原刊行會	赤坂
肉體の驚異	竹村文祥	二・〇〇	○五〇二	誠文堂	神田
澱粉の科學及利用	大町芳文	三・〇〇	◎二九七	成美堂書店	日本橋
ラヂオの基礎知識	柴田寬	二・八〇	◎三九八	日本ラヂオ通信學校出版部	同

〔二五〕醫學・衛生

【一月】

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
新古經穴圖譜	辰井文隆	一・五〇	◎ 一六	辰井高等鍼灸學院 大阪
療術讀本	松原皎月	・三〇	○ 八六	洗心會 兵庫
靈感透熱療法	小崎眞宏	非	○	萬年社 熊本
衛生大觀	磯野青山	三・〇〇	◎	民衆衛生新報社 山口
高木式斷食體驗錄	高木秀輔	・五〇	○ 二〇〇	高木斷食寮 同
人體通電部位教授錄 電氣醫療教授錄三同一 デスマスクライフマスク製作教授錄	田中金造	非	◎ 四冊	米國大學日本分學 大阪
自分で治せる諸病根治法皇漢秘方救世妙藥	鈴木幸次郎	各一・〇〇	◎ 二冊	榮養研究所 下谷
產婆學獨習書二卷	佐久間兼信	・八〇	◎ 一九六	東京助產女學校 神田
體驗長壽養生法	佐伯理一郎		○ 五〇	京都產院 京都
秘傳古法檢診法	清水英範	非	○ 三五	療術之日本社 本鄉

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
西式斷食療法	西勝造	一・二〇	○ 二六八	實業之日本社 京橋
野一色蒸熱電氣治療機(文獻)	野一色義壽	一・〇〇	◎ 一九五	野一色電氣研究所 麴町
細菌並ニ血清學的研究手段	里見三男	四・五〇	◎ 三〇一	南江堂書店 本鄉
日本食品成分總攬	佐伯矩	五・〇〇	△ 三五二	同
標異便覽第五改正日本藥局方	小立鉦四郎	三・五〇	◎ 五四〇	同
醫學的心理學	三宅鑛一	四・〇〇	◎ 四二〇	同
東西醫學大觀一・二・四・五・六・七・八・九・十の各卷	大谷仁兵衛		◎ 九冊	東西醫學社 京橋
醫界之鐵椎	和田啓十郎	三・六〇	◎ 四八九	春陽堂 日本橋
Save sex life und save sex living 正しき性生活	足達三郎	二・二〇	○ 八八	產兒制限評論社 神田
心臟病診斷及治療學	吳建	三・〇〇	△ 八〇〇	南山堂書店 本鄉
日本內科全書卷八	稻田龍吉 外二	五・〇〇	△ 三二五	吐鳳堂書店 同
生理學論文集第二卷	浦本政三郎	三・〇〇	△ 五九〇	克誠堂書店 同
新婦人科學	安井修平	八・八〇	△ 四五三	株式會社金原商店 同
耳鼻咽喉科診療ノ實際	細谷雄太	六・五〇	× 一〇八八	南山堂書店 同
骨及關節のレントゲン診斷學	池田三千畝	三・八〇	△ 二二〇	南山堂書店 同
內科學第五卷ノ上	入澤達吉	七・〇〇	△ 五〇一	同 同

東京書籍商組合員統計

明治二十年創立當時に於て百參拾壹人であつた組合員數は、昭和九年三月現在では參千貳百五十五人に增員した。その毎年の異動を統計的に示せば左の如くである。

年次	加入	廢業・脫退・失格	除名	毎年末現在
明治二十年				一三一
明治二十一年		三一		一〇〇
明治二十二年	二〇	一四		一〇六
明治二十三年	五七	一六		一四七
明治二十四年	二九	一七		一五九
明治二十五年	一九	一一		一六七
明治二十六年	二七	一七		一七七
明治二十七年	二六	二二		一八一
明治二十八年	一七	一六		一八二
明治二十九年	二四	一四	一〇	一八二
明治三十年	二八	一五		一九五
明治三十一年	二〇	三	二	二一〇
明治三十二年	三六	一〇		二三六
明治三十三年	二八	九	二	二五三
明治三十四年	一七四	二〇	三	四〇四
明治三十五年	一四	三四		三八四
明治三十六年	一八	三〇	一	三七一
明治三十七年	一六	一六	五	三六六
明治三十八年	二五	二五	三	三六三
明治三十九年	三一	二〇		三七四
明治四十年	二四	一一	二	三八五
明治四十一年	一二	二五	三	三六九
明治四十二年	一二	一三	四	三六四
明治四十三年	二一	一四	一	三七〇
明治四十四年	一六	一二	五	三六九

（以下三〇八頁へ續く）

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
胃潰瘍十二肢腸潰瘍診療の實際	川島 好兼	三・〇〇	◎	一六六	株式會社金原商店	本鄕
フルトン生理學史粹生理學に貢獻した人々の論文	原島 進	三・〇〇	◎	四〇六	岩波書店	神田
西醫學東漸史話卷上	關場不二彥	四・〇〇	○	四七三	吐鳳堂書店	本鄕
同 卷下	同	四・〇〇	○	四七六	同	同
皇漢醫學及導引の史的考察上卷	石原 保秀	三・〇〇	◎	一七四	鳳鳴堂書店	同
【二 月】						
第一二回癩學會に於ける發表論文	日本癩學會	非	△	二九六	新光閣	東京北多摩
日本病理學會會誌第二十二卷	緒方知三郎	一〇・〇〇	◎	一〇三二	南山堂書店	本鄕
觸手中心健康法全集	平田內藏吉	三・五〇	○	五二一	春陽堂	日本橋
簡明外科各論	小川 蕃	七・〇〇	△	六三三	金原商店	本鄕
ラヂウム療法	長町 穆	三・七〇	◎	二七〇	鳳鳴堂	同
精神科の診療	阿部 政三	一・二〇	○	一三五	富倉書店	同
ヒステリーに就いて	エルンスト・クレッチュメル 吉益脩夫譯	一・八〇	◎	一六七	精神衞生學會	小石川
增補訂正萬病鍼灸全書	岸原鴻太郎	三・五〇	◎	三三二	半田屋出版部	本鄕
日新看護學下卷	土肥 衞	四・〇〇	◎	五五三	日新醫學社	神田
肺結核理想的治療法	大日本結核防止會	非	◎	一六六	大日本結核防止會	日本橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
保健救急法	岡 廣	非	◎	一五六	岡 廣	島根
萬病簡治藥用植物と家庭療法	小林 英一	三・〇〇	◎	三二四	明文堂	神田
最新醫術オゾーン注射の仕方	溝田 天康	一・五〇	○	一三〇	南江堂	本鄕
洗心堂癌	國谷豐次郎	・〇五	○	八〇	洗心堂書店	赤坂
新撰鍼灸技術學	福岡 桂司	三・五〇	◎	一七六	福岡鍼灸院	神奈川
兒童衞生學講話	菊池 俊諦		◎	九九	日本教育感化會	麴町
ち病の病理と其根本療法	奧西嘉市郎	一・〇〇	×	一一七	玉草園分店	京都
產婆學獨習書六卷	佐久間兼信	・七〇	◎	三一〇	南山堂書店	本鄕
結核性疾患のレントゲン線療法	原 邦郎	一・六〇	○	一六〇	吐鳳堂書店	同
偉大なる井上式筋骨矯正術	松田 源治	非	○	六六	松田源治	神奈川
各府縣鍼灸術マッサージ試驗問題答案集	坂本 貢	四・〇〇	◎	三六〇	東京高等鍼灸醫學校	四谷
絕對健康法の手引	北原 鐵雄	非	○	六〇	アルス	神田
【三 月】						
鬪病實話集	同	同	○	一〇三	同	同
簡明傳染病解說	衞生思想普及會	非	○	一二六	衞生思想普及會	札幌
絕對健康法講演錄	佐藤 四郎	同	○	一〇八	川副健康研究所	牛込

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
實用柔道整復術試驗問題解答案集	白谷 利一	三・〇〇	×	三一四	關西柔道整復術研究所	大阪
西式斷食療法訓	西 勝造	・二〇	○	七三	大日本西會	京橋
日本藥名戕	安藤 吉彥	一・八〇	△		高田印刷所	大阪
學生のポリクリ	參木 錦司	一・〇〇	×	一〇〇	金原商店	本鄕
簡明小婦人科學	講醫會	一・〇〇	○	一六六	富倉書店	同
血壓の話	橋本 寬敏	・一〇	○	三五	社會教育協會	小石川
助產醫學講義十一號	竹內 判錫	非	◎		日本助產醫學會	同
保險醫の手引	浴永 國助	非	○	八三	山口縣醫師會	山口
家庭醫學盲腸炎の手術	江藤 良三	・二〇	×	三一	江藤病院	廣島
國民病たる腺病質新療法	渡邊 熙	・二〇	×	四九	東洋醫學研究會	大阪
指掌療法秘錄	田野倉季武	三・〇〇	○	三七五	宗孝社	神田
頭腦の健全	杉田直樹外二名	一・〇〇	○	一七七	精神衞生學會	小石川
齒科用最新人體解剖圖譜	伊澤好爲外二	八・八〇	△	二六三	株式會社金原商店	本鄕
大日本眼科全書	今井 良平	六・〇〇	◎	二六八	同	同
不思議によくきく藥草と治療法	金城 三郎	一・五〇	◎	三七九	金城三郎	沖繩
丁抹ペンハーゲン大學教授クナド・ファベー報告中華民國の醫育問題	同仁會	金・五〇 銀五角	○	一一〇	同仁會	神田
宇宙の力活靈强健法の解說と活靈療法の實際	永井 靈洋	二・〇〇	○	一五九	活靈會本部	芝

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
家畜內科學上卷	勝島仙之介外二	六・〇〇	◎	五六一	南江堂書店	本鄕
泌尿器科學	志賀 亮	七・五〇	◎	四七三	金原商店	同
簡明臨床細菌學	小林 六造	七・五〇	◎	七六五	同	同
實地應用消毒の理論と方法	飯村 保三	・八〇	◎	一九九	日本衞生會	麴町
性の心理8男子と女人	ハヴエロック・エリス 增田一郎	一・八〇	○	二四六	日月社	日本橋
媚藥新考	久保 格	三・〇〇	◎	三九一	武俠社	芝
夫婦に於ける受胎	横 次雄	三・五〇	○	四七七	平野書店	本鄕
結核全治の近道とその豫防法	籔和田益二	一・八〇	○	三二四	富山房	神田
現代之診療第三輯	川井 正夫	四・五〇	◎	七三五	研醫社	同
解剖學	岡崎 敬治	一三・五〇	△	七一二	吐鳳堂	本鄕
非觀血的痔疾療法	畑 嘉聞	三・〇〇	◎	七三八	南光堂	同
最新人體解部圖譜上卷	伊澤好爲外二	七・〇〇	△	一七六	金原商店	同
【四 月】						
理髮衞生教範	木下 一男	三・〇〇	◎	二六九	大阪美髮女學校	大阪
及第秘訣答案式看護學精解	土肥 衞	三・〇〇	○		文友堂	同
病理解剖各論增訂四版上卷中・下	木村 哲二		◎	三册	克誠堂書店	本鄕
病理學總論上卷六版下	同	三・五〇	◎	二册	同	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
簡易美容衛生	荒木治義	一・〇〇	一四五	克誠堂書店	本郷
簡明小內科學 上	講醫會	一・五〇	二六六	富倉書店	同
歐洲賣藥要覽	北野治作	非◎		富山縣藥劑師會	富山
新撰鍼灸治療學	福岡桂司	三・〇〇	◎一八四	福岡鍼灸科院	神奈川
賣藥處方全集	松浦齋	三・〇〇	三九	東京藥事新報社	本郷
新養生訓	岡部庸三郎	・八〇	二六八	大乘東京支部	京橋
草根木皮實驗立證民間治療法第一卷	緒方松藏	・五〇	八〇	緒方松藏	愛媛
內外醫臨床の爲に	山田詩郎	三・〇〇	二八〇	金原商店	本郷
小耳鼻咽喉科學	赤松純一	四・〇〇	◎二六二	同	同
新內科學	藤森雄平外三	八・〇〇	◎八六	同	同
處方解說 醫藥ラテン語	朝比奈泰彥外一	二・五〇	二六六	南江堂	同
醫學生の獨作練習	磯部幸二	二・〇〇	二〇八	金原商店	同
打診と聽診	八田善之進	二・三〇	◎一六二	同	同
皮膚科類症鑑別の實際	萩原省三	三・〇〇	◎一八二	同	同
簡明衛生學	綿引朝光	五・〇〇	◎四三	同	同
新小兒科學	內村良二	五・五〇	◎五一七	同	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
生きた生理學教材	內藤卯三郎	三・〇〇	◎四〇六	培風館	神田
簡明婦人科學	後藤直五	・八〇	△一八六	金原商店	本郷
最新人體解剖圖譜 中卷	伊澤好意	七・〇〇	△三二	同	同
最新人體解剖圖譜 下卷	伊澤好意	八・〇〇	△三八	同	同
臨床藥理學	額田晉	六・五〇	◎四九	同	同
藥理學	林春雄	六・五〇	◎四〇〇	吐鳳堂	同
姙娠調節方法詳說	小川隆四郎	非◎		母友社	淀橋
新胎生學	伊澤好意	四・五〇	◎二六六	金原商店	本郷
近世內科臨床診斷學	額田豐外一	一〇・〇〇	△五三七	同	同
新撰耳鼻咽喉科學	廣瀨涉外二	六・〇〇	△三六	同	同
船舶衛生及救急處置	臨時公立商船學校教科書編纂委員會		◎二五六	當山房	同
簡明生理學	北村直躬	五・〇〇	◎四五〇	金原商店	同
小組織學	森於菟	六・〇〇	◎三四	同	同
婦人科學	堤辰郎	四・〇〇	◎二五六	診斷と治療法	劍町
最も新しい大衆的避妊法	野尻與顯	・三〇	×六二	產兒制限評論社	神田
圖說家畜組織學各論	竹越與三郎	三・〇〇	◎七九六	克誠堂書店	本郷

プラクテカル・オブトメトリー	小川守	三・〇〇	三〇三	東京眼鏡院	劍町
絕對避妊法	濱田謙一	一・五〇	一四八	家庭研究社	神田
臨床應用漢方醫學解說	湯本求眞	三・五〇	◎四二九	同濟號書房	大阪
調劑術讀本	小林九一郎外一	四・〇〇	◎二五五	南江堂	本郷
簡明眼科學	茂木宣	四・五〇	◎三四	金原商店	同
實驗產科學	東恭則	八・〇〇	◎五六	同	同
家畜產科學 完	佐藤繁雄	三・八〇	◎一七	克誠堂	同
近世助產學 上卷	酒井春吉	三・〇〇	◎三三	金原商店	同
小精神病學	杉田直樹	三・七〇	◎一五七	同	同
實驗に依る簡易產兒制限法	秋澤定吉	・五〇	×一〇二	自由閣	神田
日本耳鼻咽喉科學全書第一卷ノ一	久保猪之吉	二・〇〇	△二三四	克誠堂	本郷
日本耳鼻咽喉科學全書第十卷ノ一	同	二・〇〇	△二一六	同	同
獸醫調劑術並藥用法	武藤喜一郎	一・八〇	◎一六〇	同	同
臨床齒科處方學及調劑法	平田俊一	一・三〇	一四三	隆文社	大阪
【五月】					
受驗本位美容學全科教本	北島正太郎	一・八〇	◎二六〇	彰文堂書店	神田
理容技術教科書	谷口員一	二・〇〇	一三九	精華堂書店	同

如何なる難病も治る自療及民間藥	高田宥憲	・四〇	二〇六	高野山大師堂	大阪
家庭療法奧傳同病理とは治術篇自己治療法基礎醫學	衛藤克巳	非◎	三冊	日本抗體療院本部	同
鍼灸學講義錄十冊實用名灸秘法	音尾正衛	◎	三	日本鍼灸專門學院	澁谷
新案孔穴解剖對照圖譜十枚誰デモ出來ル健康保全法	鹽野正清	三・〇〇	○二三	鹽野醫院	中野
人事の大本食養道	飯田彬	一・〇〇	○三六	正倉庵	麻布
萬病に效くお灸療法	原志免太郎	一・〇〇	×二九〇	實業之日本社	京橋
醫師より觀たる體育問題 第一輯	金澤市醫師會		○四〇	金澤市醫師會	石川
精神檢查法講話	菊地俊諦		◎一四〇	日本感化教育會	劍町
漢方治療法	小松勗	一・〇〇	×一三	小松勗	宮城
治病より健康へ	大仲康義	非◎	一〇三	三光社	品川
わが體驗による肺病全治の道	北原敬士	一・〇〇	○一九	隣人之友社	東京府
家庭用解剖マツサージ學	加藤義一	・三〇	五七	加藤義一	埼玉
藥種商受驗新書 第二卷	岡本幸一郎	二・五〇	◎二六六	下田文榮堂	本郷
南北相法修身錄	水野南北	・三〇	一五	古鏡會	品川

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
誰にもわかる腸チフスの話	久田克位	一・五〇	○	一四七	甲子堂	福島
淋疾新療法	赤津誠内	・三〇	○	一二六	健康之友社	京橋
生理學實習	東北帝國大學生理學敎室	・七五	◎	七〇	南山堂	本鄕
和漢四聖診斷及病理學	岸原鴻太郎	一・五〇	○	三一九	岸原鴻太郎	神奈川
眼病理學 下	菅沼定男	一三・〇〇	△	八六五	南山堂書店	本鄕
新版醫化學要綱	照内豐	三・八〇	◎	二四九	富倉書店	同
姙娠早期診斷法	緒方十右衞門	一・二〇	◎	一二五	南山堂書店	同
日本内科全書卷八	小田平義	一・五〇	△	九一	吐鳳堂	同
細谷耳鼻咽喉科學	細谷雄太	七・五〇	◎	五三九	南山堂書店	同
醫學レントゲン學講義第一卷	中島良貞	三・三〇	◎	一八七	同	同
茂木外科總論	茂木藏之助	八・〇〇	◎	五八八	同	同
外科學(總論)	同	銀六元	◎	六一七	同仁會	神田
犯罪心理研究第一輯	菊地甚一	四・七〇	◎	六一九	新光閣	同
電子病理學	杉田平十郎	三・〇〇	○	四二九	新科學社	下谷
齒科臨床	大久保通次	三・〇〇	×	二六五	明倫社	埼玉大宮
現代醫學大辭典病理學各論篇(上)	神田豐穗	一・〇〇	◎	三四四	春秋社	牛込

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
類經色脈篇	岸原鴻太郎	二・三〇	◎	一四一	半田屋出版部	本鄕
日本鍼灸學教科書	山本新梧	四・五〇	◎	三一四	關西鍼灸學院出版部	大阪
性生活に於ける技巧	W・T・フイリデイグ 谷厚美	三・〇〇	○	一三八	自由閣	神田
日新産婆學 下卷	土肥衞	四・〇〇	◎	四三一	日新醫學社	同
レントゲン寫眞と造影劑	重松運夫外一	二・五〇	◎	一九二	南江堂書店	本鄕
臨床小兒科學	笠原道夫	一三・〇〇	○	四六九	克誠堂書店	同
愛兒の醫學愁眉を開くまで	岡本孝	二・三〇	×	七〇一	尙賢堂	日本橋
組織學實習圖譜上卷	金關丈夫外二	四・八〇	△	五九	金原商店	本鄕
生理學概説	福井玉夫	三・八〇	◎	三一五	三省堂	神田
【六月】						
奧村鍼治學	谷田部市太郎	一・〇〇	◎	六六	谷田部市太郎	城東
最新和漢藥寶典	岡本幸一郎	三・三〇	○	二八四	下田文榮堂	本鄕
簡明看護學教科書下卷	星川長之助	二・〇〇	◎	三〇四	金原商店	同
臨床齒科處方學及調劑法	平田俊一	一・三〇	○	一四三	隆文社	大阪
皇漢醫學鍼灸療法新研究	力田周一	・六〇	○	一〇一	力田周一	廣島
慢性肺病灸治論	岡村惣祐	五・〇〇	◎	一四〇	無量壽庵	京都

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
秋田醫療利用組合の現況より見たる本邦醫療制度並に健康保險の將來に關する考察	石上欽二	非	◎	一五五	日東社	大阪
竹中式ライツェル療法解説	竹中玉治郎	・五〇	○	九五	ライツェル治療之友社	麴町
梅花無盡藏 上	小松帶刀		◎	一四八	小松帶刀	長野
同 下	同		◎	一九二	同	同
皇漢醫學 第一卷	湯本四郎右衞門	四・五〇	◎	四一五	南江堂書店	本鄕
少年醫學史	山崎祐久	二・〇〇	◎	二三三	教育研究會	麴町
大日本眼科全書	中村文平外一	六・〇〇	◎	四五四	金原商店	本鄕
小兒科治療手技	長尾美知	四・八〇	◎	四四三	南山堂書店	同
癲癇と癲癇樣症狀の診斷及治療	雨宮保衞	三・五〇	◎	一八七	金原商店	同
神經衰弱と强迫觀念の全治者體驗錄	中村古狹	一・九〇	○	四四六	主婦之友社	神田
醫學研究實驗動物の實際 改訂第二版	白井豹 安藤啓三郎	六・〇〇	○	六二三	金原商店	本鄕
實用解剖生理衞生	越智眞逸	三・二〇	◎	三四九	星野書店	京都
【七月】						
調整療法	尾崎光範	非	○	八三	靈能研究會	松山
藥種商受驗新書三卷	岡本幸一郎	・八〇	◎	一六〇	下田文榮堂	本鄕
最新製藥者試驗案内	同	・八〇	○	一三三	同	同
淋病食養根治秘法	井上正賀	・八〇	×	一一三	大日書房	小石川

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
保健食と患者食	龜山太三郎	非	○	六四	足利醫院	栃木
國産醫術イトオテルミー 上	伊藤金逸	同	◎	二二四	大日本國産醫術家庭普及會	世田谷
三共藥品處方集	三共株式會社		×		三共株式會社	日本橋
模倣症と世相	早尾虎雄	・一〇	○	四二	早尾虎雄	石川
奧村鍼治學	谷田部康之	一・〇〇	◎	六六	帝國盲人會點字出版部	中野
實用鍼灸マッサージ科學三編	杉浦四郎	三・五〇	◎	四一〇	徳島鍼灸マッサージ學會	徳島
靈熱透射療法秘傳書	松原皎月	非	○	一一三	洗心會	兵庫
食品衞生學	綿引朝光	・八〇	◎	七一	秋山産婆學校	靜岡
失明豫防讀本	畑文平	・三五	○	四〇	金原商店	本鄕
藥草藥木家庭療病寶館	都河龍	・五〇	○	一三一	婦女界社	麴町
チアテルミー療法	正岡旭	一・五〇	◎	九一	鳳鳴堂書店	本鄕
腎臟と尿路のレントゲン診斷及治療	志賀亮	三・八〇	◎	三二〇	金原商店	同
應急看護と家庭醫學	柳田保	一・五〇	○	二一六	大京堂書店	神田
病理學總論下の卷	緒方知三郎 三田村篤志郎 緒方富雄	八・六〇	△	一〇七三	南山堂	本鄕
彩色皮膚病圖譜下卷(第一帙)	遠山郁三	三・六〇	△	二五圖	同	同
新血清學	石原秀雄	四・〇〇	△	二五七	南江堂 吐鳳堂	同
醫者の手帖から	保野一郎	一・二〇	○	二六八	立命館出版部	京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
性教典	渡邊與太郎	・五〇	八	黃素社 深川
淋疾ノ療法ト其技				
改訂增補第二版	上林豐明	四・〇〇	三七	南江堂書店 本郷
血液病診療の實際	岩男督	三・八〇	二〇九	南山堂書店 同
黃疸發生一元論	大野章三	六・〇〇	五二	南江堂書店 同
臨床人體寄生蟲病學				
蠕蟲病編增訂再版	宮川米次	五・〇〇	三八	克誠堂書店 同
【八月】				
藥種商受驗新書四卷	岡本幸一郎	・七〇	一四〇	下田文榮堂 本郷
生氣養生法に就て	山田一郎	・五〇	一六	山田精神文化研究所 兵庫
臨床不問診察法	福岡桂司	二・五〇	一八	福岡鍼灸科院 神奈川
家庭藥に就ての梗概	龜高德平	非〇	三	三共株式會社 日本橋
實驗奇效				
諸病家庭新療法	大橋晃陽	一・五〇	二四〇	共同館 神田
全國醫科大學				
病院臨床處方集	赤木勘三郎	三・五〇	三五〇	濟文閣 下谷
諸病偉效				
石田式日本灸の神髓	石田泰山	・五〇	一五五	長命堂 豐島
實驗靈能				
難病黑燒療法	新聞社	一・五〇	一二四	日本佛教新聞社 神田
灸穴圖解灸點新療法	阪井松梁	一・〇〇		神宮館 下谷
自習用衛生講本	白幡兼	・八〇	一五	白幡兼 佐賀
第一編				
理髮衛生學提要	根岸顯藏	一・五〇	二二四	岡山縣衛生會 岡山
藥品藥草素人療法	森田次郎	一・〇〇	一四六	朝日書房 神田
健康保壽不老若返の				
原理と方法の發見	岡田甲子之助	一・〇〇	一四九	壽道刊行會 杉並
家庭溫熱療法	增田五香	一・〇〇	九〇	日本健康第一協會 牛込
理容衛生學	北出留次郎	二・五〇	二五三	神戶美容世界社 兵庫
試驗參考書				
國民保健衛生の				
實際問題	外山福男	・三〇	一四八	警察協會山形縣支部 山形
最も新しい淋疾短期治療法	赤津誠內	・三〇	一一六	健康之光社 劍町
受驗本位				
最新看護婦學講義	本間晴	三・五〇	四三	受驗研究社 同
學校齒科の焦點	橋本靜雄	三・〇〇	四二	新齒科醫報社 大阪
性教典	渡邊與太郎	・五〇	八五	黃素社 深川
新血清學及演習法	富士山	三・七〇	三九	南江堂書店 本郷
應急手當法	萩原良一郎	一・五〇	一九五	東明堂 同
	柿坂茂			
臨床診斷學	上條秀介	三・五〇	二四四	克誠堂書店 同
及第秘訣	外一			
答案式產婆學精解	保科貞次	三・〇〇	七六	文友堂書店 大阪
日本耳鼻咽喉學全書	土肥衛			
第一卷ノ二	久保猪之吉	二・五〇	一六〇	克誠堂書店 本郷
第二卷ノ一	同	三・五〇	一六〇	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
柔道接骨學 上卷	稻葉太郎 北泉勝臣	三・〇〇	二〇三	文武館出版部 大阪
日本內科全書卷八	小田平義	二・五〇	一四八	吐鳳堂 本郷
性典	羽太鋭治	〇	三六	國民書院 日本橋
性教典改訂性寶典	渡邊與太郎	・五〇	八三	黃素社 深川
傳染病ニ於ケル				
免疫ニ關スル研究	井上善十郎	三・〇〇	二四九	井上善十郎 札幌
看護の友	平田內藏吉	三・五〇	五八	斯文堂書店 本郷
征病保險	和田利彥	一・〇〇	〇各七〇〇	春陽堂 日本橋
健康醫學全書1—4				
臨床婦人花柳病學 淋疾篇	德永覺二	七・五〇	六八四	金原商店 本郷
容易に出來る				
產兒制限	熊本庄次郎	・二〇	四五	辻野莊園 奈良
氣管枝喘息	柳壯一	三・八〇	三五七	克誠堂 本郷
流行性腦炎新文獻	山谷德治郎	一・五〇	一四〇	日新醫學社 神田
醫用生理學 上卷	正路倫之助	三・〇〇	二九五	南江堂 本郷
新撰看護學	清水耕一	四・〇〇	四六六	同 同
【九月】				
靈氣と仁術	富田魁二	二・八〇	二七七	手あて療法會 大阪
富田流手あて療法				
學生の				
細菌學及免疫學	四方敬一	一・五〇	三六六	金原商店 本郷
マツサージ學教科書	阪本貢	一・五〇	一四六	東京高等鍼灸醫學校 四谷
萬病根治	村越三千男	一・二〇	一三三	浩文社 日本橋
藥用植物自療法				
最新看護婦	本間晴	一・五〇	二九五	東京產婆看護婦通信學校 豐島
全國試驗問題解答集				
診斷の介補	脇阪常治郎	〇	四四	倉敷中央病院 岡山
ナチユロパヒー療法	東村英太郎	一・〇〇	七六	日本理科醫學研究會 大阪
日英保健衛生の				
比較研究	外山福男	・四〇	一八七	警察協會山形縣支部 山形
現代歐米の診療界	前田正文	一・〇〇	二六七	日新醫學會 神田
Yamada, Ademaeum Der Argtlichempraxis (內科醫臨床ノ爲ニ)	山田詩郎	三・〇〇	三五〇	金原商店 本郷
性器診斷式強健法	福持貞雄	一・五〇	一二八	清光館書房 同
神農本草經序錄卷上	森立之	五・〇〇	七四	文祥堂書店 京橋
同 卷中・卷下	同	五・〇〇	五六	同 同
同 攷異	同	五・〇〇	四八	同 同
レントゲン診斷學提要	大高誠	四・五〇	三七七	南山堂書店 本郷
必ず治る疾病別仙掌術療法	柿坂茂一	八〇	二五〇	東明堂 同
	中村康六	〇〇	三〇三	金原商店 同
藥品配伍禁論	杉井善雄 外一	一・八〇	二六四	南江堂書店 同
簡要外科總論	茂木藏之助	一・八〇	二〇七	同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
兒童精神衛生學	阿部 政三	一・二〇	◎	一九四	南江堂書店	本鄉
彩色皮膚病圖譜 下卷第二帙	土肥 慶藏	三・六〇	△	三三枚	南山堂	同
産兒制限と避姙法	中尾 晋吉 外一	一・五〇	○	二六七	一心社	神田
ソヴエートにおける性教育の理論と實際	大竹 博吉	・八〇	○	一八五	ナウカ社	同
二木博士講話集	高木 逸麿	三・〇〇	◎	六二四	克誠堂書店	本鄉
二木博士論文集	同	非	◎	六二〇	高木逸麿	品川
教科用受驗用 鍼灸醫學精義上卷	坂本 貢	四・〇〇	◎	四七〇	大倉廣文堂	京橋
新消化器病學提要	岩男 督	四・五〇	◎	三四三	南山堂	本鄉
The Human Body	マリイ・ストープス・藤井健二	・三〇	○	四一	家庭研究會	神田
人體寄生蟲學第二卷	横川 定 森下 薫	三・〇〇	○	六四九	吐鳳堂書店	本鄉
醫化學 下卷	永山 武美	三・八〇	◎	四四三	明文堂書店	芝
性の新教典	芦原 覺了	二・四〇	○	三五六	駿臺書院	神田
第五改正日本藥局方註解分册(1—504)	朝比奈泰彦		◎	六〇〇	南光堂書店	本鄉
三浦診斷學第三輯	三浦謹之助	三・八〇	◎	七七四	克誠堂書店	同
性問題の批判と解決	神近 市子	一・三〇	○	二七四	東京書房	京橋
最新日本按摩術全書	小川 春興	一・五〇	◎	九六	半田屋出版部	本鄉

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
【十月】						
改訂增補藥種商試驗問題答案集	平松 靜一	三・〇〇	×	四〇〇	同濟號書房	大阪
最新産婆全國試驗問題解答集	本間 晴	一・二〇	○	三一八	東京産婆看護婦通信學校	豐島
Grundriss der Inneren Medijin	講醫會編輯部	一・五〇	○	五〇三	富倉書店	本鄉
溫泉療法の常識	外山 準一		○	八〇	外山準一	長野
藥用植物と其應用	志々目 宏		○	二〇一	志々目宏	鹿兒島
奇蹟的靈效六法術併用高木式斷食體驗錄	高木 秀輔	一・二〇	○	三六四	高木斷食寮	山口
問題解答 受驗用産婆學	伊藤いはみ	一・二〇	○	二一〇	愛生園産婆學校	宮城
性病の知識	早川 博	非	○	六三	早川泌尿科院	京都
冠名病名及冠名症狀解	田中 義一	・七〇	×	一五三	醫海時報社	小石川
齒科臨牀會話文範	西卷 周光	一・〇〇	×	一四三	南山堂	本鄉
皮膚病の鑑識と療法	篠原 清一	非	×		吟葉社	澁谷
藥局を富ます自家製劑の研究	同	三・八〇	×	四三五	同	同
無藥療法指壓秘圖	田野倉快泉		×		朝日書房	神田
新藥詳解追錄十輯	藥業の友社	三・七〇	◎		藥業の友社	小石川
日新看護學 上卷	土肥 衞	四・〇〇	◎	五三三	日新醫學社	神田

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
簡明産科學 下卷	川添 正道	七・五〇	△	三〇四	金原商店	本鄉
集成生藥圖譜	伊吹 高峻	三・五〇	◎	三八〇	甲榮社出版部	小石川
藥品製造實驗法	涌井 袈裟參	一・八〇	◎	一五四	同	同
病原細菌學	佐々木秀一	三・八〇	◎	四一九	南江堂書店	本鄉
小兒頭型と知能力との關係觀察	河村榮太郎	非	△	四四	河村榮太郎	石川
教科用受驗用鍼灸醫學精義 中卷	坂本 貢	四・〇〇	◎	四〇〇	大倉廣文堂	京橋
夫婦に於ける受胎	ヴァン・デ・ヴェルデ・平野響	非	○	四五	平野書店	本鄉
簡明小整形外科學	講醫會編輯部	一・五〇	○	三二六	富倉書店	同
簡明表解內科診斷治療學	野村佐一郎	三・八〇	×	二〇〇	南山堂書店	同
夫婦に於ける受胎(改訂版)	ヴァン・デ・ヴェルデ・平野響	・五〇	○	四七	平野書店	同
實驗兒科學 前編	長尾 美知	七・五〇	△	三一〇	金原商店	同
一般細胞學	山羽 儀兵	七・八〇	◎	六六一	裳華房	麴町
日本耳鼻咽喉科學全書 第六卷ノ一	久保猪之吉	二・三〇	△	一四六	克誠堂書店	本鄉
同 第四卷ノ一	同	二・三〇	△	一七二	同	同
骨之線診斷指針	横倉誠次郎	二・八〇	△	一四五	南江堂書店	同
學校と家庭の兒童衞生	岡田 道一	一・五〇	○	四一〇	岡村書店	淺草
性鑑第一編 生殖器機能障害	長濱 繁	一・五〇	○	三四〇	東明堂	本鄉

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
濕疹之臨床	三宅 勇	三・五〇	◎	一五〇	金原商店	本鄉
愛兒の性教育	渡邊 龍策	・八六	○	一六六	南光社	神田
內科學 第一卷	小澤 修造	五・〇〇 銀	◎	三九〇	同人會	同
藥理的生藥學	村上 師壽	四・二〇	◎	四五三	三省堂	同
冠名臨牀用語集	上田春次郎	三・〇〇	○	二七三	金原商店	本鄉
病弱者の體質改造法	小田部莊三郎	一・五〇	○	四一八	實業之日本社	京橋
新撰耳鼻咽喉科學 咽喉篇	廣瀨 渉 外二	六・〇〇	△	二五八	金原商店	本鄉
神經質並に神經衰弱の性格治療	高良 武久	一・五〇	○	一九七	三省堂	神田
解剖學 2	岡島 敬治	三・五〇	△	一三一六	吐鳳堂書店	本鄉
虛弱兒童の養護及治療指針	宮原立太郎	一・七〇	○	二六九	自立社	神田
本草學論攷第一册	白井光太郎	四・五〇	◎	五〇三	春陽堂	日本橋
鍼灸と醫方	久米 嵓	非	◎	三九五	同	同
藥用植物和漢名對照便覽	塚本 赳夫	三・五〇	◎	二五五	同	同
日本民間藥用集覽	同	一・六〇	◎	二一一	同	同
【十一月】						
國民處方例	由井 光良	一・五〇	○	四八	藥事公論社	日本橋
體驗二十年無病强健六則	岸田 幹造	・四〇	○	一五八	東京堂	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
受驗基本醫治用最新マツサージ術講義	吉里鐵山	一・五〇	〇 一三	半田屋出版部 本郷
養生訓・齋藤報恩會非賣品	齋藤報恩會	非賣	〇 一二三	齋藤報恩會 宮城
強肺一夜物語	大黒熊次郎	一・〇〇	〇 一〇四	醫典研究所 澁谷
救急皇漢醫方	石原保秀	二・一〇	〇 一三七	鳳鳴堂 本郷
最新鍼灸術マツサージ術按摩術試驗問題答案書	德田慈司	二・五〇	〇 四五八	半田屋醫籍部 同
臨床藥學	桑田智	〇	九四	倉敷中央病院 岡山
衛生工學術語集	竹村勘志		× 一〇四	衛生工業協會 京橋
小峰研究所紀要邦文三卷	小峰茂之	非賣	〇 一八八	小峰茂之 淵野邊
平井式强健法	平井章夫	一・〇〇	〇 四二	日本體育奬勵會 大阪
重訂本草綱目啓蒙第一分册 內科・外科・產科・婦人科腹部觸診の實際改訂三版	脇水鐵五郎	非賣	〇 四五六	春陽堂 日本橋
簡明病理學總論古文獻に據る日本に於ける精神病の特質及模型の樹立通俗靈質交合性原理	岩男督	三・八〇	〇 二一六	金原商店 本郷
	柏木正俊	四・〇〇	〇 三三三	同 同
	栗原清一	一〇・〇〇	〇 二二六	同 同
淺田宗伯處方全集 前・後篇完	屑屋極道	三・〇〇	〇 二六〇	齋藤朗 神奈川
日本眼科之證明 第六卷	淺田龍雄	四・五〇	〇 三五〇	安井泰山堂 本郷
	桑原勇七郎	五・〇〇	〇 八三	眼科臨床醫報社 豐島

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
働きながら治せる綜合的原因療法	玉生辰雄	二・〇〇	〇 四二八	南天堂 神田
新撰產科學下卷	磐瀨雄一	八・五〇	△ 五二八	南山堂書店 本郷
實際的妊娠調節法	吉田稔	五〇	〇 八一	愛善社 大阪
鍼灸醫學精義下卷	坂本貢	四・〇〇	◎ 四〇〇	大倉廣文堂 京橋
醫業經營論	野村英二	三・五〇	〇 二九一	日本公論社 神田
乳兒の榮養及榮養障害	小山武夫	四・五〇	◎ 四七五	診斷と治療社 麹町
實地家に必要なる小外科各科領域に於ける最新療法	中村愛助	六・五〇	◎ 五四七	吐鳳堂書店 本郷
西式血壓病療法	市田賢治	四・五〇	△ 四六二	敬文堂 同
	西勝造	一・五〇	〇 三二八	實業之日本社 京橋
齒科組織胎生學圖譜	永松勝海	四・〇〇	△ 二七圖	齒莊社 本郷
醫籍考第一卷	多紀元胤	一五・〇〇	△ 五三〇	國本出版社 澁谷
各科專門診療醫典	石川寅吉	六・〇〇	〇 九九〇	南山堂書店 本郷
性鑑第三編性病	長濱繁	一・五〇	〇 三三〇	東明堂 同
近視眼の豫防と療法	井上豐太郎	一・〇〇	〇 一六二	同 同
遺傳の研究	村林仁八	二・五〇	◎ 二六三	弘道閣 神田
細菌學及免疫學實習	竹內松次郎	四・五〇	〇 四五五	金原商店 本郷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
日本耳鼻咽喉科學全書第七・第八分册	久保猪之吉	各二・〇〇	△ 八七 一三三	克誠堂書店 本鄉
大日本眼科全書三卷第一册	川上理一	五・〇〇	◎ 三〇〇	金原商店 同
小病理學總論中卷	木村男也	三・五〇	〇 一五五	同 同
細菌調理作用新研究	前田利實	非賣	△	前田利實 神戶

【十二月】

心・身・命・鍛錬の大法	渡邊綱紀		〇 三二〇	渡邊鍛錬會 芝
異常兒論	下田光造	二・五〇	〇 七〇	大道學館 龜岡
合理的體質改造法	野間克巳	一・八〇	〇 一四六	日本體質改造研究會 神田
一島式高溫食鹽浣腸療法	一島榮松	二・五〇	〇 三二六	一島式食鹽浣腸學院 北海道
SH指壓療法前後	末廣才輔		◎ 二册	昭和物療學院 世田谷
淋病食養根治秘法	井上正賀	一・〇〇	〇 一二三	弘文館 神田
肺結核の新知識	和田勤一郎	一・三〇	〇 二九七	和田勤一郎 龜岡
漢方治療の實際的效果	馬場和光	二・〇〇	〇 二四八	アトリエ社 牛込
內科處方集	勝田松太郎	三・〇〇	〇 三二七	富倉書房 本鄉
詳しくわかる家庭療病寶典	青木幸三郎	四・五〇	〇 二七二	帝國家庭醫學普及會 同
心靈秘傳書	桑田欣兒		〇 一七二	帝國心靈研究會 北海道
靈法秘傳書				同

外科學提要	盛彌壽男	三・五〇	〇 二八八	金原商店 本鄉
臨床人體寄生蟲病學	宮川米次	四・〇〇	◎ 二九三	克誠堂書店 同
健康聖典	大澤昌壽	一・五〇	〇 一三六	三成社 神田
Für Studenten	忽滑谷精一	一・五〇	× 三九	金原商店 本鄉
禪と療病	山縣正明	二・〇〇	〇 二六一	人文書院 京都
漢方醫學臨床提要上	大塚敬節	非賣	◎ 三六八	春陽堂 日本橋
新醫法典	會田俊一	三・五〇	〇 三〇〇	日本醫政會 牛込
人體風土記	山根匡志	三・五〇	〇 一四六	通俗醫學普及會 神田
各科專門家より見た頭腦衛生法	富永哲夫	一・八〇	〇 二九九	河出書房 日本橋
臨床指鍼	藤井尙人	四・〇〇	× 五七〇	南江堂 本鄉

東京書籍商組合統計（續）

（二九頁四より續く）

年次	加入	廢業・脱格	除名	毎年末在現
大正元（明治四十五）年	一二	九	三	三六九
大正二年	一三	九	二	三七一
大正三年	七	五		三七三
大正四年	八		一二	三六九
大正五年	七		一一	三六五
大正六年	一〇	一一	三	三六一
大正七年	八	一三	四	三五二
大正八年	一、〇五五	四		一、四〇三
大正九年	一一八	一二	六	一、五〇三
大正十年	一二八	七		一、六二四
大正十一年	一三二	二六	五	一、七二五
大正十二年	一二七	一七		一、八三五
大正十三年	二〇七	二	五	二、〇三五
大正十四年	三二五	八	四五	二、三〇七
大正十五（昭和元）年	二五六	二〇	二〇	二、五五四
昭和二年	二七四	九	四三	二、七七六
昭和三年	二二一	八	三〇	二、九二九
昭和四年	二一九	五	三五	三、一〇八
昭和五年	二六七	八三	四八	三、二四四
昭和六年	一四五	八九	四一	三、二五九
昭和七年	一六六	一四五	三八	三、二四二
昭和八年	一六四	一三〇	五二	三、二二四
昭和九年	五二	二一		三月現在 三、二五五

〔二六〕商業

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
愛券家必讀書 債券活用投資案內 絕對確實 新案相場貨殖法	安野和三	・五〇	〇 一四九	大黑屋 四谷
短期新東日棒解說	藤原大和	非	× 五四	富の輸仁恩 兵庫
商店經營の要諦	加藤愛次		◎ 一三	金加新東研究所 愛知
綿業必携	井關十次郎	・一五	〇 五八	日本青年館 四谷
小賣店 賣上增進と其呼吸	高橋喬一	・五〇	△	絲友社 日本橋
【二月】	佐藤傳衛	・六五	〇 九七	實際商店經營社 神田
本邦鐵鋼業の現勢	佐藤貞次郎	一・二〇	◎ 二一五	東亞經濟調局査 麴町
果實蔬菜 罐詰壜詰製造法	村松傳藏	二・五〇	◎ 二九二	成美堂書店 日本橋
【三月】				
廣島縣商業誌	野元健兒	非	◎ 二五〇	廣島商業學校々友會 廣島

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
寫眞館經營法二號	赤松國春		◎ 二九	大阪寫眞經濟研究會 大阪
【四月】				
米國百貨店の概觀	伊藤重治郎	一・五〇	◎ 二三	立教大學商學研究室 豐島
罫線活用 株式戰術奧義	中野照治	非	〇 一三	市場情報社 大阪
相馬必勝秘錄の公開	原田建堂	五・〇〇	〇	原田建堂 山口
機略晃範 株式篇	岡田六知	二〇・〇〇	◎ 一三	信告社 大阪
【五月】				
賣藥の通信販賣法	中原六盃	一・二〇	〇 二九	誠光社 神田
株式投資貯金の話	元吉重成	・三五	〇 六六	元吉計理研究所 牛込
短期新東必勝原理と實戰駈引法	三上秀雄		◎ 七二	三上秀雄 麻布
商業新戰術百態	窯業新聞社		〇 六八	窯業新聞社 名古屋
生命保險會社の批判	東洋經濟新報社	一・〇〇	◎	東洋經濟新報社 日本橋
自動車業經營指針	漆山仲二	一・〇〇	〇 二〇四	山形縣自動車協會 大阪
農村更生 農產物廉賣場の經營	中谷藤太郎	・二〇	◎ 六四	東京公民社 淀橋
【九月】				
百貨店經營學	水野祐吉	三・八〇	◎ 五三四	日本評論社 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
店頭販賣の秘訣【十月】	松宮 三郎	二・〇〇	四六	誠文堂 神田
あらゆる商賣の通信販賣の秘訣	前波 仲子	一・二〇	三八	誠光堂 神田
自動車運送及經營	小田 元吉	三・〇〇	四三	關西書院 大阪
生絲品位檢査並びに格付の實際【十一月】	吉村 定雄	一・八〇	二四八	明倫堂 神田
小資本で誰にも出來る化粧品製造販賣法	遠藤良一郎	二・〇〇	三二〇	遠藤香料店 本所
酒醬油店經營策	島村 要三	一・八〇	一八〇	洋造社 小石川

思ひ出

創設初期の早稲田の文科では夏目漱石がミルトンのコーマスを、又高山樗牛がバイロンのチヤイルド・ハロルドを講義してゐたさうだ。そして此の二人は自分の授業が濟むと、坪内博士の教室に入つては、學生席の後ろに腰かけながら、そのシエークスピヤの講義を聞いてゐたと云ふ事が、當時の學生だつた人に依つて語られてゐる。明治三十年前後の事だらう。高島嘉衛門や德富蘆花も聞きに來たことがあつたらしい。

その坪内先生が「自分も愈々教壇から隱退するから、最後の思出に、君達の好きな作を何でも講義して上げやう」と云はれた時には、誰も一議に及ばずハムレツトをと、お願ひした。が、お互に無限の寂しい氣がしたものであつた。あの名調子の講義が永久にもう聞かれないのかと思ふと、惜しくて堪らなかつた。

併し、博士の飜譯は、別に嚴として存在してゐるのである。而もその飜譯はあの名講義の精髓であり、エキスである。又何をか悲しまんやだ。

漱石、樗牛、蘆花等明治の文豪をさへも傾聽させたことのある名譯義が、今度は早稲田の教室から全く解放され、小鳥のやうに廣く普及して行くのを何より喜ばずには居られない。

〔二七〕交通

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
大東京市郵便區劃圖	遠藤 市次			明報堂 芝
最近の交通事業	笠松愼太郎	一・五〇	二九一	日本交通協會 麹町
鐵道用モーターカー【三月】	鈴木 哲夫	三・〇〇	二五二	鐵道技術社 下谷
電氣鐵道軌道基本要項第一輯	電氣協會		△一八	電氣協會 麹町
交通夜話【四月】	笠松愼太郎	非○	一六四	日本交通協會 同
軌道整備心得解說	木下武之助	五〇〇		鐵道時報局 神田
【五月】				
有光航海表	有光 敏一	六・〇〇〇	二四二	海文堂 兵庫
國際通信書解說	高橋 功	二〇〇	一〇九	角谷撥一 大森
航海科參考圖（第二附圖）	臨時公立商船學校教科書編纂委員	△	八三	海洋社 品川
運用術（中卷）	同	◎	一二六	同 同
同（下卷）	同	◎	二六四	同 同
航海學（中卷）	同	◎	一八二	同 同
最新電氣鐵道要綱【六月】	井西 仁平	一・四〇	一九二	コロナ社 小石川
航海學（下卷）	青山 靜夫	◎	八二	海洋社 品川
交通今昔物語	清水啓次郎	一・六〇	三二六	工友社 神田
國有鐵道資料集覽	關戸高三郎	非△	九九	鐵道技術社 下谷
【七月】				
交通原論	佐藤 敏章	三・五〇	二六〇	森山書店 神田
鐵道旅客運送綱要	明石 多吉	一・八〇	一五八	札幌印刷株式會社出版部 札幌
同	水路部	非△	四九六 一三五圖	水路部 京橋
アフリカ東岸水路誌第一卷	同	五・〇〇	三一〇	同 同
道路用語字彙十輯	道路研究會	一・〇〇	一三三	道路研究會 芝

水路部報告第六卷大正14年4月至昭和3年3月測量船滿洲海洋測量報告附圖

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
今日の自動車問題	帝國自動車協會	非	○ 八六	帝國自動車協會 麹町
海上衝突豫防法	海士學館	・六〇	○ 一二四	海士學館 大阪
【八月】				
印度西岸水路誌	水路部	五・〇〇	◎ 四五〇	水路部 京橋
【九月】				
國際通信書 信號篇	日本海員掖濟會	三・五〇	△ 七〇〇	角谷撥一 大森
【十月】				
旅客手荷物運輸	大鐵教講演部	非	○ 三〇〇	大阪鐵道局教習所同窓會 神戸
海運寶鑑	米窪滿亮	五・〇〇	◎ 三三三	神戸船舶運輸時報社 同
運送界一瞥	玉崎長	五・〇〇	○ 八九五	交運日日新聞社 瀧野川
鐵道運輸運賃規定集	岡島勝太郎	一・五〇	△ 一八〇	岡島勝太郎 鹿兒島
自動車法令基準 交通警察論	清金正憲	二・五〇	○ 五六三	交通研究社 廣島
道路水路曲線表附布設法	坂本左馬太	二・六〇	○ 二九一	鐵道圖書局 麹町
【十一月】				
航海指針	酒井一郎	五・〇〇	○ 九〇〇	海員協會 神戸
航空發達史	長谷邦夫	非	△ 二五〇	新聞聯合通信社 芝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
國際通信書電信篇	日本海員掖濟會	一四・五〇	△ 四〇二	日本海員掖濟會 大森
【十二月】				
濠洲沿岸水路誌 第二號	水路部	五・〇〇	◎ 四〇〇	水路部 京橋
解說自動車交通事業法	喜谷健次郎	三・五〇	◎ 六六三	鐵道書院 日本橋

〔二八〕工業・工藝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
工務員必携工業手帖	吉原鐵夫	一・二〇	×	知進社 神田
鑛山講話四十四電氣ニヨル災害防止其一跳躍する鑛業界の展望	日本鑛山協會		○ 五八	日本鑛山協會 京橋
人造絹絲染色法	中村貫一郎	非	○ 二七	松野屋商店 神田
鐵道工學特論	加藤正雄	二・八〇	◎ 五〇〇	丸善株式會社 日本橋
高等土木學第二十卷	池原外一英治	非	◎ 四五二	常磐書房 小石川
最新化學工業大系一	仲摩照久		◎ 五四〇	新光社 神田
高等建築學六地震學構造物震動論	今村明恒	非	◎ 一七八	常磐書房 小石川
【二月】				
實驗葡萄全書 下篇釀造法	川上善兵衛	三・五〇	◎ 二九五	西ケ原刊行會 赤坂
北歐の林業と製紙 工業瑞典部	石上林二郎	非	◎ 三八九	富士製紙株式會社 京橋
工業經濟研究第三册	森山讓二	・八〇	◎ 一五六	森山書店 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
工作機械の基礎	水澤謙三	二・八〇	△ 一二〇	丸善株式會社 日本橋
最新鐵道工場	麻生五郎	六・〇〇	△ 三三三	鐵道時報局 神田
工場工業の發達	山田盛太郎		◎ 八八	岩波書店 同
高等土木學第十九卷	牧彥七	非	◎ 一五一	常磐書房 小石川
昭和六年本邦鑛業趨勢	商工省		△ 四八〇	商工省 麹町
小麥及製粉提要	植月虎男	二・八〇	◎ 三一三	成美堂 日本橋
【三月】				
機械材料	山岡敬二	・一六	◎ 一四六	電機學校 神田
自動車工學	菅是敬	非	○	菅是敬 德島
シボレー解說書	日本ゼネラルモータース	・二五	◎ 六九	日本ゼネラルモータース株式會社 大阪
橋梁工學上卷	川原兵一	二・五〇	◎ 三一八	淀屋書店 大阪
施工本位建築構造學	鈴木忠五郎	二・五〇	◎ 二六七	同 同
高等建築學四構造力學一	吉田宏彥外一	非	◎ 八〇〇	常磐書房 小石川
建築施工法	福井義長	一・六〇	◎ 一九七	淀屋書店 大阪
近世道路工學理論及實際的設計並施工	菊地嘉美	四・〇〇	◎ 四六六	鐵道圖書局 麹町
汎用工作機械	關口八重吉外一	三・二〇	◎ 三七六	弘道館 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
自動車の新研究	橋本精	三・〇〇	◎四八六	新進社書房 神田
改訂增補工業汎論	西田博太郎	二・四〇	◎三〇八	丁酉社 本郷
耐震建築問答	田邊平學	五・八〇	◎六五五	丸善株式會社 日本橋
金鑛の製錬	利根川金之助	三・五〇	◎四四七	久保田鶴雄 世田谷
【四月】				
大阪市產業叢書 第十四輯 大阪の紙製品工業	大阪市役所產業部		◎三六八	大阪市役所產業部 大阪
絲格向上製絲法	中川房吉	三・〇〇	◎三七八	明文堂 神田
最新酒精製造法	小穴富司雄	二・五〇	○三四七	同 同
北歐の林業と製紙工業 第一卷芬蘭の部	石上林二郎	非◎	◎三三三	株式會社富士製紙 京橋
テレヴキジョンの設計と製作法	荒川文吾	一・二〇	○一九〇	隆章閣 神田
重量分析實驗指針	石橋雅義	一・二〇	◎一〇八	カニヤ書店 京都
水道用高級鑄鐵管規格	西川武雄	一・〇〇	◎	水道協會 劇町
最新工學バンフレット31尖 電池とその應用2 同32電氣溶接とその應用	清水喜一	各五〇	△二冊	最新工學及普會 赤坂
河川工學	福田次吉	二・八〇	◎四一六	常磐書房 小石川
最新製絲法講話	猪坂直一 外一	二・二〇	○二六六	明文堂 神田
簡易香料及香水の作り方	藤井勇美	三・五〇	◎三六六	中文館書店 牛込
土木耐震學	物部長穗	二・五〇	◎二六三	常磐書房 小石川
土木材料	藤井眞透	三・五〇	◎六〇八	同 同
土木建築工事用器具機械	志水直彥	二・〇〇	◎二九一	同 同
建設工事現場業績 第二輯	木下武之助	三・二〇	△四九三	シビル社 神田
詳解初等橋梁工學	櫻井盛男	二・八〇	◎三〇四	鐵道圖書局 劇町
建築土木構造力學	堀口甚吉	一・八〇	◎三三〇	吉田工務所 同
最新紡績原料論	森山二郎	二・五〇	◎二六〇	工政會出版部 同
計算例詳解木桁及鐵筋コンクリート道路橋設計施工解說	小林廣二	二・四〇	○三二八	鐵道圖書局 同
土木工學 上卷	川口虎雄 外五	五・三〇	◎五七三	丸善株式會社 日本橋
建築施工法	小林政一 外一	三・五〇	◎四〇三	吉田工務所 劇町
【五月】				
通俗解說 小三角測量法	岡田雅樂	一・八〇	×二七九	關西測量協會 大阪
特殊鑄鐵ニ・テンサイルに就て	藤原唯義	非△	四〇	日本ニッケル情報局 劇町
建築に關する銅眞鍮の話	銅眞鍮研究會	同◎	五七	銅眞鍮研究會 大阪
最新水產製造全書 上卷	木村金太郎	三・〇〇	◎三六九	大日本水產會 赤坂
下卷		同		同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
さゞなみ籠、コブ籠と其工法	內海清溫	・八〇	◎七三	日英社 神田
裝蹄學	村田康午郎 外一	三・〇〇	◎一六五	有誠堂書店 京橋
土木施工法・土木・基礎工・混凝土工	谷口三郎	三・五〇	◎六二一	常磐書房 小石川
機關算法	臨時公立商船學校教科書編纂委員		◎三三六	海洋社 品川
建築土木資料集覽	畠中士郎		△四五七	集覽刊行會 京橋
高等建築學七	八木憲一 外四	非◎	◎四〇八	常磐書房 小石川
通俗圖解家屋設計の順序と仕方	笹沼庄次郎	一・八〇	◎一八七	鈴木書店 日本橋
圖解計算鐵筋コンクリート設計及施工	坂元左馬太 外一	四・〇〇	◎四二四	鐵道圖書局 劇町
製絲學新講	田村熊次郎	四・五〇	◎五三六	明文堂 神田
コンクリート鋪裝	大石義郎	一・五〇	◎二三三	常磐書房 小石川
豐田式織機標準取扱法	熊木金意	三・〇〇	×一〇〇	紡織雜誌社 大阪
室內鋪飾	和田斐太三	三・八〇	△	太洋社 同
土木工事用材料標準試驗方法	內務省土木試驗所		◎二〇九	シビル社 神田
商店設計圖案集	松井貞治	一・三〇	△二五枚	建築資料協會 京橋
住宅設計圖案集	同	一・〇〇	△一六五	同 同
工費明細庭園圖說	齋藤勝雄	三・九〇	△三一〇	盛美堂書店 日本橋
新しき建築學階梯 卷の三	中村達太郎	三・五〇	○二六九	丸善株式會社 同
家具寫眞集成 寢臺と化粧臺	洪洋社編輯部	一・〇〇	△一九圖	洪洋社 小石川
建築構造圖集	高杉造酒太郎	・六〇	△一五	建築學院 京橋
【六月】				
教科標準自動車要典	重森文彥	一・三〇	○二九八	文友堂書店 大阪
鑄物の手ほどき	藤原唯義	非◎	○二七	日本ニッケル情報局 劇町
機械技師養成講義錄	康井啓楷	同◎	七四	帝國工業新聞社 同
日本農機具界發明錄	重井長幸	同◎	三六	農業と機械社 本郷
實地醬油釀造法攬要全	永木曉三郎	二・五〇	○七四	明文堂 神田
松田式竹細工法	松田鐵太郎	二・〇〇	◎二九二	培鳳館 同
鋼道路橋の設計	光永一三男	三・〇〇	◎二六三	淀屋書店出版部 大阪
工業通論	工業常識普及會	一・八〇	◎三四	杉本書店 京都
高等建築學第十五卷 旅館、ホテル、病院、サナトリアム	高松政雄	非◎	四九九	常磐書房 小石川
洗面所設計圖撰集	小林富次郎	二・〇〇	◎	小林商店 淺草
コンクリート及び鐵筋コンクリート汎論 下卷	吉田彌七	七・〇〇	◎七九九	丸善株式會社 日本橋
石油及其工業 上卷（增補版）	小林久平	六・〇〇	◎六三二	同 同
新しい簡易小住宅	蒲生俊文	一・五〇	△一二七	朝日新聞社 劇町
京都に適した新興住宅設計圖案集	京都建築協會	二・〇〇	△三	京都土木建築新聞社 京都

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
建築寫眞類聚第八期第十七輯 醫院建築第二	高梨由太郎	一・二〇	○	四八	洪洋社	牛込
橋梁工學トラスの設計（改訂版）	佐藤廉平	三・六〇	◎	三一二	淀屋書店	大阪
小池橋梁工學第二卷	小池啓吉	三・三〇	◎	三九九	日本文化協會	四谷
現代工業常識	津田信良	三・八〇	◎	四二六	文光社	同
電氣鎔接六講	府立東京商工奬勵館	一・七〇	◎	二二三	工政會出版部	麴町
改訂版機械工作法講話第一卷	藤野準 田中重芳 窪田格太郎 山本博	二・五〇	◎	三一七	同	同
鐵筋コンクリート建築構材經濟斷面の撰定法	今井秀雄	四・五〇	△	二六四	太陽堂	神田
建築物の耐久性	吉田享二	三・〇〇	◎	三二四	誠文堂	同
高等建築學一四 建築計畫二	清水一	非	◎	四七七	常磐書房	小石川
誰れにも出來る住宅の設計	龜井幸次郎	一・九〇	△	一六六	清水商會出版部	豐島
家具寫眞集成六 子供室・ベランダ・庭園の家具	洪洋社	一・〇〇	△	二〇圖	洪洋社	牛込
【七月】						
火災防止建築設備	中村達太郎	・八五	×	一一三	丸善株式會社	日本橋
合金成分表	戸波親平	一・〇〇	◎	六三	アグネ出版社	神戸
遠心脱水機	瀧清	一・〇〇	○	一八六	跟青堂	赤坂
機構學	西川孝次郎	一・二〇	◎	一〇四	海事教育振興會	兵庫

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
最新化學工業大系第八回	仲摩照久		◎	五〇七	新光社	神田
建築寫眞類聚第八期第十八輯床面意匠集	高梨由太郎	一・二〇	○	四八圖	洪洋社	牛込
改訂增版奥田裁縫書	奥田艷子	三・五〇	◎	三一八	奥田裁縫女學校出版部	杉並
實用型紙差込法	長連光	三・八〇	◎	一〇五	洋服工學協會	神田
池坊立華大全下卷	熊谷八似		△	一六二	大日本華道學院	京都
溫泉と其の掘鑿	佐伯謙吉	一・五〇	○	一二五	工業雜誌社	京橋
土木工事仕樣及見積	林為藏	一・六〇	○	二一三	鐵道圖書局	麴町
【八月】						
メートル法と工業	辻清三	一・〇〇	○	二一〇	神戸市メートル普及會	兵庫
喞筒及水力機械	電氣學校	・八〇	◎	九〇	電氣學校	神田
船舶設計圖表第一集	能勢行藏		△		モータシップ雜誌社	京橋
自動車工學	菅是敬	・三五	○	九五	井關書店	德島
最新水產製造全書下卷	木村金太郎	四・五〇	◎	五〇〇	大日本水產會	赤坂
農產製造の原理と實際	高橋偵造外一		×	二〇八	日本評論社	京橋
最新水產製造全書中卷・下卷	木村金太郎	各三・〇〇	◎	五〇〇	大日本水產會	赤坂
道路提要	淺野守	三・八〇	附○	一三〇 五三六	內外工業新聞社	麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
商店の家 家具寫眞集成10	洪洋社編輯部	一・〇〇	△	二〇	洪洋社	牛込
日本古建築類聚 名古屋城	川上邦基		△	三五枚	古建築及庭園研究會	澁谷
各種經間木桁及鐵筋コンクリート道路橋設計圖集	小林廣二	三・〇〇	◎	二〇〇	鐵道圖書局	麴町
日本漆工の研究	澤口悟一	七・〇〇	◎	七三五	丸善株式會社	日本橋
近世色染法第一編	西田博太郎	七・五〇	◎	六三六	同	同
床の間の構成裝飾篇	北尾春道	三・五〇	◎	二八〇	洪洋社	牛込
【九月】						
最新圖解自動車講義錄	大月豐		○		國民書院	大阪
道路測量用表	吉田繁次郎	一・七〇	×	二〇八	吉田繁次郎	岡山
舶用ディーゼル機關の取扱	森住勇夫	一・五〇	○	一三六	海文堂書店	兵庫
實用製罐及板金法	吉原鐵夫	一・七〇	○	二一三	信友堂書店	神田
化粧品製造	山添長四郎	・五〇	○	一七六	三圭社	芝
實踐上水道	岡本東一郎		△	一一三	コロナ社	小石川
製絲原料論	中島三郎	・三〇	◎	二三三	天龍蠶絲社	長野
ニツケル及モネルメタル	松浦和雄	非	◎	八五	日本ニツケル情報社	麴町
銅工技術の魁卷一	平岡邦之助	一・七〇	◎	四三	板金技術研究所	靜岡
科學的工場經營法	田中滿三	三・〇〇	◎	三八三	千倉書房	京橋

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
古來の砂糖製錬法	俵國一	三・〇〇	◎	一九八	丸善株式會社	日本橋
高等建築學三 建築材料	田中正義	非	◎	四八三	常磐書房	神田
建築寫眞類聚第十九輯 住宅渡月莊	高梨由太郎	一・五〇	◎	四八圖	洪洋社	牛込
中流住宅建築並に住宅の實例と設備	富永襄吉	四・五〇	◎	三四七	資文堂書店	麴町
日本探鑛法	岩崎重三	三・五〇	◎	二九三	內田老鶴圃	日本橋
鋼橋の理論と計算	フリードリツヒ・ブライヒ 奥田秋雄		△	一二四	コロナ社	小石川
新しい窓の機構	十代田三郎外二共譯	一・五〇	△	五三枚	洪洋社	牛込
最新化學工業大系3	仲摩照久		◎	五六八	新光社	神田
カフェーの家具1	高梨由太郎	一・〇〇	△	二〇	洪洋社	牛込
【十月】						
道路橋の設計實例篇	河村協	一・六〇	◎	一五三	淀屋書店出版部	大阪
應用彈性學	山岡包郎		△	一三〇	コロナ社	小石川
鐵銅及び石炭業に於ける企業組織	目崎憲司	三・八〇	◎	四〇二	有斐閣	神田
高等建築學21 建築計畫9	小林政一	非	◎	三四四	常磐書房	小石川
森林工學補遺篇	中村猪市	三・〇〇	◎	二六四	成美堂書店	日本橋
コンクリート及鐵筋コンクリート標準仕樣書鐵筋コンクリート構造計算規準	高杉造酒太郎	・五〇	◎	九七	建築學會	京橋
塗工材料及塗工仕上法	坂田秀太郎	一・五〇	◎	一七三	吉田工務所	麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
鐵骨構造電弧鎔接の理論と實際 上巻	伊藤千代藏	三・〇〇	○	二三五	洪洋社	牛込
改良小住宅懸賞設計圖案集	本間乙彦	三・〇〇	△	一〇〇圖	住宅改良會	大阪
採鑛必携	江川三勇治	三・三〇	×	三三三	知進社	神田
建築寫眞類聚第八期第二十輯 カフエー內部集 巻三	高梨由太郎	一・二〇	◎	五〇	洪洋社	牛込
最新施盤及ミーリングマシン作業法附罫畫法	吉原鐵夫	三・三〇	○	六一八	進知社	神田
【十一月】						
滿洲の資源と化學工業	工業化學會滿洲支部	三・八〇	◎	五九五	工業化學會	日本橋
下水道及汚水處理法	高谷高一		△	二一四	コロナ社	小石川
鉛蓄電池の一般取扱法	山田俊三	非	○	四〇七	ジーエスニュース編輯部	京都
土木工事歩掛と單價	東京工學研究會	一・〇〇	○	一六九	鐵道圖書局	麹町
滲透式瀝青マカダム舖裝標準示方書第12	道路研究會	一・〇〇	△	一三八	道路研究會	芝
タール及タール舖装座談會	同	・六〇	△	五四	同	同
電氣鐵道軌道整備心得	電氣協會關西支部		△		電氣協會關西支部	大阪
印刷の實際	田中印刷出版株式會社	非	○	七四	田中印刷出版株式會社	神戸
基礎工第一巻	太田尾廣治外		△	一〇六	コロナ社	小石川

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
炭燒虎之巻	萬代信三郎	一・〇〇	○	一〇七	大日本林產研究會	杉並
高等建築學19 建築計畫7	張菅雄外一	非	◎	一一三	常磐書房	小石川
合輯縮刷最新工學文獻摘錄通信第一二冊	最新工學普及會	同	△	三〇〇	最新工學普及會	赤坂
最新化學工業大系7	仲摩照久		◎	五五九	新光社	神田
建築構成5 住器と其設備	高梨由太郎	一・〇〇	△	二〇圖	洪洋社	牛込
鐵筋コンクリート施行法改版	吉田德次郎	四・五〇	◎	四八三	丸善株式會社	日本橋
建築寫眞類聚第八期第三輯新興佛寺建築	高梨由太郎	一・二〇	◎	二八圖	洪洋社	牛込
小都市に建つ商店住宅	群馬縣建築協會	一・〇〇	△	一八	同	同
小學校に建つ御眞影奉安殿	同	一・〇〇	△	一〇七	同	同
關門隧道	柳生義郎	非	△	六二	大久保愛之丞	芝
港灣	鈴木雅次	・八〇	△	三二八	岩波書店	神田
和家具を折衷の家具12	高梨由太郎		△	五四七	洪洋社	牛込
金屬着色塗装法及鋼鐵家具製作法	佐藤巳之吉	四・八〇	△	四〇六	中央工學會	小石川
どうすれば住宅が住み良くなるか	野村茂治	三・〇〇	◎	二六〇	同	同
【十二月】						
金屬材料	西川孝次郎	一・二五	◎	一五五	海事振興教育會	神戸

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
滿洲の道路事情座談會	道路研究會	・二〇	△	一四	道路研究會	芝
ガラス細工	杉江重誠	一・六〇	◎	一三三	共立社書店	神田
近世道路工學第一巻	エー・ノイマン 南保賀		△	一〇八	コロナ社	小石川
無線と實驗ラヂオ問答集	小川菊松		○	一三一	小川菊松	神田
本邦工事圖譜第一輯	農業土木會	四・〇〇	△	二〇四	農業土木會	麹町
高等建築學25 建築行政外三	菱田厚介	非	◎	二八六	常磐書房	小石川
新窓百案集	藤岡正一外三	一・三〇	△	三〇枚 帙入	昭和建築共勵會	廣島
實用電弧鎔接機	遠藤義夫	一・五〇	◎	三三八	大倉書店	日本橋
都市計畫に於ける最近の進歩第一巻	五十嵐醇三		△	一〇〇	コロナ社	小石川
瀟洒なる建物巻三	高梨由太郎	一・二〇	◎	五〇	洪洋社	牛込
庭門及四阿	同	一・二〇	◎	五〇	同	同
土木建築資料撰定表1934	小島大作		△	七五	帝國土木建築調査會	芝
日本建築史圖錄	天沼俊一	七・〇〇	△	三二五	星野書店	京都
第七回國際道路問題調査報告書	小島敖		△	三〇〇	道路改良會	麹町
現代和家具設計及工作仕上法	小栗吉隆	一・九〇	◎	一八九	中央工學會	小石川
和洋家具材料	黑木高節	一・〇〇	◎	一〇九	同	同
カフエー外觀集巻一	高梨由太郎	一・二〇	◎	五〇	洪洋社	牛込

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
煖爐前の構成	高梨由三郎	一・二〇	◎	五〇枚	洪洋社	牛込
鐵筋コンクリート計算圖表	江崎仙之助	一・八〇	△	一〇〇	パワー出版部	神戸
電信工學	稻田三之助	非	◎	三八六	工學全集刊行會	神田
鐵道軌道曲線表及布設法	坂本左馬太	四・八〇	○	五五四	鐵道圖書局	麹町
住宅鴫喃莊	佐藤武夫	一・五〇	△		洪洋社	牛込
輓近醬油釀加工論	深井冬史	五・〇〇	◎	五七〇	東京調味研究會	瀧野川
人造肥料工業	庄司務	三・〇〇	◎	二六一	共立社	神田
和風住宅の室內構成巻一	高梨由太郎	一・二〇	◎	五〇	洪洋社	牛込
カフエーの家具2	同	一・〇〇	△	二〇	同	同
續住宅圖案集	鷹取陽	一・〇〇	△	帙入	日本建築協會	大阪

讀難き書名

書名で讀み難いものが折々ある。明治以前の圖書名には漢音、呉音、作り字、アテ字等がある。佛書經書は呉音が多い。茲に其の讀み難い書名の一例を掲ぐることにした。

久遠門致考（賀茂眞淵）　クニツチカウ
乞胸頭家傳　コフムネカシラカデン
奴師勞之（太田南畝）　ヤツコタコ
四時交加（山東京傳）　シキノユキカヒ
付喪神　ツクモカミ
奴豆乃舍長歌集（長谷川菅雄編）　ヌテノヤ……
石上私淑言（本居宣長）　イソノカミササメコト
次峯經（北村季吟）　ツガネフ
阿難話　タソヤ
足土根記（若林强齋）　タラチネノキ
佐烏廖志之考（中島廣足）　サヲバシ……
金光明經　コンクワウミヤウキヤウ
泊洁舍集（清水濱臣）　ササナミノヤシフ
後言　ジリウコト
往來芝記（稚島公禮）　ミチシバノキ
藤簍册子（上田秋成）　ツヅラフミ

土津靈神言行錄　ハニツレイジン……
天降言（德川宗武）　アモリコト
枯抗集　カツクヒシフ
每關錄（唐太行山人）　コクワンロク
亮々舍日記（木下幸文）　サヤサヤノヤニツキ
俳優風　ワザヲギブリ
假名字集（松浦琴鶴）　ケミヤウジシフ
烹雜之記（曲亭馬琴）　ニマゼノキ
瑯々室集（釋辨玉）　ユラムロシフ
寬居長歌集（足代弘訓）　ユタキ……
異魂紙料（柳亭種彦）　スキガヘン
孀殿遷宮用途記　オサメトノ
尊菜草紙（多田義寬）　ヌナハノサウシ
齋庭之穗（梅辻清規）　カユニハノホ
痴癖談（上田秋成）　クセモノカタリ
臕（曲亭馬琴）　ヘイベン

基督教思想叢書

村尾昇一著　イエスの垂訓　價一・〇〇　送〇・〇八
渡邊善太著　舊約書の由來　價一・〇〇　送〇・〇八
松本卓夫著　新約の時代　價一・〇〇　送〇・〇八
今中次麿著　イエスの宗教とマルキシズム　價一・〇〇　送〇・〇八
渡邊善太著　舊約文學のユートピア思想　價一・〇〇　送〇・〇八
村尾昇一著　愛の神學　價一・〇〇　送〇・〇八
本田正一著　イエス　價上一・〇〇　並〇・〇五　送〇・一〇
松本卓夫編　日本人の觀たる基督　價一・〇〇　送〇・一〇
鈴木榮吉著　青年指導の原理と實際　價一・〇〇　送〇・〇八
榊原巖著　基督教社會經濟倫理　價一・五〇　送〇・一二
ストリイタア著　村尾昇一譯　現代科學思想と基督教　價三・五〇　送〇・二〇
マキフアルト著　栗原・有賀共譯　近代基督教思想史　價五・一〇　送〇・二四
ストリイタア著　村尾昇一譯　科學・哲學・宗教　價一・〇〇　送〇・〇八
エデントン著　千葉勇五郎譯　科學と見えざる世界　價一・〇〇　送〇・〇八
ホルトン著　高松孝治譯　現代心と有神思想　價一・〇〇　送〇・〇八
モツト博士著　齋藤惣一譯　世界の現勢と基督教　價一・八〇　送〇・一四
モツト博士著　齋藤惣一譯　神の國建設者　價一・〇〇　價〇・〇八
シエンブッシュ著　栗原基譯　新社會建設のため　價〇・八〇　送〇・〇六
—新譯青—
桑田秀延著　辨證法的神學　價二・三〇　送〇・一四
昇著　基督教の根本問題　價一・二〇　送〇・一〇
淺地晃著　失樂園の詩的形而上學　價三・〇〇　送〇・二〇
岩橋武夫著　現代基督教叢書
驚山第三郎著　神と文學の問題　價〇・五〇　送〇・〇六
龜德正臣著　神と罪惡の問題　價〇・五〇　送〇・〇六
熊野義孝著　現代の基督論　續刊
木村米太郎著　基督教と現代の性問題　續刊

東京神田西神田一同盟會館
基督教思想叢書刊行會
振替東京四三七九一番

大全科學年

學習研究會編	法	一年用	二年用	三年用	四年用	五・六年用高二、二年用	一年用ヨリ六年用マデ	五年用	六年用	五年用	六年用	五年用	六年用	五年用	六年用
		各一冊三十錢		各一冊三十五錢		各一冊五十錢	各一冊二十五錢	各一冊六十錢		各一冊六十錢		各一冊六十錢		各一冊六十錢	
		送料六錢		送料八錢		送料十錢	送料十錢	送料十錢		各一冊送料十錢		各一冊送料十錢		各一冊送料十錢	

泉星一先生著　完成讀方算術　尋常五、六學年合　優等になる　國語標準學習書　改訂普及版　尋常小學年本

澤源太郎先生著　算術の完成　尋常五、六學年合　優等になる　算術標準學習書　改訂普及版　尋常小學年本

吉村恒雄先生著　三科標準學習書（地理・國史・理科）　優等生になる　三科主要問題とその答へ方　改訂普及版

學習法研究會編　五科主要問題とその答へ方　優等生になる　五科標準學習書　改訂普及版

田畑正之先生著　算術の完成　小學　優等になる　算術標準學習書　改訂普及版

大内領一先生　千原好文先生著　全科受験の急所と模範解答の要點　中學校女學校入學試験　最後の總仕上　實業學校　入學模擬試験七十五回　附試問題解答

大内領一先生著　伸びる地理國理科　三科の完成　中學校女學校　模擬試験　模擬試験

學習法研究會著　算術腕だめし　模擬試験

學習法研究會著　國語腕だめし　模擬試験

澤源太郎先生著　讀方學習の研究　系統的受驗準備　尋常五、六學年合

川村親晴先生著　入學試験準備研究會編　算術學習の研究　系統的受驗準備

入學試験準備研究會編　師範學校入學試験に出た問題と模範解答　全國

入學試験準備研究會編　全女學校國實業學校　中學校入學試験に出た問題と模範解答

入學試験準備研究會編　筆問・筆答・口頭試問答へ方指導　中學校女學校實業學校

入學試験準備研究會編　入學試験問題とその答へ方　中學校學校

學習法研究會編　新式模範自習辭典　珠算問題速成の鍵

商學士　岡部繁雄先生著　珠算上達カード　尋常五、六學年用

大橋惣三郎先生編　讀方・書方・書取百點カード　三、四、五年用

學習法研究會編　讀方・書方・書取百點カード　六年用

泉星一先生著　讀方だめしの算術問題　三、四、五、六年用

澤源太郎先生著　模範生の算術　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ

葛城文彥先生著　模範生の地理　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ

芳村英夫先生著　模範生の國史　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ

富永藤九郎先生著　模範生の理科　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ　一番正しい書き習ひ

國本了一先生　山地繁太郎先生共著　小學國史附圖　尋常五、六學年用　高等一、二年用

魚澄惣五郎先生著　福田徳三先生共閲　日本經濟史　尋常五、六學年用

福田徳三先生著　日本經濟史　尋常五、六學年用

	各一冊三十錢	各一冊十五錢	前期用後期用各冊二十五錢	三十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢	各一冊十五錢
	送料六錢	送料十錢	各冊送料十錢	送料八錢	送料十錢	送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢	各冊送料十錢

東京市神田區三町目一番地　振替口座東京一〇三五番　大阪市南區錦町二丁目九番地　振替口座大阪一二七九番　湯川弘文社

東京市神田區三町目一番地　振替口座東京一〇三五番　大阪市南區錦町二丁目九番地　振替口座大阪一二七九番　湯川弘文社

弘文社版

受驗學生叢書

定價各一冊 金三十五錢
送料各一冊 金四錢

叩け！この大金字塔の扉を!!

◉本叢書は現在專門學校及中等學校に敎鞭を執られる諸先生が、體驗を基とせられ、その研究の蘊蓄を傾注して遺憾なく、恰も自ら敎壇に立ちて一々手を採る如く明確適切に指導せられたり。されば本叢書により速に憂鬱な受驗苦の暗雲を掃蕩して明朗なる榮光を仰がれよ。

日本地理重要問題解答
世界地理重要問題解答
地理通論重要問題解答
西洋史重要問題解答
東洋史重要問題解答
日本史重要問題解答
動物學重要問題解答
植物學重要問題解答
博物通論重要問題解答
算術重要問題解答
英文法動詞の形と意味
受驗和文英譯練習問題解答
一年生の英語單語集 附練習問題及解答
二年生の英語單語集 附練習問題及練習
三年生の英語單語集 附練習問題及練習
受驗生英語重要單語集 附練習問題及解答
二年生の英語
三年生の英語
上級生の英語
新選英文和譯問題 附註及ヒント
國文法の基礎 附入學試問題
漢文解譯の要項
新釋重要故事熟語集 附書取練習問題

發行所 東京市神田區錦町三丁目一一番 振替口座東京三五九二〇五三番 大阪市南區順慶町一丁目七番 振替口座大阪七一二九七番

湯川弘文社

弘文社版

新釋國漢文叢書

定價各一冊金三十五錢 送料各一冊金四錢

燦たり！古典文學を縱橫に鑑賞批評せるこの名著!!

◎複雜多岐に亘る古典文學の種々相を、强い一つの研究の下に精細に檢討し以て其の精神に迄味到して餘す處なし。而かも著者は何れも古典文學の研究に於て獨自の世界を開拓せるものとして斯界の刮目を受く。本叢書はその成果を一望の下に收むるの光榮を得、敢へて中等學校學生諸君の學習用及受驗準備用に推奬す。

新釋奥の細道 附芭蕉文集
新釋增鏡
新釋謠曲
新釋平家物語
新釋太平記
新釋保元物語
新釋平治物語
新釋徒然草
新釋玉かつま 鈴屋集
新釋東西遊記
新釋萬葉集
新釋藩翰譜 折たく柴の記
新釋十訓抄
新釋方丈記 十六夜日記
新釋雨月物語 春雨物語
新釋古今和歌集
新釋枕草子
新釋花月物語
新釋更科日記
新釋竹取物語
新釋駿臺雜話
新釋新古今和歌集
新釋神皇正統記 吉野拾遺
新釋伊勢物語
新釋樂訓
新釋日本外史
新釋近古史談
新釋十八史略
新釋言志四錄
新釋論語
新釋孟子
新釋小學
新釋日本政記 山陽詩鈔
新釋唐詩選
新釋大學・中庸・孝經
新釋唐宋八家文
新釋先哲叢談
新釋蒙求
新釋文章軌範
新釋古文眞寶
新釋現代詩歌選
新釋山家集金槐集
新釋土佐日記 東關紀行
新釋古事記
新釋源氏物語
新釋大鏡
新釋紫式部日記
新釋名家紀行漢文選
新釋近思錄 愼思錄

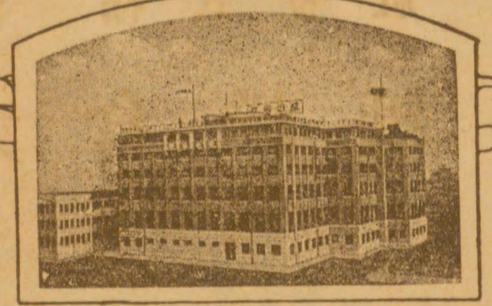
發行所 東京市神田區錦町三丁目一一番 振替口座東京三五九二〇五三番 大阪市南區順慶町一丁目七番 振替口座大阪七一二九七番

湯川弘文社

清印刷株式會社

本社　東京市牛込區榎町七番地電話牛込[34]

早稻田分工場（平版）	東京市牛込早稻田大學前電話牛込[34]	一五九一番
大崎分工場（グラビヤ）	東京市品川區上大崎四丁目電話高輪[44]	四〇〇八番
大阪出張所	大阪市北區西堀川町電話北[36]	一六三三番 八二七五番
神戸代理店	神戸市榮町四丁目電話三宮[3]	三四五三番 二八一八番



東京小石川久堅町

共同印刷株式會社

社長　大橋光吉

BO

株式會社

大倉洋紙店

本店　東京市日本橋區通一丁目二番地
電話日本橋(24)代1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 長1130 0694 4313
倉庫用電話神田(25)〇、八一八番
振替貯金口座東京一五六〇四

大朝支店

大阪市東區安土町二丁目
電話本町(長六九〇番 六九一番 六九二番 六九三番 六九四番 一四七二番)
振替貯金口座大阪一一五二一〇

朝鮮出張所

朝鮮京城南大門通二丁目
電話四九〇

洋紙

株式會社

中井商店

本店　東京市日本橋區室町三丁目
電話日本橋(24)(自代表番號一二〇三)(至特長一二〇九(七))
振替貯金口座東京三六四九番

支店
- 大阪市東區瓦町二丁目
- 京都市中京區三條通東洞院西入
- 名古屋市西區傳馬町七丁目

出張所
- 門司市本町二丁目
- 大連市紀伊町六十五番地

株式會社 大同洋紙店東京支店

本店　大阪市東區安土町二丁目三七

支店　京都市下京區綾小路通り東洞院西入ル
　　名古屋市西區下園町三丁目一四
　　福岡市博多上西町十八ノ三

出張所　門司・熊本・臺北・新京・大連
　　青島・天津・上海・香港

東京市京橋區銀座三丁目四番地一

電話京橋(56)　自　四一四四番
　　至　四一四九番

振替口座東京六〇〇六六番

資本金　六百萬圓也（創立　明治四十年五月）

年生産高　壹億萬封度

製造品目

上等印刷紙・中質印刷紙・3Bポスター用紙
グラヴュア用紙・色及白本四ロール紙
雜誌用紙・更紙・新聞捲取
書籍表紙用板紙・黃板紙・茶板紙・白裏板紙

B 北越製紙株式會社

出版用紙界の寵兒

新製品

天女・白象・星B赤門
金毬・純白・スター・山鳥
Aラフ・Hラフ
色及ビ・白グラヴュア用紙

優良 北越アート紙

本社　長岡市藏王町

工場及營業所
　市川工場
　新潟工場
　長岡工場
　東京出張所
　大阪出張所

洋紙商

岡本商店

株式會社

本店　東京市日本橋區通二丁目五番地
電話日本橋(24)〈代表 四一四一、四一四二、四一四三、四一四四、四一四五、四一四六、四一四七

倉庫　本所區東兩國二ノ八

札幌出張所　電話本所三七三番　札幌市南一條西五丁目五番地　電話長三五五四・四八七六番

王子製紙株式會社販賣店

大阪支店　大阪市東區唐物町二丁目
電話船場〈二〇二七番・二〇二八番　三八五四番・三八五五番　四六八七番

大連出張所　大連市山縣通り一〇六　電話四〇八七番

專賣特許大平カバーペーパー
專賣特許大平紙クロース
中等教科書表紙製造發賣元

御用命は直接吾嬬町本社へ願ひます

株式會社 大平洋紙店

東京市向島區吾嬬町東四丁目一二五番地

販賣部　東京市神田區鍛冶町二丁目十番地　電話墨田(74)〇五八九番
同營業所　電話神田(25)一八二九番
支店　大阪市西區阿波座上通三丁目廿一番地　電話新町四四九九番

新設小賣部
あらゆる種類の紙を何枚でも小賣致します

三菱製紙株式會社代理店

柏

本店 東京市京橋區京橋一丁目四番地五
電話京橋(五六)(六一三二番 六一三三番 六一三五番 六一三四番
電信略號 (カヨ)
振替貯金口座東京一七一二〇番

支店 大阪市東區博勞町一丁目五番地
電話船場 二、五八〇番 二、五八一番

株式會社 柏原洋紙店

世界の通信網を一手に握る

讀賣新聞

帝都三大新聞の一として躍進目覺し

生氣潑溂たる 政治面
最も權威ある 經濟面
報道機敏なる 社會面

日本一の特色ある新聞

婦人欄 文藝欄 科學欄 宗教欄 演藝欄 スポーツ欄 碁將棋欄 ラヂオ欄

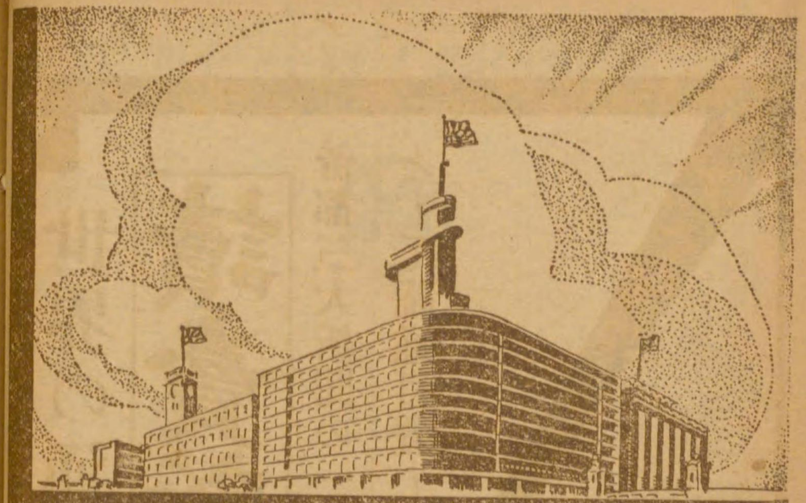
他の追隨を許さぬ本紙の特色

朝刊十頁・夕刊四頁
日曜夕刊八頁
少年新聞月二回
定價九十錢

東京市京橋區銀座西三丁目
讀賣新聞社

〔二九〕 農業・園藝

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
中山式立體乾糞法	若杉由一	・三〇		中山式養鶏法全國普及本部 名古屋
萬人實施有利な蔬菜軟化栽培	米山内泰介	・九〇	一七四	明文堂 神田
岸根栗栽培の要訣	吉村荒治	一・〇〇	一六六	吉村荒治 山口
田中式養鯉法	田中友二	一・〇〇	二四四	日本副業研究社 牛込
農業多角經營問題	東浦庄治	・二〇	二五	日本青年館 四谷
マスクメロンの年中栽培法	梅村松美	◎	八	梅村松美 大阪
立直れる肥料事業の前途	中村貫一郎	非〇	六	松野屋商店 日本橋
昭和稻作法原理	藤本芳太郎	・五×		藤本芳太郎 神田
にんにくの栽培及利用法	松滴庵	・二〇	四四	三好德之助 京都
實驗葡萄全書中篇	川上善兵衛	五・五〇	二五五	西ケ原刊行會 赤坂
堅實で儲かる農家の副業	國民新聞社地方部	・七〇	一六六	白揚社 神田
農業改善研究會報告	財團法人富民協會	非◎	二七	財團法人富民協會 大阪
實驗丹波栗栽培法	隅田新三郎	同〇	七四	隅田農園 京都
梨桃の實利的栽培法	富樫常治	・二〇	五七	富民協會 大阪
田園の一年	岐阜縣農林課	・四〇	一九七	農業と機械社 本所
西瓜栽培の秘訣	安藤安孝	・三〇	五三	鷄黎會 兵庫
農作物增收の栞	岡本清太郎	・五〇	二四	岡本清太郎 三重
有利なる蔬菜栽培の實際	相原言三郎	・六〇	二三六	光原社 岩手
島の農業形態	錦織英夫	・三五◎	七四	刀江書院 神田
稻田利用の胡瓜と南瓜	近藤勳	非〇	六三	近藤勳 愛知
推肥の新しい研究	中村子之作	・二〇	一〇四	富民協會 大阪
信州落葉松	板倉春吉	・二〇	六四	大日本山林會 赤坂
西瓜栽培	板倉春吉	・二〇◎	五五	板倉春吉 淀橋
株式、生糸、綿糸、米、人絹、砂糖實買戰上の心得	安藤安孝	非×	四四	伊那石炭商店 長野
横濱市商工案内	横濱市役所	非◎		横濱市役所 横濱
【二月】				
農漁村產業組合の話	森正男	・二〇	一六五	北日本出版社 札幌



大阪朝日新聞

廣告は大朝へ!!

最大の發行部數と最良の讀者層は常に最高の廣告効果をもたらし不斷の誠意と萬金のサービスは常に安心して廣告をお任せ願へませう

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【三月】				
小鳥と金魚の飼養法	高野芳雄	・六〇	一〇五	宗孝社 神田
養蠶の原理	金成金彦	・五〇	一〇四	明文堂 同
銀耳(白木耳)栽培法	三村鐘三郎	・四五	一一六	大日本山林會 赤坂
柿栗梨桃無花果葡萄の栽培秘法	松原秀雄	・七〇	一七〇	三秀舍 京都
蜜蜂の飼養と經營	馬淵亮衛	・二五	七〇	中央家禽 名古屋
副業養鯉法	菖蒲治太郎	・三〇	八五	タイムス社 赤坂
實驗西瓜の接木と早熟栽培法	森島彦治	・一五	三三	大日本農會 赤坂
實際製炭	福田耕作			森島榮治 奈良
稻作改良增收法	宮川綱三	・七〇	二〇三	福田製炭事務所 山口
青森縣農家に最も適切な冬季副業	木村產業研究所			三秀舍 京都
農產製造實習法	高橋偵造	四・八〇	一六八	木村產業研究所 青森
園藝讀本	青木信一外一	二・五〇	五五七	西ケ原刊行會 赤坂
農產物檢查事業の施設	茨城縣農產物檢查所	非〇	三五九	宗孝社 神田
【四月】				
紫雲英の栽培	內藤晉	・一〇	一〇四	富民協會 大阪
蠶業改良指導指針	新井高四郎	非〇	一七	碓氷社 群馬
農產物加工法と其販賣法	宇津重夫	・七〇	一七〇	三秀舍 京都
實驗稻作多收法	齋藤義一郎	・五〇	二五九	仙南日々新聞社 宮城
最新養鶉指針	淺井清四郎	・六〇	二〇六	淺井清美園 名古屋
世界に於ける小麥事情	農林省農務局		二〇六	農林省農務局 麴町
肥料學提要	森要太郎	二・〇〇	二五〇	養賢堂 同
增訂蜜蜂の飼ひ方	德田義信	一・八〇	三〇六	丸善株式會社 日本橋
最新實用農產加工設備の實際	菊地久一郎	一・五〇	二〇八	東京公民社 淀橋
【五月】				
收益本位農村副業大成	鈴木茂次二	・九〇	四五	養賢堂 麴町
滿蒙林業の近況	池部祐吉	・九五	一三五	大日本山林會 赤坂
實用蠶業害蟲編	橫山桐郎三	・五〇	三七	弘道館 神田
小麥の作り方	久保田喜代太郎	二・五〇	二七六	西ケ原刊行會 赤坂
實驗米麥改良增收法	山本豐次郎	一・二〇	二五四	一心社 神田
豐田式織機標準取扱法	熊木金意三	二・〇〇	六二〇	紡織雜誌社 大阪
實驗米麥改良增收法	山本豐次郎	一・二〇	二五四	一心社 神田
養蠶豐作の秘訣	鈴木伊平	・五〇	一〇三	蠶業新報社 京橋
優良農村計劃事例一輯	帝國農會	・五〇	二四一	帝國農會 麴町
愛知に於ける有畜農業の經營と大豆粕の飼料化	杉浦平八	・三〇	一七九	南滿洲鐵道株式會社東京支社 同
振農經驗談	菅野龜次		二四	松野商店 福島
米棉の栽培に就て	日本綿業クラブ			日本綿業クラブ 大阪調
掏材の人工乾燥と木取	興林會			興林會 麴町
【六月】				
養魚と農園	片岡直方	非〇	一七五	有松政之 兵庫
園藝農產物販賣の合理化	江坂佐太郎	三・〇〇	四三二	泰文館 神田
隼人瓜栽培の實際	林原秋男一	二・〇〇	二五七	同 同
豫防驅除花瓣の害蟲實地應用養魚の研究	駒村作次郎一	・六〇	二五〇	博文館 日本橋
鮭鱒人工蕃殖論	阿部圭三	三・〇〇	二六六	大日本水產會 赤坂
多產鷄の飼ひ方	半田芳男四	二・五〇	二六八	北海道鮭鱒孵化事業協會 札幌
栽桑の指針	古谷春吉	・二〇	七四	板倉良吉 淀橋
果樹園藝實習問答	京都府內務部		一六三	京都府內務部 京都
【七月】	更級農學校	・六〇	一三九	更級農學校 長野
栗の栽培法	森岡好馬		一三	森岡好馬 高知
日本農學會第四回大會講演及討論集	日本農學會	・九〇	一九八	日本農學會 目黑
ソヴエート石油の知識	茂森唯士	・三〇	七二	露西亞通信社 麴町
我國策と人絹の將來	安達和	非〇	六〇	安達和 兵庫
現代生活馬鈴薯利用調理百般と栽培法	高須甚九郎	同〇	二三	建國社 愛知
トマトの加工と栽培法	安藤安孝	・二〇	四一	鷄象會 兵庫
農業經營の有畜化		・三〇	七六	南滿洲鐵道株式會社東京支社 麴町
滿洲大豆粕飼料化に由る廐肥の研究	同	△	四二	同 同
合理的養鷄法	養鷄組合中央會	〇	三九	養鷄組合中央會 日本橋
新時代の農家經營十講	各務武雄	一・一〇	二四六	成美堂 日本橋
農家更生多收益肥料	森崎順三	一・八〇	二四八	富山房 本鄉
家庭副業養蜂の實際	北原利男	一・八〇	二三三	厚生閣書店 麴町
小麥栽培法の改良	稻塚權次郎	・七五	二三八	大日本農會 赤坂
栗の栽培法	田中諭一郎	二・〇〇	三〇四	明文堂 神田
實用自給肥料	吉村清尙	一・八〇	二〇九	成美堂 日本橋
トマト栽培の利益	古谷春吉	・五〇	八三	板倉良吉 淀橋
實地經驗漆の栽培法	宮本宥二郎	・一〇	二六	昇文堂 本鄉

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
養兎講義錄第一卷	高田孝太郎	非◎	二六	國際アンゴラ養兎協會 豐島
養豚講話	成松靜雄	一·二〇	二六一	子安農園出版部 橫濱
三坪百羽養鷄講義錄	家禽改良飼育會	◎	一九八	國民書院 大阪
農作物病蟲害の話	池田末男	·五〇	二六八	鹿兒島縣農會 鹿兒島
筍の研究	北脇勝重	·三〇	一〇二	北脇果物園 鳥取
【九月】				
特許を得たる農產物製造法	菊地久一郎	三·五〇	◎ 五六八	日本農產加工研究會 淀橋
養鷄飼料新知識	鈴木宰三	一·八〇	二六六	明文堂 神田
【十月】				
鷄卵雌雄鑑定法	茂野修一	一·八〇	四四	石井園藝研究所 鳥取
最新養鷄家の相談相手	井上正賀		○ 一八四	國民書院 大阪
食用茸の人工栽培法	平松勇	·五〇	○ 八五	平松食用茸栽培所 愛知
肥料商の前途觀	丸十商會多收穗		○ 三	丸十商會多收穗 下關
使用法並に豫言表	黑田慶太郎		○ 三一	一聖閣 神奈川
實驗トマトの栽培法利用法	式地俊材	·七〇	◎ 一三〇	文化時報社 京都
養蠶順知	吉田芝溪	非◎		澁川町養蠶組合 群馬

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
青森縣の稻作	工藤直巳		○ 二六六	工藤直巳 青森
作業科園藝精義	宮本幸惠	四·五〇	◎ 六三	厚生閣 劉町
最新通俗肥料講話	富田文雄外一	·七五	○ 一五九	西ケ原刊行會 赤坂
【十一月】				
農業倉庫の栞	小澤忠源	非○	四二	長野縣農業倉庫協會 長野
養豚の實際	星顯正	一·〇〇	○ 一七	覺張書店 新潟
農業經營調査書 昭和五年	帝國農會	一·二〇	◎ 二四三	帝國農會 劉町
育雛の秘法	小柳津友治	一·五〇	◎ 二〇〇	西ケ原刊行會 赤坂
【十二月】				
桐樹栽培法	木暮藤一郎	·七〇	○ 二五	大日本山林會 赤坂
農產加工原料より調理まで	永野健	一·二〇	○ 一五〇	成美堂 日本橋
尾張の蔬菜栽培と其の販賣	渡邊喜七	·八〇	○ 三八	農林堂書店 芝
副業緬羊と羊毛加工	山田喜平	·九〇	○ 一九	明文堂 神田
機械工具之標準	鈴木爲八郎	一·二〇	× 二六	日本機械同盟大阪事務所 大阪

〔三〇〕軍事

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
【一月】				
滿洲上海事變殉國將士顯彰錄	岩永八之丞	三·〇〇	◎ 四一四	岩永八之丞 長崎
吾輩の海軍生活を語る	鳥山閑人	·二〇	× 七七	帝國文武學會 橫須賀
改訂山砲兵須知	軍事學研究會	·六〇	× 四七〇	武揚社出版部 澁谷
海軍讀本詳解 卷五·六	小林又七	四·〇〇	○ 八九	兵用圖書株式會社 劉町
騎兵陣中勤務の著眼	山口義信	·八五	× 三九二	大和屋書店 千葉
最新步兵須知改訂版	藤谷芳三郎	·六〇	× 二〇九	藤谷崇文館 大阪
海軍々備縮少に關する帝國政府の新提案に就て	海軍省		○ 五一	海軍省 東京
滿洲事變從軍日誌	關義直	非◎		東洋圖書刊行會 下谷
初年兵教育の參考	帝國軍事教育研究社	·二五	○ 二四	ベニヤ書房 豐島
新制騎兵須知	軍事普及會	·七〇	× 四五一	武揚堂書店 日本橋
速習軍用日滿會話	齋藤市平	·二五	×	兵書刊行會 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
軍人勅諭奉戴五十周年記念 憂國志士傳	近藤源吉	二·〇〇	◎ 一〇九三	眞人社 神戶
初級幹部戰術學教程（基本戰術）	藤下武次郎	二·一〇	◎ 二〇四	川崎滿韓堂 大阪
國民防空訓練	保科貞次	·六〇	○ 一二四	日本防空協會 東京
帝國及列國の陸軍	陸軍省		○ 一四〇	陸軍省 劉町
皇國の軍人精神	荒木貞夫	·四〇	◎ 七六	朝風館 同
滿洲建國と滿洲上海大事變史	東山半之助	三·〇〇	△ 二四三	四國民報社 高松
【二月】				
陸軍大寫眞帖	竹田省吾	二·一〇	◎	省文社 神田
輝く皇軍戰史	佐藤勝之助	二·五〇	○ 四六九	軍事教育社 同
爆擊照準具概論	愛宕通英	三·〇〇	◎ 一九九	新光社 同
海軍逸話集第二輯	藤田定市	一·二〇	○ 一九九	有終會 芝
聖旗は進む 上海滿洲實戰記	後藤四郎	·八〇	○ 二六八	平凡社 日本橋
落陽に祈る	野中喜四郎	一·五〇	○ 四五三	樂陽堂書房 牛込
昭和八年版帝國及列國の陸軍	桶山光四郎		○ 一四〇	偕行社 劉町
一九二九年制定陸軍人民委員部赤軍防空教令赤軍僞裝教範	同		○ 一三	同 同

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
極東防衛論	鈴木一馬	一・〇〇	○	三〇六	太陽社	神田
官費養成陸海軍少年航空兵志願案內	日本飛行教育會	・五〇	○		進士館	小石川
新制教練教程	武揚社	・三八	×		武揚社	澁谷
學國制空	有留弘泰	・二〇	○	一〇九	天聲社	京都
野戰輜重兵小隊長小携	陸軍省徵募課	・五〇	×	四〇四	帝國在鄉軍人會本部	牛込
教練必携カード式	學校教練攻究會	・三〇	×	九一	大光館書店	神田
軍隊衛生學衛生法及救急法	小島棟吉	・三五	×	一一〇	武揚堂書店	日本橋
最新憲兵須知	武揚社出版部	・九五	×	三七三	武揚社出版部	澁谷
【三月】						
軍人書牘認め方	友田宜剛	・六〇	◎		三成社書店	豐島
軍隊必携	白線社	・五〇	×	七六	白線社	下谷
兵役の栞（兵事法規普及用）	松浦德一		○	一二六	松浦德一	廣島
少尉候補者幹部候補生試驗問題答案	軍事學研究會	・七〇	×		武揚社	澁谷
陸軍志願兵合格案內	文教科學協會	一・〇〇	○	二六五	文教科學協會	下谷
仙臺・豐橋・熊本陸軍教導學校素養前期後期試驗問題集	齋藤市平	・九五	○		兵書刊行會	牛込
太平洋の危機？	加藤越山	・一〇	○	五七	大阪圖書販賣株式會社	大阪

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
軍士錄	瀧川銀次郎		◎		帝國軍士鑑刊行會	長野
熱河をなぜ討つか	荒木利一郎	・一〇	○	五六	大阪每日新聞社	大阪
赤軍砲兵操典第二部 赤軍砲兵中隊及大隊指揮小隊教令	安西理三郎		○	三四九	軍事學指針社	四谷
建國記念新滿洲國名勝風俗寫眞帖	田中捨吉	一・三〇	◎	一〇〇	誠光堂出版部	麴町
空中戰爭論	楢崎敏雄	二・〇〇	◎	二五八	日本評論社	京橋
生命線に散る	松井壽夫	一・二〇	○	三五八	政弘社	神田
世界列强戰備比較論	神田孝一	一・五〇	○	三六三	東治書院	麴町
【四月】						
海軍砲術水雷術各期練習生採用試驗問題集と其解答	片山米造	・三五	○	七八	級進社	廣島
海軍讀本參考書卷五	城猛成	・五〇	○	一八五	吳文化學院	同
海軍少年讀本	福田貞三郎	・四五	◎	二三九	海軍研究社	麴町
工兵操典	兵用圖書株式會社	・二五	×	二〇四	兵用圖書株式會社	同
忠勇美談	帝國在鄉軍人會仙臺支部		○	一九〇	帝國在鄉軍人會仙臺支部	仙臺
日清戰砲誌	龜岡泰辰		○	二〇七	偕行社	麴町

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
現人神と皇軍精神	高鍋日統	・五〇	◎	八六	神威國防會	赤坂
日露戰地の懷舊	山崎有信	二・〇〇	○	二三三	山崎有信	北海道
防空讀本	石川眞琴	・三〇	○	一九四	東京教材出版社	麴町
非常時に躍る陸軍人品評會	島崎英世	・五〇	○	一四五	國防協會出版部	赤坂
【五月】						
重砲兵小隊長必携（攻城之部）	陸軍省	・五〇	×		帝國在鄉軍人會本部	牛込
太平洋と我海軍	關根郡平	・一五	○	四六	社會教育協會	小石川
最新憲兵志願案內受驗準備講義	下里公民	・六〇	○		耕文社	牛込
全國幹部候補生終末試驗問答集	齋藤市平	一・三〇	○		兵書刊行會	同
敵機若し帝都を襲はゞ	德安實藏	・二〇	○	九九	日本講演會	芝
防空に於ける防空護國の訓練帝都の防空施設	石井作次郎	・二〇	○	九八	國民防空協會	澁谷
光榮錄	吉田積男		△	二〇〇	夕刊大阪新聞社	大阪
皇國の軍備と國勢	長澤小輔	三〇・〇〇	△	四一九	皇道振興會	四谷
同	同	二五・〇〇	△	四一九	橫須賀日日新聞社	神奈川
同	同	三〇・〇〇	△	四一九	民潮新報社	兵庫
同	同	二五・〇〇	△	四一九	岐阜日日新聞社	岐阜
同	同	二五・〇〇	△	四一九	茨城日日新聞社	水戸

書名	著譯者	定價	形體	頁數	發行所	
科學戰爭	小山勝清	一・三〇	○	三三四	實業之日本社	京橋
第一回第二回旅順閉塞隊秘話	栗田富太郎	一・〇〇	○	一五〇	東京水交社	芝
二〇三高地占領實戰記	田村友三郎	一・五〇	○	三三一	教育研究會	麴町
滿蒙は躍る	藤田榮助	・七〇	○	二四〇	帝國在鄉軍人會本部	牛込
國難大戰來る	樋口麗陽	一・二〇	○	二七〇	日本書院	麴町
明けゆく滿蒙へ	內田榮	一・五〇	○	二五六	近代文藝社	大阪
空中化學戰と非戰鬪市民	荒木武夫	一・五〇	○	三五八	高瀨書房	京橋
熱河討伐及熱河事情	仲摩照久	一・五〇	△	二四一	新光社	神田
皇國の軍備と國勢	皇道振興會長澤小輔	二五・〇〇	△	四一九	大阪今日新聞社	大阪
戰爭論	植田清次	一・〇〇	○	二五〇	理想社出版部	京橋
【六月】						
野戰工兵小隊長必携	陸軍省	・五〇	×		帝國在鄉軍人會本部	牛込
野戰騎兵小隊長必携	同	・五〇	×		同	同
滿洲事變に岡山縣の生んだ銃後美談一輯	在鄉軍人會岡山支部	非	○	一八二	在鄉軍人會岡山支部	岡山
短期現役兵の栞	錦城生	・一五	×	九一	武揚社書店	京都
新制度幹部候補生の栞	同	・二〇	×	一〇七	同	同
熱河戰陣中手記	滿蒙事情研究會	・二〇	○	九六	富貴堂支店	旭川

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
仰げ軍旗 子供のための戰爭の話	細越孝一	二・〇〇	三七三	文書堂 本鄉
戰術原則圖解百題全	櫻井忠溫	三・七〇	四五一	元社 同
滿洲戰線ペン畫集	安西理三郎	一・八〇	一〇〇	軍事學指針社 四谷
陸海空軍兵器の話と未來の科學戰	太田天橋	一・〇〇	△ 五〇	尚美堂 神田
化學兵器解說	小林勝男	一・〇〇	◎ 一五二	文教學協會 下谷
皇國の軍備と國勢	山口誠太郎	非〇	二四〇	日本藥劑協會 京橋
陸軍解剖	皇道振興會	三・〇〇	△ 三七〇	近江新報社 滋賀
【七月】	島崎英世	一・五〇	一四五	月旦社 劇町
兵法秘術要義	小島熊枝	非△		小島熊枝 和歌山
爆彈三勇士	國防義會	非〇		國防義會 福岡
海軍常識難問參考書	片山米造	一・五〇	一三六	級進社 廣島
太平洋戰略論	池崎忠孝	一・〇〇	四八	新光社 神田
非常時海軍國防讀本	有馬成甫	非◎	二一三	大日本海防協會 劇町
大日本陸軍寫眞大觀		△		明治天皇御寫眞帖刊行會 日本橋
現代空中戰に於ける都市攻防爆擊對防空	齋藤與次郎	非◎	二一三	厚生閣 劇町
	山田新吾	一・八〇	◎ 二七一	

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
軍部を衝く	野依秀市	一・五〇	四三四	秀文閣書房 芝
同 改訂版	同	一・五〇	四三四	同 同
【八月】				
兵營の異聞と秘話	陸軍省	非◎	二四一	新知社 劇町
防護團員心得と其日記	萩巢千代一	二五	四三	日本書院 同
防空大演習早わかり	福田清光	一・〇〇	三四	關東朝日新聞 豐島
最新憲兵試驗問題答案	平田安治	五〇	二五〇	武陽社 澁谷
海軍下士官任用試驗問題集と模範解答	帝國文武學會	五〇		帝國文武學會 神奈川
工兵必携	軍事學研究會	八〇		武陽社出版部 澁谷
鷹工長教程附表及附圖	兵用圖書株式會社	一・五〇	二册	兵用圖書株式會社 劇町
步兵典範	齋藤市平	一・三〇		兵書刊行會 牛込
步兵全書	同	一・八〇		同 同
海軍受恩給者の指針	片山米造	一・五〇	一五〇	級進社 廣島
備へよ空に空襲恐るべし 新聞記者の觀た太平洋戰爭	長尾戊二	一・〇〇	三三	大洋社 京橋
空襲!!	保科貞次	八〇	二四	千倉書房 同
	鹽崎誠	一・〇〇	二五四	鹽崎誠 吳

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
滿洲上海事變忠錄續編	原昇			滿洲上海事變國會刊行會 劇町
空軍	大場彌平	三・〇〇	△ 二〇三	改造社 芝
國防上に於ける帝國陸軍	柴田孫太郎	非〇	三九	神道護國聯盟 神田
步兵第十八聯隊從軍銘感錄	步兵第十八聯隊	◎	三九六	步兵第十八聯隊 豐橋
非常時海軍國防讀本	有馬成甫	非◎	二一三	海軍協會 劇町
海軍とは何ぞや?	黑木文四郎	五〇	一七〇	鶴見文千堂 品川
米國總動員計畫	資源局	一・五〇	◎ 三四	栗田書店 神田
化學兵器解說	山口誠太郎	非〇	二四〇	日本藥劑師會 京橋
【九月】				
海軍新書簡	猪原千城	五〇	× 二五三	日本圖書出版社 淵野
	齋藤市平	七〇	×	兵書刊行會 牛込
	同	五〇	×	同 同
	寶藏寺久雄	非◎	三冊	軍事學指針社 四谷
新一般戰術講授錄 自第一卷至第三卷	綿貫六助	一・六〇	四六六	極東出版社 神田
日米開戰米機遂に帝都を襲撃?	石丸藤太	一・五〇	四九	春秋社 日本橋
歐洲大戰餘話	木內省吾	五〇	二四	木內省吾 長野

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
聖旗熱河に飜る	田原豐	七〇	一五三	湘南堂書店 杉並
關東防空演習記念	中島昇藏	非△	三五枚	中島昇藏 目黑
十一年式輕機關銃	軍事學研究會	三〇	× 一三〇	武揚社 澁谷
ブラジル合衆共和國	原梅三郎	一・〇〇	三	日伯協會 神田
陸軍入營準備	森本富藏		二〇〇	陸軍壯丁教育會 芝
陸海軍について將校志願兵講義錄 二卷				同
海軍各練習生採用試驗問題集と模範解答	相澤德治	三〇	一〇六	明隣堂 同
海軍志願兵講義錄	帝國文武學會	五〇		帝國文武學會 神奈川
	出口良雄		◎	同 同
改訂工兵須知	藤谷芳長	六〇	× 六五〇	兵書出版社 大阪
軍事勅諭解義	橋本正雄	三〇	× 二六九	帝國海軍社 劇町
1936 危機は迫る 列强の軍備競爭	松下芳男	八〇	一九九	不動書房 神田
海戰	福永恭助	一・五〇	二七〇	海事研究社 劇町
空閑大隊長自刃の眞相錄	淺野櫻魂	三〇	一五〇	敬天愛人運動名古屋支部 名古屋
我等の大陸空軍	大日本國防會	三・〇〇	△ 一三	國防會刊行會 神田
軍艦讀本	福永恭助	一・〇〇	◎ 二五二	一元社 本鄉
時局兵備充實の急務	陸軍省調査班	〇	三〇	陸軍省調査班 劇町
蘇聯邦武力戰準備の進展	同	〇	二四	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
支那邊疆に對する蘇聯邦の策動	陸軍省調査班	〇	一八	陸軍省調査班
國際關係の逼迫とロシヤ赤衞軍の新戰略	大月久治	非◎	三	大月社會問題調査所
大陸非常線	山中峰太郎	一・二〇	二七	大日本雄辯會講談社
空の武士道	野口昂	一・二〇	二九	河出書房
【十一月】				
海軍航空隊練習生採用試驗問題集と解答	帝國文武會	・五〇		帝國文武會
海軍砲術學校 同	同	・五〇		同
海軍水雷學校 同	同	・五〇		同
海軍工機學校 同	同	・五〇		同
少年航空兵電信兵	海軍受驗社	・三〇	七〇	海軍受驗社
海軍志願者出世の秘訣 適性檢査の講義	同	・四〇	九二	同
海兵必携	紺野喜八	・三五		紺野書店
憲兵志願者必携	軍事普及會	一・二〇		武揚堂書店
國防常識	西岡靜太郎	・五〇	二六	兵用圖書株式會社
歩兵隊第一期初年兵教育の參考	山崎慶一郎	・八〇	一七二	琢磨社
内務教育の參考	同	・八〇	一八四	同
軍用犬訓練の寫眞圖解	碓氷元	・五〇	一九八	狼吟社
日支大事變と帝國の國防	大澤米造	二・八〇	△六〇〇	十勝新聞社
血の叫び	田中軍吉	・一〇	八二	時事新報社
學校教練必携後篇	陸軍省徴募課	一・二〇	◎一四五	帝國在鄉軍人會本部
國民防空訓練	保科貞次		〇一三〇	日本防空協會
【十二月】				
新時代の軍人	軍事教育會	・三〇	×三冊	千山閣書房
書簡入營案内				
上等兵手引				
完全歩兵須知	齋藤市平	・五〇	×三四	兵書刊行會
海軍志願兵講義錄 第二卷	出口良雄	一・〇〇	◎	帝國文武會
陸軍諸學校入學試驗問題及模範解答集	帝國軍事協會	一・五〇	一七〇	帝國教育會出版部
海軍同	同	一・五〇	二三〇	同
陸軍海軍少年航空兵案内	瀧澤正勝	・七〇		日本國防協會
陸軍工科學校案内	同	・六五		同
極東大戰實想觀	武田邦治		〇二六	村中通泰
赤軍	園部四郎	一・八〇	△八二	ナウカ社
次の世界大戰	田中梨汀	・三〇	七	大阪圖書株式會社

科學的軍備と現代戰爭	橋本弘毅	一・八〇	二五九	白揚社
日赤軍戰術原則對照	安西理三郎	一・八〇	二六四	軍事學指針社
繪筆の從軍	武藤夜舟	一・五〇	二九三	南越社

尾州家の祕文庫

前人未踏の寶の山へその道の專門家ばかり一千餘名眼を光らせながら大擧して入ることになつた、どんな大物が發見されることやら——といつても決して近頃流行の砂金掘りの話ではない。五月十一日から三日間名古屋市鶴舞公園圖書館で開かれる第二十七回全國圖書館大會に有名なキリシタン文獻の研究家東京帝大圖書館長姉崎正治博士はじめ全國の公私立圖書館長、司書ら一千餘名が出席するのを機會に德川侯爵家では出席者一同に尾州藩三百年傳來の黎明會書庫を開いてその所藏にかゝる貴重な古書稀籍數萬册を展覽させることになつた。この尾州藩傳來文庫はすこぶる夥しい册數に上るため大部分は今なほ未整理の狀態にあるので侯爵家では義親侯の計畫に從つて近く東京本邸に全部を運び整理にとりかゝるはずであるが、それには數年間の時日を要するので專門家一千名の今回の展覽によつて整理着手に先立つて逸品が指摘發見されはしないかと大いに期待されてゐる。

讀難き淨瑠璃外題（一）

嫗山姥（コモチヤマウバ）（近松門左衛門）
壽門松（ネビキノ）（同）
卯月潤色（イロアゲ）（同）
曾我虎か磨（イシウス）（同）
娥歌加留多（カホヨ）（同）
双生隅田川（フタゴ）（同）
復鳥羽戀塚（タマヨバヒトバノ）（同）
殯靜胎内捃（フタリシヅカタイナイサグリ）（同）
淀鯉出世瀧德（ノボリ）（同）
大磯虎稚物語（トラヲサナ）（同）
女長田皐櫻（オンナオサダハツサクラ）
美條御前身替弦張月（ミガハリユミハリツキ）（西澤一鳳）
孝壽丸

弘徽殿鵜羽產家（コウキテンウノハノウブヤ）（近松門左衛門）
菊地大友姻袖鏡（コンレイソデカガミ）（近松半二）
小いな半兵衛廓色上（サトノイロアゲ）（入民平七）
鷓山姫捨松（ヒハリヤマ）（並木宗輔）
男作五雁金（オトコタテイツツカリガネ）（竹田出雲）
釜淵双級巴（カマガフチフタツトモヘ）（並木宗輔）
信田森女占（シノダノモリオンナノウフカタ）（紀海音）
平安城細石（サザレイシ）（同）
青梅擇食盛（ツワリサカリ）（同）
大塔宮棒鎧（オホタノミヤアサヒノヨロヒ）（竹田出雲）
三拾石鱧始（サンシツコクヨブネノハジマリ）（古淨瑠璃寄物）
粧水絹川堤（ケハヒミツ）（東勇助）

〔三一〕美術

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
【一月】					
おもちや畫譜	川崎巨泉		◎五〇	川崎末吉	大阪
かなゑ會	池野夢泉	五・〇〇	△	內田美術書肆	京都
三學會圖錄九	安田百助	五・〇〇	△	同	同
帝室博物館案內繪畫部	帝室博物館	・一〇	○	帝室博物館	下谷
正倉院御物圖錄四	同	三五・〇〇	△六三	同	同
風俗繪本拔萃續篇	封醉小史	三・八〇	一枚刷 △四五枚	江戸文學研究發行所	愛知
雲煙雅芳	清水眞輔		◎一〇〇	雅芳刊行會	大阪東
萬華鏡二	村上貞雄 外一	四・五〇	△一〇枚	芸艸堂	京都中京
能壽賀多	觀世左近		△一四枚	同	同
茶席起繪圖前編四十五通	大邊義人	三五・〇〇	△四五枚	工人社	芝
琴僊畫集娛	布施庄太郎	非	△和綴三	布施寧靜園	大阪
琴僊畫集志	布施庄太郎	非	△和綴一四	布施寧靜園	同
善本影譜癸酉第一輯	長澤規矩也	同	一枚刷 ×二〇枚	川瀨一馬	小石川
殷墟出土白色土器の研究第一册	伊津野直		△三〇〇	彙文堂	京都
石燈籠	天沼俊一	五・〇〇	△八八枚	スズカケ出版部	同
少華墨蘭譜一	人見少華	二・二〇	△一三枚	船越基	同
埴輪集成圖鑑（第六回）	帝室博物館	二・〇〇	二〇枚	日本古典全集刊行會附屬珍書保存會	豐島
觀世音百態精屋	鶴清氣	八・〇〇	△一一三	日本禪書刊行會	神田
巴里新興繪畫選集	森口多里	二・〇〇	△八〇	平凡社	日本橋
和漢名法帖選集第五卷 宇多天皇宸翰周易抄	下中彌三郎		△三〇	下中彌三郎	同
西洋名畫家選集六 ボナール畫集	益田義信	二・五〇	△四一	アトリエ社	牛込
東西大家色紙百選	土井撰美堂	三・〇〇	△五〇	芸艸堂	京都
ラスキン近代畫家論第一卷	澤村寅二郎	二・五〇	◎四五〇	第一書房	麴町
續小袖と振袖四	野村正治郎		△八枚	芸艸堂	京都
源氏模樣一輯	桂友同机會	五・〇〇	△一〇枚	同	同
國寶解說（建造物之部）	小川晴暘	三・五〇	◎三四二	飛鳥園	奈良
陸軍特別大演習記念特別展覽圖錄	大阪市役所		△一二六	藝苑社	大阪

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
【二月】					
陶器圖錄李朝鐵砂	倉橋藤治郎		◎三六	工政會出版部	麴町
弦廼舍畫迹	革丙會		△	巧藝社	神田
興福寺大鏡第一	東京美術學校		△一三五	大塚巧藝社	本郷
演禽斗數三世相書	長澤規矩也		△	日本書誌學會	小石川
日本畫大成第二十三卷	十藏寺宗雄		△一六〇圖 一五四頁	東方書院	神田
東洋花鳥寫眞集動之卷丹頂鶴第一輯	岡本東洋		△三〇枚	芸艸堂	京都
同 右靜之卷第一輯	同		△同	同	同
國寶美術集大成第十一卷	大鳳閣書房	三・七〇	△四〇圖 二七枚	三省堂	神田
支那古明器泥像圖鑑第五輯	大塚稔	非	△一〇〇圖	大塚巧藝社	本郷
善本影譜癸酉第二輯	長澤規矩也	非	△圖三 解說五	川瀬一馬	淺草
異本北野天神緣起第七輯			△圖 三枚	審美書院	京橋
日本彫刻大鑑鎌倉時代上	東方書院		△三六圖	東方書院	神田
續小袖と振袖五	野村正治郎	八・〇〇	△一〇枚	芸艸堂	京都
新撰字鏡完	大槻文彥	二五・〇〇	帙入 七册	西東書房	神田
埴輪集成圖鑑第七回	帝室博物館	二・〇〇	二〇枚	日本古典全集刊行會附屬珍書保存會	豐島

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
クールベ畫集	硲伊之助	二・五〇	△三〇圖 三三頁	アトリヱ社	牛込
東方染色文化の研究	上村六郎	五・〇〇	△三二一	第一書房	麴町
趣味の文様下	松村翠鳳		△三〇	內田美術書肆	京都
國寶美術集大成鎌倉時代中	坂戶彌一郎	三・七〇	△七〇圖 解說四〇	大鳳閣書房	下谷
木版手摺趣味の俳畫集	山下關一	五・〇〇	△三〇枚	版畫藝術協會	大阪
ジアン・リユルサ	外山卯三郎	一・二〇	△一六圖 解說二五	金星堂	神田
土佐光則研究資料	渡邊庄三郎		△二圖 解說六〇	同	同
Catague of tressures in the imperial repository shosoin	帝室博物館	四・〇〇	△八〇圖	帝室博物館	下谷
帝都十大寺大鏡第二十三輯 西大寺大鏡第一	東京美術學校		△九〇圖 三六頁解	大塚巧藝社	本郷
無染の歌	壽岳文章	五・〇〇	◎二七圖	壽岳文章	京都
君臺觀左右帳記	帝室博物館	一・五〇	◎三五	帝室博物館	下谷
落合圖案夏帶	落合萬水	四・五〇	△	內田美術書肆	京都
四季應用圖案百選夏	河原崎晃洞	七・五〇	△	同	同
三學會圖錄十	中村六之介	四・五〇	△	同	同
創華集	桂友同机會	五・〇〇	△	同	同
みちくさ	吉岡犀吉		◎和綴	甲矢會	高知

一茶句稿霞む日	齋藤昌三	一・八〇	◎限定版 和綴	雄松堂書店	神田
帶參夏の卷	河原崎晃洞	四・八〇	△	內田美術書肆	京都
演劇と時代相	仲木貞一	一・五〇	○四〇	社會教育協會	小石川
【三月】					
源氏模樣二輯創苑帳	桂友同机會	五・〇〇	△	芸艸堂	京都
略畫の泉	太田三郎	・四〇	○一六六	崇文堂	神田
未成會着尺圖錄二十一	梅原香鳳	六・〇〇	△	內田美術書肆	京都
晨虹會圖錄七	高阪三之助	三・八〇	△	同	同
帝室博物館案內繪畫部	帝室博物館	・一〇	○一〇	帝室博物館	下谷
叢晃五	叢晃社	五・〇〇	△一四枚	芸艸堂	京都
獨立展集	朝日新聞社	・八〇	◎	朝日新聞社	丸の內
廣重江戶百景と大東京(1)	青木作二郎		四枚	ジヨネー木版印刷社	板橋
日本畫大成24大正篇(一)	十藏寺宗雄		△一四〇圖 五〇解說	東方書院	神田
日本彫刻大鑑奈良時代上2	同		△二四圖 三五解說	同	同
萬華鏡三	村井貞雄外一	四・三〇	△帙入 一〇枚	芸艸堂	京都
修正古法帳選內編第五	比田井鴻	三・〇〇	△四四	書學院後援會	澁谷
西洋名畫家選集8ベチス畫集	川島理一郎	二・五〇	△二〇圖 一〇解說	アトリヱ社	牛込

審驥輯第二輯	河邊立夫		△七枚	審驥社	四谷
能壽賀多	觀世左近		△二三葉	芸艸堂	京都
南洋花鳥寫眞集動之卷鴛鴦第二輯	岡本東洋		△三〇葉	同	同
東洋花鳥寫眞集靜之卷水第二輯	同		△三〇葉	同	同
維新志士遺墨集	大日方美代里	限定非賣	△七三葉	偉人遺墨顯彰會	長野
日本刀の近代的研究	小泉久雄	八・〇〇	△八〇〇	丸善株式會社	日本橋
L'Oeuorf de le Delegation Francaise en afghunistan (1922-1933), I; Archeologie Bouddkique	木島孝藏	三・〇〇	△三二圖	木島孝藏	神田
實用圖案資料大成一動物資料圖案集上	杉浦非水外一	三・〇〇豫	△九五	アトリヱ社	牛込
集成水産動物圖鑑	村越三千男	三・五〇	×四九一	興學館	神田
一立齋廣重	野口米次郎	非	△一七五	誠文堂	同
和歌會式故實	早川自照	同	◎一五〇	洗心洞	大阪
新日本畫の描き方	中村岳陵	一・五〇	○一八五	弘文社	神田
異庫北野天神緣起第八輯	岡本次五郎		△三枚	審美書院	京橋
時代裂	橋本基		△六枚	座右寶刊行會	本郷
源氏模樣三輯	桂友同机會	五・〇〇	△一〇枚	芸艸堂	京都
東洋花鳥寫眞集靜之卷寒の花第三輯	岡本東洋		△二〇枚	同	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
東洋花鳥寫眞集 勁之卷虎第三輯	岡本東洋		△二〇枚	芸艸堂 京都
續小袖と振袖 六	野村正治郎		△二〇枚	同 同
初夏神經	小石清	六・〇〇	△三枚	浪華寫眞俱樂部 大阪
聚樂 第七	橋本基		△一〇枚	座右寶刊行會 本郷
黄瀬戸	加藤唐九郎	一・五〇	◎ 一〇〇	寶雲社 京都
漫畫サロン集	星野辰男	・六〇	△ 一〇〇	朝日新聞社 麹町
和漢名法帖選集第七巻 小野道風玉泉帖	下中彌三郎		△ 三一	下中彌三郎 日本橋
非水百花譜第十六輯	杉浦非水	非	△三枚	春陽堂 同
南都十六方大鏡第十輯 法隆寺大鏡第十	東京美術學校		△ 二〇〇	大塚巧藝社 本郷
宋拓雁塔聖教序	井上恒一		◎ 二九	晩翠軒 芝
Segouzac	外山卯三郎	一・二〇	◎一九圖 二五頁解	金星堂 神田
ミレー大畫集1前期	小寺健吉	三・五〇	△三〇圖	アトリヱ社 牛込
西洋名畫家選集9 マネ畫集	木下義謙	三・五〇	△一二頁 三〇圖	同 同
古燈火器具	弘津史文	非	△三六圖	弘津史文 山口
茶席起繪圖後篇	大邊義人		△四五圖	大邊義人 芝
國寶美術集大成 桃山時代9	坂戸彌一郎	三・七〇	△ 一二四圖	大鳳閣書房 下谷

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
上野國佐波郡赤堀村 今井茶臼山古墳	帝室博物館	三・八〇	△ 五〇〇	帝室博物館 下谷
日本畫大成25 大正篇(二)	十藏寺宗雄		△一六〇圖 四五頁解	東方書院 神田
日本彫刻大鑑 平安時代中5	同		△一五五圖 二九頁解	同 同
【四月】				
吳須赤繪圖鑑	大塚稔	三・〇〇	△五九圖	東洋陶磁研究所 日本橋
瑚玉集巻第十二	古典保存會	非	△ 六四	古典保存會 神田
支那土藝圖鑑三	青木利之助		△帙入 三冊	帝國工藝會 芝
奈良帝室博物館彫刻圖錄	奈良帝室博物館	一・〇〇	△五五枚	奈良帝室博物館 奈良
楷書千字文	大淵善吉		△ 八〇	大淵善吉 大阪
行書千字文	同		△ 八〇	同 同
草書千字文	同		△ 八〇	同 同
能壽がた	觀世左近		△一〇枚	芸艸堂 京都
茶の湯釜	瀬川昌耆	非	◎ 六〇	瀬川昌耆 本郷
日本古建築類聚圓堂	川上邦基		△一四枚	古建築及庭園研究會 澁谷
訪書餘錄本文篇	和田維四郎	二〇・〇〇	△ 二六六	弘文莊 本郷
同 圖錄篇	同	二〇・〇〇	△ 二〇〇	同 同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
實用圖案資料大成2 動物資料圖案集中	杉浦非水 外一	三・〇〇	△ 九九	アトリヱ社 牛込
善本影譜癸酉第三輯	長澤規矩也	非	△一五枚	日本書誌學會 小石川
富士百景作品集第五	岡田紅陽		△二〇枚	審美書院 京橋
漢字一元論稿	青井貝次郎	三・〇〇	△ 一一〇	六盟書院 名古屋
不鍾心帖	橋本關雪	非	△ 一五六	橋本關雪 京都
享樂文化繪誌	坂戸彌一郎	一・五〇	◎ 三〇七	大鳳閣 下谷
國寶建造物略説目錄	川上邦基	三・〇〇	× 三六	古建築及庭園研究會 澁谷
ビアズレヱ畫集	原浩三	三・五〇	△二七圖	三笠書房 同
ロップ畫集	同	三・五〇	△二六圖	同 同
旅のスケッチ	萬富三	一・二〇	○ 一六四	寶文館 日本橋
川島理一郎畫集	川島理一郎	三・五〇	△ 三一	アトリヱ社 牛込
家具寫眞集成1 食堂と臺所の家具	高梨由太郎	一・〇〇	△ 二〇	洪洋社 同
家具寫眞集成4 新しい構造の家	同	一・〇〇	△ 二六	同 同
和漢名法帖選集第八巻弘法大師眞蹟風信帖灌頂記	下中彌三郎		△ 三〇	平凡社 日本橋
南都十大方大鏡第五 報法隆寺大鏡第五	東京美術學校		△ 一〇三	大塚巧藝社 本郷
時代裂 第十一	橋本基		△六枚	座右寶刊行會 同
ヴアンゴツホ大畫集1風景	硲伊之助	五・〇〇	△ 二〇	アトリヱ社 牛込

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所
大日本外地寫眞帖	東海通信社調査部	一〇・〇〇	△ 九九	東海通信社 京橋
時代裂 第十一	橋本基		△六枚	座右寶刊行會 本郷
茶の湯釜	瀬川昌耆	三・〇〇	◎ 六〇	寶雲舍 京橋
おもちや畫譜	川崎巨泉		△ 五〇	川崎末吉 大阪
魚介と美術	金井紫雲	三・〇〇	○ 三一三	芸艸堂 京都
人形珠玉集	西澤笛畝	一〇・〇〇	△一五六圖	同 同
豐道春海先生草書正氣歌	豐道慶中	三・五〇	△ 四八	瑞雲書道會 淺草
非水百花譜第十七輯	杉浦非水	非	△袋入 一冊	春陽堂 日本橋
加なゑ會二	中村六之介	五・〇〇	△	內田美術書肆 京都
松美會圖錄一五	松本美濤	四・五〇	△	同 同
六人のむら	井上松洞	五・〇〇	△	同 同
服飾調和展	柏壽園	七・五〇	△	芸艸堂 同
運慶を中心とする鎌倉彫刻展覽會目錄	奈良帝室博物館	・一〇	○ 四五	奈良帝室博物館 奈良
【五月】				
庄內地誌	中島東次	一・二〇	○ 一〇六	帝國書院 神田
長崎の史蹟と名勝	仁尾環	・七〇	○	宮本書店 長崎
ブラーシュ人文地理學	山口貞夫	三・八〇	◎ 三六六	古今書院 神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
アラスカ日記	矢野茂	一・八〇	○ 二〇八	古今書院	神田
ブラウン經濟地理講話	高橋四郎	一・五〇	○ 二〇六	同	同
南洋羇旅	堀内一雄		○ 一八六	堀内一雄	三重
大塚地理學會論文集第一輯	大塚地理學會田中啓爾	三・八〇	◎ 六〇七	古今書院	神田
宮城縣案内	鈴木清兵衛		◎ 三三三	鈴木清兵衛	宮城
經濟地理	樋口清策	非	◎ 四〇〇	阿部書店	淀橋
日本の國立公園	綱島定治	三・〇〇	△ 一三三	國立公園圖書刊行會	神田
東北の土俗	佐藤吾一	二・五〇	○ 二六八	一誠社	麴町
京名所案内記	西田利八		○ 一六六	京都市庶務觀光課	京都
破片岩	冠松次郎	一・五〇	○ 三〇〇	耕進社	本鄉
家具工藝	宮崎平七		△ 二八	宮崎平七	京都
興版 1	政田英三	三・〇〇	△	芸艸堂	同
三學會圖錄十一	田中吉之介	四・五〇	△	內田美術書肆	同
凡十苑	松本美濤	四・五〇	△	同	同
四季應用圖案百選秋冬	河原崎晃洞	七・五〇	△	同	同
歐風彫刻圖案集	中西由造	・八五	◎ 五〇	水谷工具店出版部	京橋

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
唐令拾遺	仁井田陞	一〇・〇〇	△ 一〇〇六	東方文化學院東京研究所	本鄉
卜辭通纂攷釋	郭沫若	一三・五〇	△ 帙入 三册	文求堂書店	同
卜辭通纂	同		△ 六三	同	同
うたひの姿卷一	梅若萬三郎	三・〇〇	○ 三七〇	わんや書店	京橋
日本畫大成大正篇(三)26	十藏寺宗雄		△ 一五〇圖 二四二頁	東方書院	神田
獨立美術協會第三回展覽會畫集	長谷川一躬	一・八〇	△ 五〇	美術工藝會	同
國寶美術集大成平安朝時代下	坂戸彌一郎	三・七〇	△ 一七二圖 九頁	大鳳閣	下谷
歐米蒐儲支那古銅精華一	梅原末治		△ 八七圖	山中商會	大阪
同 二	同		△ 七六圖	同	同
同 三	同		△ 八七圖	同	同
新編纂俳畫法	小川千甕	三・〇〇	◎ 一三三	交蘭社	小石川
浮世繪概觀	坂戸彌一郎	三・二〇	△ 一〇九圖 一五九頁	大鳳閣書房	下谷
京都美術大觀庭園	中野楚溪		△ 一〇〇圖	東方書院	神田
濱田庄司陶器集	青山二郎	七・〇〇	△ 八〇圖	工政會出版部	麴町
異庫北野天神緣起第九輯	長谷鐐平		△ 袋入 四枚	審美書院	京橋
日本彫刻大鑑現代11輯	十藏寺宗雄		△ 一五〇	東方書院	神田

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
江戸時代前半期の世相と衣裳風俗	齋藤隆三	五・〇〇	◎ 二六三	大塚巧藝社	本鄉
新稿兩替年代記關鍵卷二	三井高維	一〇・〇〇	△ 五〇〇	岩波書店	神田
玉篇卷第廿七上下	荻野仲三郎	二三・〇〇	卷物 二卷	東方文化學院	本鄉
能樂具裝精華	深見坦郎		△ 六〇	檜書院	神田
川島睦山先生歸去來帖	川島舟三	三・〇〇	△ 四〇	睦山書塾	京都
第二十回商工省工藝展覽會受賞品圖錄	商工省	五・四〇	△ 一二三	畫報社	本鄉
現代女人十二姿	石井柏亭	三・〇〇	△ 一枚	中村版畫社	四谷
創作文樣集	吉村幸一郎	三五・〇〇	△ 五四枚	平凡社	日本橋
善本影譜癸酉第四輯	長澤規矩也	非	△ 三〇枚	日本書誌學會	東京
家藏懸佛と御正體	伊藤庄兵衛	非	△ 八六枚	伊藤庄兵衛	京都
京都美術大觀石造美術	中野楚溪	五・〇〇	△ 三〇〇	東方書院	神田
日本畫大成27昭和篇(一)	十藏寺宗雄		△ 一四七圖 二七頁解	同	同
キツスリング	外山卯三郎	一・二〇	△ 一七圖	金星堂	同
畫像大集成第一輯	伊豆碧山	非	△ 一〇〇圖 二五頁解	佛教珍籍刊行會	深川
石燈籠第五回分册	天沼俊一	五・〇〇	△ 帙入 五四枚	スヾカケ出版部	京都
マチス畫集	外山卯三郎	一・二〇	△ 六三	光文館	神田
モヂリアニ畫集	同	一・二〇	△ 六二	同	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
陶器十五話	小野賢一郎	一・八〇	◎ 一五四	寶雲舍	日本橋
圖像大集成第一輯	伊豆磐山	非	△ 一〇〇圖 二五頁	伊豆磐山	深川
石燈籠第五回分册	天沼俊一	五・〇〇	△	スヾカケ出版部	京都
王右軍眞蹟帖九卷	下中彌三郎		△	平凡社	日本橋
マチス畫集	外山卯三郎	一・二〇	△ 一六圖 六三頁	光文館書店	神田
モヂリアニ畫集	同	一・二〇	△ 一六圖 六二頁	同	同
近世文藝名著標本集第二輯	山田清作		△ 袋 一〇枚	米山堂	牛込
續浮世繪大家集成(1)大蘇芳年	坂戸彌一郎	四・五〇	△ 五四圖	大鳳閣書房	下谷
善本影譜癸酉第五輯	長澤規矩也	非	△ 三〇枚	日本書誌會	小石川
繪專美工卒業創作品圖錄	校友會	三・五〇	△ 三〇枚	芸艸堂	京都
古今文樣大鑑三	上野清江		△ 一〇〇	同	同
續小袖と振袖	同		△ 二〇枚	同	同
源氏模樣五輯	桂友同机會	五・〇〇	△ 二〇枚	同	同
南都十大寺大鏡第十七輯東大寺大鏡第二	東京美術學校		△ 八三圖	大塚巧藝社	本鄉
時代裂第十二	橋本基		△ 六〇枚	座右寶刊行會	同
岡山縣先哲遺墨集	笹田保	三・〇〇	◎ 一七六	文獻書房	岡山
新洋畫の描き方	藤島武二	一・八〇	○ 三二〇	賚文堂	麴町

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
青山熊治畫集	長尾一平	三・五〇	△三六圖	アトリヱ社	牛込
國畫會第八回美術展覽會畫集	長谷川一躬	一・八〇	△ 四四	美術工藝會	神田
ミレー大畫集2中期	小寺健吉	三・五〇	△三〇枚	アトリヱ社	牛込
宋本書影	長澤規矩也		△ 一五〇	長澤規矩也	小石川
宋刊本展覽會陳列書解說	同		◎ 三三	同	同
趙子昻大成殿記三門記	下中彌三郎		△ 六〇	下中彌三郎	日本橋
行成卿倭漢朗詠集抄	同		△ 八〇	同	同
【六 月】					
十島圖譜	十島村役場	一・五〇	◎	單美社	神奈川
未成會着尺圖錄	井上松洞	六・〇〇	△	內田美術書肆	京都
深園	昭榮會		△	金澤標本店	同
桂裳豐	桂裳會	三・〇〇	△	芸艸堂	同
珠陽二十三	珠陽會	四・五〇	△	同	同
桂友同机會拾	桂友同机會	五・五〇	△	同	同
ましみつ	市田商店	三・〇〇	△	同	同
桂友第三十集 夏帶之部	桂友クラブ	五・〇〇	△	同	同

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
やい衣	裳美會	一八・〇〇	△	芸艸堂	京都
三學會圖錄十二	中村六之介	五・〇〇	△	內田美術書肆	同
青年圖案人聯盟展覽會圖錄四	青年圖案人聯盟	六・六〇	△	同	同
現代フランス名畫集	高森義州	三・〇〇	△	綜合美術研究所	世田谷
うたひの姿卷二	梅若萬三郎	三・〇〇	○ 七三七	わんや書店	京橋
第十二回南畫展圖錄	日本南畫院	六・〇〇	△ 一三〇	芸艸堂	本鄉
國寶美術集大成 室町時代下	大鳳閣書房	三・七〇	△ 八九	大鳳閣書房	下谷
支那陶窯史 支那陶磁源流圖考 全	小野賢一郎		△ 六六	陶器全集刊行會	日本橋
茶室の掛物	川那邊觀風	三・五〇	○ 三八	茶道月報出版部	京都
古今御所解もよう	松村翠鳳	六・五〇	△ 一〇〇	內田美術書肆	同
鳴鶴先生臨蘭亭敍	日下部東作	三・〇〇	△ 五四	鳴鶴堂書房	大阪
鄕土研究圖譜村落篇	小田內通敏	三・三〇	△袋入三〇枚	小山內通敏刊行會	本鄉
西大寺大鏡第二	東京美術學校		△ 一五〇	大塚巧藝社	同
改稿構圖の研究	黑田重太郎	三・〇〇	○ 二一七	日本美術學院	豐島
陶器全集第廿五回刊行觀古圖說一	小野賢一郎	四・五〇	△一七圖	陶器全集刊行會	日本橋
古今文樣大鑑二	上野清江		△ 一〇四	芸艸堂	京都

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
踊壽かた第六卷	宗家若柳		△三五枚	芸艸堂	京都
源氏模樣四輯	桂友同机會		△一〇枚	同	同
續小袖と振袖七	野村正治郎		△一〇枚	同	同
外邦染織名品圖錄	恩賜京都博物館		△六六枚	同	同
東洋花鳥寫眞集靜之卷水邊の花第六輯	岡本東洋		△三〇枚	同	同
同動之卷鷺第六輯	同		△三〇枚	同	同
京都社寺名寶鑑大德寺篇一	日出新聞社		△三一圖	同	同
體源鈔	正宗敦夫	非	○ 四一〇	日本古典全集刊行會	豐島
京都美術大觀彫刻上	中野楚溪	七・五〇	△一二六圖	東方書院	神田
能壽賀多第十七輯	觀世左近		△一四葉	芸艸堂	京都
噪音集	青柳博士還曆祝賀會	非	△ 二一八	青柳博士還曆祝賀會	同
樂只帖	同	同	△ 八〇	同	同
傳教大師墨寶卷一	木下寂善		折疊式	天台宗務廳	滋賀
日本畫大成28 昭和篇(二)	十藏寺宗雄		△二四圖 一五三解說	東方書院	神田
古今模樣大鑑四	上野清江		△ 一〇〇	芸艸堂	京都
宋拓唐人小楷六種(和漢名法帖選集第十卷)	下中彌三郎	豫約	折疊式	平凡社	日本橋
菊地塾第九回展覽會畫集	菊地塾	七・〇〇	△八三枚	芸艸堂	京都

書名	著譯者	定價	形體頁數	發行所	
むすび模樣上	河原崎晃洞	七・五〇	△折疊式	芸艸堂	京都
北野天神緣起第十輯	原本武藤 山治氏		△三一枚	審美書院	京橋
現代圖案カット大集成	辻克己	四・三〇	△ 三三〇	浩文社	日本橋
新選圖案集上	河原崎晃洞	六・五〇	△折疊式	內田美術書肆	京都
源氏模樣第六輯	桂友同机會	五・〇〇	△一〇葉	芸艸堂	同
Vincent Van Gogh	足立源一郎	五・〇〇	△三〇圖	アトリヱ社	牛込
莊內金工之研究	長岡恒喜	三・〇〇	△二〇〇圖 挾入七五頁	吉川弘文館	京橋
杉本哲郎畫集及畫論	杉本哲郎	三・〇〇	△四三圖 解說	アトリヱ社	牛込
花鳥畫法(日本畫新技法講座2)	北原義雄	一・五〇	◎ 一三〇	同	同
莊內全工之研究	長岡恒喜	三・〇〇	△ 三〇〇	吉川弘文館	京橋
浮世繪大家集成 曉齋・貞秀	坂戶彌一郎	四・五〇	△五〇圖	大鳳閣書房	下谷
調和體朗詠抄下	尾上柴舟	三・五〇	△ 一一七	雄山閣	麴町
因果經卷第四	縣治朗		卷物	尙古會	澁谷
華嚴五十五所善哉童子繪卷	同		同	同	同
茶碗十三品	小野賢一郎	六・〇〇	◎ 一二四	寶雲社	日本橋
【七 月】					
玉堂琴僊詳觀	布施萬栽	一・五〇	◎ 兲	布施寧靜閣	大阪